

北 塩 原 村
第9期北塩原村高齢者福祉計画・
北塩原村介護保険事業計画策定のための
住民アンケート

— 調査結果報告書 —

令和6年3月

北 塩 原 村

目 次

I 調査の概要

1	調査の目的	1
2	調査の種類及び対象者	1
3	調査実施方法及び期間	1
4	アンケート回収結果	1
5	集計について	2

II 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 調査結果

◇	調査対象者の基本属性	3
1	あなたのご家族や生活状況について	6
2	からだを動かすことについて	12
3	食べることについて	20
4	毎日の生活について	29
5	地域での活動について	40
6	たすけあいについて	47
7	健康について	58
8	認知症にかかる相談窓口の把握について	67
9	在宅医療・介護・終末期医療について	69
10	成年後見制度について	74
11	自由意見・要望	77
12	リスク判定	78
	(1) 運動器	78
	(2) 転倒	79
	(3) 閉じこもり	80
	(4) 低栄養	81

(5) 口腔機能	82
(6) 認知機能	83
(7) うつ傾向	84
(8) 手段的日常生活動作 (IADL)	85
(9) 知的能動	86
(10) 社会的役割	87
(11) 生活機能総合評価	88

Ⅲ 在宅介護実態調査 調査結果

◇ 調査対象者の基本属性	89
A 調査対象者ご本人について	89
B 主な介護者の方について	97
C 分析	101

I 調査の概要

I 調査の概要

1 調査の目的

国が示した第9期「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」に基づき、要介護状態になる前の高齢者に対する介護予防・日常生活支援総合事業の評価や介護予防に関する要望等を把握するため、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査を実施した。また、要介護者の生活の実態像と介護者の実態把握を行うため在宅介護実態調査を合わせて行い、第9期北塩原村高齢者福祉計画・北塩原村介護保険事業計画策定することを目的とする。

2 調査の種類及び対象者

種 類	対 象 者
介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査	令和5年8月1日時点で、介護保険の要介護認定を受けていない（要介護1～5の方以外）65歳以上の方
在宅介護実態調査	令和5年8月1日時点で、在宅で生活している要介護認定を受けられている方

3 調査実施方法及び期間

種 類	実施方法・期間
介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査	○郵送調査（郵送による配付・回収）：883人 令和5年9月13日（水）～9月29日（金）
在宅介護実態調査	○郵送調査（郵送による配付・回収）：72人 令和5年9月13日（水）～9月29日（金）

※令和5年10月19日（木）到着分まで集計

4 アンケート回収結果

種 類	対象者人数	回収人数	有効回収人数	有効回収率	
介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査	883人	509人	509人	57.6%	
	北山地区	329人	189人	189人	57.4%
	大塩地区	200人	110人	110人	55.0%
	桧原地区	114人	68人	68人	59.6%
	裏磐梯地区	240人	141人	141人	58.8%
不 明	—	1人	1人	—	
在宅介護実態調査	72人	33人	33人	45.8%	
	北山地区	30人	14人	14人	46.7%
	大塩地区	14人	5人	5人	35.7%
	桧原地区	7人	3人	3人	42.9%
	裏磐梯地区	21人	11人	11人	52.4%

※有効回収数=回収数 - 白紙回答

5 集計について

- ・集計結果を百分率（％）で表す場合、小数点第2位を四捨五入し第1位までの表記とした。このため、百分率の合計が100にならない場合がある
- ・母数（ $n=●$ と表記）は、回答者全員が答えるべき設問については回答者数、条件付き設問については、その設問に答えるべき該当者の数とする。
- ・複数回答を可とした設問で、選択肢をひとつも選択しなかった場合は「無回答」として集計する。
- ・単数回答（一つのみ選択）の設問において、複数選択した場合は、上記と同様に「無回答」として集計する。
- ・グラフ表示に際して、選択肢が多い場合などは、一部値の小さい数値の表記を省略する場合がある。
- ・クロス集計において、性別や年齢、地区の各回答が無い対象者は、各クロス集計表から除外している。そのため、性別や年齢、地区別の各合計は全体とは一致しない。

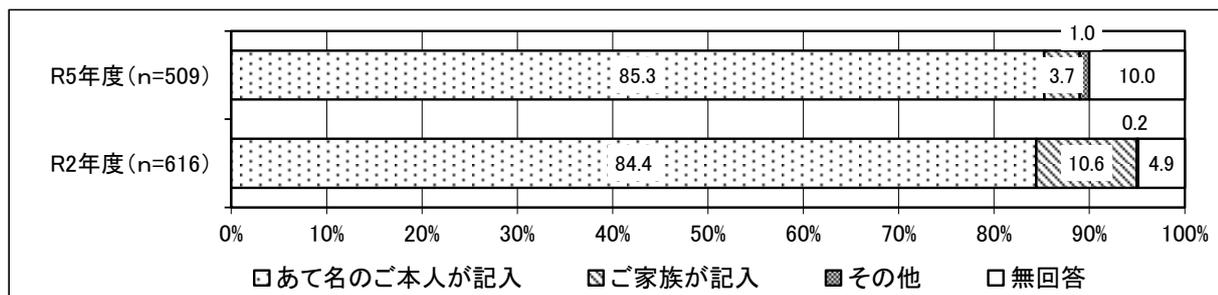
Ⅱ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 集計結果

Ⅱ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 集計結果

◇ 調査対象者の基本属性

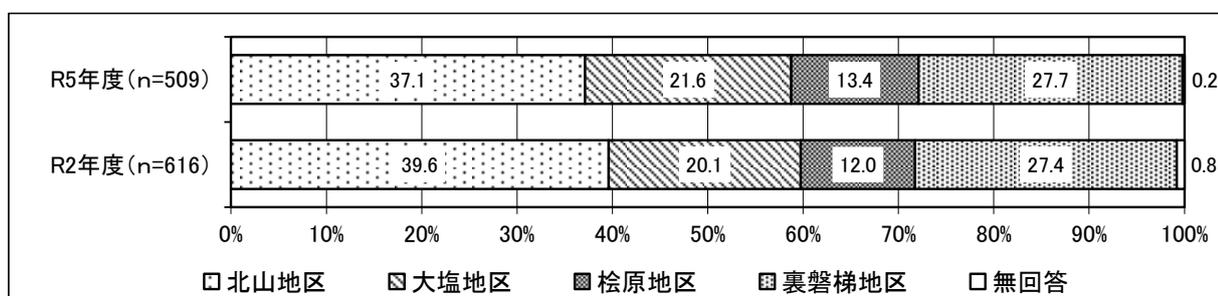
1 調査票記入者

調査票の記入者は、「あて名のご本人」が85.3%と多数を占め、「ご家族」は3.7%となっている。



2 地区

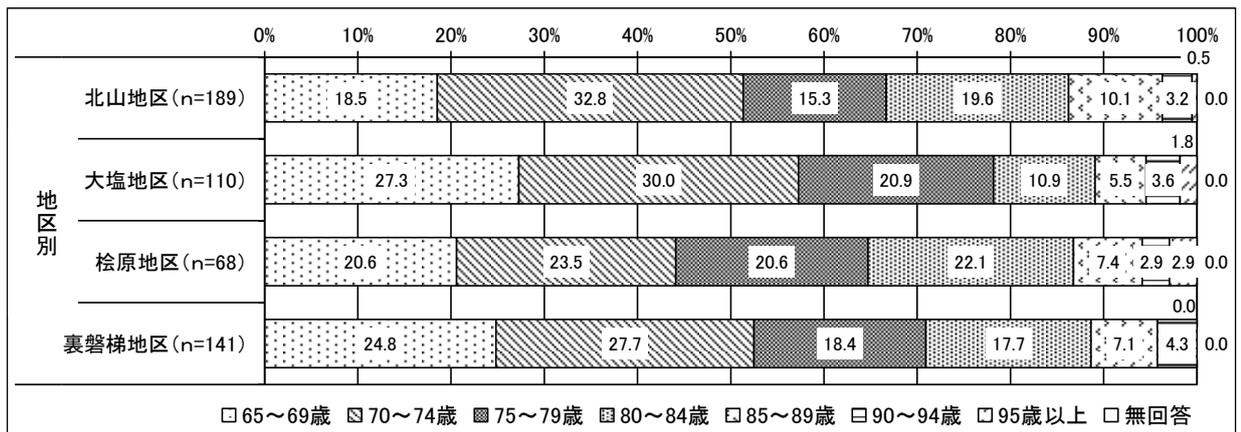
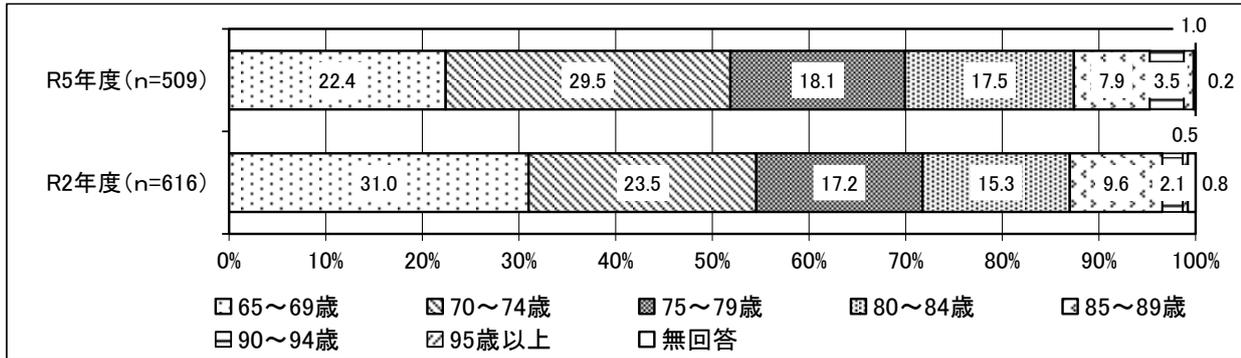
回答者の居住地区をみると、「北山地区」が37.1%と最も高く、以下、「裏磐梯地区」(27.7%)、「大塩地区」(21.6%)、「桧原地区」(13.4%)となっている。



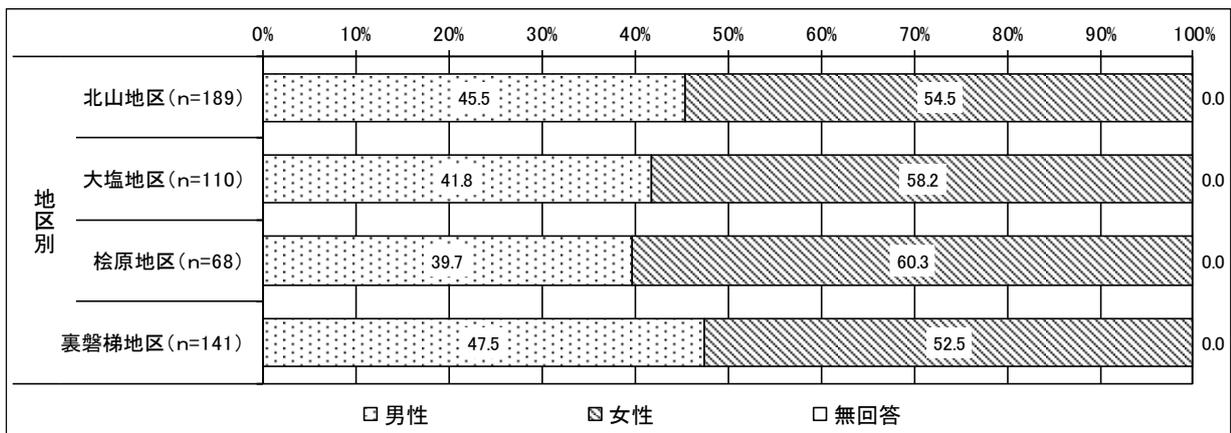
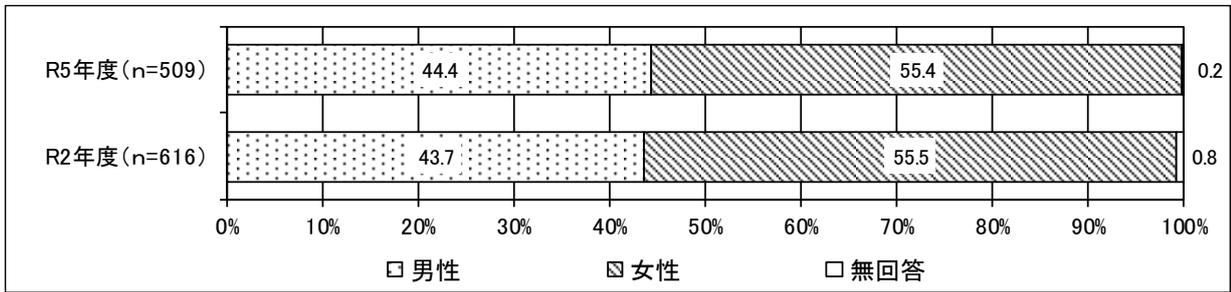
3 年齢・性別

年齢は、「70～74歳」が29.5%と最も高く、以下、「65～69歳」(22.4%)、「75～79歳」(18.1%)、「80～84歳」(17.5%)、「85～89歳」(7.9%)、「90～94歳」(3.5%)、「95歳以上」(1.0%)と続く。年齢が高くなるに従い比率は低下している。

地区別にみると、北山地区は“70～74歳”(32.8%)が、大塩地区は“65～69歳”(27.3%)が、桧原地区は“80～84歳”(22.1%)が、裏磐梯地区は“90～94歳”(4.3%)が、それぞれ他地区よりやや高い比率となっている。



性別は、「女性」が 55.4%、「男性」が 44.4%と、「女性」の比率がわずかに高くなっている。
 地区別にみると、すべての地区で「女性」の比率が「男性」の比率を上回っており、特に桧原地区は「女性」が 60.3%と高い比率となっている。



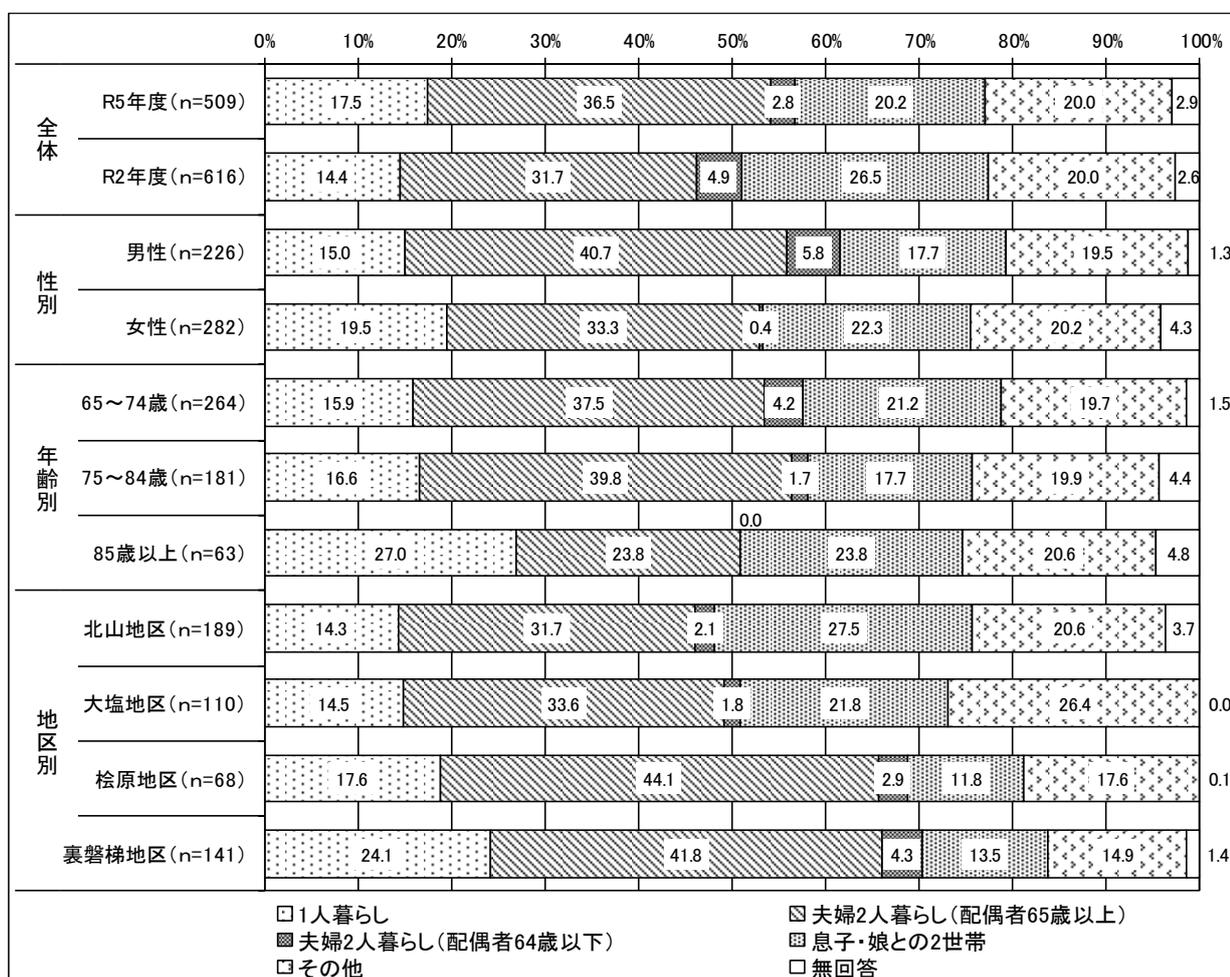
1 あなたのご家族や生活状況について

1. 家族構成

家族構成は、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が36.5%で最も高く、以下、「息子・娘との2世帯」(20.2%)、「1人暮らし」(17.5%)、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」(2.8%)と続く。なお、「その他」は20.0%となっている。

地区別では「1人暮らし」は、裏磐梯地区が24.1%で他地区より高くなっている。

(1) 家族構成をお教えてください(☑は一つ)



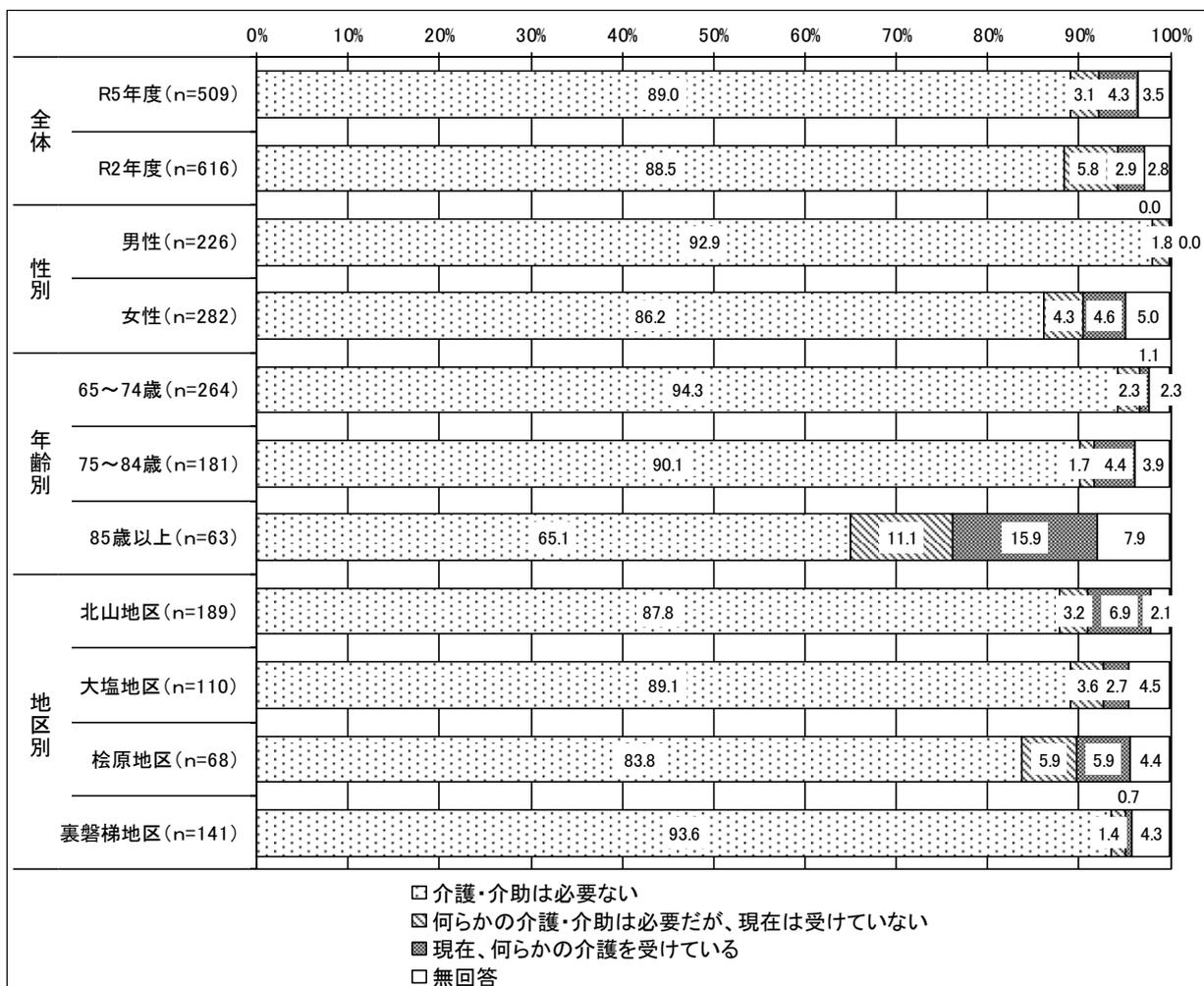
2. 介護の状況

普段の生活で介護・介助が必要かについては、「介護・介助は必要ない」が 89.0%と多数を占める。属性別にみると、年齢が高くなるほど介護を受けている方が多くなり、85歳以上では15.9%と高く、地区別では、北山地区及び桧原地区で比率が高くなっている。

介護・介助が必要になった主な原因については、「骨折・転倒」が 15.8%と最も高く、以下、「関節の病気（リウマチ等）」及び「高齢による衰弱」（ともに 13.2%）と続いている。

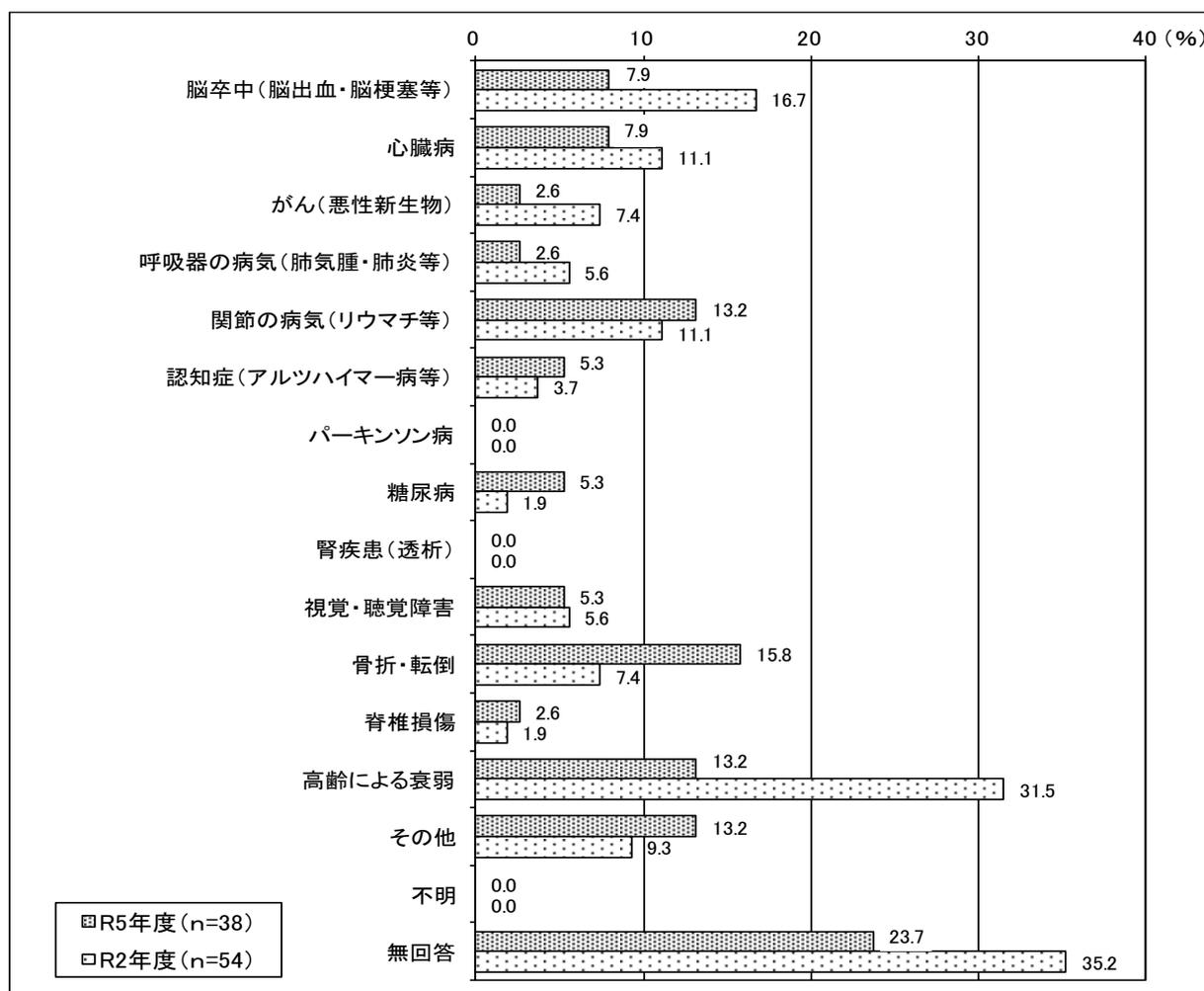
主に誰の介護、介助を受けているかについては、「介護サービスのヘルパー」が 31.8%と最も高く、以下、「息子・娘（同居）」（27.3%）、「配偶者（夫・妻）」（22.7%）などの比率が高くなっている。

（2）あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか（☑は一つ）



【(2)において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか (あてはまるものすべてに☑)



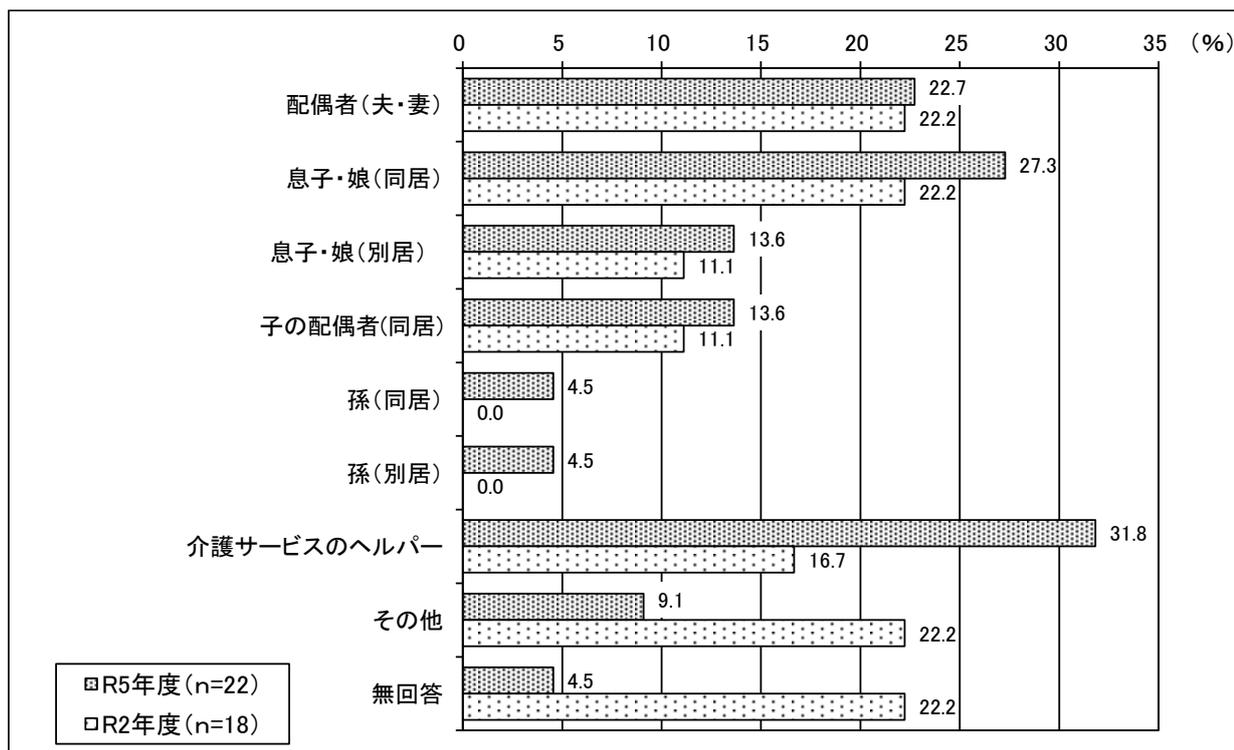
上段: 人、下段: %

項目	上段: 人、下段: %									
	1 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	2 心臓病	3 がん(悪性新生物)	4 呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)	5 関節の病気(リウマチ等)	6 認知症(アルツハイマー病等)	7 パーキンソン病	8 糖尿病	9 腎疾患(透析)	
全体	R5年度	3 7.9%	3 7.9%	1 2.6%	1 2.6%	5 13.2%	2 5.3%	0 0.0%	2 5.3%	0 0.0%
	R2年度	9 16.7%	6 11.1%	4 7.4%	3 5.6%	6 11.1%	2 3.7%	0 0.0%	1 1.9%	0 0.0%
地区別	北山地区	2 10.5%	1 5.3%	0 0.0%	1 5.3%	1 5.3%	1 5.3%	0 0.0%	1 5.3%	0 0.0%
	大塩地区	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%
	桧原地区	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	裏磐梯地区	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

項目	上段: 人、下段: %							総回答数	回答者数	
	10 視覚・聴覚障害	11 骨折・転倒	12 脊椎損傷	13 高齢による衰弱	14 その他	15 不明	16 無回答			
全体	R5年度	2 5.3%	6 15.8%	1 2.6%	5 13.2%	5 13.2%	0 0.0%	9 23.7%	36 94.7%	38 100.0%
	R2年度	3 5.6%	4 7.4%	1 1.9%	17 31.5%	5 9.3%	0 0.0%	19 35.2%	61 113.0%	54 100.0%
地区別	北山地区	2 10.5%	2 10.5%	0 0.0%	4 21.1%	2 10.5%	0 0.0%	4 21.1%	17 89.5%	19 100.0%
	大塩地区	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	3 42.9%	0 0.0%	1 14.3%	7 100.0%	7 100.0%
	桧原地区	0 0.0%	3 37.5%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	3 37.5%	7 87.5%	8 100.0%
	裏磐梯地区	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	4 133.3%	3 100.0%
		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

【(2)において「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】

②主にどなたの介護、介助を受けていますか（あてはまるものすべてに☑）



上段:人、下段:%

項目		1	2	3	4	5	6	7
		配偶者(夫・妻)	息子・娘(同居)	息子・娘(別居)	子の配偶者(同居)	孫(同居)	孫(別居)	介護サービスのヘルパー
全体	R5年度	5	6	3	3	1	1	7
	R2年度	4	4	2	2	0	0	3
地区別	北山地区	4	2	0	2	0	1	4
	大塩地区	0	1	1	1	0	0	1
	桧原地区	0	3	2	0	1	0	1
	裏磐梯地区	0	0	0	0	0	0	1
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

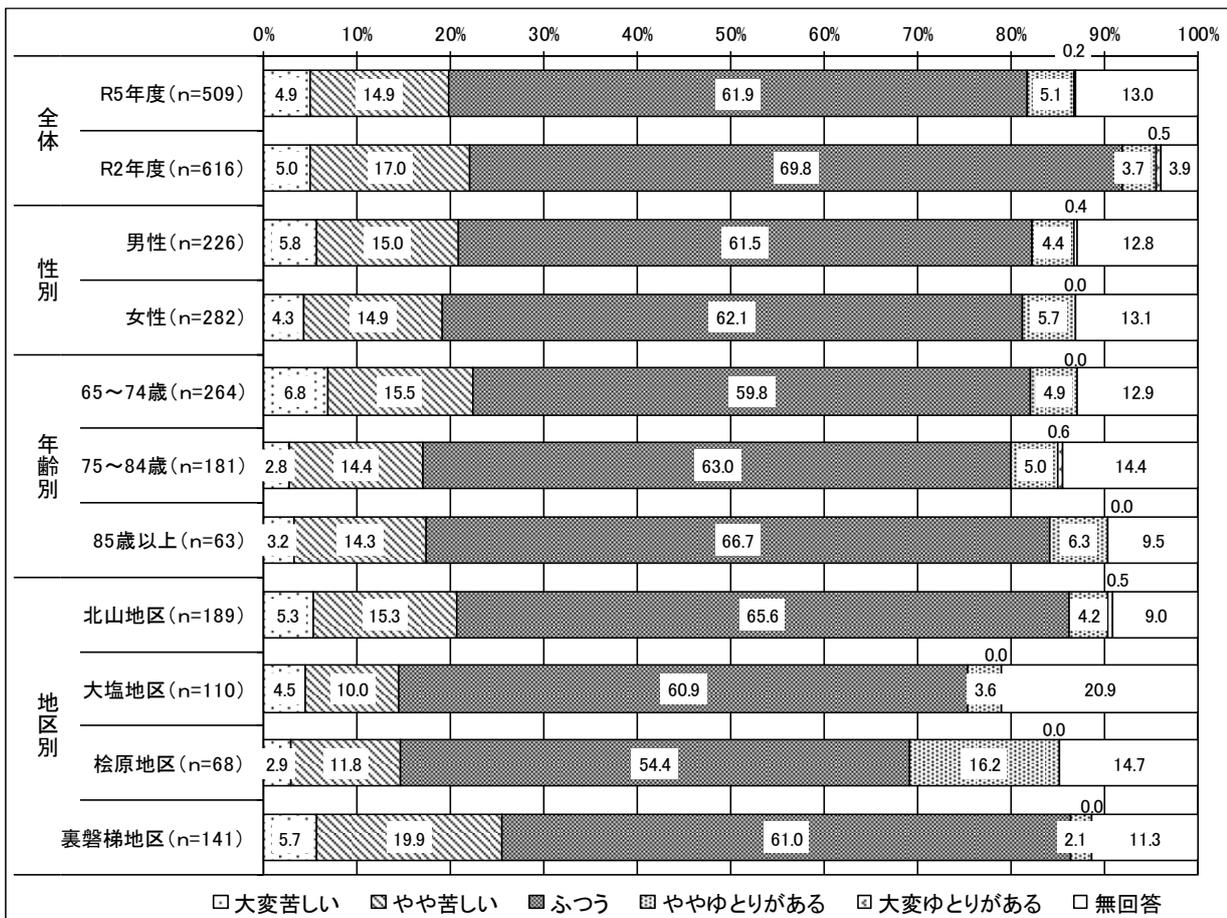
項目		8	9	総回答数	回答者数
		その他	無回答		
全体	R5年度	2	1	28	22
	R2年度	4	4	19	18
地区別	北山地区	2	1	15	13
	大塩地区	0	0	4	3
	桧原地区	0	0	7	4
	裏磐梯地区	0	0	1	1
		0.0%	0.0%	100.0%	100.0%

3. 暮らし

現在の暮らしの状況を経済的にみると、「ふつう」が61.9%と多数を占め最も高いが、「やや苦しい」(14.9%)と「大変苦しい」(4.9%)を合わせて“苦しい”と感じる人は19.8%であり、一方、「ややゆとりがある」(5.1%)と「大変ゆとりがある」(0.2%)を合わせた“ゆとりがある”は5.3%と低い比率にとどまっている。

属性別にみると、“苦しい”と感じる人は、年齢が若い世代で高く、地区別では裏磐梯地区で25.6%と、他地区より高い比率となっている。

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (☑は一つ)

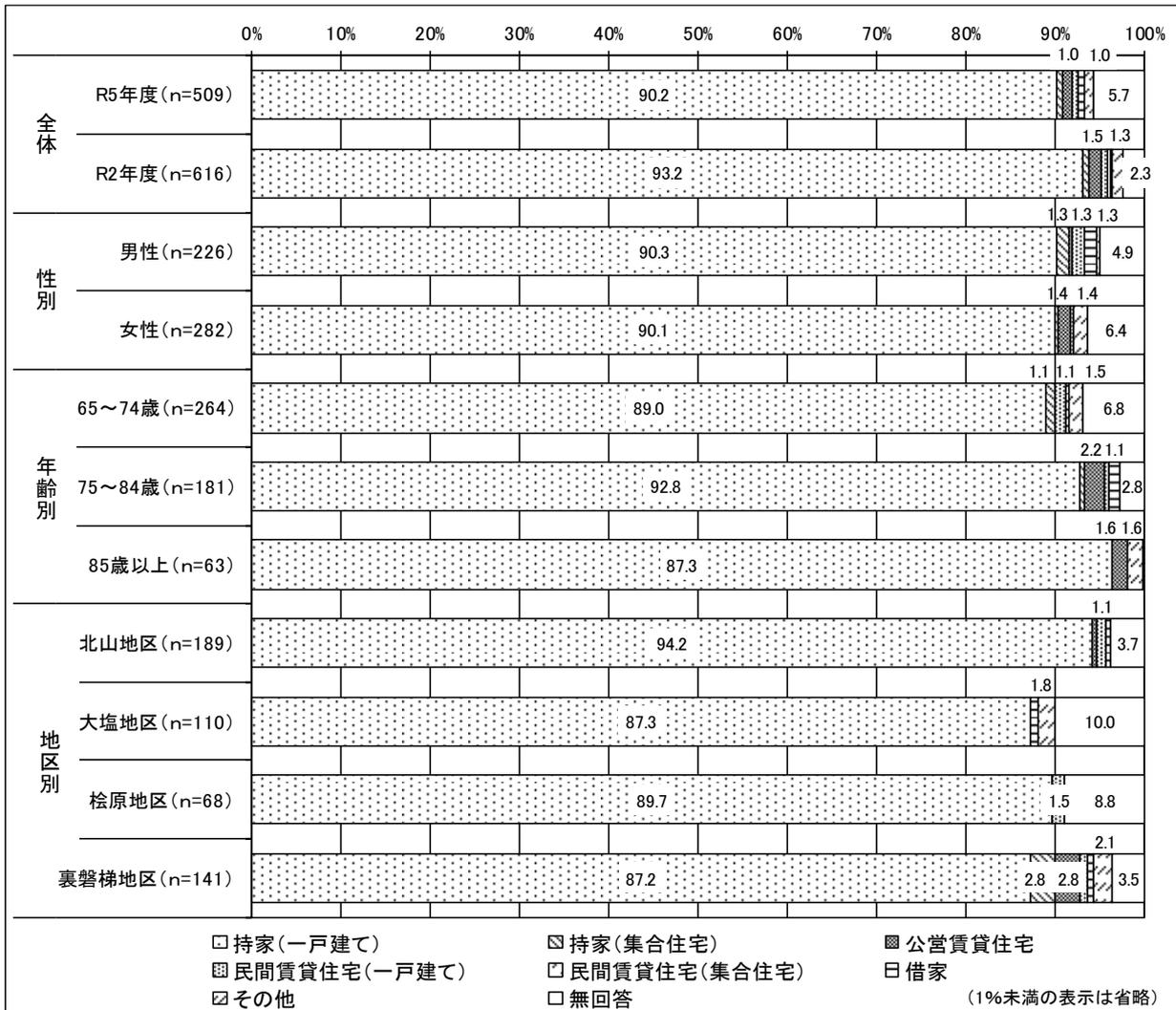


4. 住まい

住まいについては、「持家(一戸建て)」が90.2%と多数を占め、以下、「公営賃貸住宅」が1.0%、「その他」が1.0%、「持家(集合住宅)」及び「民間賃貸住宅(一戸建て)」がともに0.8%、「借家」が0.6%となっている。

地区別では、裏磐梯地区で「持家(一戸建て)」(87.2%)が他地区よりやや低い比率となっている。

(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか (☑は一つ)



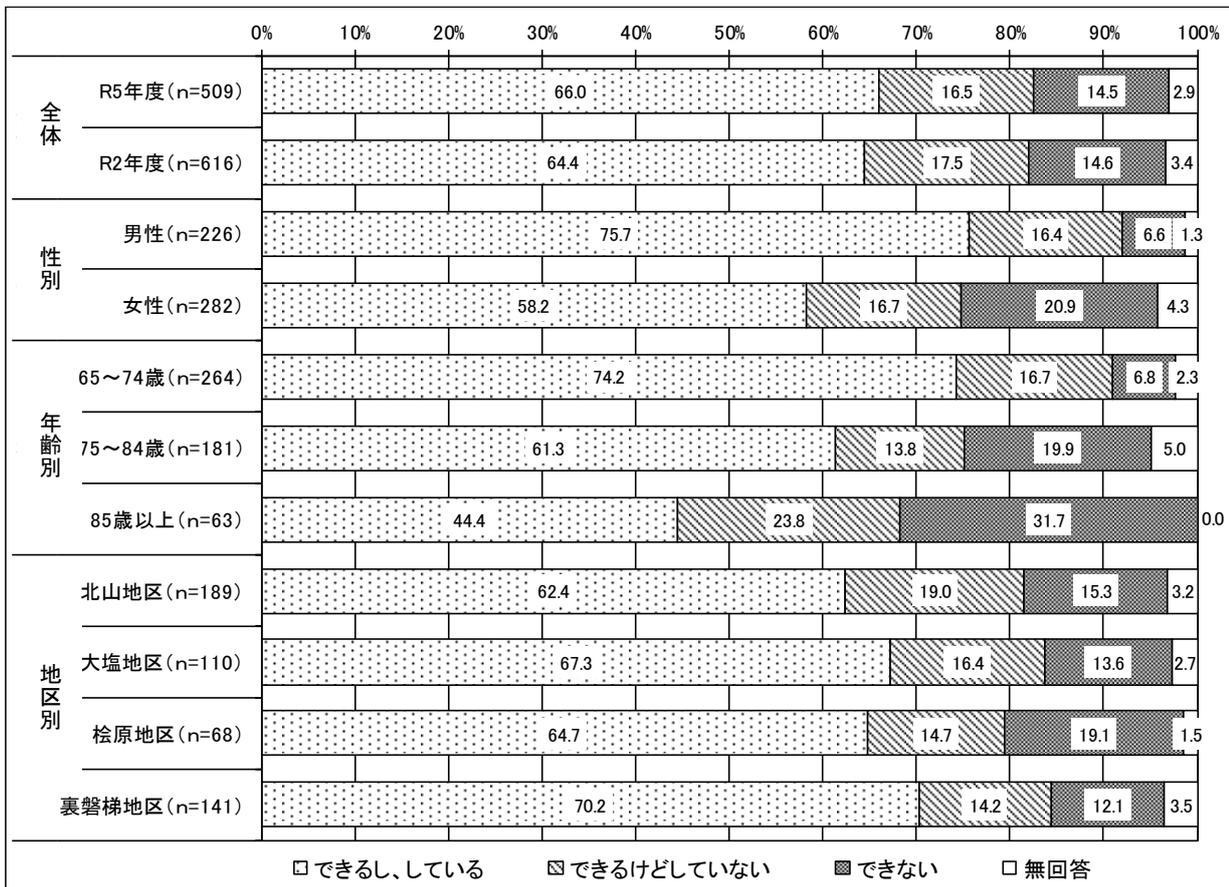
2 からだを動かすことについて

1. 運動

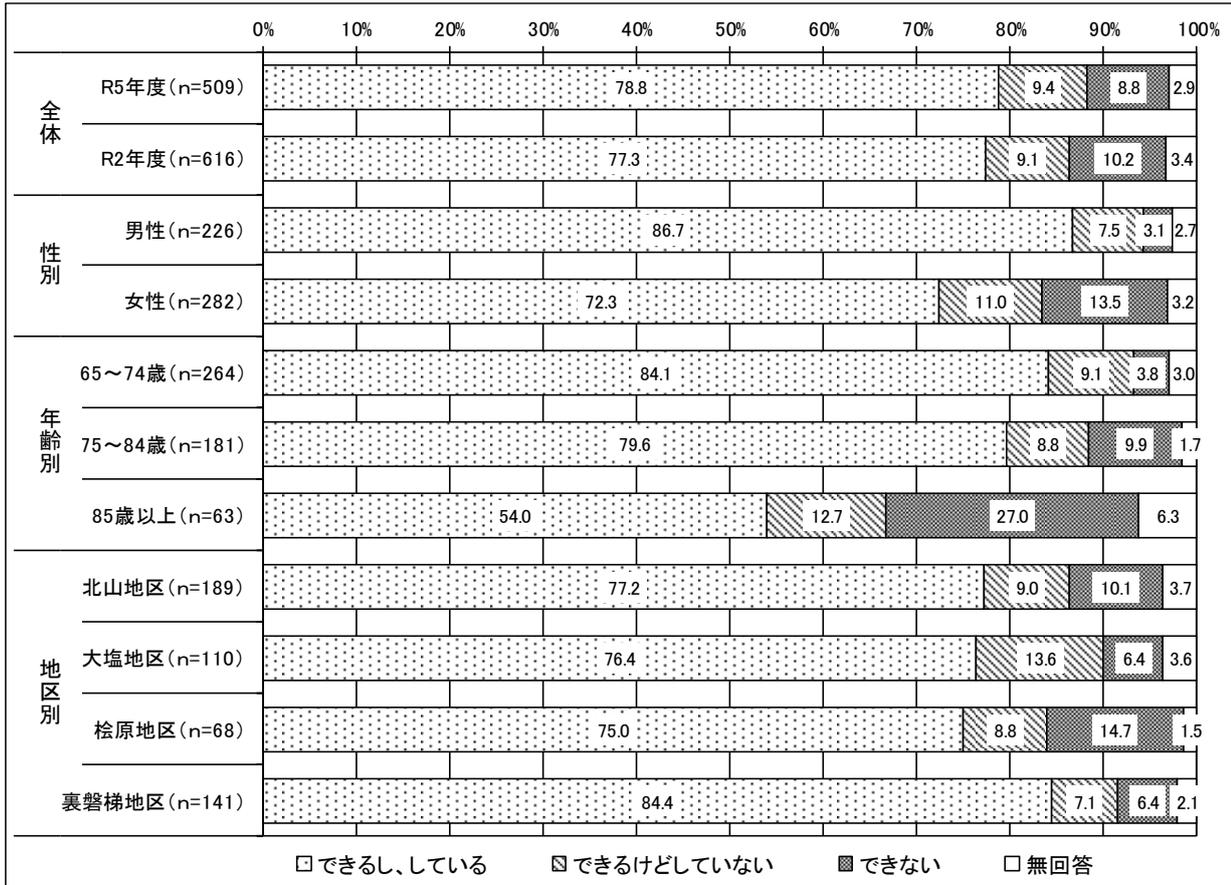
運動機能に関する3つの質問に対し、「できるし、している」の回答をみると、いずれも多数を占めているものの、『階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか』が66.0%と最も低く、次いで、『15分位続けて歩いていますか』が73.9%、『椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか』が78.8%となっている。

属性別にみると、女性や年齢が高い方で「できるし、している」の比率が低くなり、地区別では各地区とも概ね同様の傾向にあるが、桧原地区で「できない」(19.1%)の比率が他地区より高い。

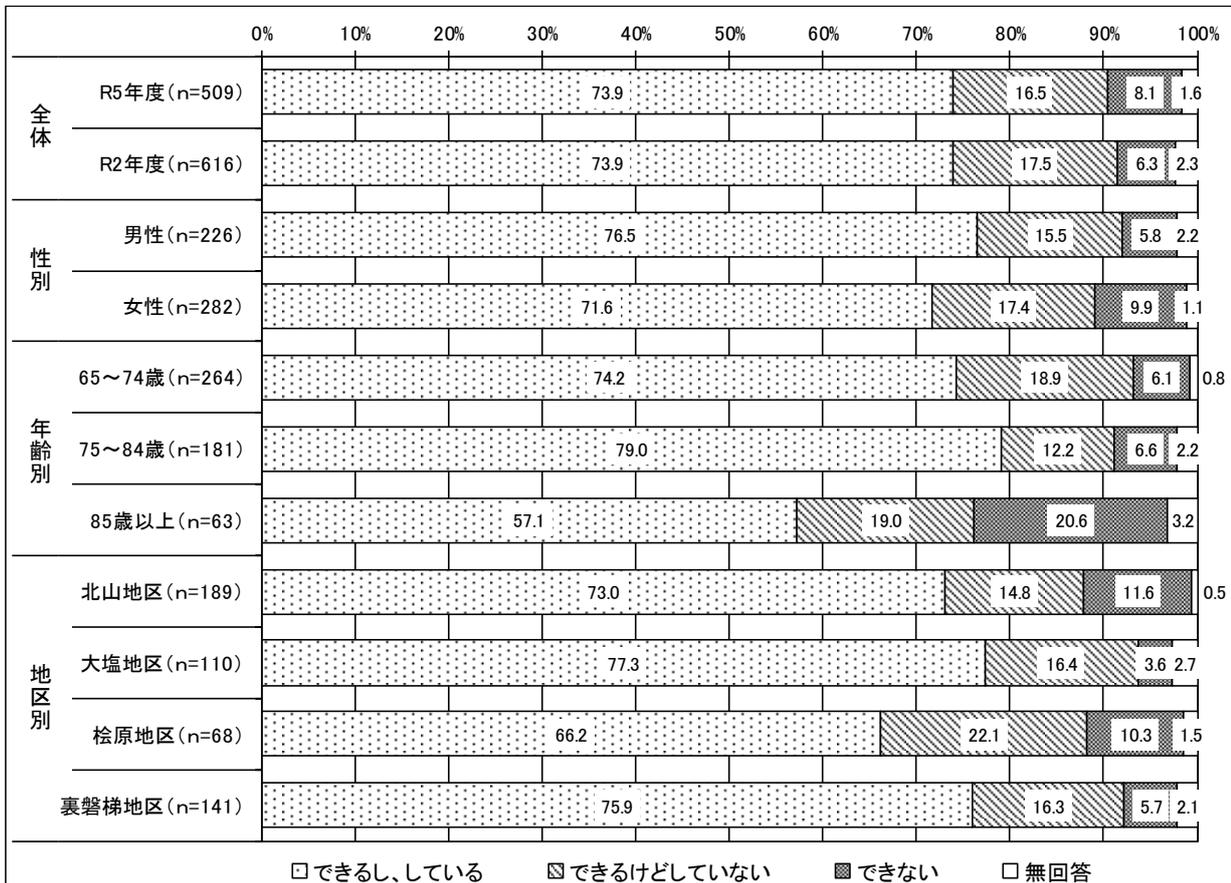
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (☑は一つ)



(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (☑は一つ)



(3) 15分位続けて歩いていますか (☑は一つ)



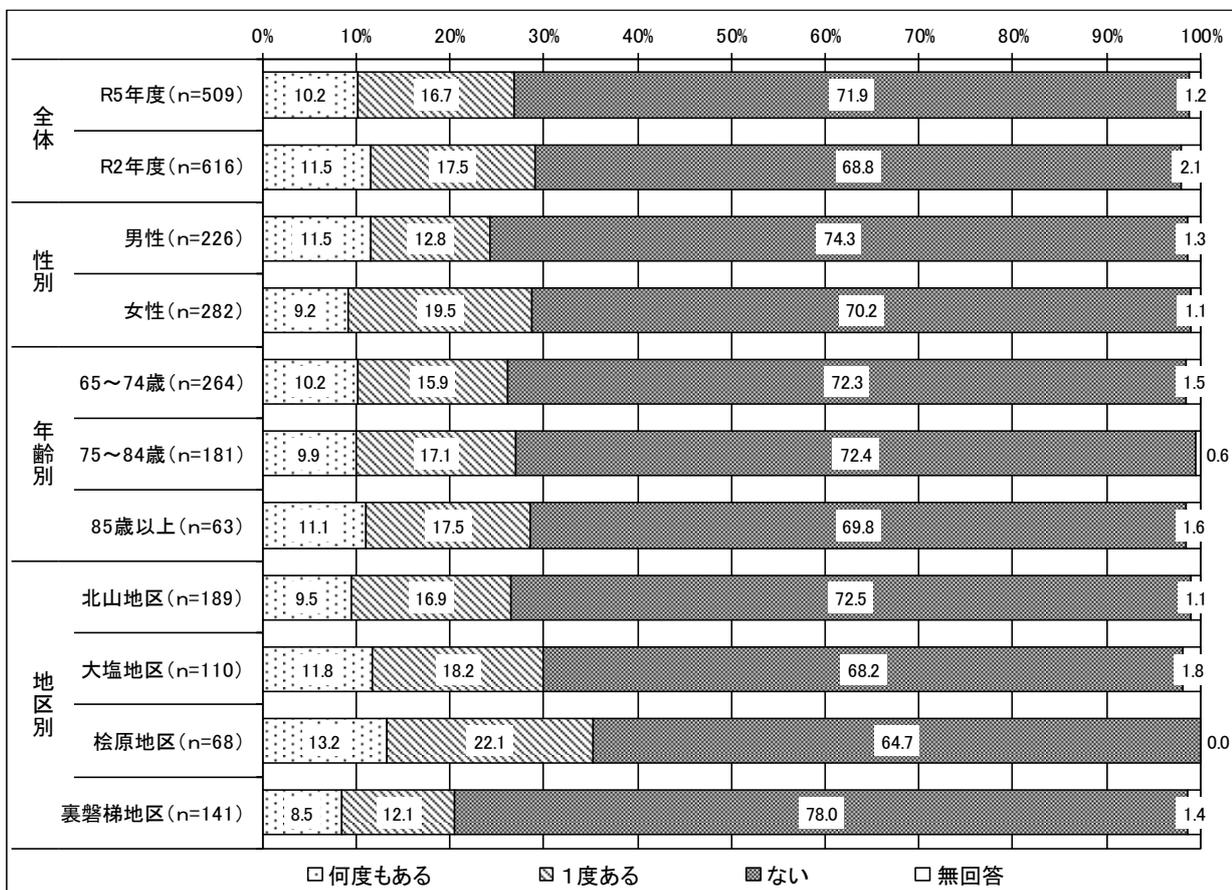
2. 転倒

過去1年間に転んだ経験があるかについては、「ない」が71.9%と多数を占めており、「1度ある」は16.7%、「何度もある」は10.2%となっている。

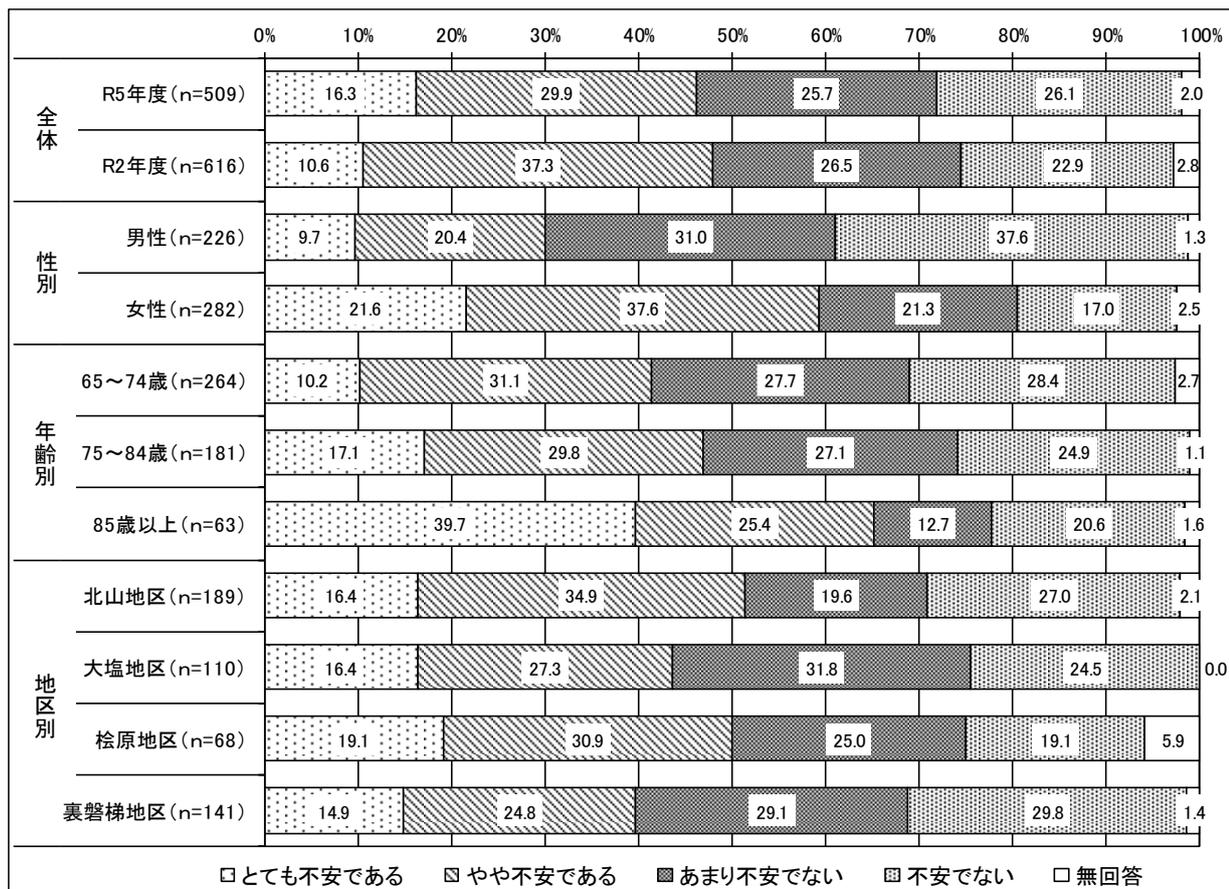
転倒に対する不安については、「やや不安である」(29.9%)と「とても不安である」(16.3%)を合わせた“不安である”が46.2%、「あまり不安でない」(25.7%)と「不安でない」(26.1%)を合わせた“不安でない”は51.8%であり、“不安でない”と回答した方の比率がわずかに高い。

属性別にみると、年齢が高くなるに従い、転んだ経験のある方の比率が高くなり、転倒に対する不安も大きくなっている。地区別にみると、桧原地区は転倒経験の比率が高く、北山地区は“不安である”の回答が51.3%と半数を超え高くなっている。

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか (☑は一つ)



(5) 転倒に対する不安は大きいですか (☑は一つ)



3. 閉じこもり

外出の頻度は、「週2～4回」が40.5%と最も高く、「週5回以上」が29.7%、「週1回」が22.4%となっており、「ほとんど外出しない」は5.9%となっている。

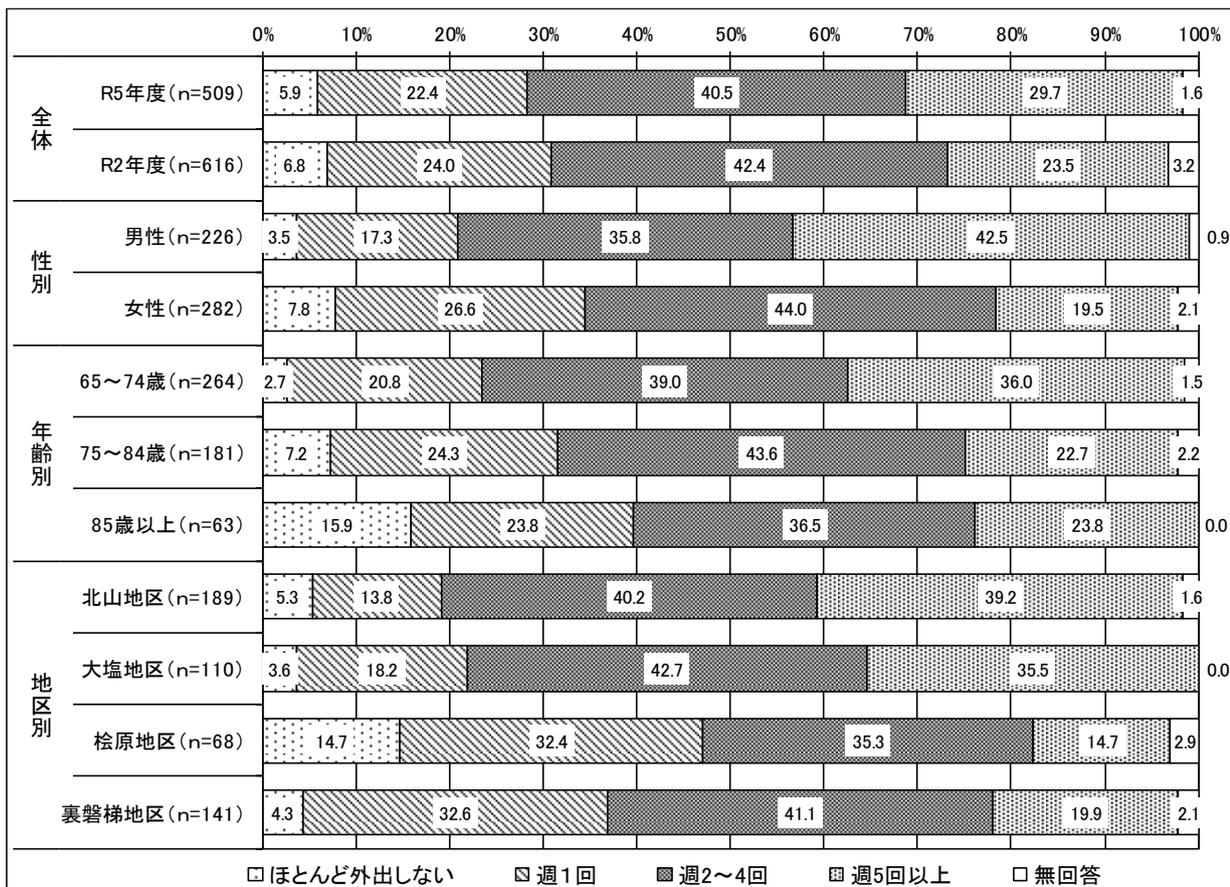
昨年と比べて外出の回数が減っているかについては、「減っていない」が40.7%と最も高く、「あまり減っていない」は38.3%、「減っている」は15.9%、「とても減っている」は3.9%となっている。

外出を控えているかについては、「いいえ」が81.1%、「はい」は18.3%であり、外出を控えている理由は、「足腰などの痛み」(39.8%)、「交通手段がない」(25.8%)、「外での楽しみがない」(21.5%)、「病気」(12.9%)と続いている。

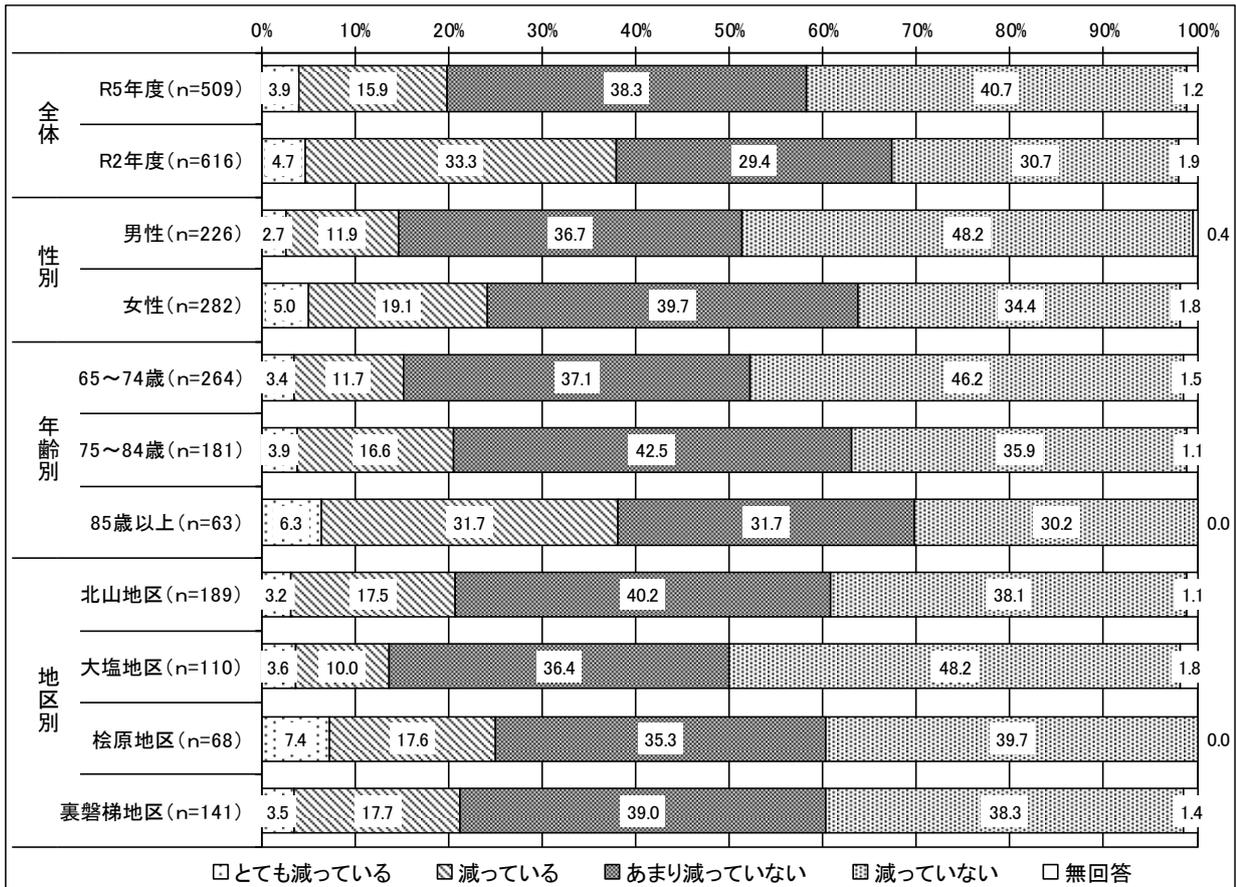
外出する際の移動手段については、「自動車(自分で運転)」が66.8%と最も高く、以下、「自動車(人に乗せてもらう)」が29.7%、「徒歩」が27.1%と続いている。

性別別にみると、外出の頻度が少ない方(週1回以下)は、女性や年齢が高い方で比率が高く、地区別では桧原地区が47.1%と最も高く、北山地区は19.1%と4地区の中で最も低い。

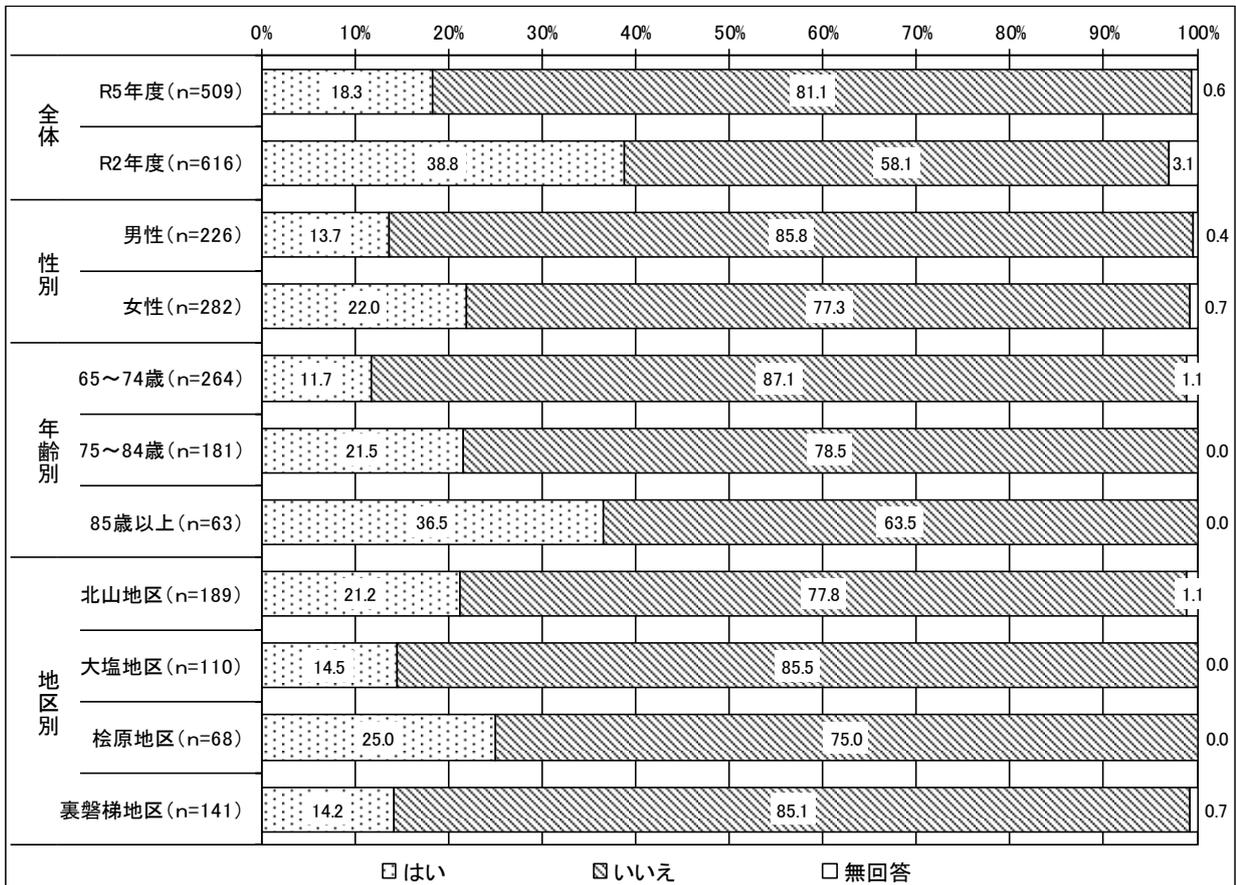
(6) 週に1回以上は外出していますか(☑は一つ)



(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (☑は一つ)

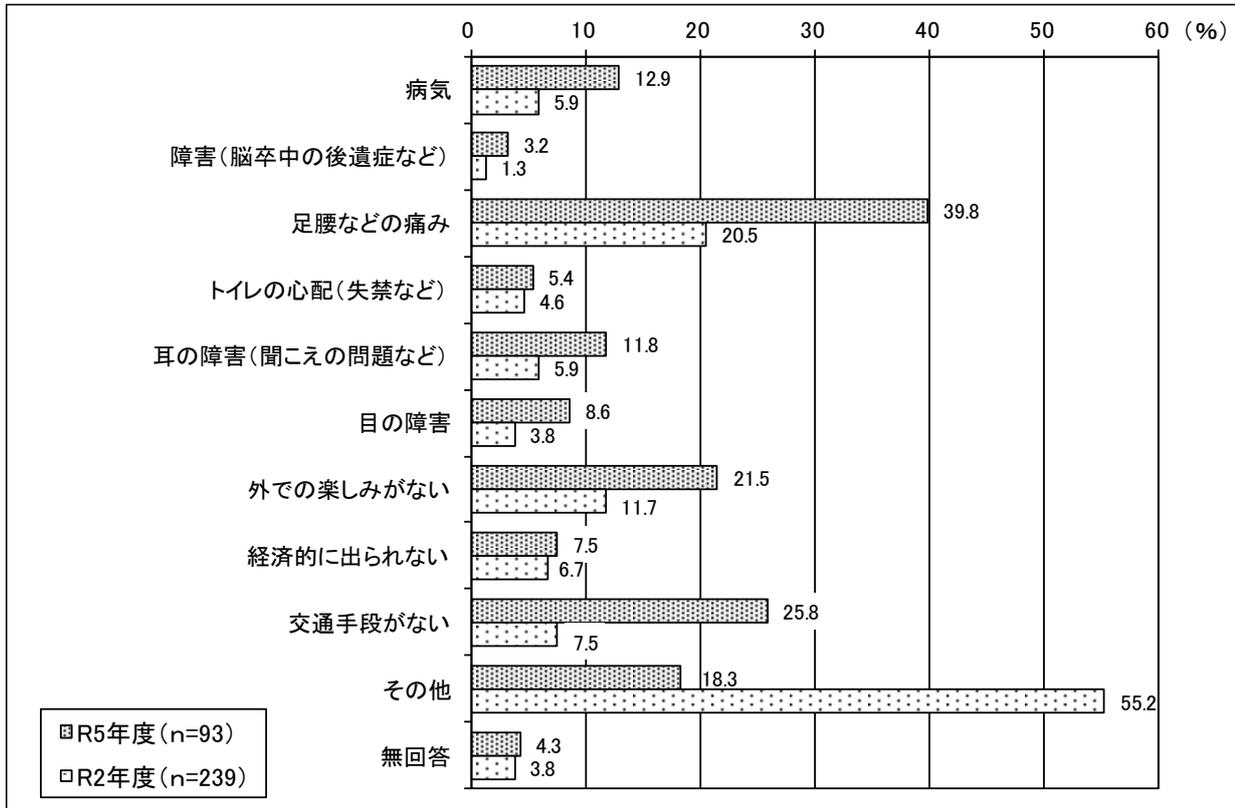


(8) 外出を控えていますか (☑は一つ)



【(8)で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】

①外出を控えている理由は、次のどれですか(あてはまるものすべてに☑)

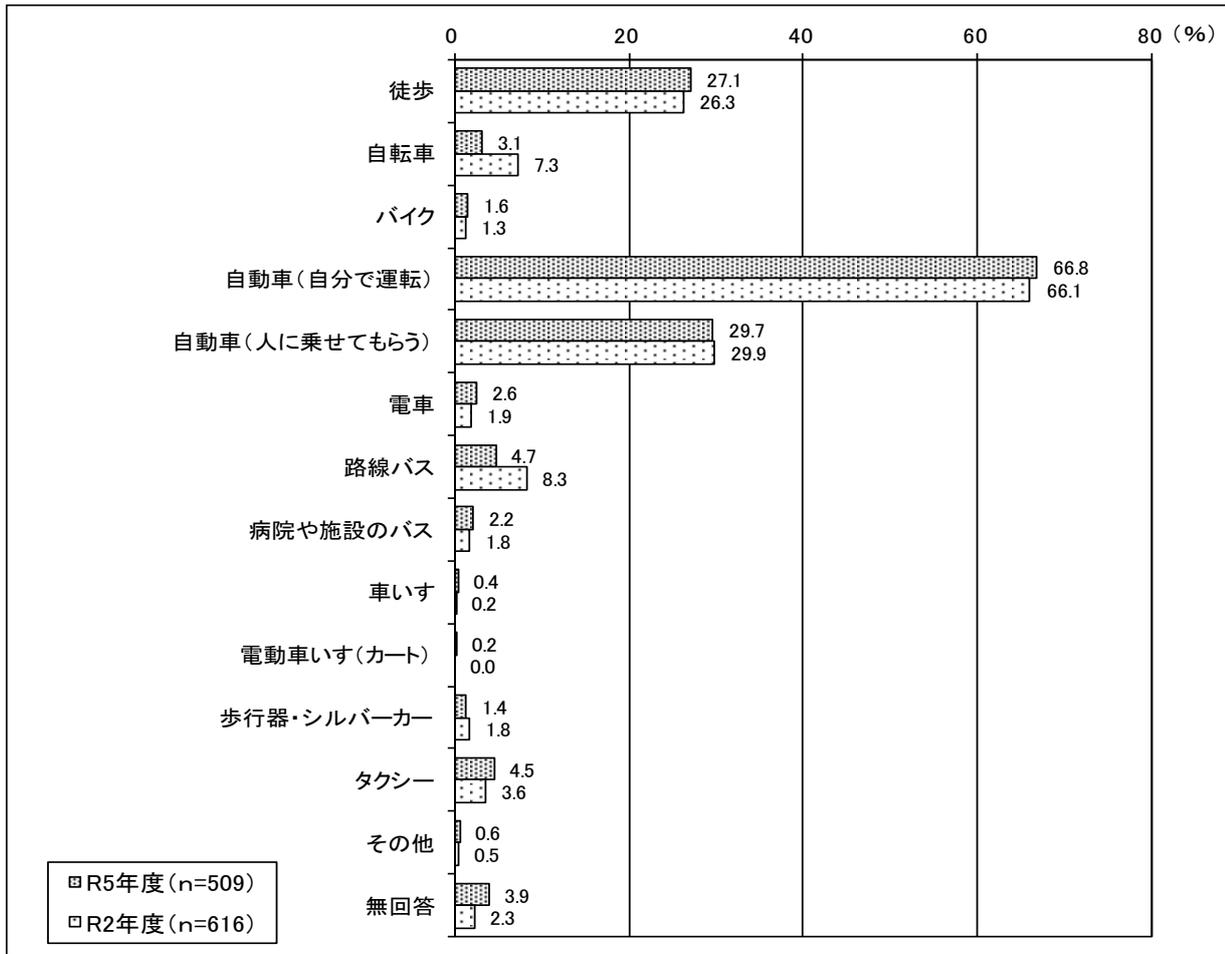


上段:人、下段:%

項目		1	2	3	4	5	6	7
		病気	障害(脳卒中の後遺症など)	足腰などの痛み	トイレの心配(失禁など)	耳の障害(聞こえの問題など)	目の障害	外での楽しみがない
全体	R5年度	12	3	37	5	11	8	20
		12.9%	3.2%	39.8%	5.4%	11.8%	8.6%	21.5%
全体	R2年度	14	3	49	11	14	9	28
		5.9%	1.3%	20.5%	4.6%	5.9%	3.8%	11.7%
地区別	北山地区	9	0	14	1	4	2	8
		22.5%	0.0%	35.0%	2.5%	10.0%	5.0%	20.0%
	大塩地区	2	1	7	0	2	1	5
		12.5%	6.3%	43.8%	0.0%	12.5%	6.3%	31.3%
地区別	桧原地区	0	0	9	1	2	2	4
		0.0%	0.0%	52.9%	5.9%	11.8%	11.8%	23.5%
地区別	裏磐梯地区	1	2	7	3	3	3	3
		5.0%	10.0%	35.0%	15.0%	15.0%	15.0%	15.0%

項目		8	9	10	11	総回答数	回答者数
		経済的に出られない	交通手段がない	その他	無回答		
全体	R5年度	7	24	17	4	144	93
		7.5%	25.8%	18.3%	4.3%	154.8%	100.0%
全体	R2年度	16	18	132	9	294	239
		6.7%	7.5%	55.2%	3.8%	123.0%	100.0%
地区別	北山地区	3	9	7	1	57	40
		7.5%	22.5%	17.5%	2.5%	142.5%	100.0%
地区別	大塩地区	1	4	3	0	26	16
		6.3%	25.0%	18.8%	0.0%	162.5%	100.0%
地区別	桧原地区	1	5	3	2	27	17
		5.9%	29.4%	17.6%	11.8%	158.8%	100.0%
地区別	裏磐梯地区	2	6	4	1	34	20
		10.0%	30.0%	20.0%	5.0%	170.0%	100.0%

(9) 外出する際の移動手段は何ですか（あてはまるものすべてに☑）



上段:人、下段:%

項目		1	2	3	4	5	6	7	8
		徒歩	自転車	バイク	自動車(自分で運転)	自動車(人に乗せてもらう)	電車	路線バス	病院や施設のバス
全体	R5年度	138	16	8	340	151	13	24	11
	R2年度	162	45	8	407	184	12	51	11
地区別	北山地区	48	7	2	121	58	4	11	5
	大塩地区	29	1	3	73	32	0	6	3
	桧原地区	12	1	1	45	22	1	0	1
	裏磐梯地区	49	7	2	100	39	8	7	2
		34.8%	5.0%	1.4%	70.9%	27.7%	5.7%	5.0%	1.4%
項目		9	10	11	12	13	14	総回答数	回答者数
		車いす	電動車いす(カート)	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答		
全体	R5年度	2	1	7	23	3	20	737	509
	R2年度	1	0	11	22	3	14	917	616
地区別	北山地区	1	1	4	14	1	7	277	189
	大塩地区	0	0	0	4	1	6	152	110
	桧原地区	1	0	1	1	0	5	86	68
	裏磐梯地区	0	0	2	4	1	2	221	141
		0.0%	0.0%	1.4%	2.8%	0.7%	1.4%	156.7%	100.0%

3 食べることについて

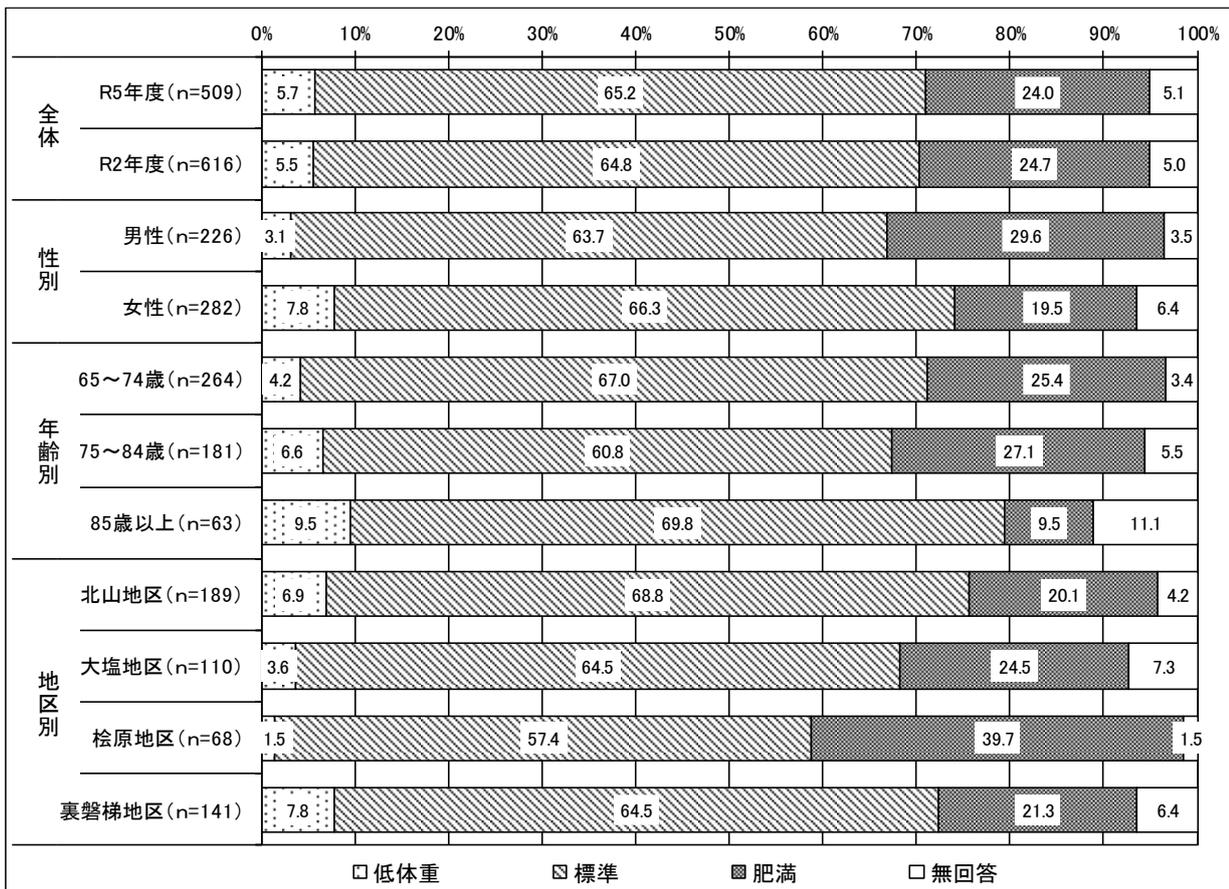
1. 栄養

体重と身長の関係から肥満度を表すボディマス指数（BMI：Body Mass Index）により肥満度を算出すると、「標準」（BMIが18.5以上25.0未満）が65.2%と多数を占め、「肥満」（同25.0以上）は24.0%、「低体重」（同18.5未満）は5.7%となっている。

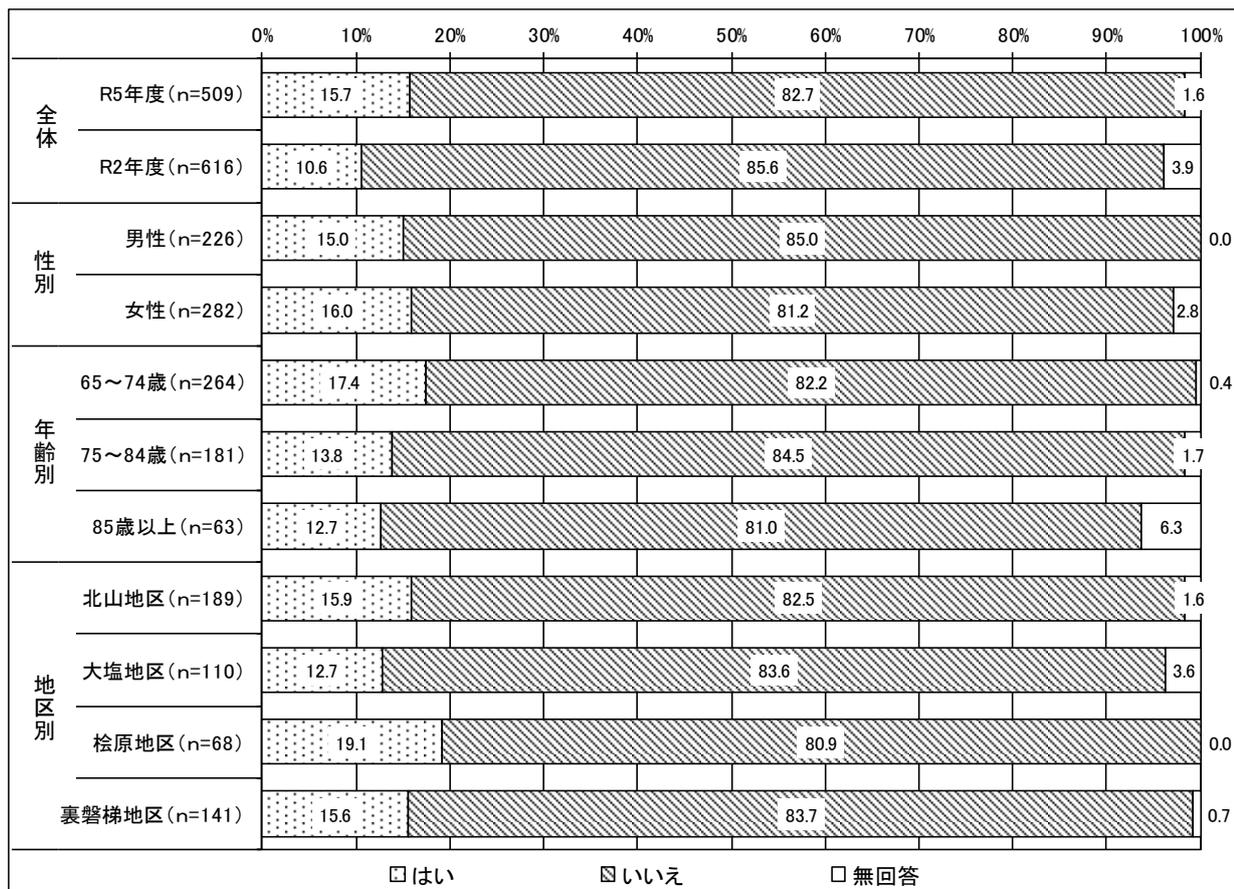
6か月間で2～3kg以上の体重減少があったかについては、「いいえ」が82.7%と多数を占めており、「はい」は15.7%となっている。

属性別にみると、「低体重」は85歳以上の方で、「体重の減少あり（はい）」のは65～74歳の方で比率が高くなっている。地区別では「低体重」は裏磐梯地区で、「体重の減少」は桧原地区で高くなっている。

(1) 身長・体重



(2) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか (☑は一つ)



2. 口腔

口腔に関する3問について「はい」の回答をみると、『半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか』が24.4%、『お茶や汁物等でむせることがありますか』が20.6%、『口の渇きが気になりますか』が16.7%となっている。

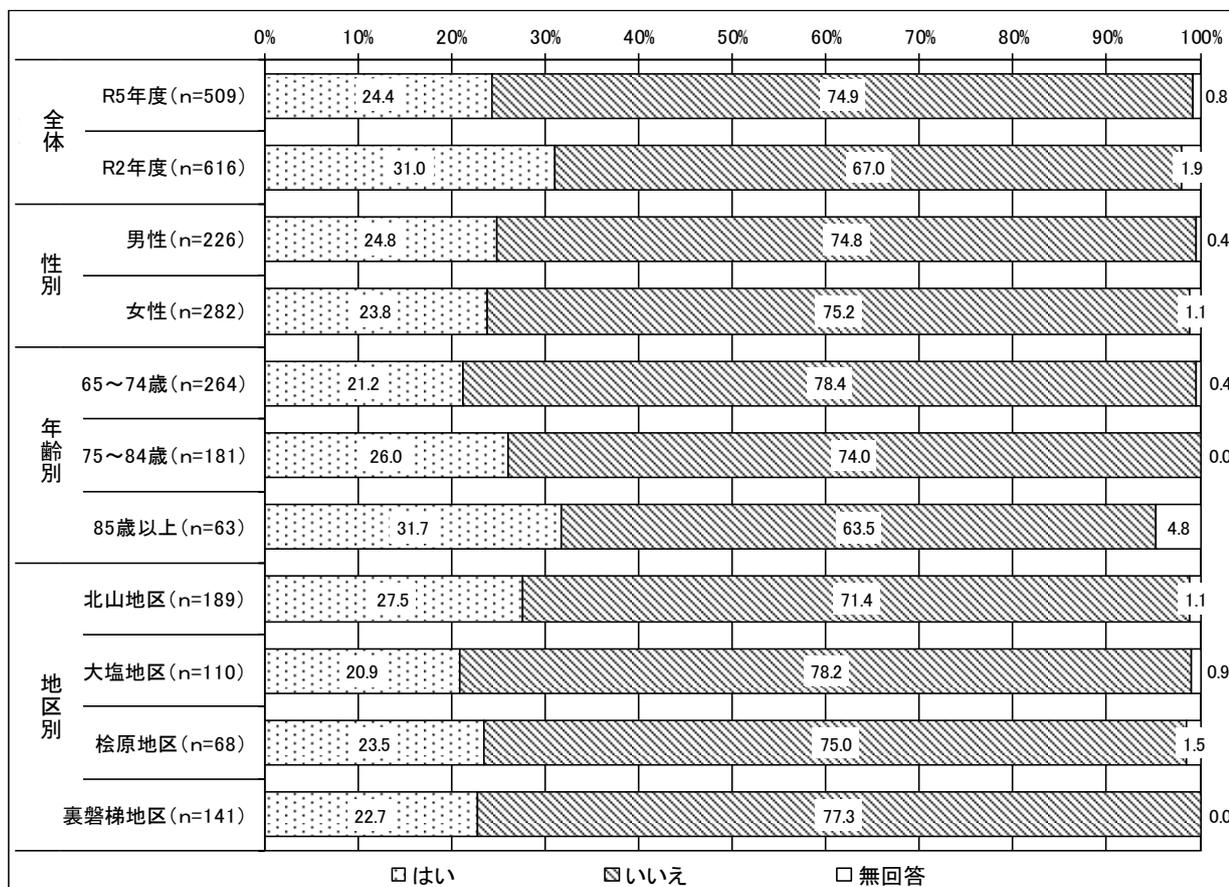
歯磨きを毎日しているかについて「はい」は86.6%、定期的な歯科医院の受診について「はい」は28.7%となっている。

歯の数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が38.3%で最も高く、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が27.3%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が13.8%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が13.0%となっている。

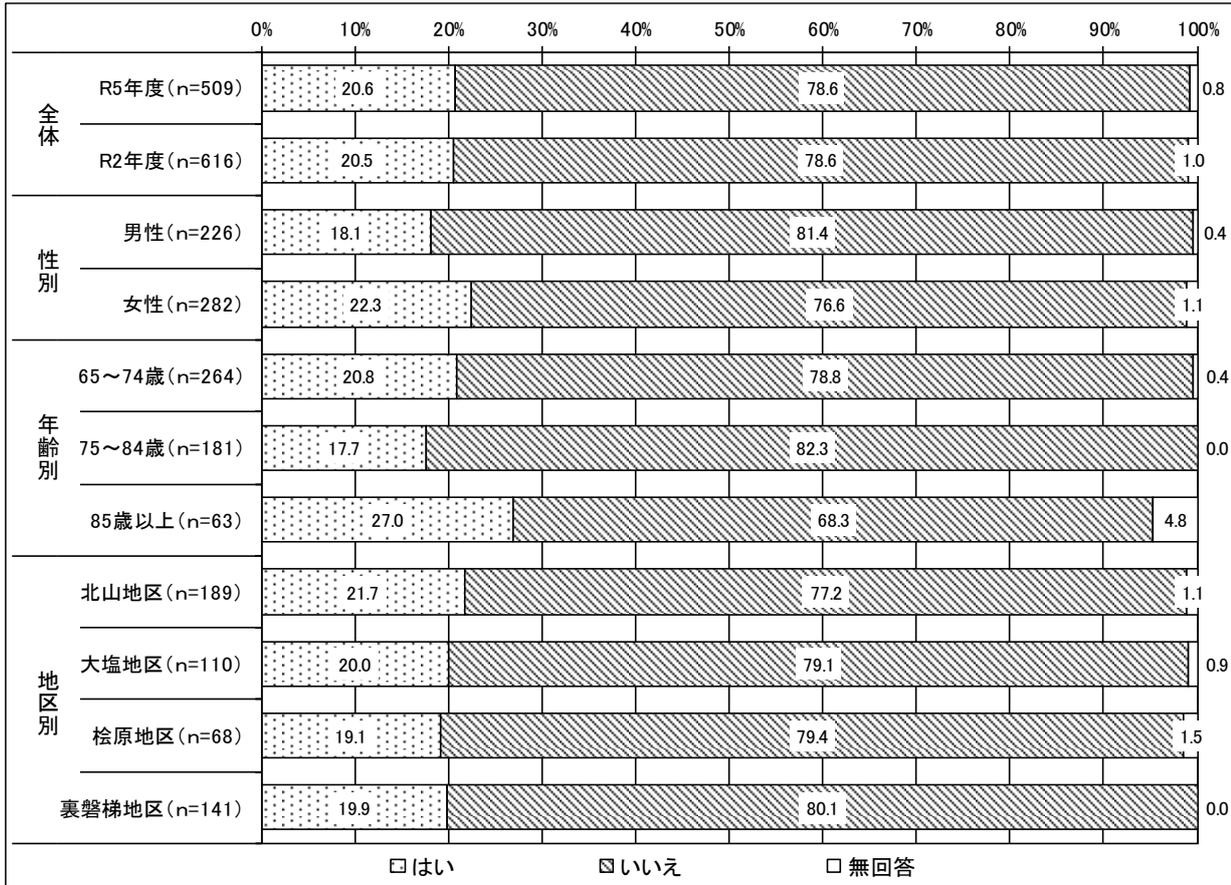
噛み合わせは良いかについては「はい」が76.8%、毎日入れ歯の手入れをしているかについても「はい」が90.2%と、いずれも多数を占めている。

属性別にみると、年齢の高い方では、口腔に関する3設問「はい」の比率は高いが、定期的な歯科医院の受診については低く、口腔機能の低下が懸念される。地区別では、北山地区で口腔に関する3設問「はい」の比率が高くなっている。

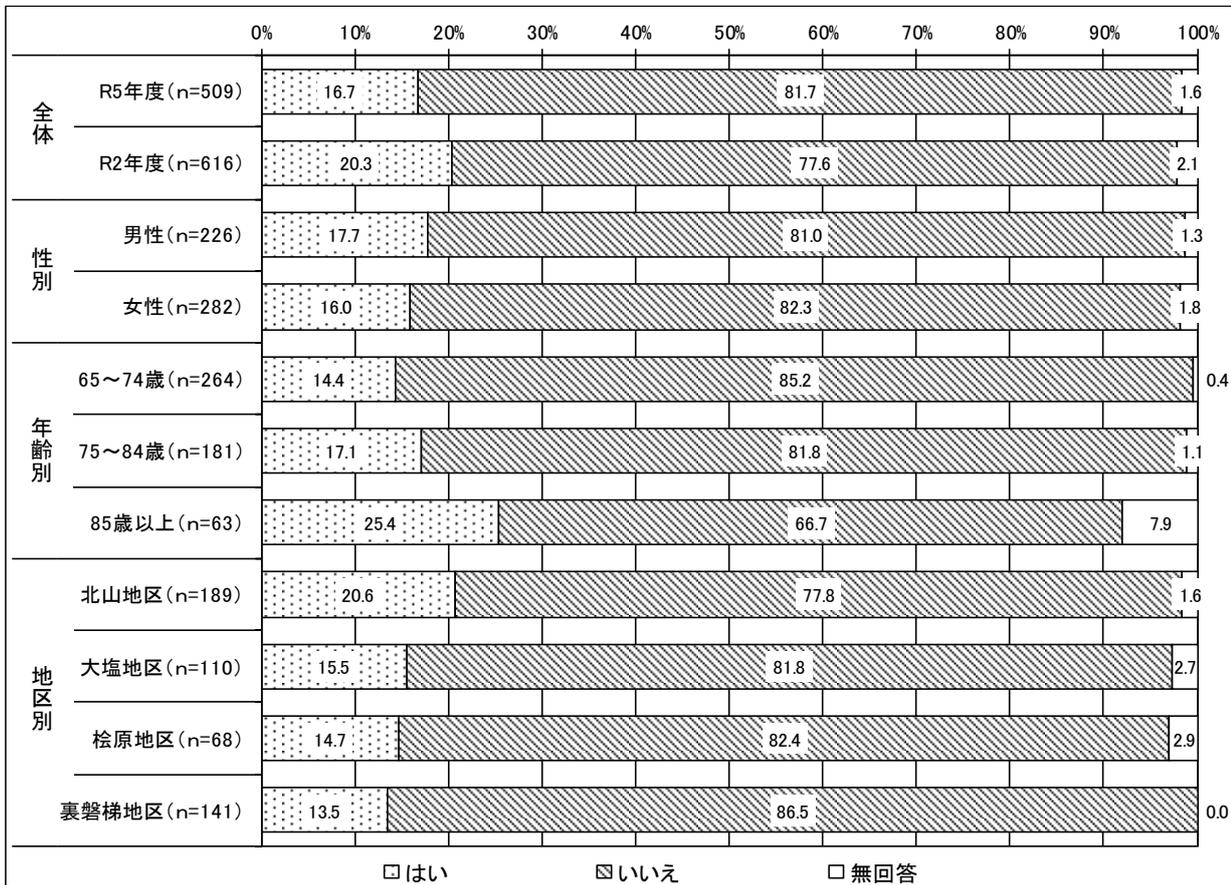
(3) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (☑は一つ)



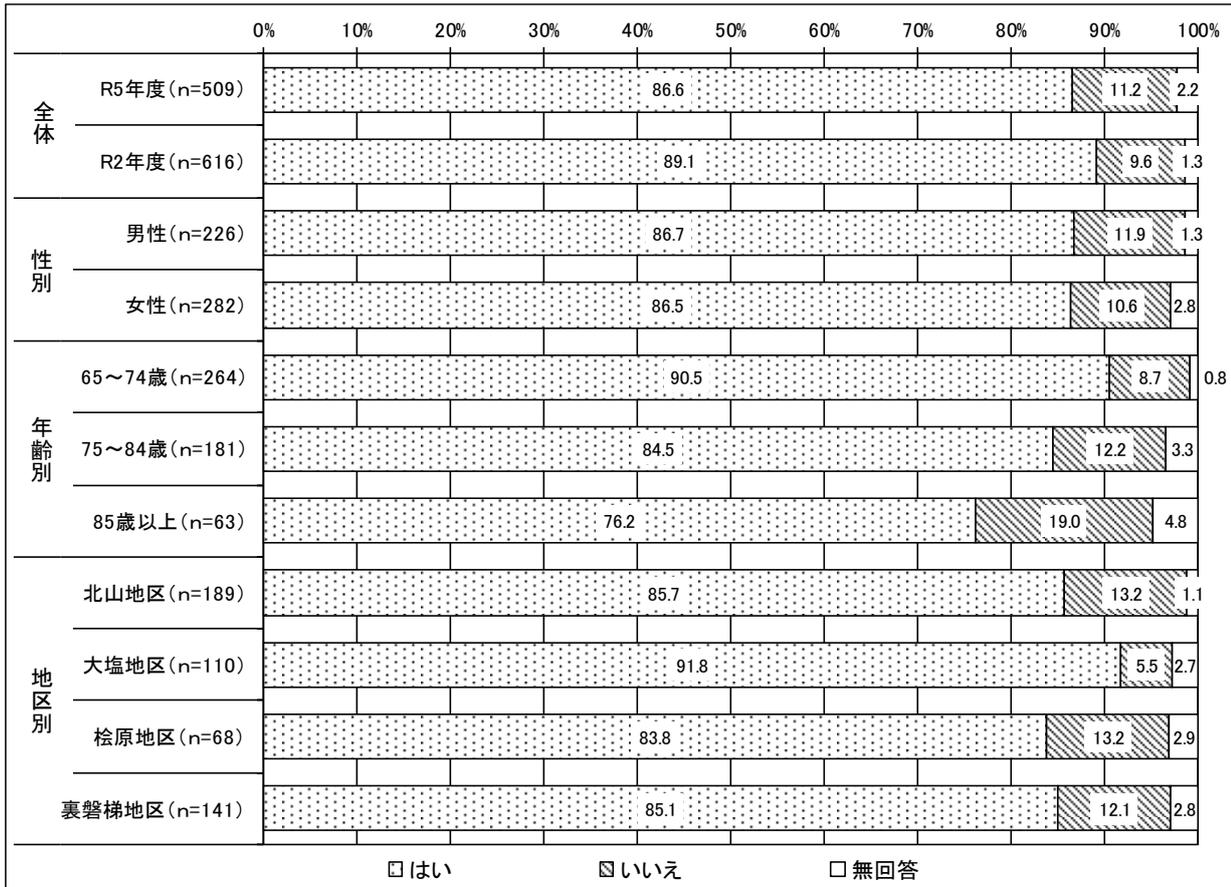
(4) お茶や汁物等でむせることがありますか (☑は一つ)



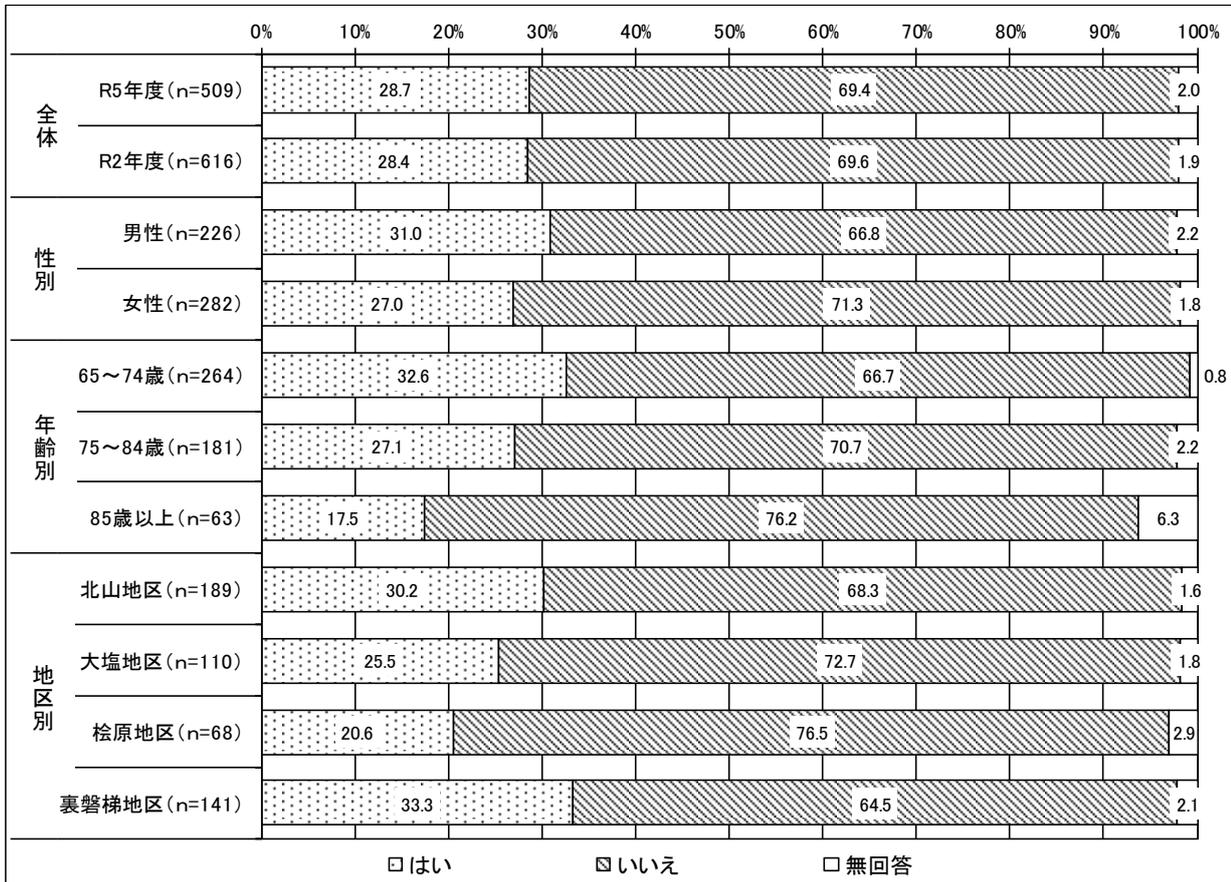
(5) 口の渇きが気になりますか (☑は一つ)



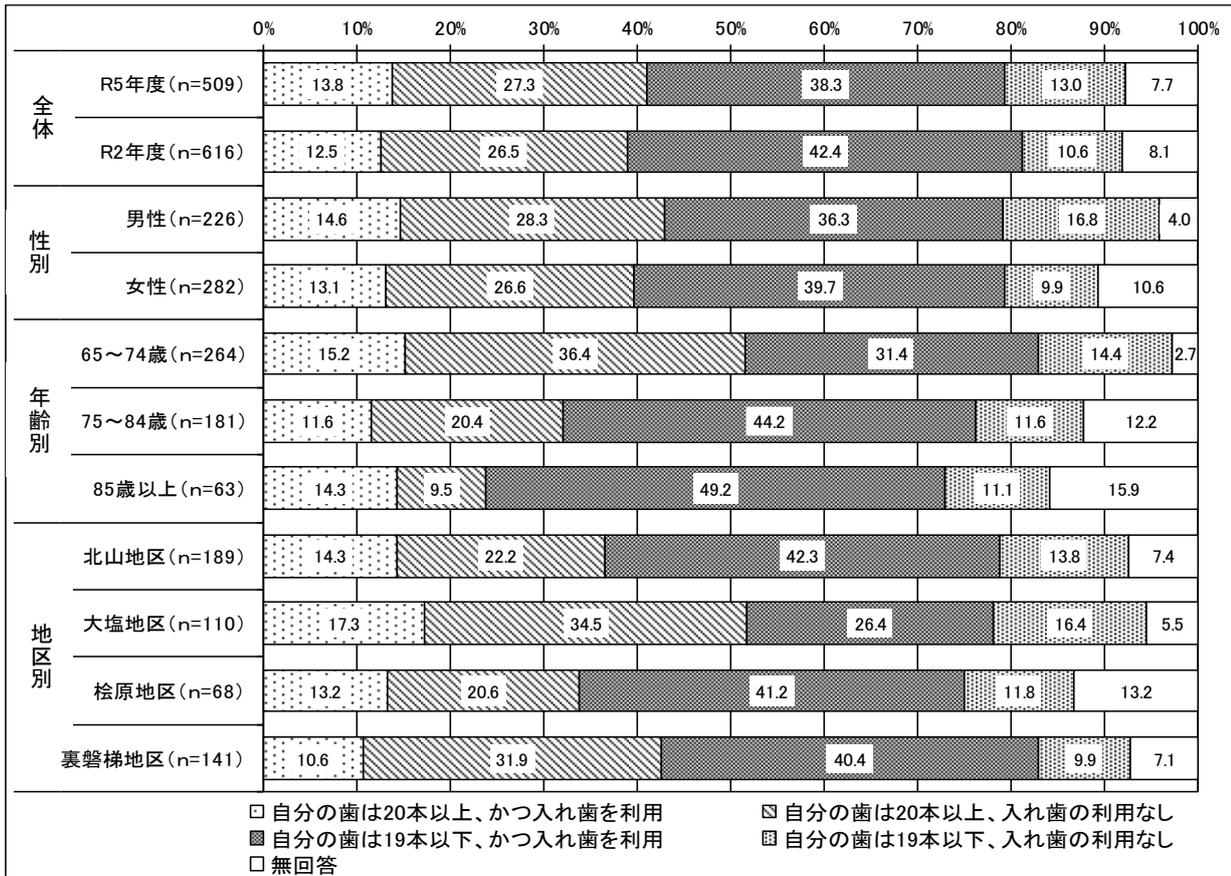
(6) 歯磨き（人にやらしてもら場合も含む）を毎日していますか（☑は一つ）



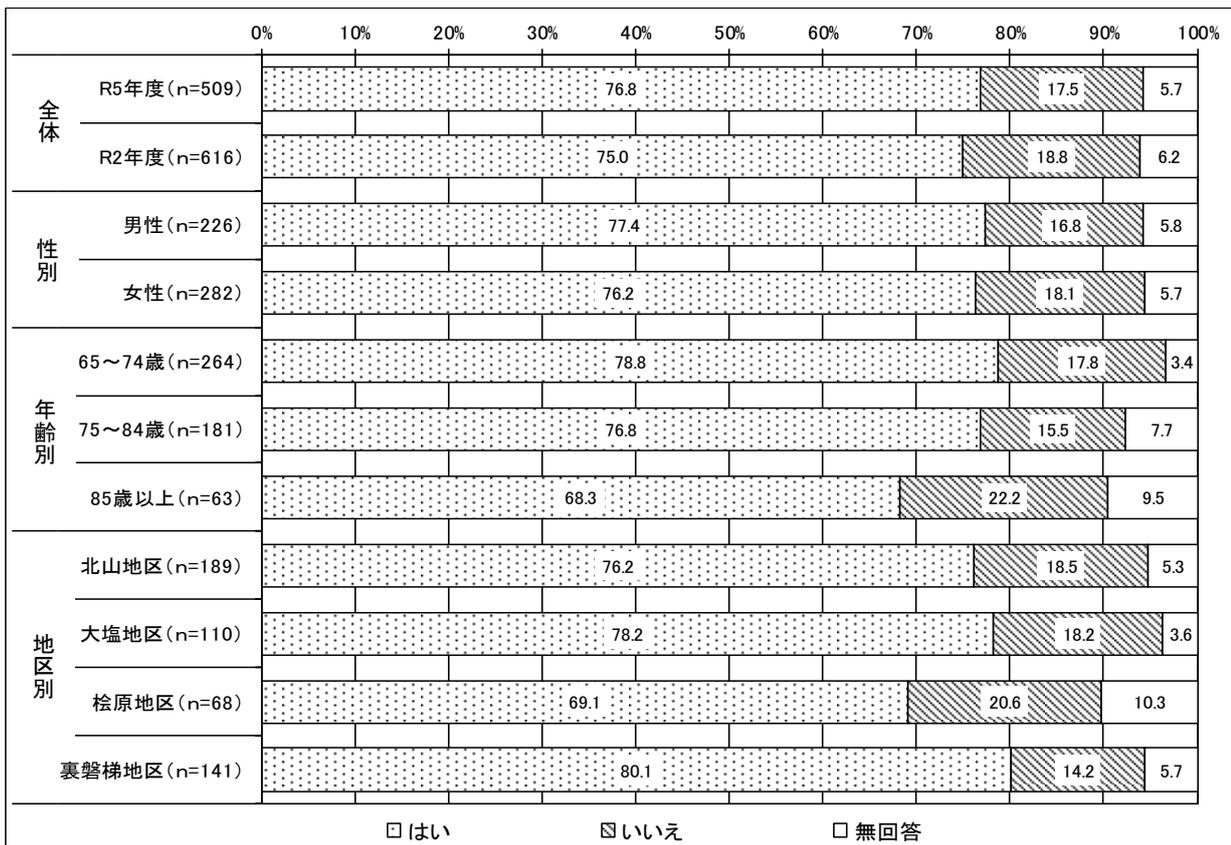
(7) 定期的に歯科医院を受診していますか（☑は一つ）



(8) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください (☑は一つ) (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

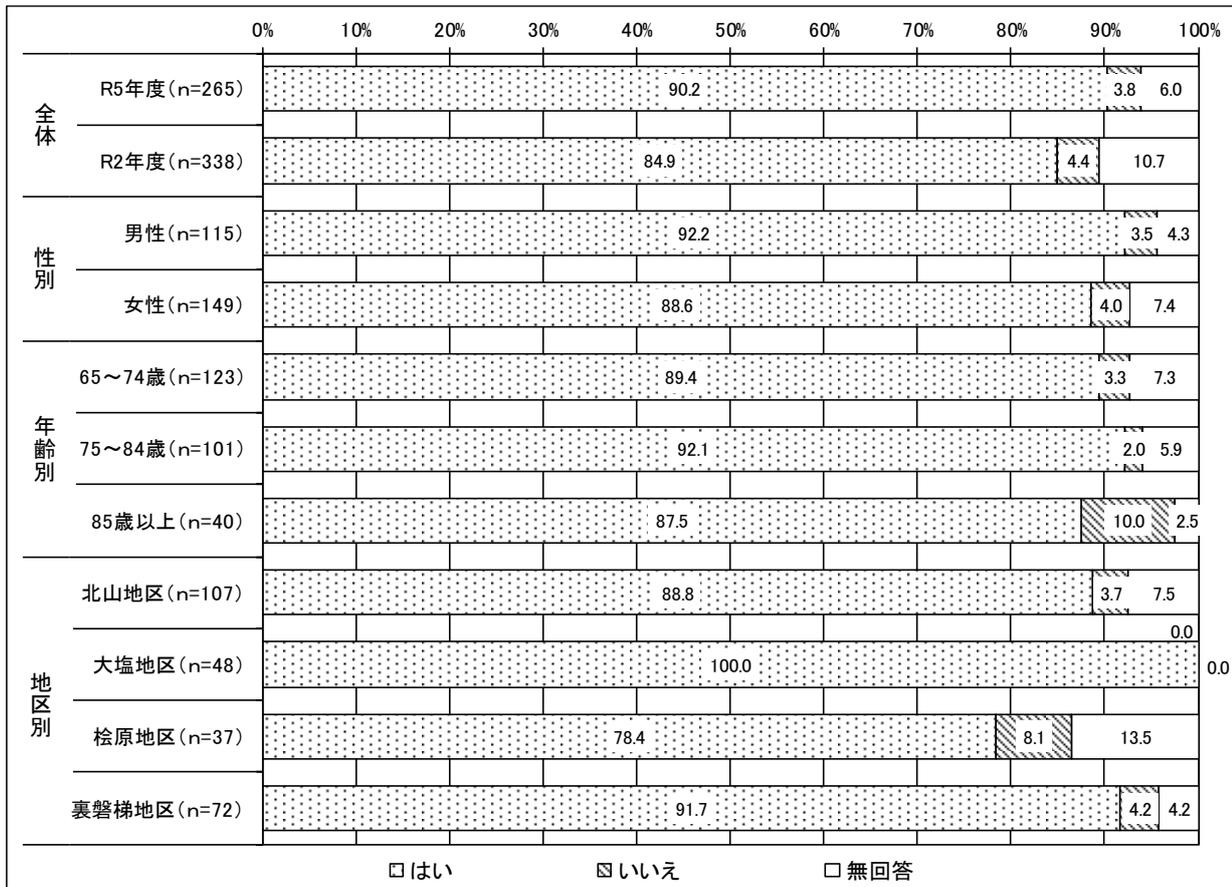


① 噛み合わせは良いですか (☑は一つ)



【(8)で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】

②毎日入れ歯の手入れをしていますか (☑は一つ)



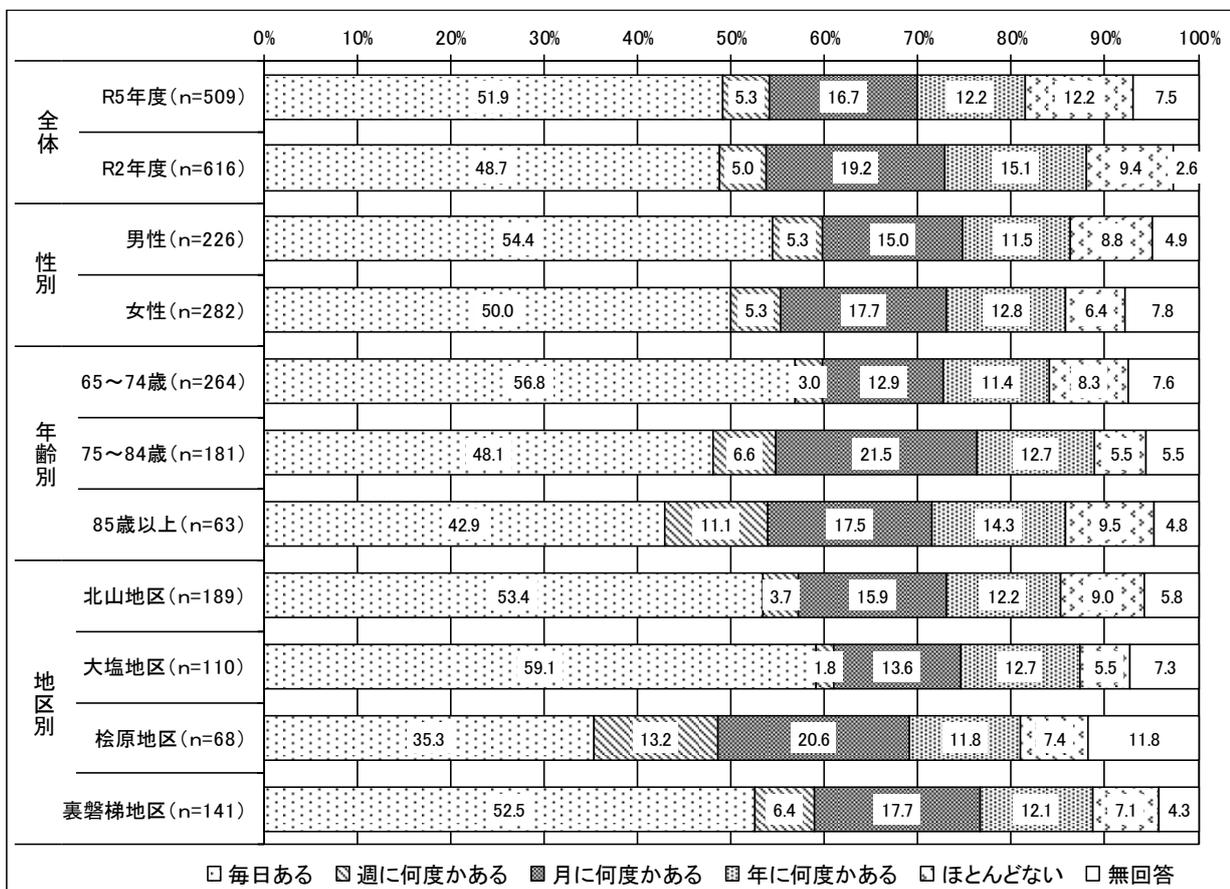
3. 食事

どなたかと食事をとる機会はあるかについては、「毎日ある」が51.9%と最も高く、以下、「月に何度かある」(16.7%)、「年に何度かある」(12.2%)、「週に何度かある」(5.3%)と続いている。なお、「ほとんどない」は12.2%となっている。

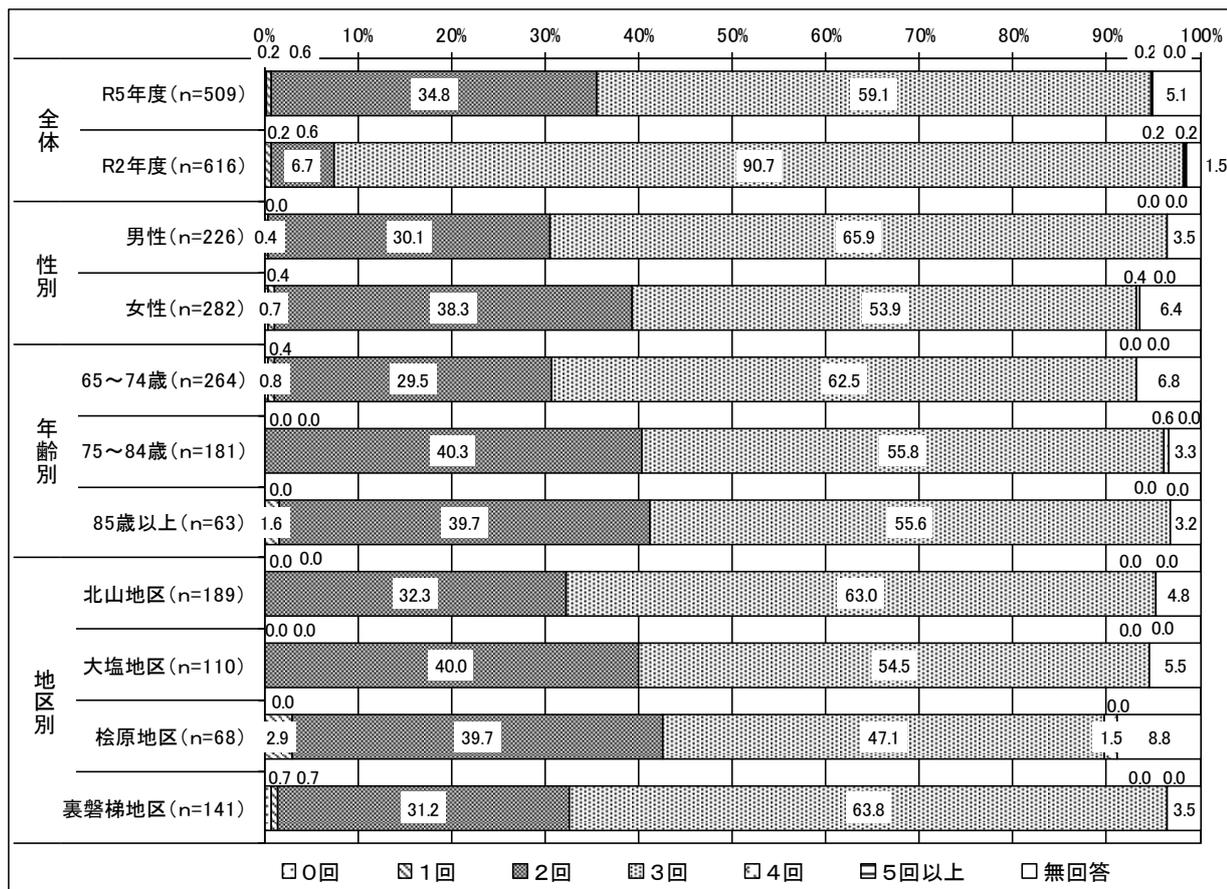
1日に何回食事をするかについては、「3回」が59.1%と過半数を占め、次いで、「2回」が34.8%と続く。

地区別にみると、食事をとる機会については、北山地区は「ほとんどない」が9.0%と他地区(5.5~7.4%)より高い。1日の食事の回数については、桧原地区で「1回」(2.9%)の比率が他地区より高くなっている。

(9) どなたかと食事をとる機会がありますか (☑は一つ)



(10) 1日に何回食事をとりますか (☑は一つ)



4 毎日の生活について

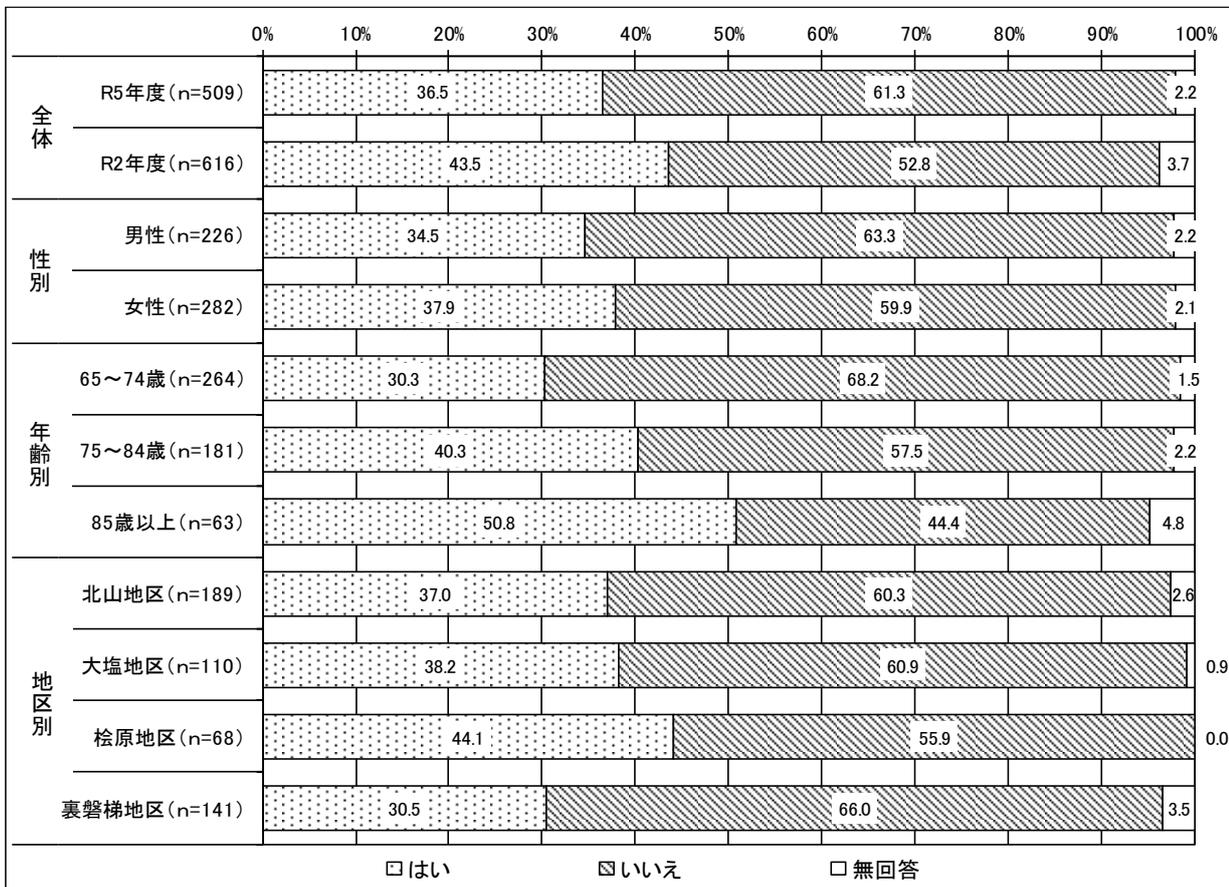
1. 物忘れ

認知機能に関する設問『物忘れが多いと感じますか』では「はい」36.5%となっている。

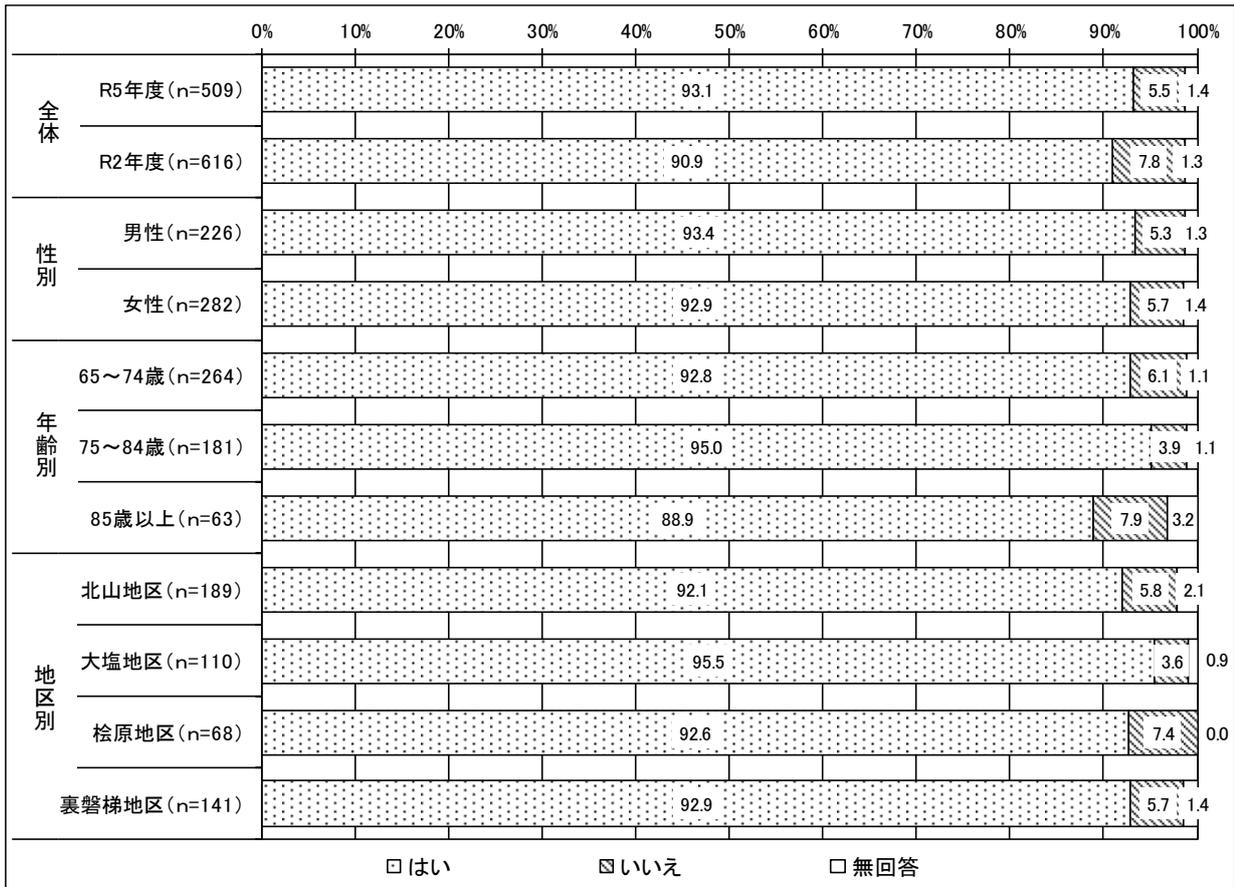
『自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか』では「はい」が93.1%と多数を占め、『今日が何月何日かわからない時がありますか』では「はい」が23.4%となっている。

地区別では、『物忘れが多いと感じますか』の「はい」は桧原地区で44.1%と他地区より高い比率となっている。

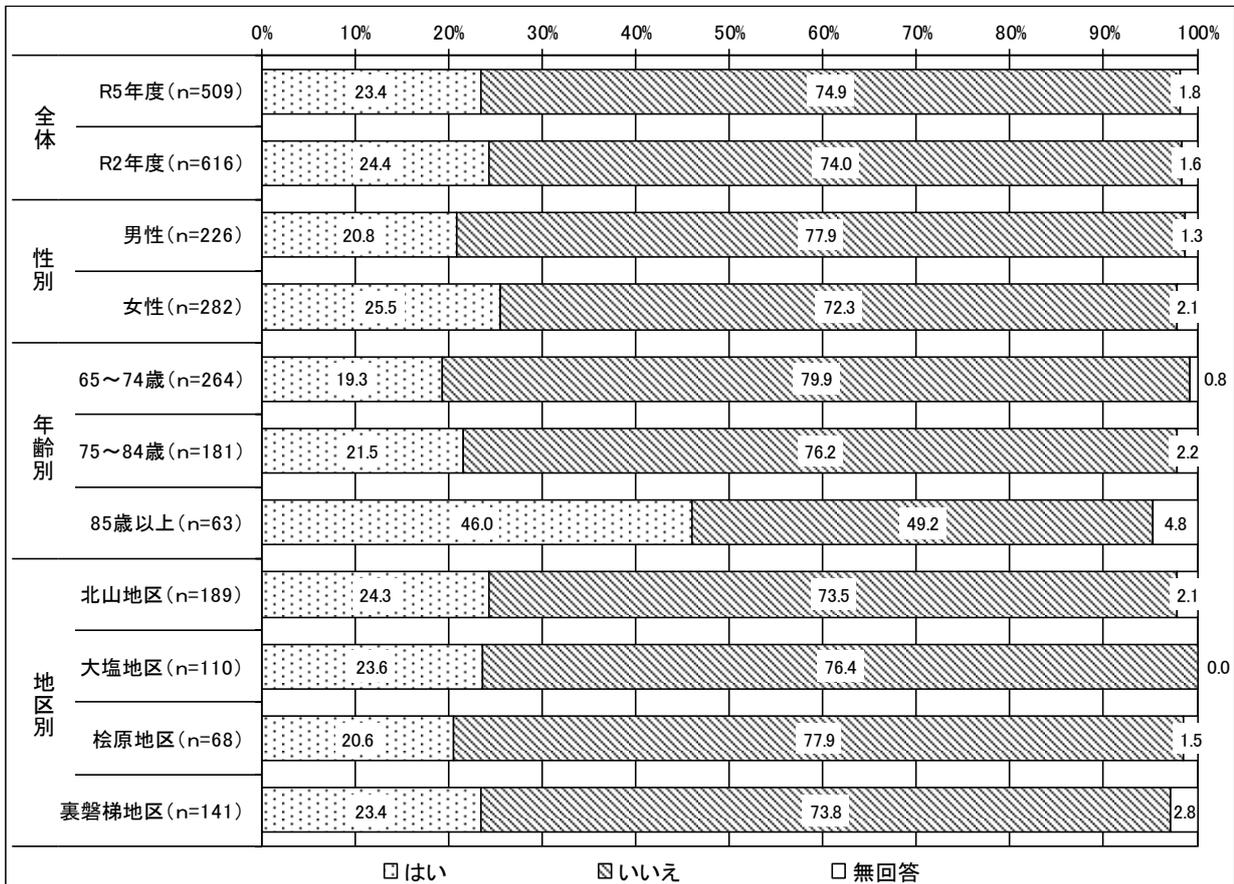
(1) 物忘れが多いと感じますか (☑は一つ)



(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか (☑は一つ)



(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか (☑は一つ)



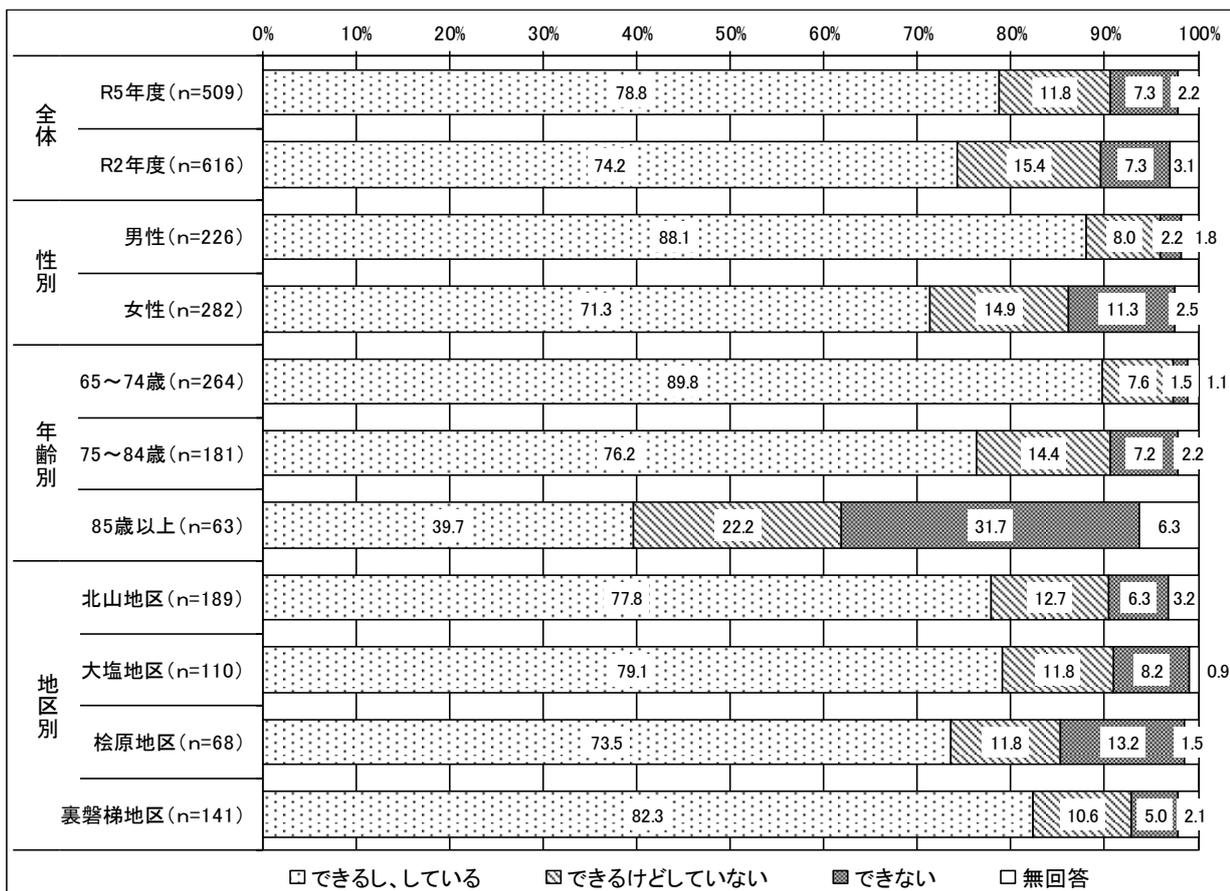
2. 日常生活

日常生活を営む上での生活能力を伺う5つの項目に対し、「できない」の回答は、以下のとおりである。

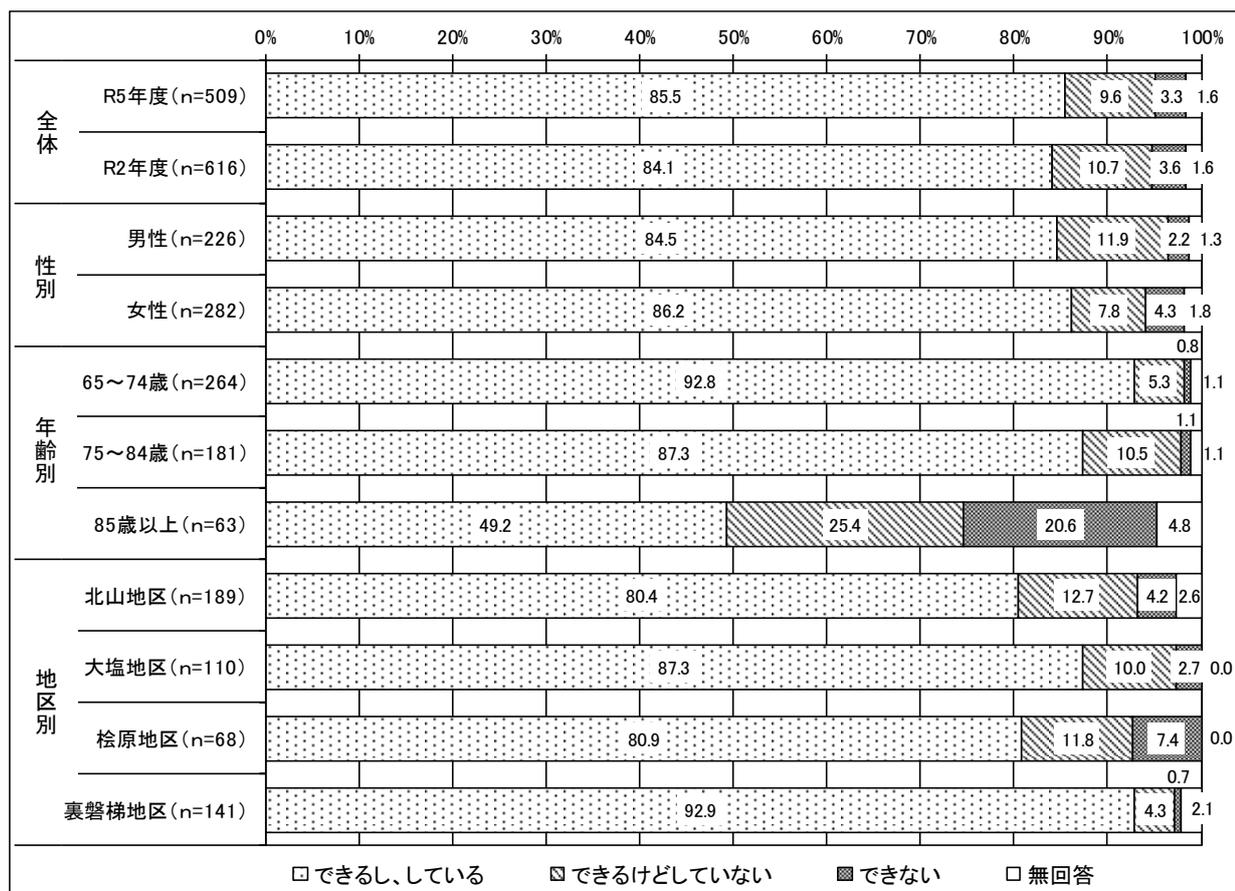
(4) バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）	7.3%
(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか	3.3%
(6) 自分で食事の用意をしていますか	4.7%
(7) 自分で請求書の支払いをしていますか	2.9%
(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか	2.8%

年齢別にみると、年齢が高くなるに従い「できない」の回答比率が高くなり、「85歳以上」ではより顕著な結果となって表れている。地区別にみると、設問によって差があるが、桧原地区で「できない」の回答比率がやや高い。

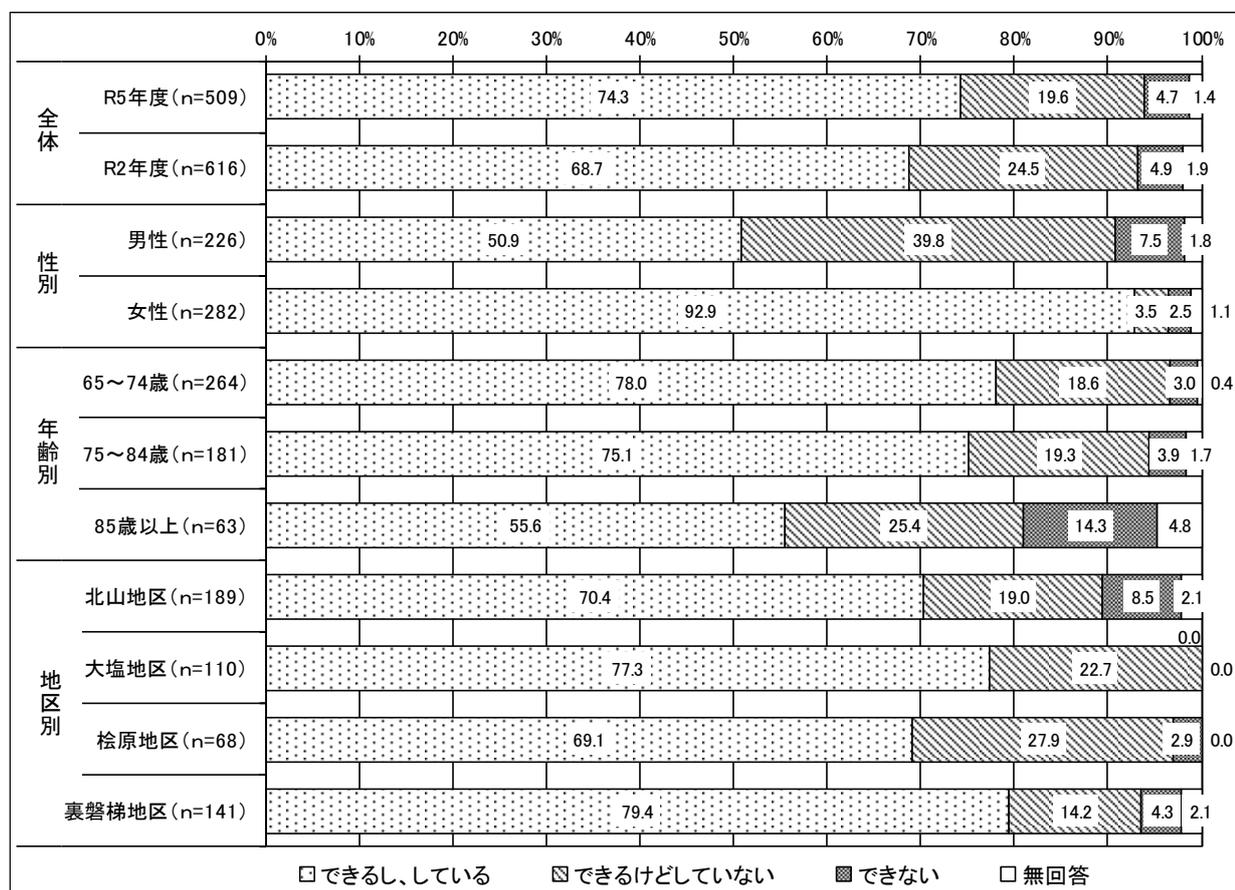
(4) バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）。（☑は一つ）



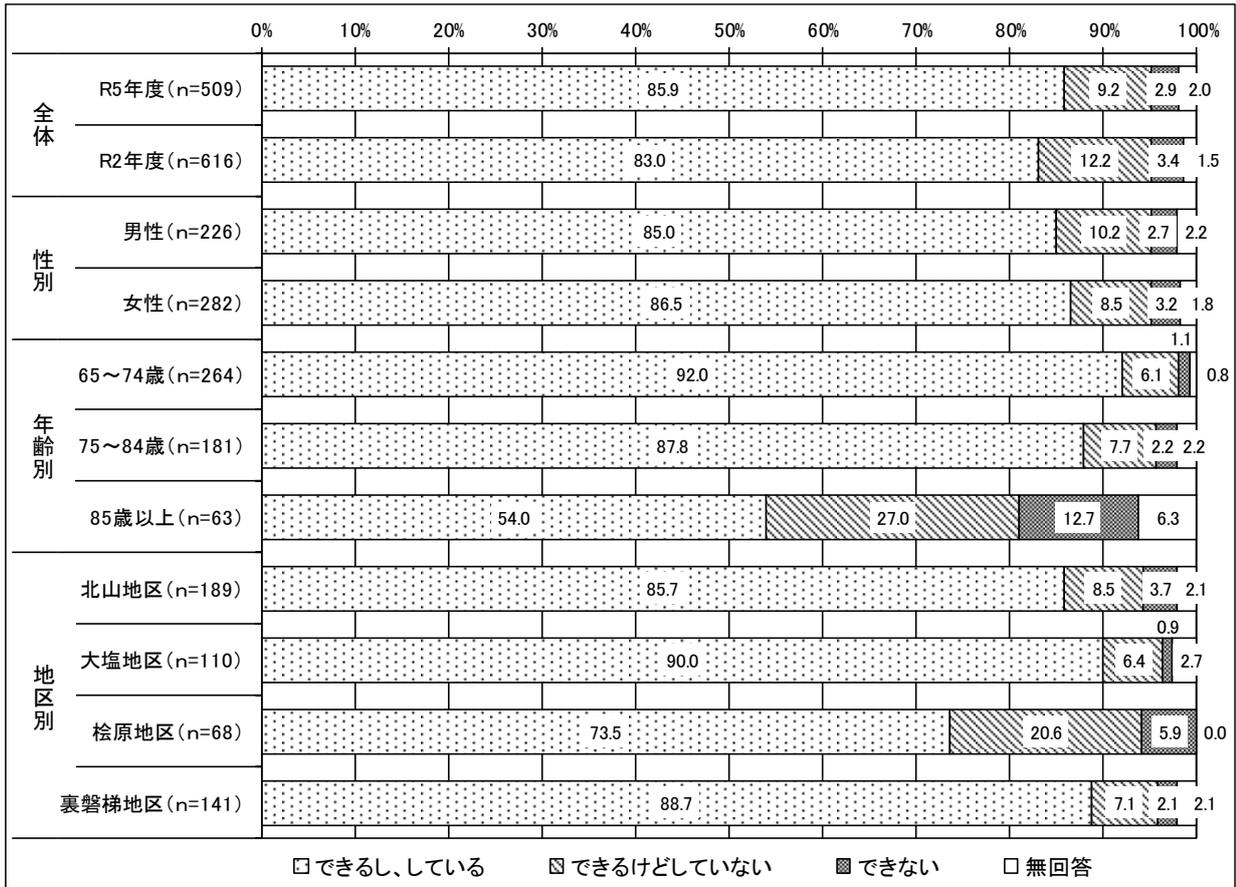
(5) 自分で食品・日用品の買い物をしていますか (☑は一つ)



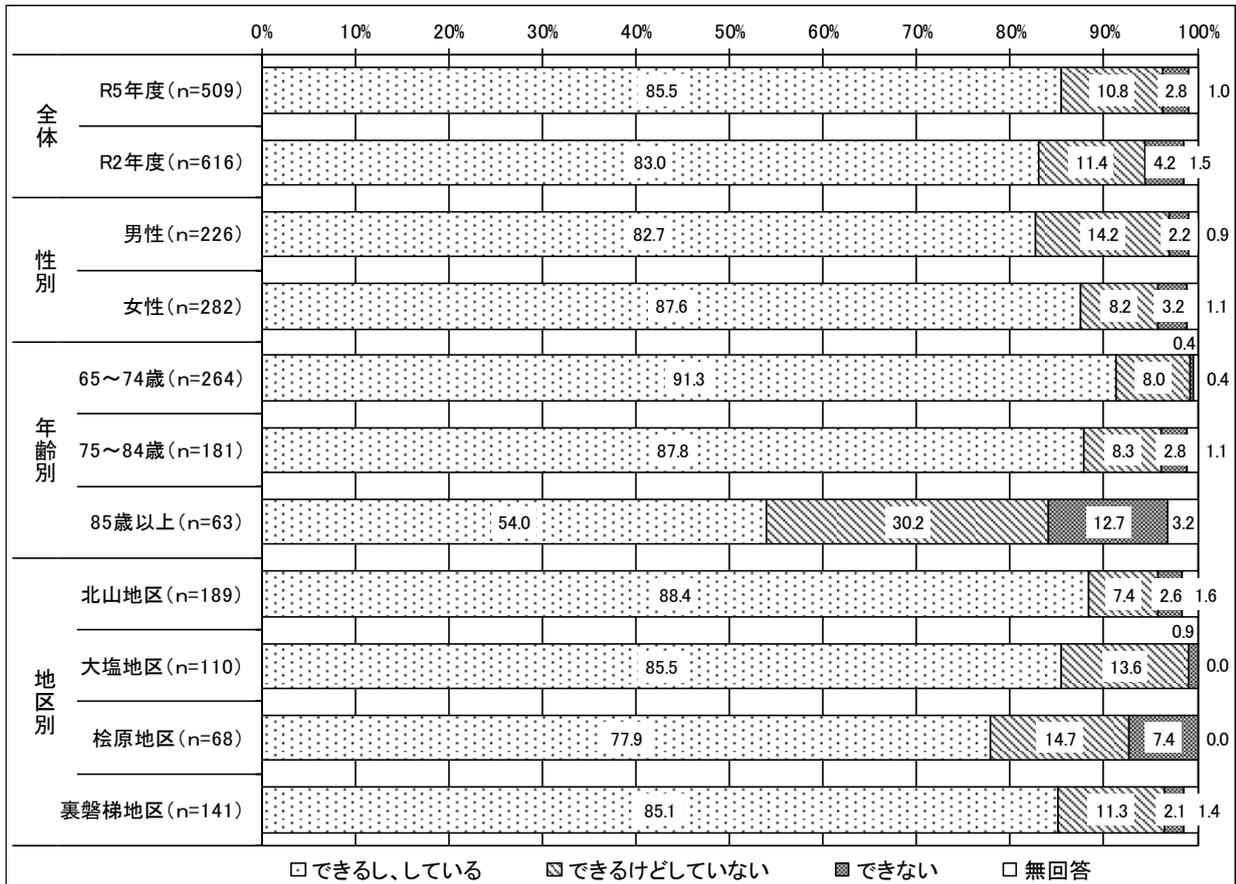
(6) 自分で食事の用意をしていますか (☑は一つ)



(7) 自分で請求書の支払いをしていますか (☑は一つ)



(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか (☑は一つ)



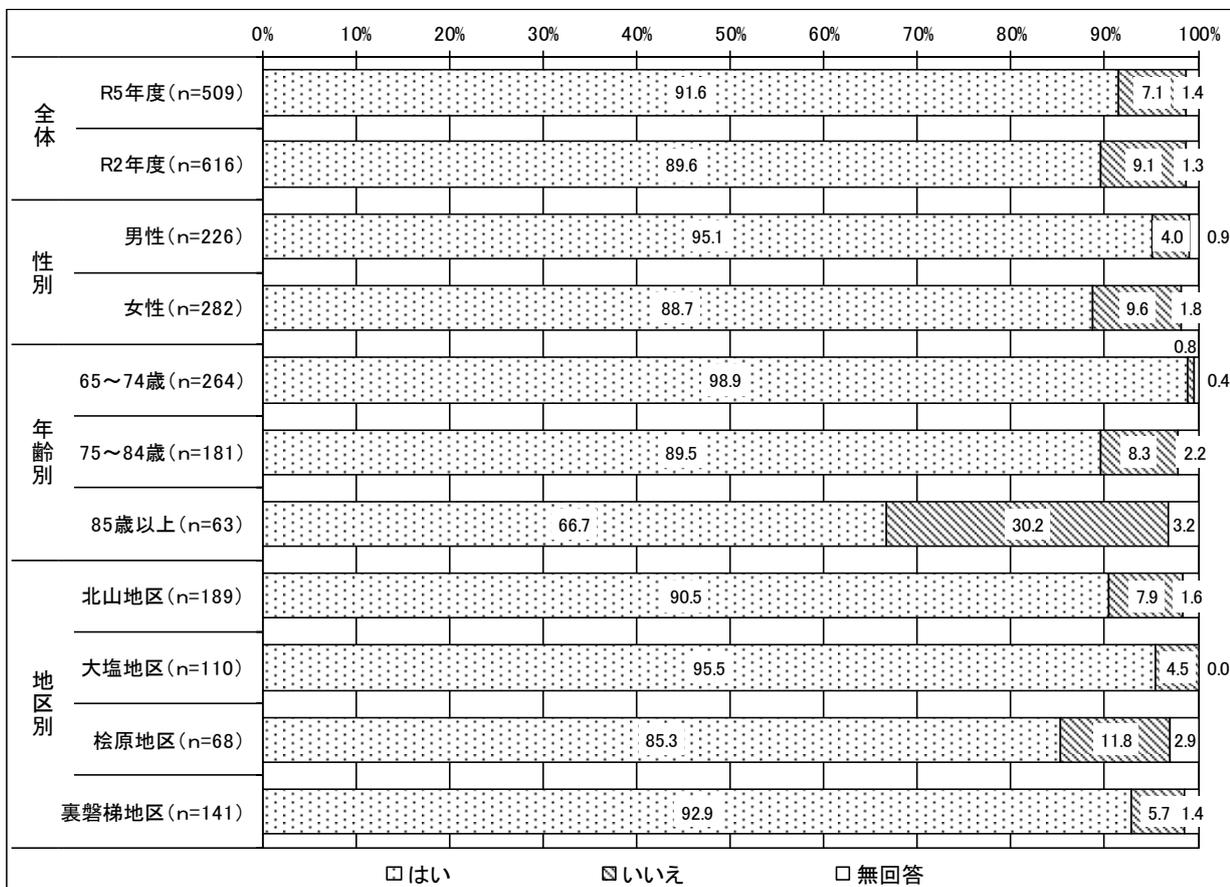
3. 社会参加

社会生活を営む上での能力を伺う 10 項目に対し、「いいえ」・「思いつかない」との回答は以下のとおりである。

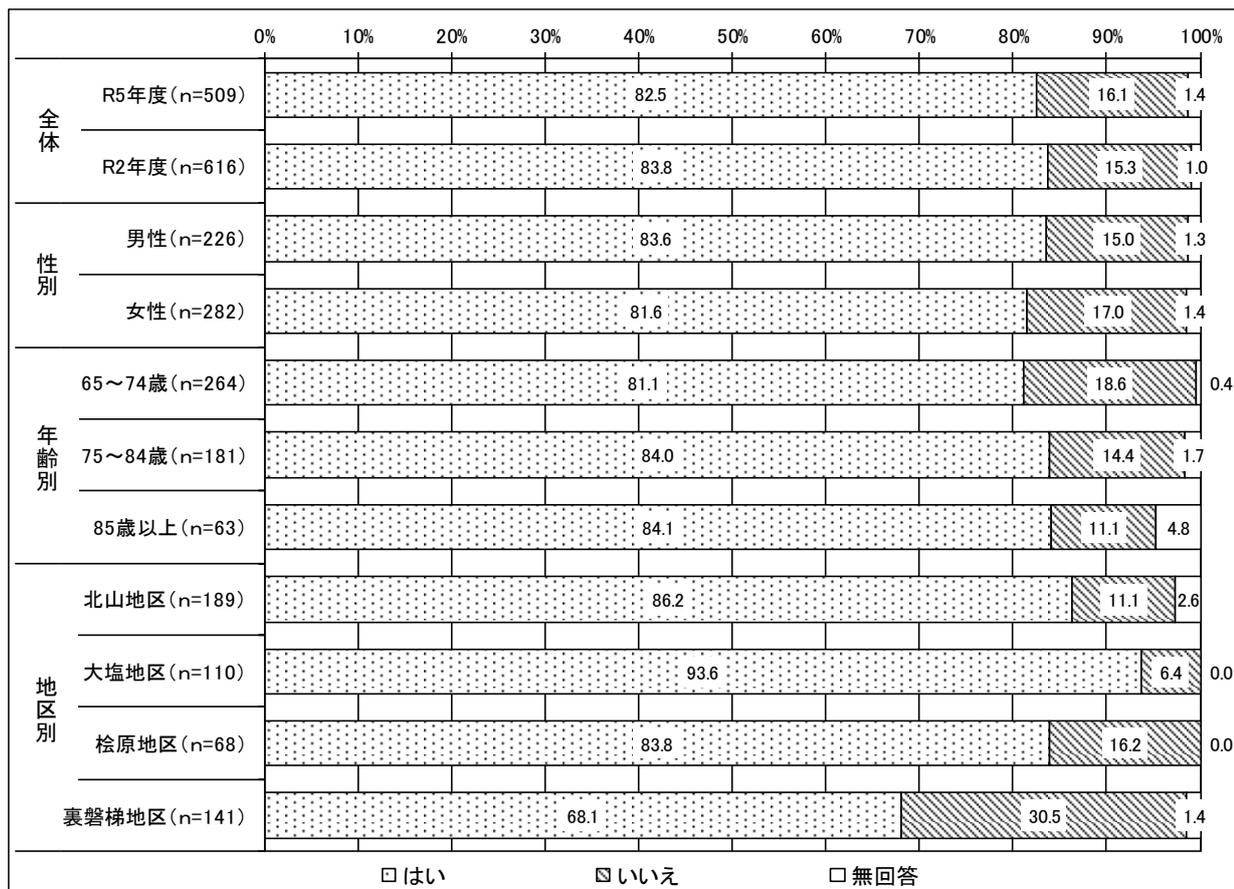
(9) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか	7.1%
(10) 新聞を読んでいますか	16.1%
(11) 本や雑誌を読んでいますか	23.0%
(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか	7.9%
(13) 友人の家を訪ねていますか	26.9%
(14) 家族や友人の相談にのっていますか	13.0%
(15) 病人を見舞うことができますか	8.6%
(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか	15.9%
(17) 趣味はありますか	22.2%
(18) 生きがいはありますか	22.4%

属性別にみると、年齢別では 85 歳以上で、地区別では桧原地区で「できない」の比率が高い項目が多くなっている。

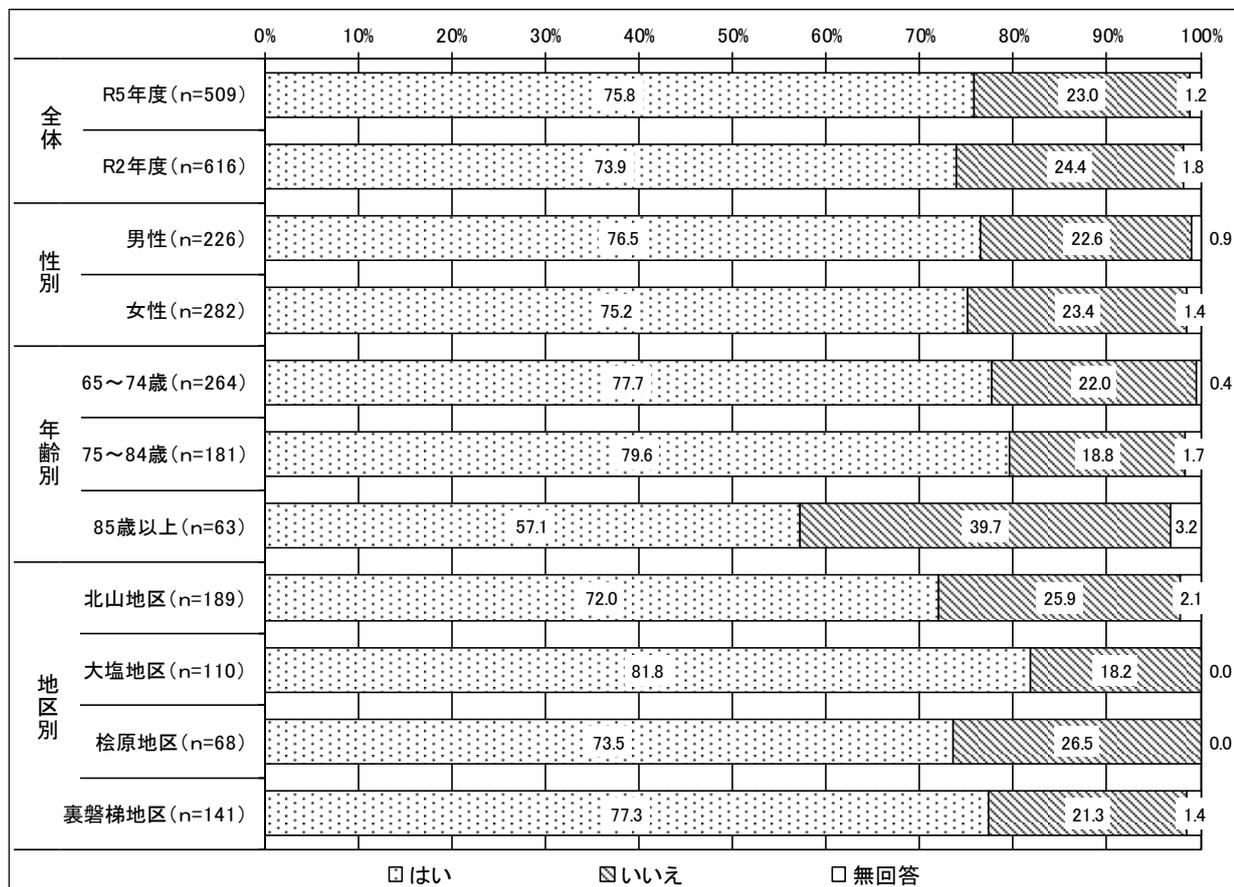
(9) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか（☑は一つ）



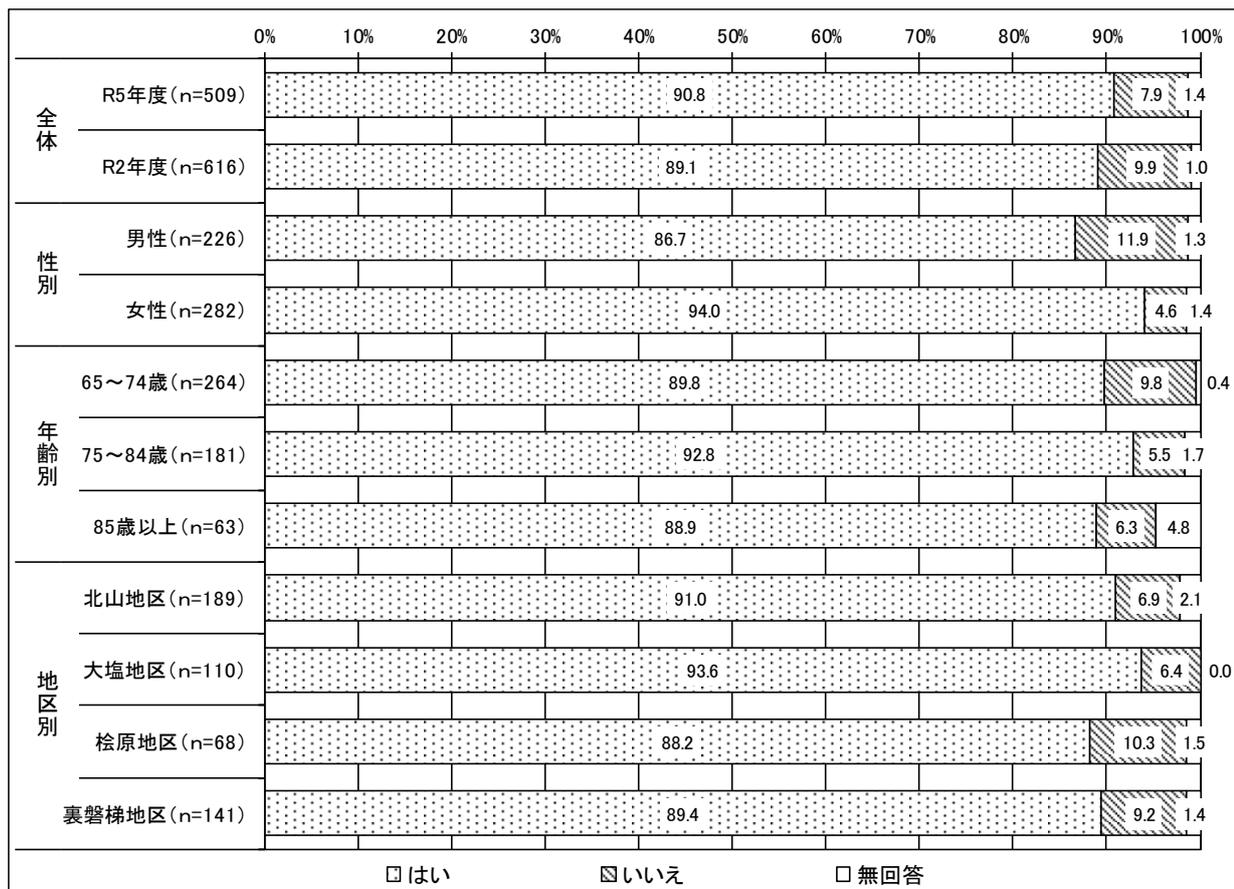
(10) 新聞を読んでいますか (☑は一つ)



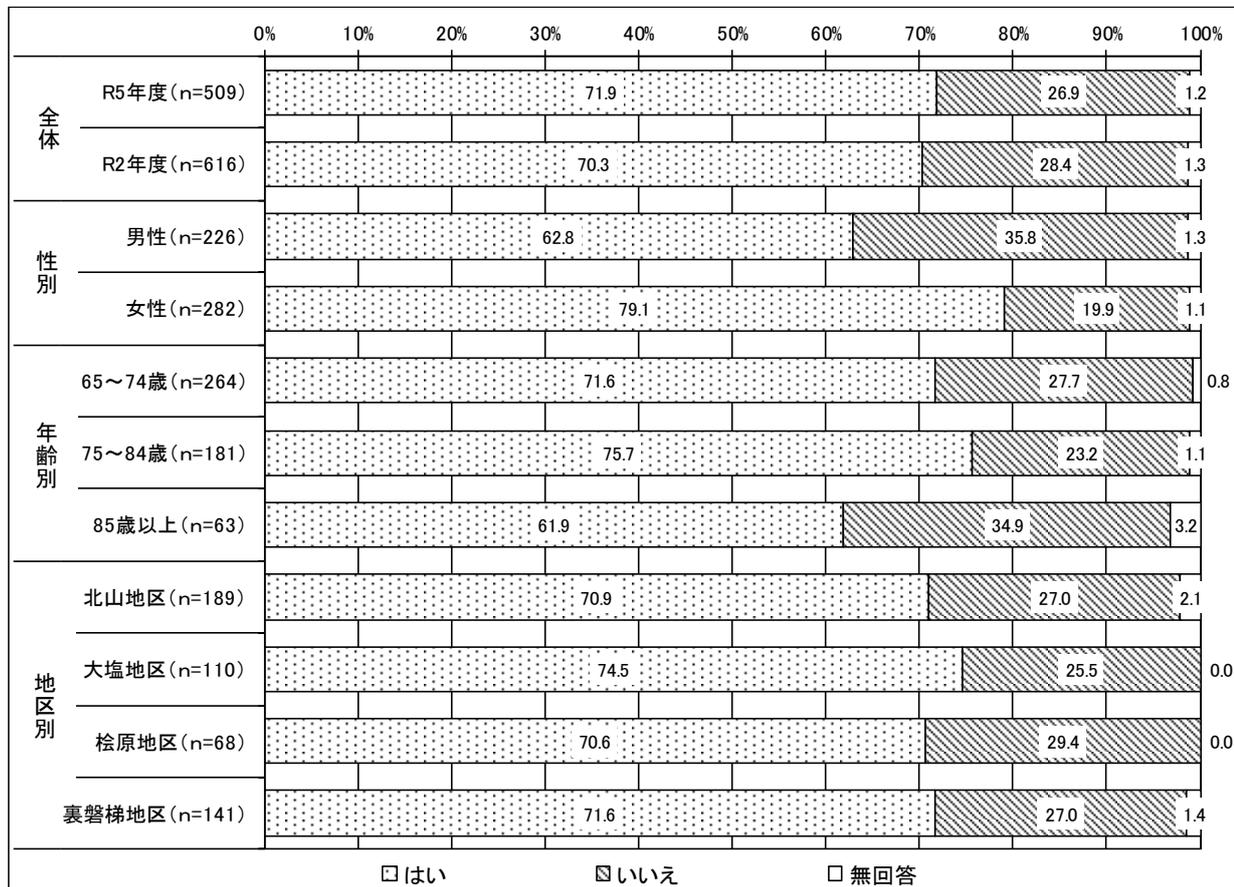
(11) 本や雑誌を読んでいますか (☑は一つ)



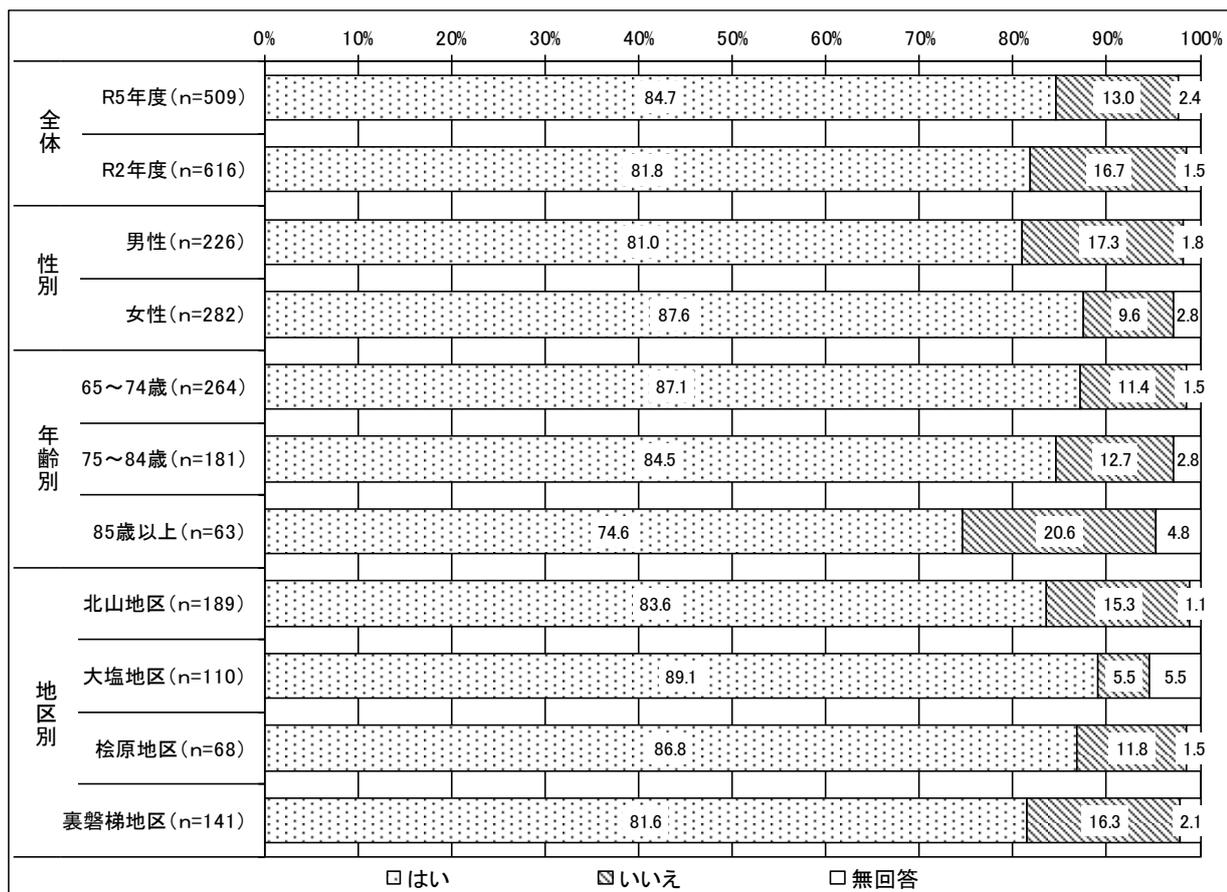
(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか (☑は一つ)



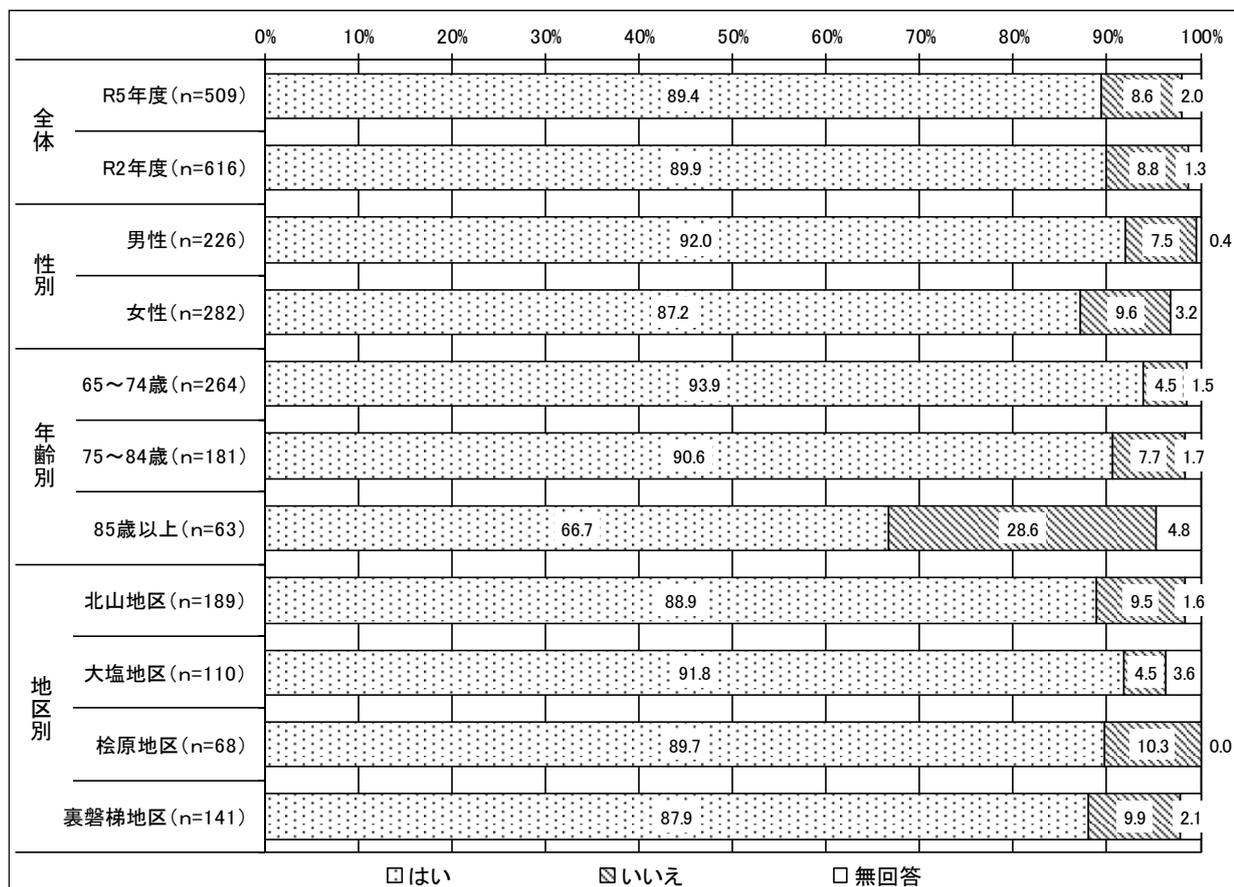
(13) 友人の家を訪ねていますか (☑は一つ)



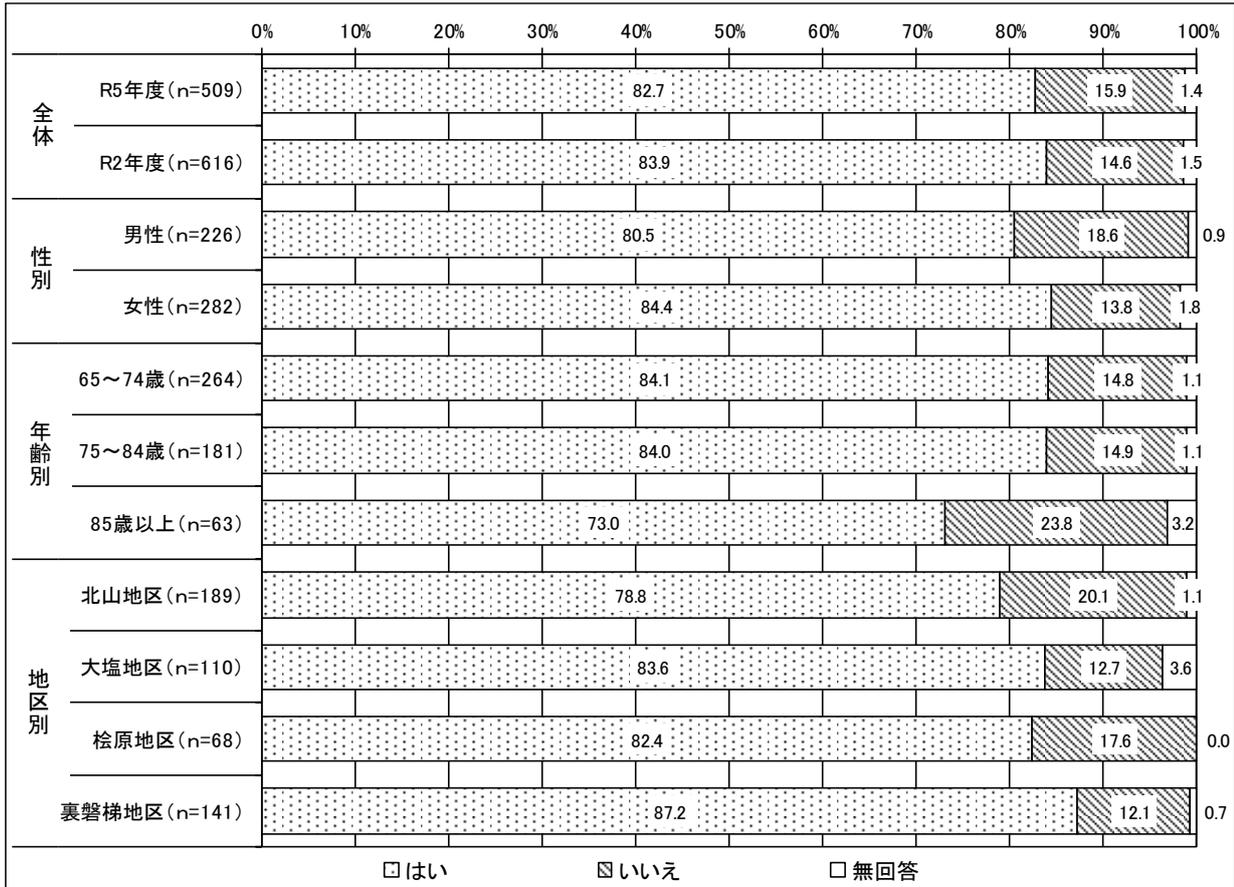
(14) 家族や友人の相談にのっていますか (☑は一つ)



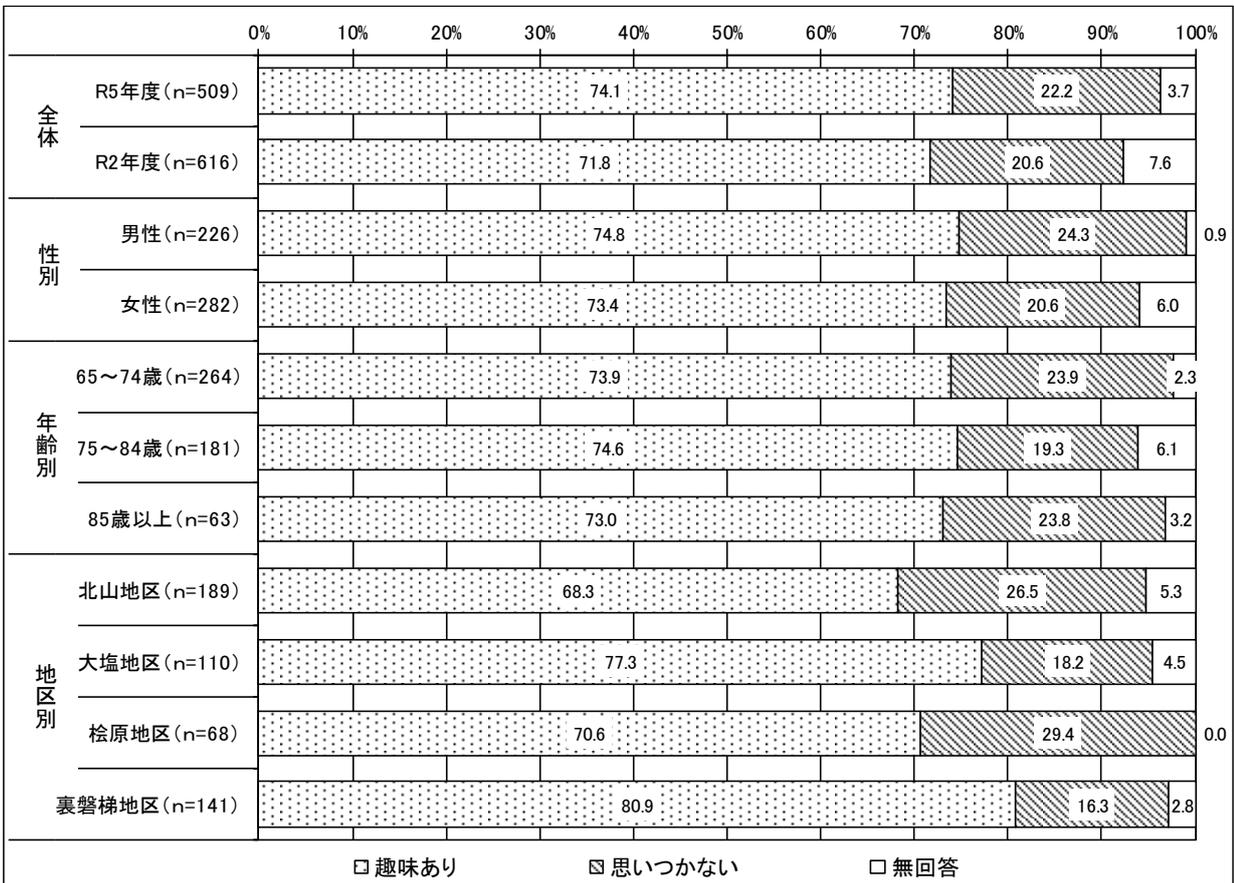
(15) 病人を見舞うことができますか (☑は一つ)



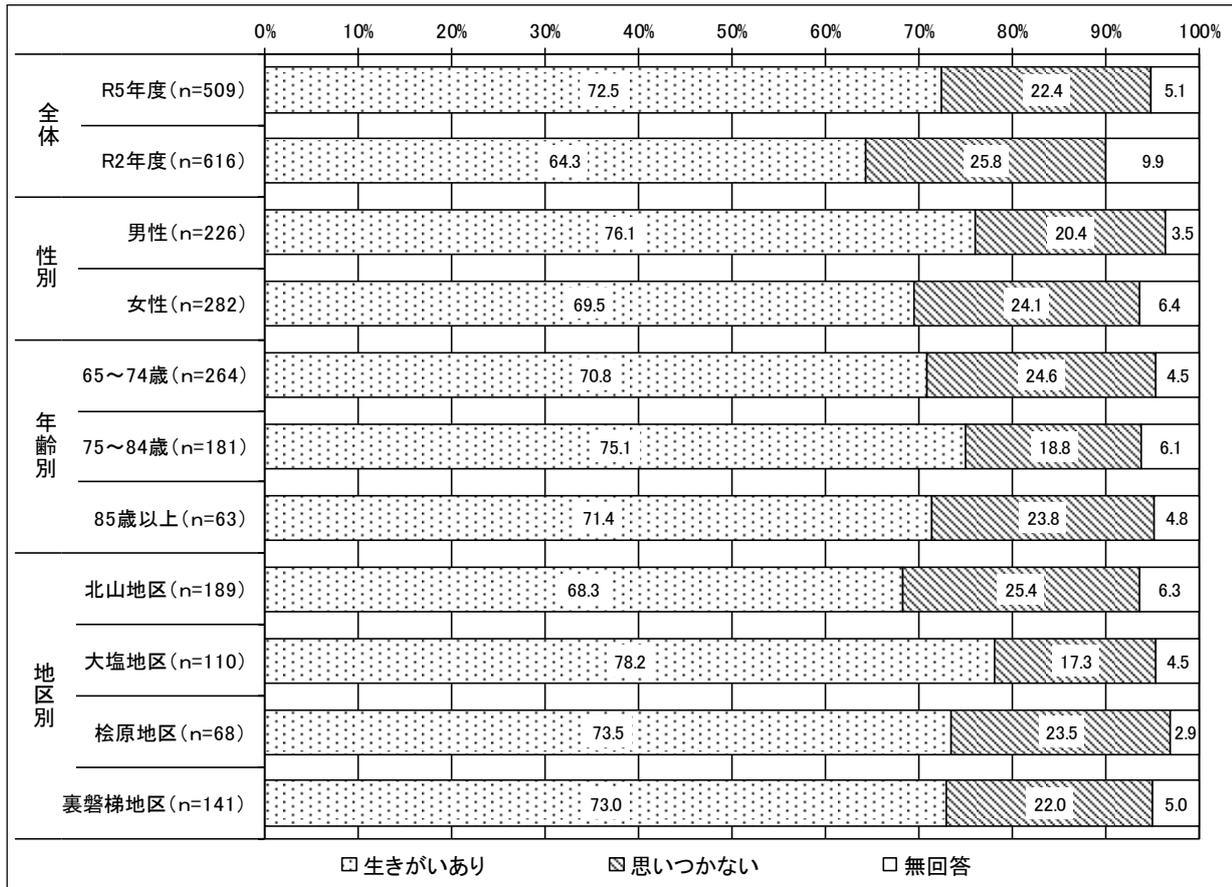
(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか (☑は一つ)



(17) 趣味はありますか (☑は一つ)



(18) 生きがいがありますか (☑は一つ)



5 地域での活動について

年に数回以上参加している人の比率は、①ボランティアのグループは21.6%、②スポーツ関係のグループ・クラブは24.2%、③趣味関係のグループは18.5%、④学習・教養サークルは10.2%、⑤介護予防のための通いの場は11.2%、⑥老人クラブは14.9%、⑦町内会・自治会は30.0%、⑧収入のある仕事は31.0%となっている。

また、②スポーツ関係のグループは「週1回」(7.1%)が、③趣味関係のグループは「月1～3回」(7.5%)が、⑦町内会・自治会は「年に数回」(25.9%)が、⑧収入のある仕事は「週4回以上」(15.1%)及び「週2～3回」(5.1%)が、それぞれ高い比率となっている。

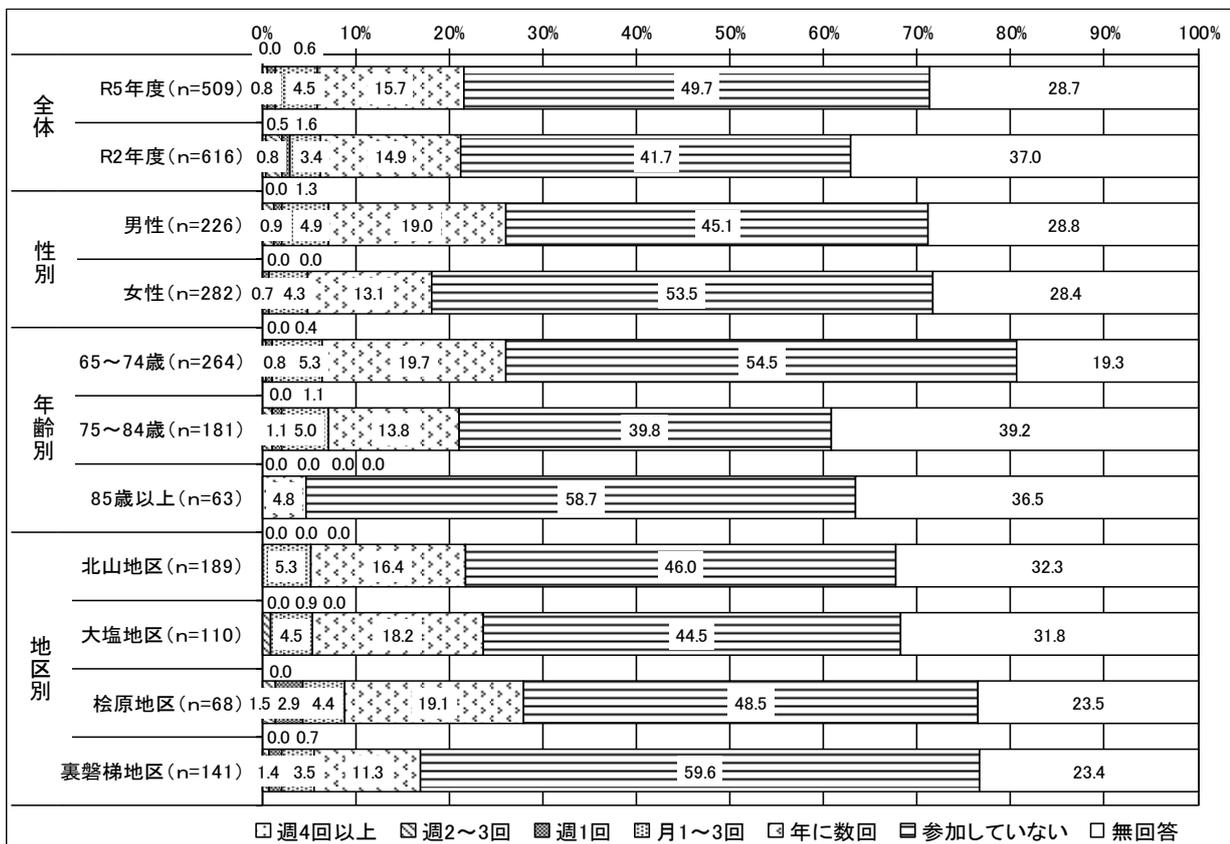
健康づくり等活動への参加者としての参加意向については、「参加してもよい」が47.5%と最も高く、「是非参加したい」(8.3%)と合わせて、参加意向がある方は半数を超える。一方、「参加したくない」は30.8%となっている。

健康づくり等活動への企画・運営としての参加意向については、「参加してもよい」が36.9%、「是非参加したい」(3.9%)と合わせて、参加意向がある方は40.8%となる。一方、「参加したくない」は47.0%となっている。

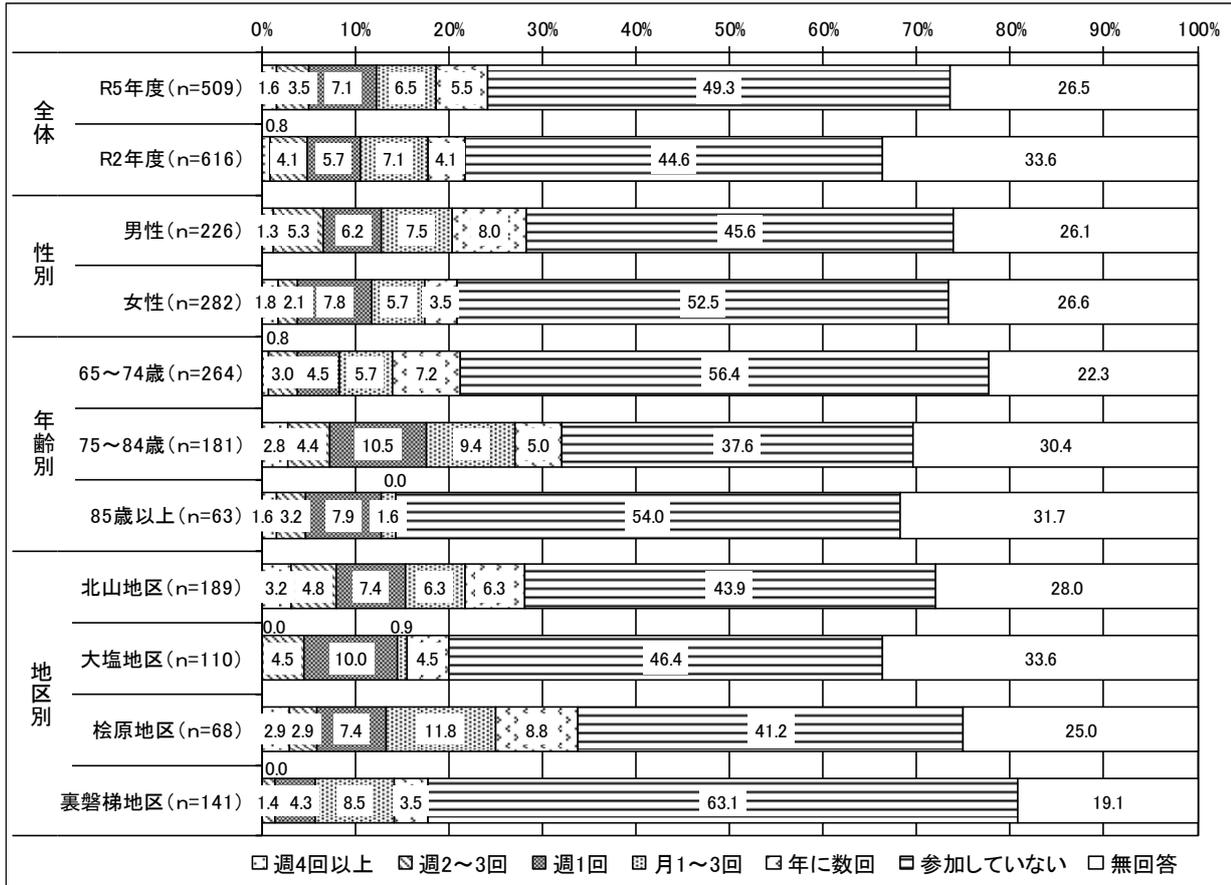
地区別みると、北山地区や桧原地区で参加率、参加意向が高い。一方、大塩地区では参加率、参加意向ともに、最も比率が低くなっている。

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか (①～⑧ それぞれにあてはまる箇所へ☑で回答してください)

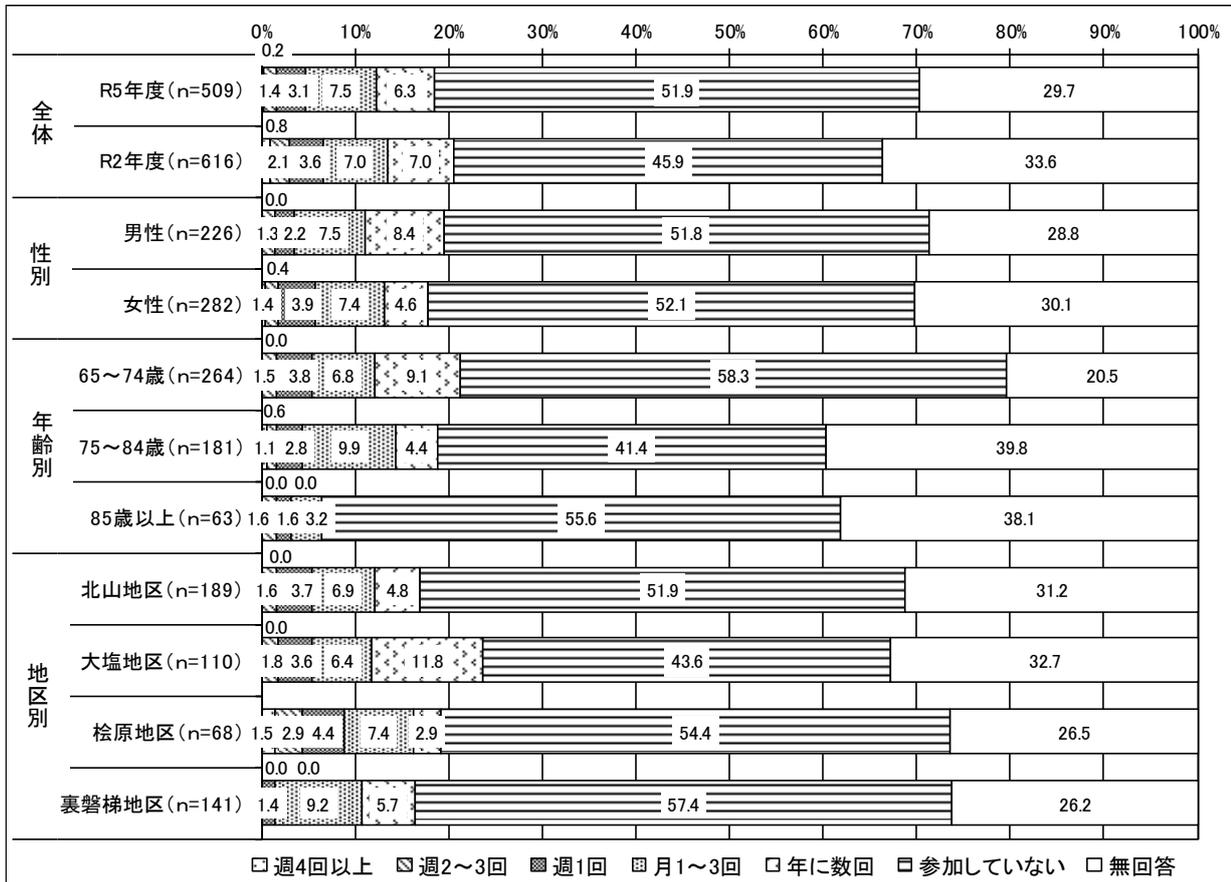
①ボランティアのグループ



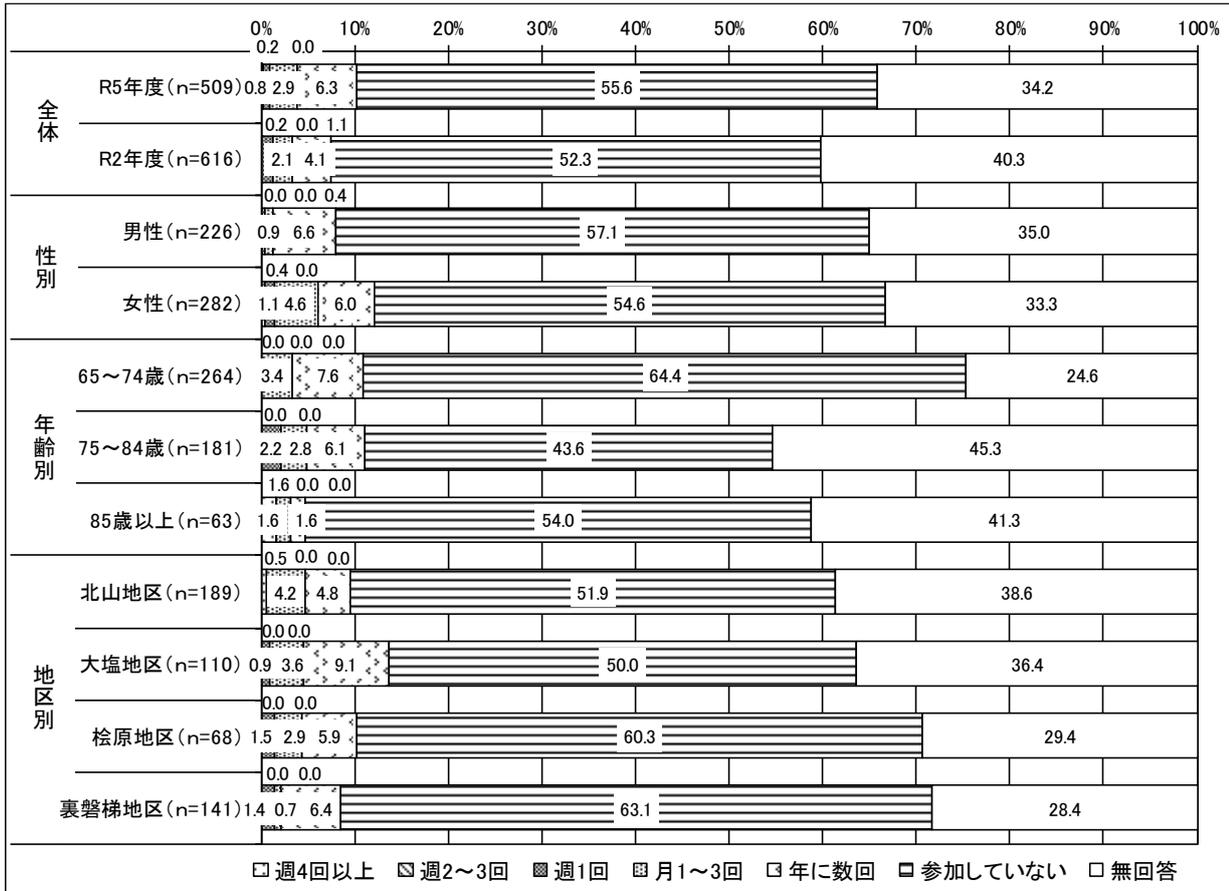
②スポーツ関係のグループやクラブ



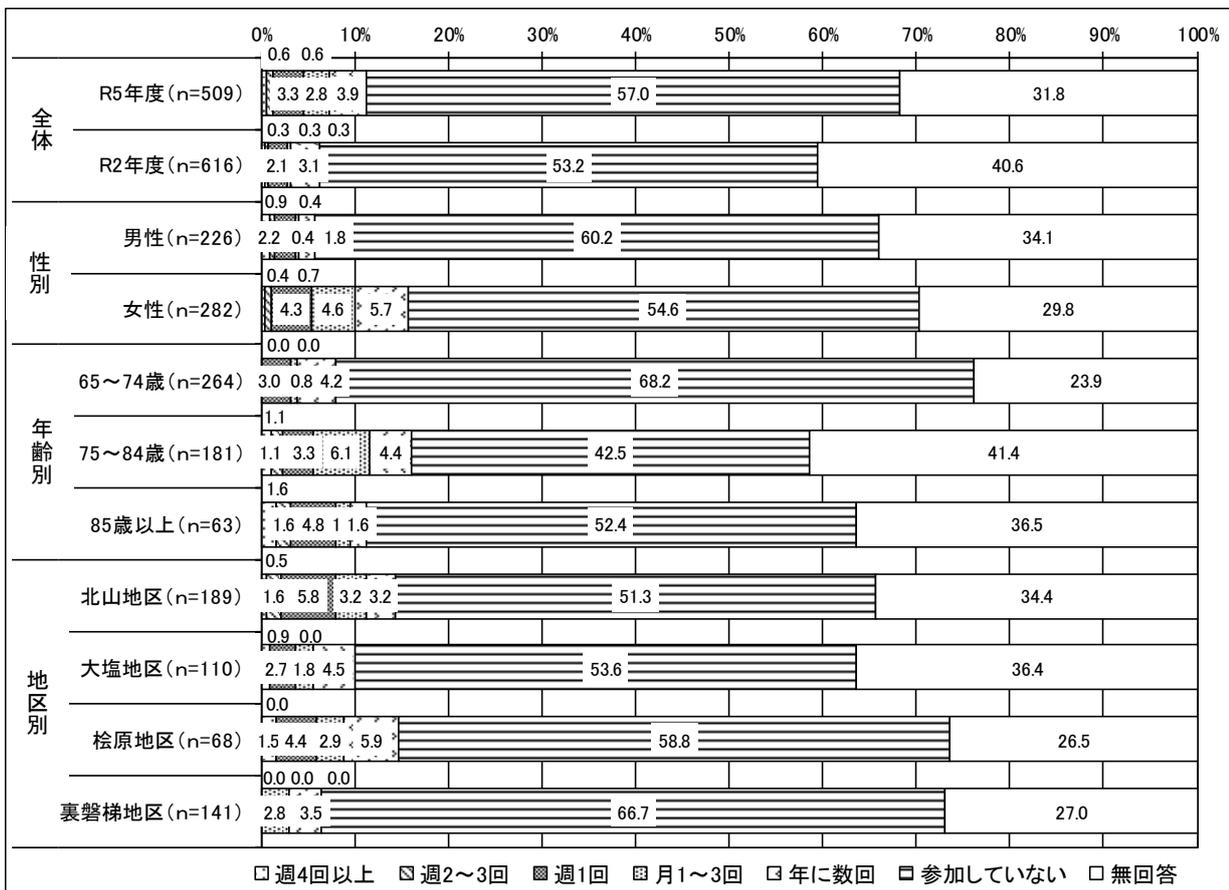
③趣味関係のグループ



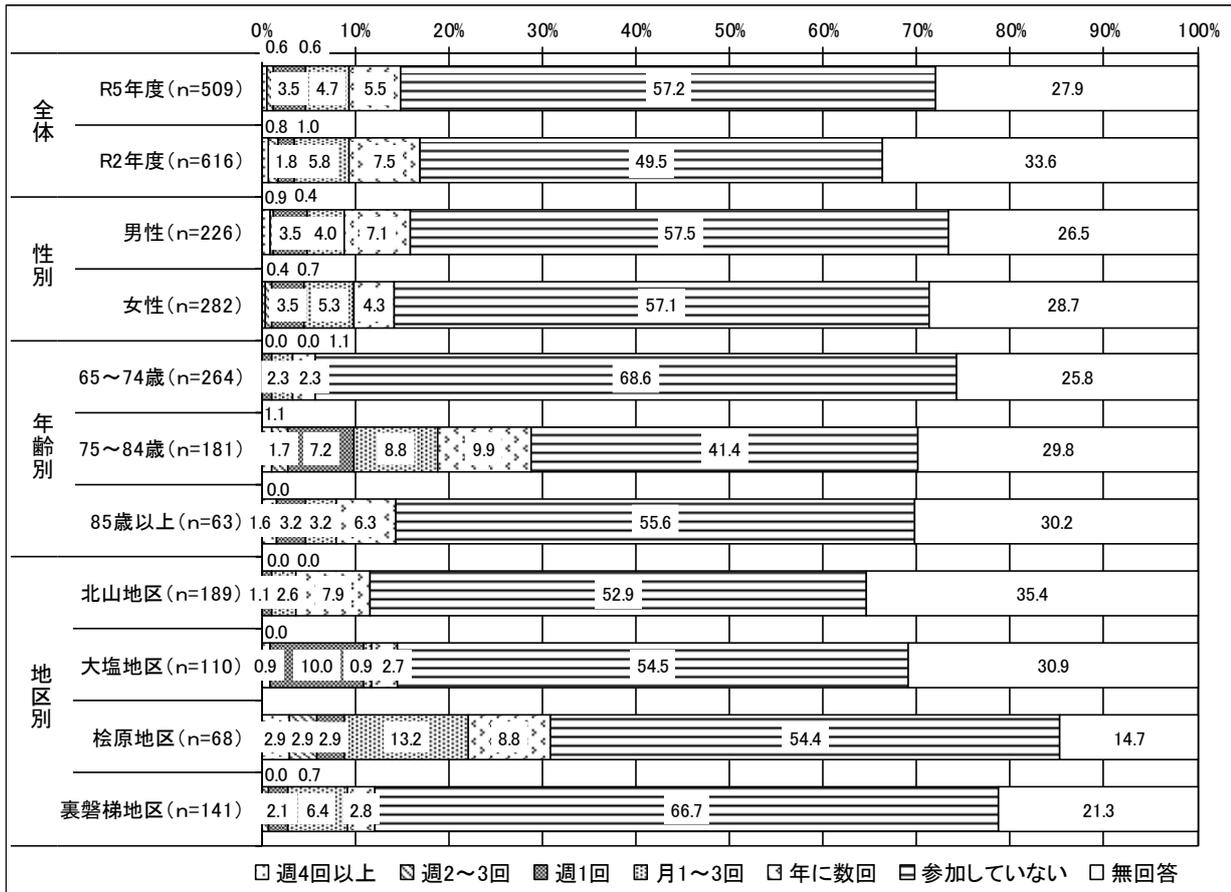
④学習・教養サークル



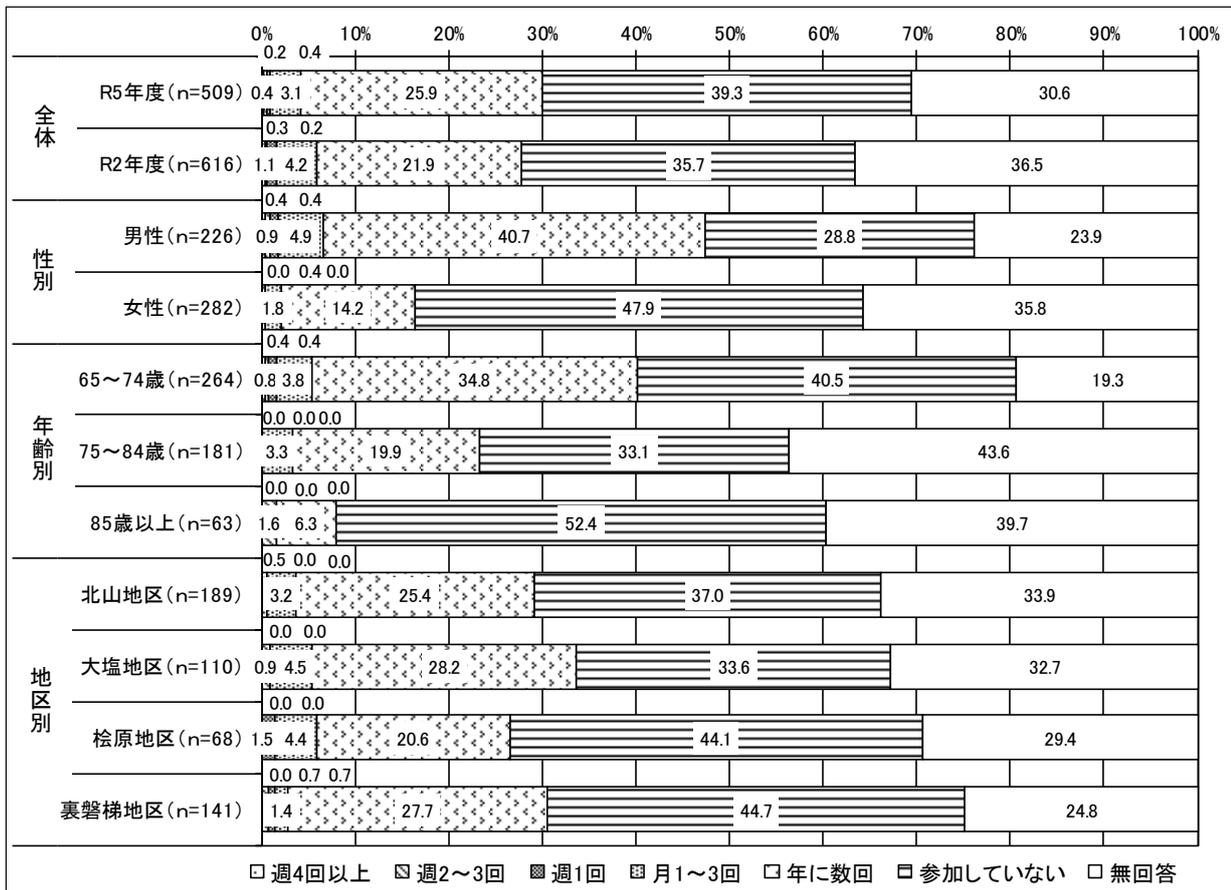
⑤介護予防のための通いの場（はつらつ貯筋教室など）



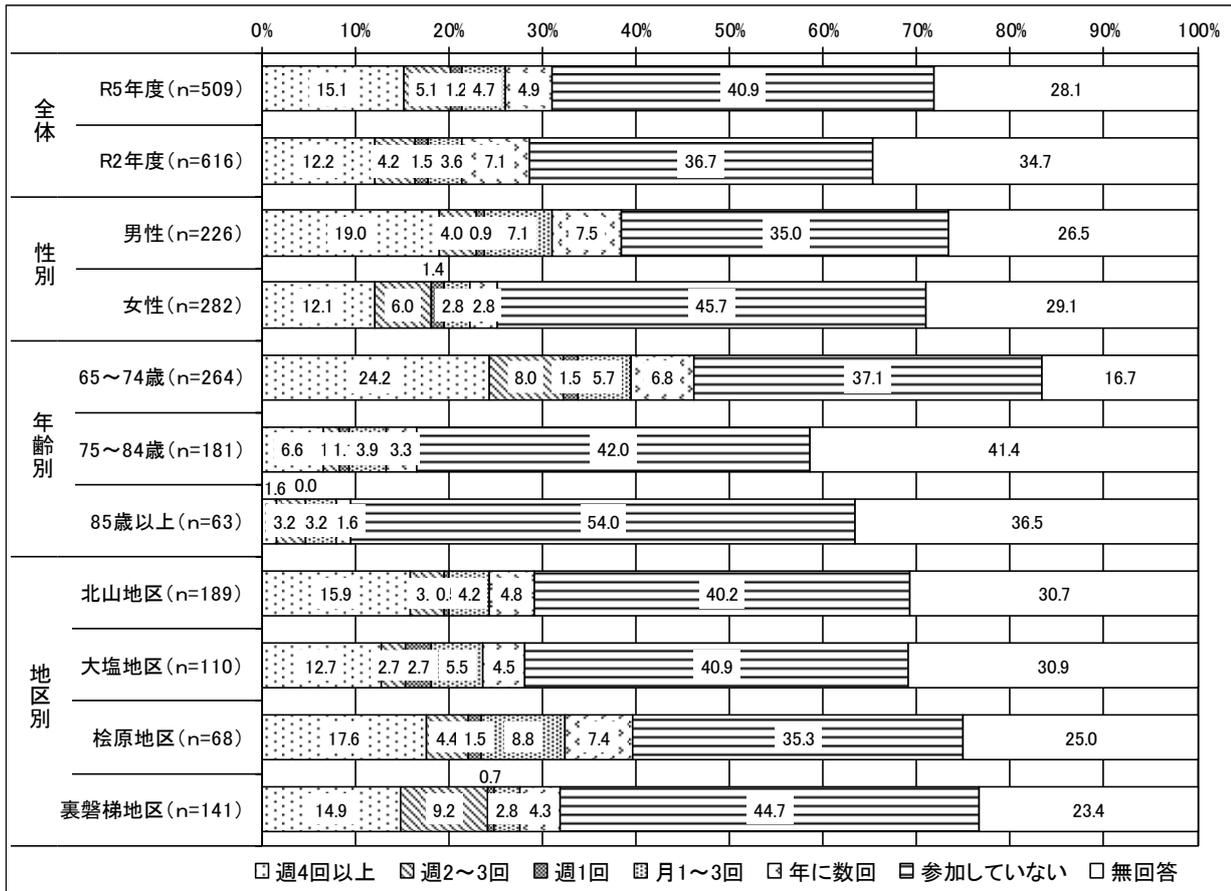
⑥老人クラブ



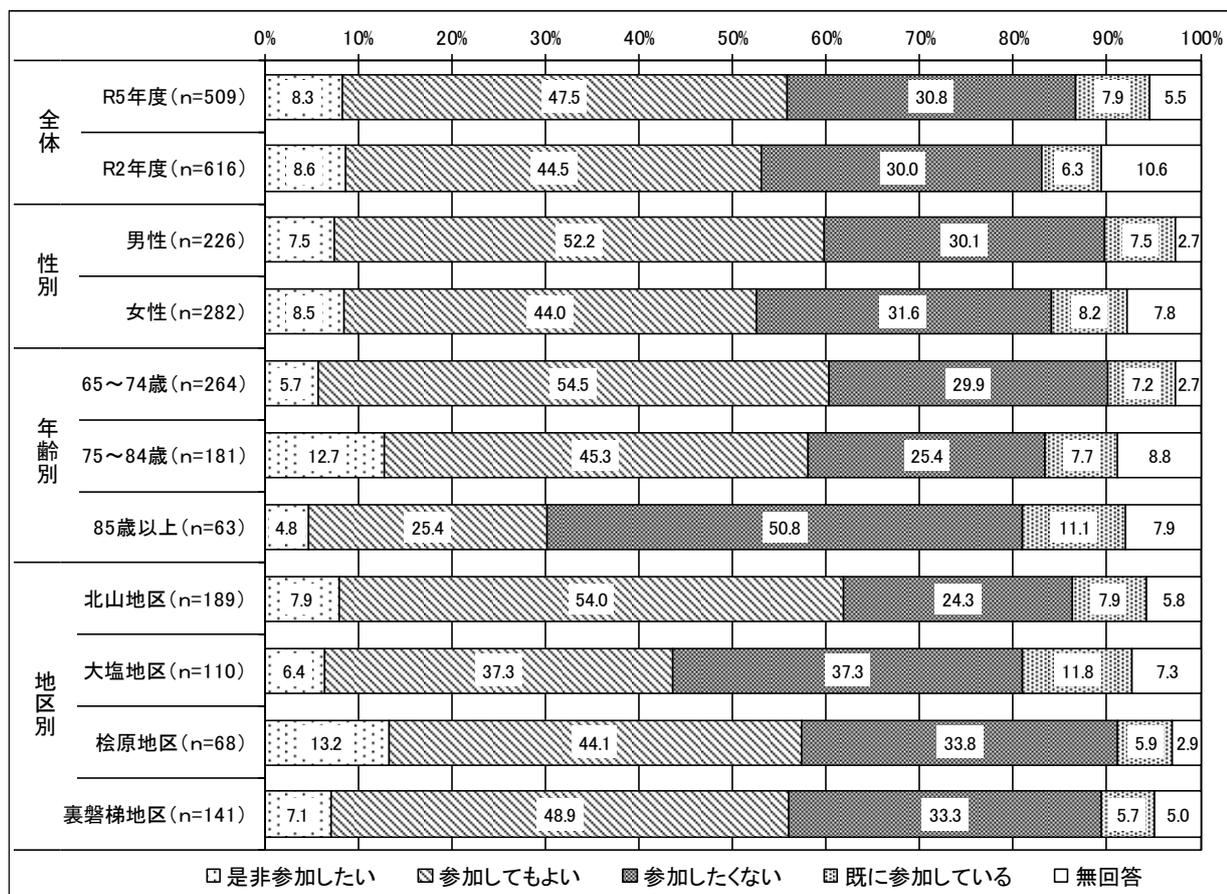
⑦町内会・自治会



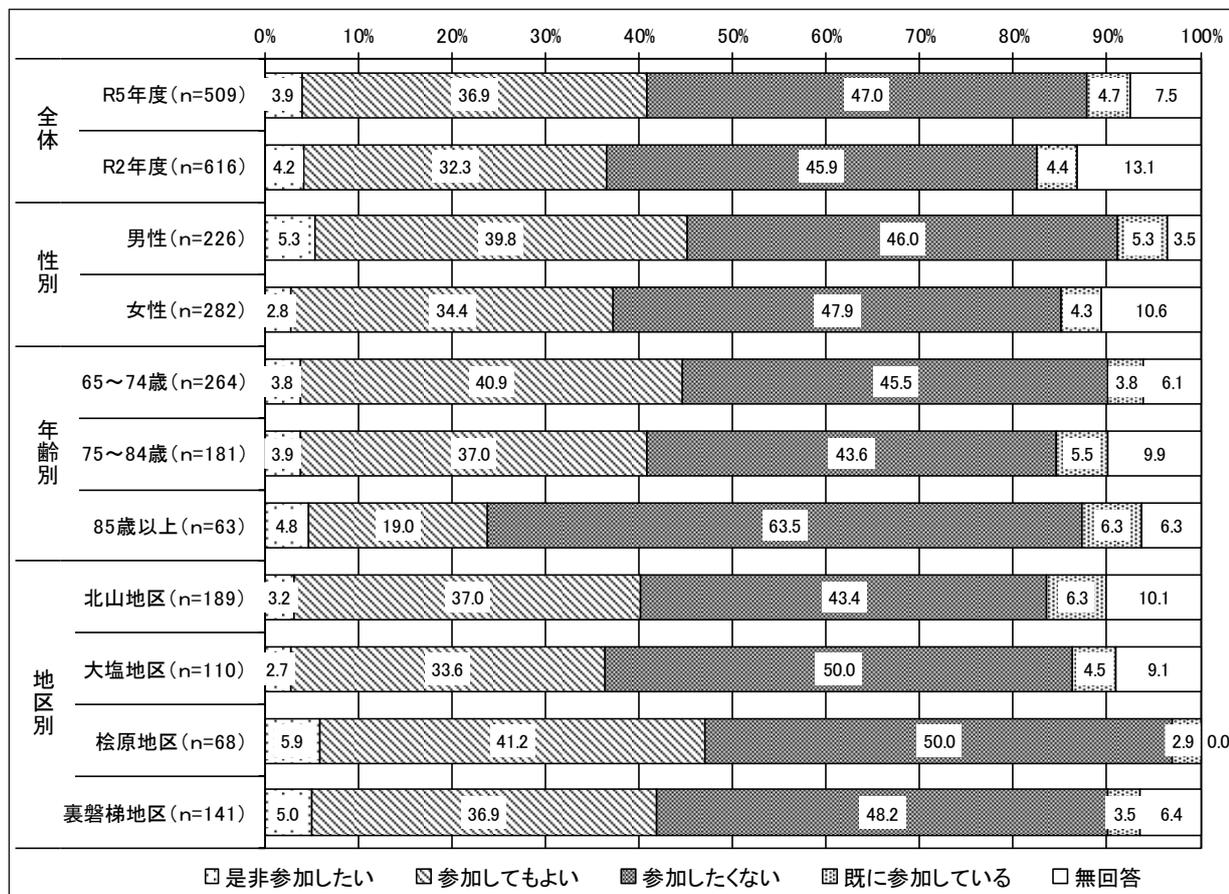
⑧収入のある仕事



(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか (☑は一つ)



(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（☑は一つ）



6 たすけあいについて

全体でみると、まわりの人との「たすけあい」については、いずれの項目も、配偶者、子ども（同居・別居）、兄弟姉妹といった親族関係の比率が高くなっている。

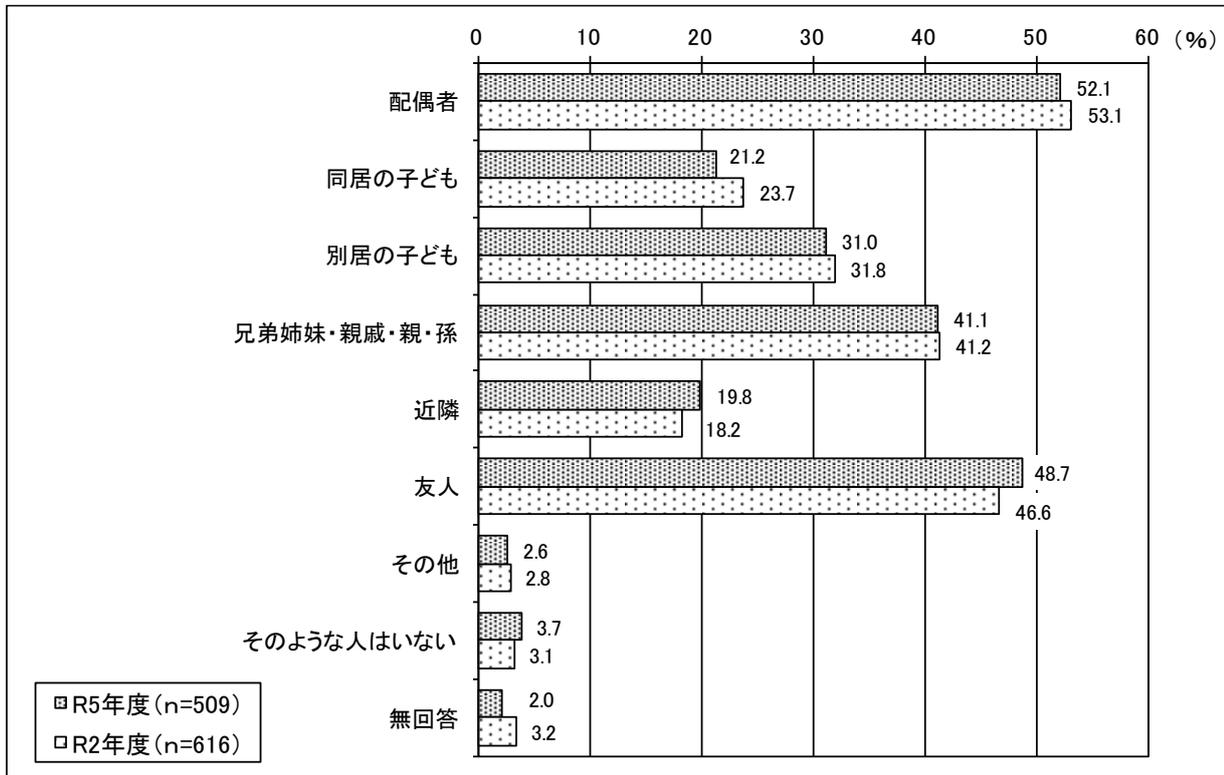
一方、「近隣」の回答が低く、ご近所や地域の人との「たすけあい」は薄くなっていると考えられる。家族や友人・知人以外の相談相手については、「医師・歯科医師・看護師」（30.8%）や「社会福祉協議会」（21.2%）の比率が高い。また、「そのような人はいない」も22.2%と高い比率となっている。

友人・知人と会う頻度については、「週に何度かある」が34.0%で最も高く、以下、「月に何度かある」が29.3%、「年に何度かある」が18.1%、「毎日ある」が9.4%であり、「ほとんどない」は5.7%となっている。

よく会う友人・知人の関係については、「近所・同じ地域の人」が65.4%と最も高く、以下、「仕事での同僚・元同僚」（31.2%）、「趣味や関心が同じ友人」と続く。

地区別では、友人・知人と会う頻度について、桧原地区で「週に何度かある」（38.2%）及び「毎日ある」（13.2%）が、他地区より高い比率となっている。

（1）あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（あてはまるものすべてに☑）

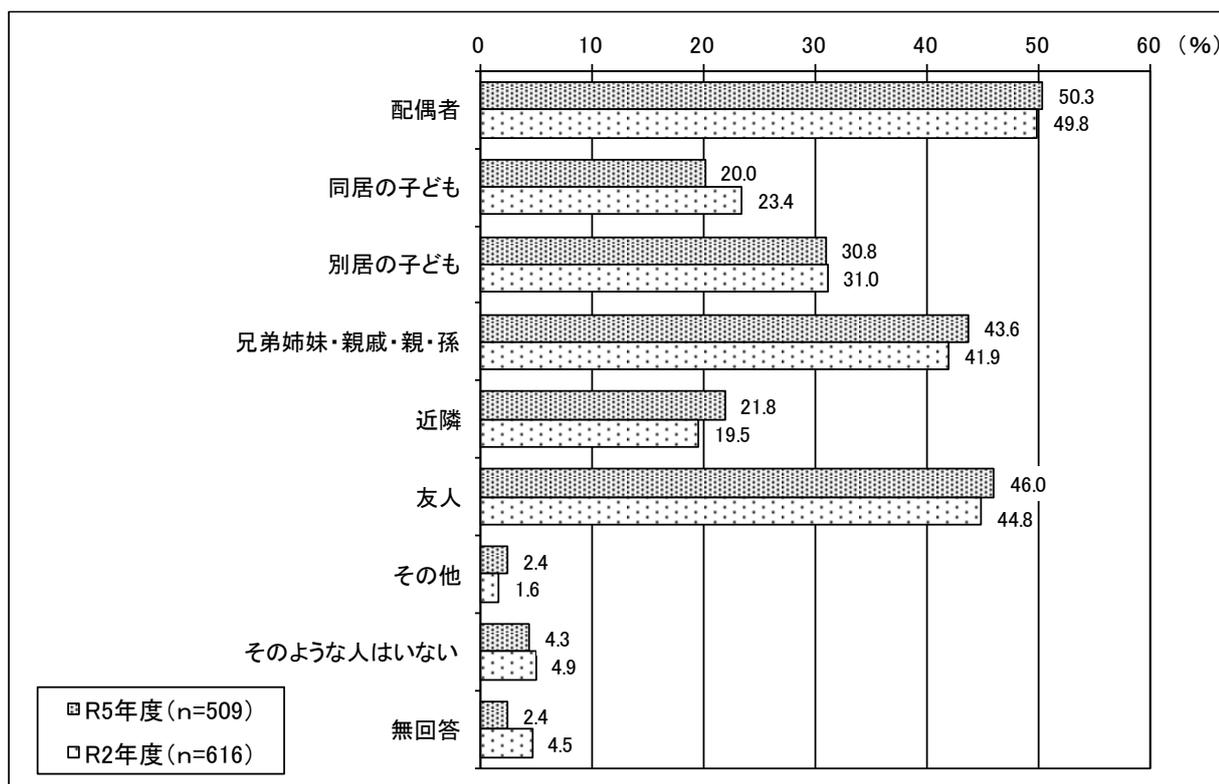


上段：人、下段：%

項目	1	2	3	4	5	6	7		
	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・ 親戚・親・孫	近隣	友人	その他		
全体	R5年度	265	108	158	209	101	248	13	
		52.1%	21.2%	31.0%	41.1%	19.8%	48.7%	2.6%	
R2年度		327	146	196	254	112	287	17	
		53.1%	23.7%	31.8%	41.2%	18.2%	46.6%	2.8%	
地区別	北山地区		101	48	60	78	32	89	7
			53.4%	25.4%	31.7%	41.3%	16.9%	47.1%	3.7%
	大塩地区		58	26	38	50	25	51	4
			52.7%	23.6%	34.5%	45.5%	22.7%	46.4%	3.6%
	桧原地区		35	14	23	28	14	36	0
			51.5%	20.6%	33.8%	41.2%	20.6%	52.9%	0.0%
	裏磐梯地区		70	20	37	53	30	72	2
			49.6%	14.2%	26.2%	37.6%	21.3%	51.1%	1.4%

項目	8	9	総回答数	回答者数		
	そのような人はいない	無回答				
全体	R5年度	19	10	1,121	509	
		3.7%	2.0%	220.2%	100.0%	
R2年度		19	20	1,358	616	
		3.1%	3.2%	220.5%	100.0%	
地区別	北山地区		6	5	421	189
			3.2%	2.6%	222.8%	100.0%
	大塩地区		4	1	256	110
			3.6%	0.9%	232.7%	100.0%
	桧原地区		3	1	153	68
			4.4%	1.5%	225.0%	100.0%
	裏磐梯地区		6	3	290	141
			4.3%	2.1%	205.7%	100.0%

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（あてはまるものすべてに☑）

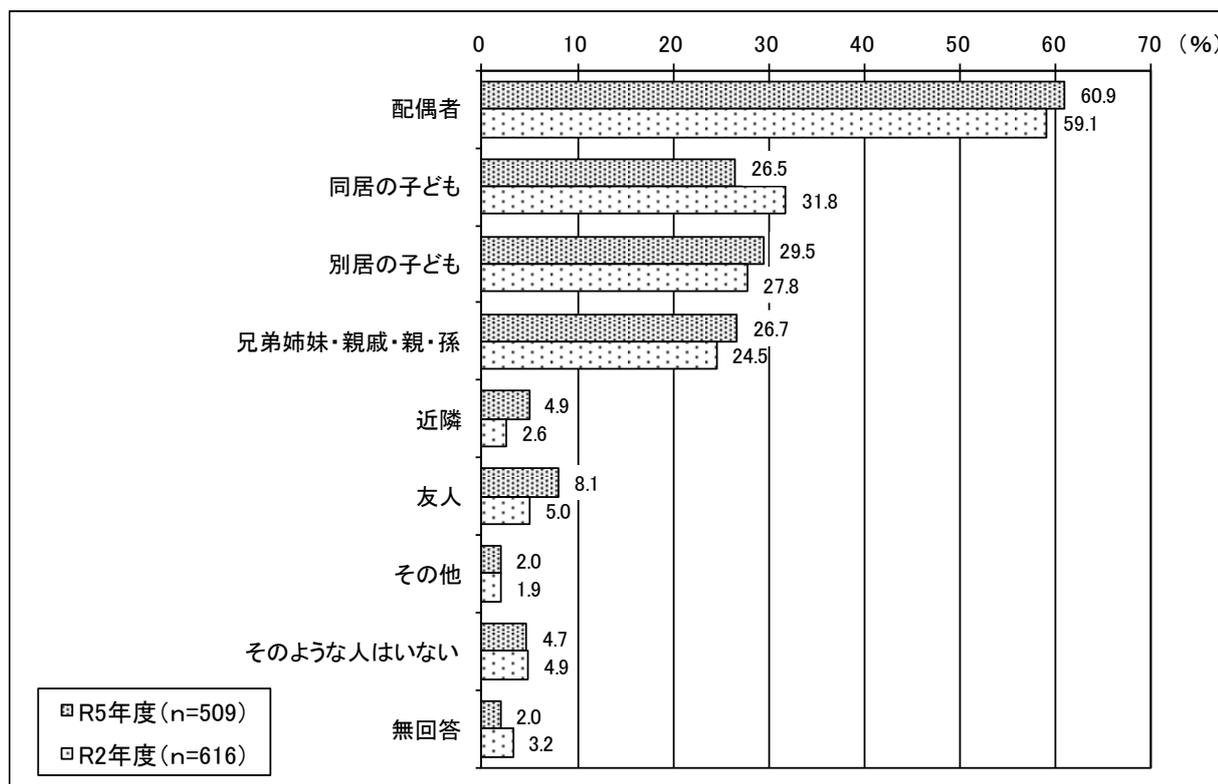


上段：人、下段：%

項目		1	2	3	4	5	6	7
		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他
全体	R5年度	256	102	157	222	111	234	12
		50.3%	20.0%	30.8%	43.6%	21.8%	46.0%	2.4%
全体	R2年度	307	144	191	258	120	276	10
		49.8%	23.4%	31.0%	41.9%	19.5%	44.8%	1.6%
地区別	北山地区	98	45	54	76	37	79	3
			51.9%	23.8%	28.6%	40.2%	19.6%	41.8%
	大塩地区	57	24	44	57	31	51	4
			51.8%	21.8%	40.0%	51.8%	28.2%	46.4%
	桧原地区	36	12	17	31	13	34	1
			52.9%	17.6%	25.0%	45.6%	19.1%	50.0%
	裏磐梯地区	65	20	42	58	30	70	4
			46.1%	14.2%	29.8%	41.1%	21.3%	49.6%

項目		8	9	総回答数	回答者数
		そのような人はいない	無回答		
全体	R5年度	22	12	1,116	509
		4.3%	2.4%	219.3%	100.0%
全体	R2年度	30	28	1,336	616
		4.9%	4.5%	216.9%	100.0%
地区別	北山地区	11	5	403	189
			5.8%	2.6%	213.2%
	大塩地区	1	1	269	110
			0.9%	0.9%	244.5%
	桧原地区	3	1	147	68
			4.4%	1.5%	216.2%
	裏磐梯地区	7	5	296	141
			5.0%	3.5%	209.9%

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（あてはまるものすべてに☑）

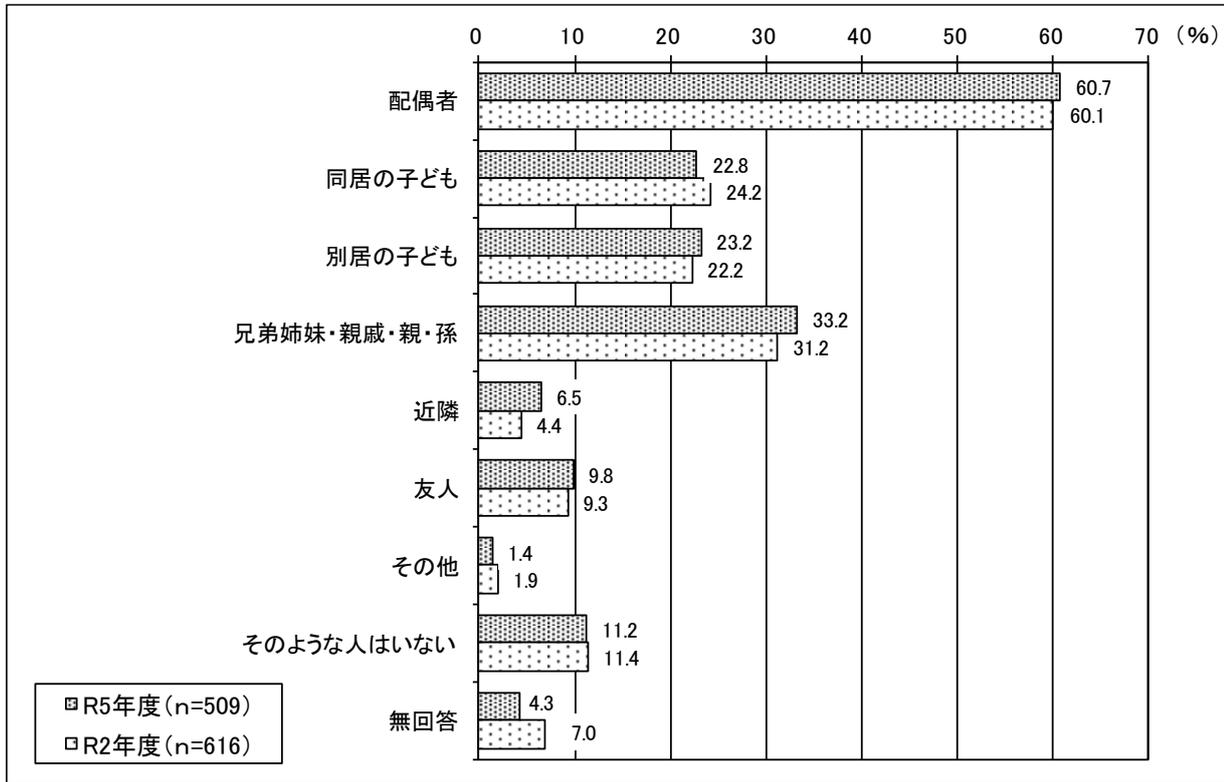


上段：人、下段：%

項目		1	2	3	4	5	6	7
		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他
全体	R5年度	310	135	150	136	25	41	10
		60.9%	26.5%	29.5%	26.7%	4.9%	8.1%	2.0%
全体	R2年度	364	196	171	151	16	31	12
		59.1%	31.8%	27.8%	24.5%	2.6%	5.0%	1.9%
地区別	北山地区	121	60	59	54	5	8	5
		64.0%	31.7%	31.2%	28.6%	2.6%	4.2%	2.6%
	大塩地区	66	31	36	36	3	8	2
		60.0%	28.2%	32.7%	32.7%	2.7%	7.3%	1.8%
	桧原地区	42	14	22	19	8	12	2
		61.8%	20.6%	32.4%	27.9%	11.8%	17.6%	2.9%
	裏磐梯地区	80	30	33	27	9	13	1
		56.7%	21.3%	23.4%	19.1%	6.4%	9.2%	0.7%

項目		8	9	総回答数	回答者数
		そのような人はいない	無回答		
全体	R5年度	24	10	831	509
		4.7%	2.0%	163.3%	100.0%
全体	R2年度	30	20	971	616
		4.9%	3.2%	157.6%	100.0%
地区別	北山地区	9	3	321	189
		4.8%	1.6%	169.8%	100.0%
	大塩地区	1	3	183	110
		0.9%	2.7%	166.4%	100.0%
	桧原地区	1	1	120	68
		1.5%	1.5%	176.5%	100.0%
	裏磐梯地区	13	3	206	141
		9.2%	2.1%	146.1%	100.0%

(4) 反対に、看病や世話をしあげる人（あてはまるものすべてに☑）

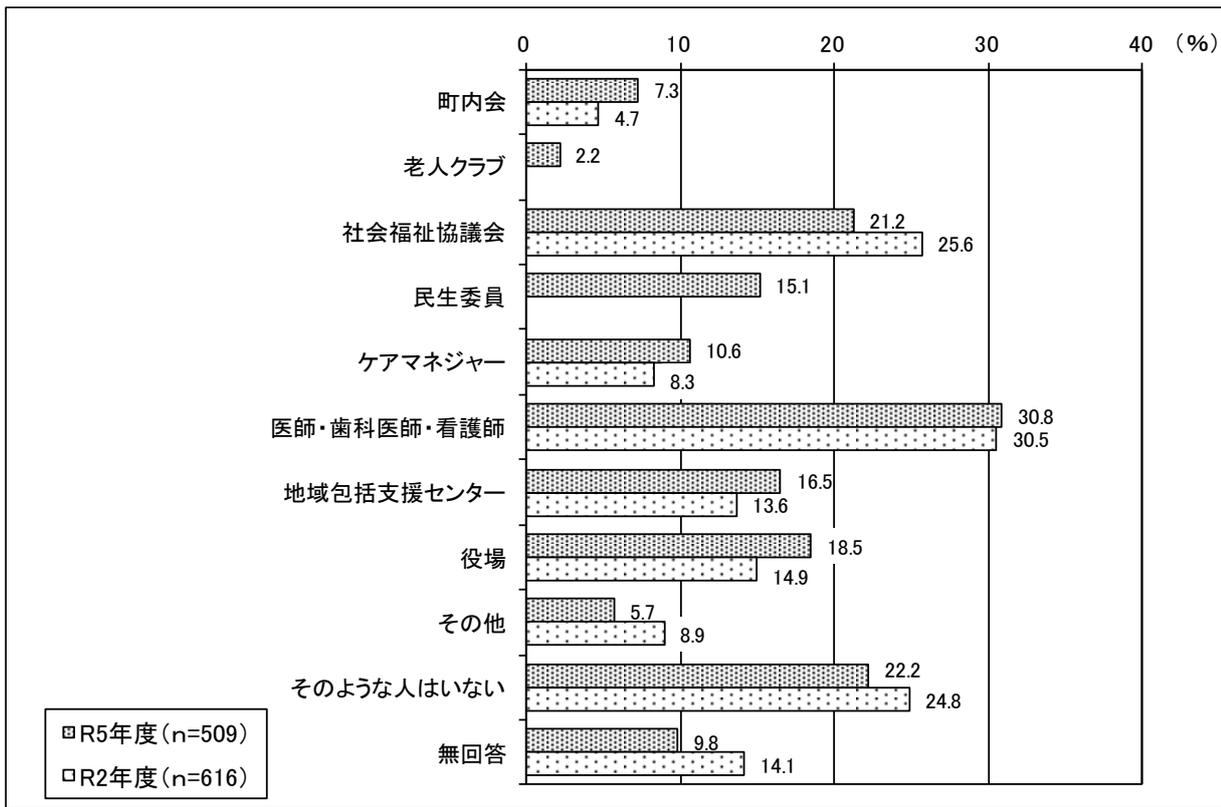


上段：人、下段：%

項目		1	2	3	4	5	6	7
		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他
全体	R5年度	309	116	118	169	33	50	7
		60.7%	22.8%	23.2%	33.2%	6.5%	9.8%	1.4%
R2年度		370	149	137	192	27	57	12
		60.1%	24.2%	22.2%	31.2%	4.4%	9.3%	1.9%
地区別	北山地区	115	49	43	62	9	10	3
		60.8%	25.9%	22.8%	32.8%	4.8%	5.3%	1.6%
	大塩地区	67	31	31	47	4	9	1
		60.9%	28.2%	28.2%	42.7%	3.6%	8.2%	0.9%
桧原地区		42	9	17	21	8	16	1
		61.8%	13.2%	25.0%	30.9%	11.8%	23.5%	1.5%
裏磐梯地区	84	27	27	39	12	15	2	
	59.6%	19.1%	19.1%	27.7%	8.5%	10.6%	1.4%	

項目		8	9	総回答数	回答者数
		そのような人はいない	無回答		
全体	R5年度	57	22	859	509
		11.2%	4.3%	168.8%	100.0%
R2年度		70	43	1,014	616
		11.4%	7.0%	164.6%	100.0%
地区別	北山地区	29	8	320	189
		15.3%	4.2%	169.3%	100.0%
	大塩地区	9	6	199	110
		8.2%	5.5%	180.9%	100.0%
桧原地区		3	4	117	68
		4.4%	5.9%	172.1%	100.0%
裏磐梯地区	16	4	222	141	
	11.3%	2.8%	157.4%	100.0%	

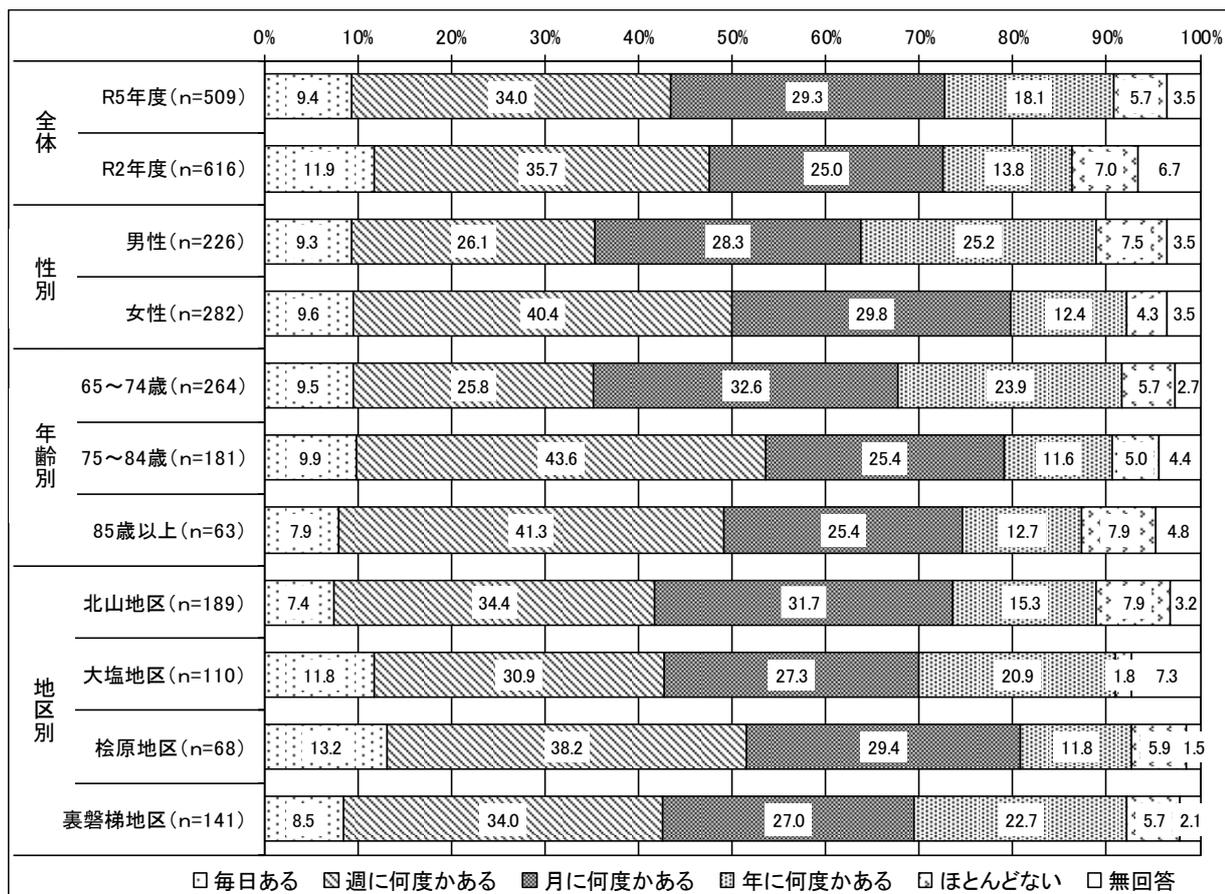
(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（あてはまるものすべてに☑）



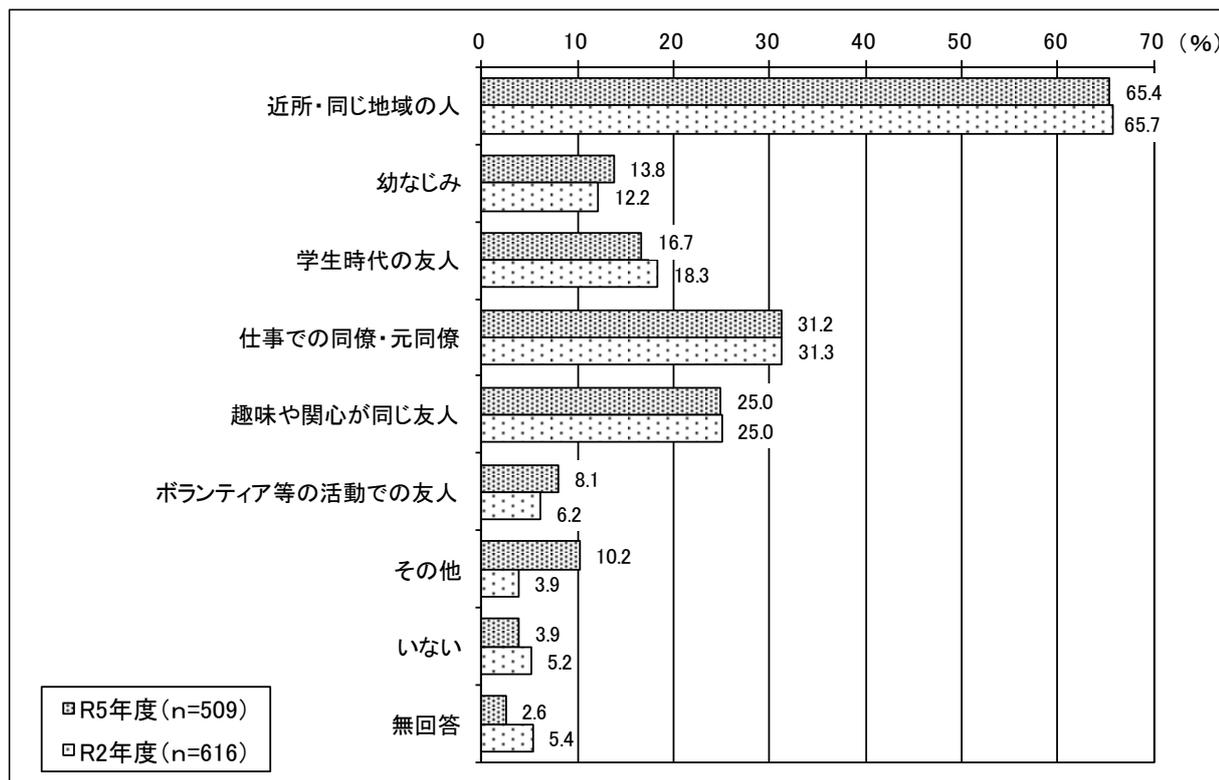
項目		上段：人、下段：%						
		1 町内会	2 老人クラブ	3 社会福祉協議会	4 民生委員	5 ケアマネジャー	6 医師・歯科医師・看護師	7 地域包括支援センター
全体	R5年度	37 7.3%	11 2.2%	108 21.2%	77 15.1%	54 10.6%	157 30.8%	84 16.5%
	R2年度	29 4.7%	-	158 25.6%	-	51 8.3%	188 30.5%	84 13.6%
地区別	北山地区	16 8.5%	4 2.1%	47 24.9%	31 16.4%	24 12.7%	54 28.6%	32 16.9%
	大塩地区	7 6.4%	2 1.8%	26 23.6%	18 16.4%	8 7.3%	32 29.1%	18 16.4%
	桧原地区	5 7.4%	4 5.9%	17 25.0%	14 20.6%	9 13.2%	29 42.6%	15 22.1%
	裏磐梯地区	9 6.4%	1 0.7%	18 12.8%	13 9.2%	13 9.2%	42 29.8%	19 13.5%
		-	-	-	-	-	-	-

項目		8 役場	9 その他	10 そのような人はいない	11 無回答	総回答数	回答者数
		全体	R5年度	94 18.5%	29 5.7%		
	R2年度	92 14.9%	55 8.9%	153 24.8%	87 14.1%	810 131.5%	616 100.0%
地区別	北山地区	45 23.8%	8 4.2%	38 20.1%	21 11.1%	299 158.2%	189 100.0%
	大塩地区	20 18.2%	7 6.4%	26 23.6%	11 10.0%	164 149.1%	110 100.0%
	桧原地区	9 13.2%	4 5.9%	10 14.7%	5 7.4%	116 170.6%	68 100.0%
	裏磐梯地区	20 14.2%	10 7.1%	39 27.7%	13 9.2%	184 130.5%	141 100.0%
		-	-	-	-	-	-

(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか (☑は一つ)



(7) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか（あてはまるものすべてに☑）



上段: 人、下段: %

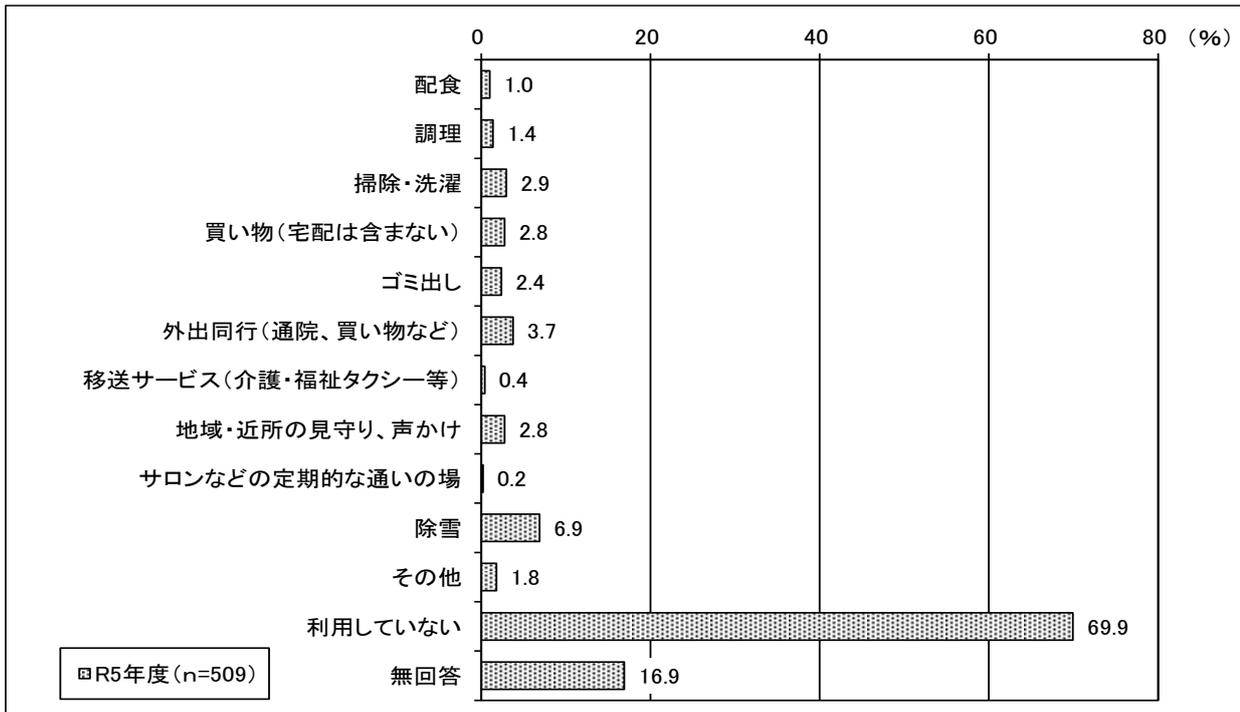
項目		1	2	3	4	5	6	7
		近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動での友人	その他
全体	R5年度	333	70	85	159	127	41	52
		65.4%	13.8%	16.7%	31.2%	25.0%	8.1%	10.2%
R2年度	405	75	113	193	154	38	24	
		65.7%	12.2%	18.3%	31.3%	25.0%	6.2%	3.9%
地区別	北山地区	118	31	35	65	51	21	19
			62.4%	16.4%	18.5%	34.4%	27.0%	11.1%
	大塩地区	68	16	22	36	32	11	15
			61.8%	14.5%	20.0%	32.7%	29.1%	10.0%
	桧原地区	54	11	6	17	11	4	3
			79.4%	16.2%	8.8%	25.0%	16.2%	5.9%
裏磐梯地区	93	12	22	40	33	5	15	
		66.0%	8.5%	15.6%	28.4%	23.4%	3.5%	10.6%

項目		8	9	総回答数	回答者数
		いない	無回答		
全体	R5年度	20	13	887	509
		3.9%	2.6%	174.3%	100.0%
R2年度	32	33	1,034	616	
		5.2%	5.4%	167.9%	100.0%
地区別	北山地区	10	5	350	189
			5.3%	2.6%	185.2%
	大塩地区	0	4	200	110
			0.0%	3.6%	181.8%
	桧原地区	2	1	108	68
			2.9%	1.5%	158.8%
裏磐梯地区	8	3	228	141	
		5.7%	2.1%	161.7%	100.0%

(8) 現在、利用している、「介護保険など公的サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（あてはまるものすべてに☑）

現在、利用している、「介護保険など公的サービス以外」の支援・サービスについては、「利用していない」が69.9%と多数を占める。

利用している支援・サービスでは、「除雪」が6.9%で最も高く、以下、「外出同行（通院、買い物など）」（3.7%）、「掃除・洗濯」（2.9%）、「買い物（宅配は含まない）」及び「地域・近所の見守り、声かけ」（ともに2.8%）と続く。

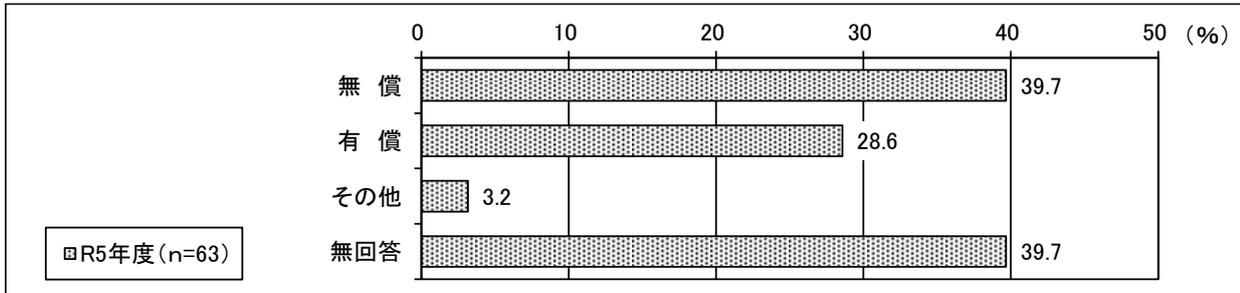


項目	上段:人、下段:%								
	1 配食	2 調理	3 掃除・洗濯	4 買い物(宅配は含まない)	5 ゴミ出し	6 外出同行(通院、買い物など)	7 移送サービス(介護・福祉タクシー等)	8 地域・近所の見守り、声かけ	
全体	R5年度	5	7	15	14	12	19	2	14
		1.0%	1.4%	2.9%	2.8%	2.4%	3.7%	0.4%	2.8%
地区別	北山地区	2	4	8	7	6	10	1	6
		1.1%	2.1%	4.2%	3.7%	3.2%	5.3%	0.5%	3.2%
	大塩地区	3	1	0	2	1	4	0	4
		2.7%	0.9%	0.0%	1.8%	0.9%	3.6%	0.0%	3.6%
	桧原地区	0	1	2	2	3	2	0	2
	0.0%	1.5%	2.9%	2.9%	4.4%	2.9%	0.0%	2.9%	
裏磐梯地区	0	1	5	3	2	3	1	2	
	0.0%	0.7%	3.5%	2.1%	1.4%	2.1%	0.7%	1.4%	
項目	9 サロンなどの定期的な通いの場	10 除雪	11 その他	12 利用していない	13 無回答	総回答数	回答者数		
全体	R5年度	1	35	9	356	86	489	509	
		0.2%	6.9%	1.8%	69.9%	16.9%	96.1%	100.0%	
地区別	北山地区	1	14	4	129	33	192	189	
		0.5%	7.4%	2.1%	68.3%	17.5%	101.6%	100.0%	
	大塩地区	0	2	2	79	20	98	110	
		0.0%	1.8%	1.8%	71.8%	18.2%	89.1%	100.0%	
	桧原地区	0	6	0	47	12	65	68	
	0.0%	8.8%	0.0%	69.1%	17.6%	95.6%	100.0%		
裏磐梯地区	0	13	3	100	21	133	141		
	0.0%	9.2%	2.1%	70.9%	14.9%	94.3%	100.0%		

【(8)において「1.」～「10.」の方のみ】

(9) どんなところを利用していますか () 内に利用先等を記入ください (あてはまるものすべて記入)

どんなところを利用しているかについては、「無償」が 39.7%、「有償」が 28.6%となっている。なお、利用先については、無償は“社会福祉協議会”や“近所の方”、有償は“ヘルパーセンター”や“スーパー”などの回答があった。



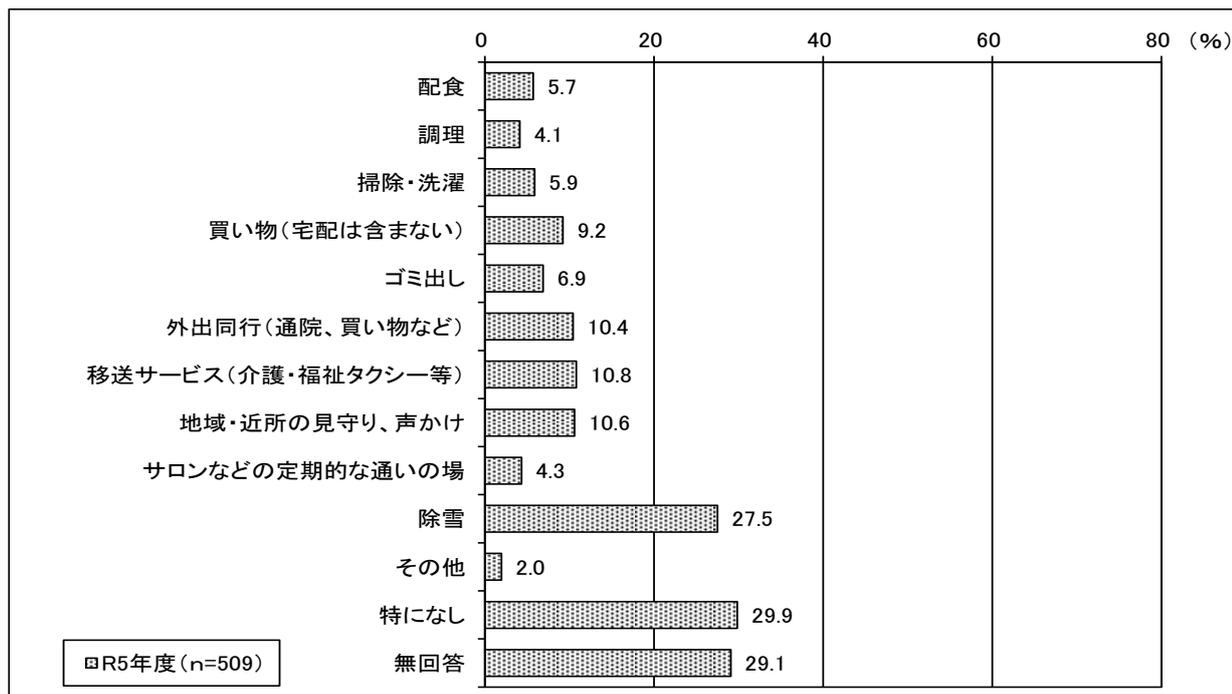
上段:人、下段:%

項目	上段:人、下段:%				総回答数	回答者数	
	1 無償	2 有償	3 その他	4 無回答			
全体	25	18	2	25	45	63	
	39.7%	28.6%	3.2%	39.7%	71.4%	100.0%	
地区別	北山地区	13	8	0	7	21	25
		52.0%	32.0%	0.0%	28.0%	84.0%	100.0%
	大塩地区	2	1	0	8	3	10
		20.0%	10.0%	0.0%	80.0%	30.0%	100.0%
	桧原地区	5	2	1	3	8	9
		55.6%	22.2%	11.1%	33.3%	88.9%	100.0%
	裏磐梯地区	5	7	1	7	13	19
		26.3%	36.8%	5.3%	36.8%	68.4%	100.0%

(10) 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（あてはまるものすべてに☑）

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）については、「特になし」が29.9%と最も高い。

必要と感じる支援・サービスでは、「除雪」が27.5%と最も高く、以下、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（10.8%）、「地域・近所の見守り、声かけ」（10.6%）、「外出同行（通院、買い物など）」（10.4%）と続く。



項目		上段: 人、下段: %							
		1	2	3	4	5	6	7	8
全体	R5年度	29	21	30	47	35	53	55	54
		5.7%	4.1%	5.9%	9.2%	6.9%	10.4%	10.8%	10.6%
地区別	北山地区	15	13	15	26	19	19	25	26
		7.9%	6.9%	7.9%	13.8%	10.1%	10.1%	13.2%	13.8%
	大塩地区	5	0	7	4	6	12	10	6
		4.5%	0.0%	6.4%	3.6%	5.5%	10.9%	9.1%	5.5%
	桧原地区	4	4	3	10	5	10	6	14
	5.9%	5.9%	4.4%	14.7%	7.4%	14.7%	8.8%	20.6%	
裏磐梯地区	5	4	5	7	5	11	14	8	
	3.5%	2.8%	3.5%	5.0%	3.5%	7.8%	9.9%	5.7%	
項目		9	10	11	12	13	総回答数	回答者数	
		サロンなどの定期的な通いの場	除雪	その他	特になし	無回答			
全体	R5年度	22	140	10	152	148	648	509	
		4.3%	27.5%	2.0%	29.9%	29.1%	127.3%	100.0%	
地区別	北山地区	17	47	3	54	61	279	189	
		9.0%	24.9%	1.6%	28.6%	32.3%	147.6%	100.0%	
	大塩地区	1	22	3	37	39	113	110	
		0.9%	20.0%	2.7%	33.6%	35.5%	102.7%	100.0%	
	桧原地区	1	19	0	20	15	96	68	
	1.5%	27.9%	0.0%	29.4%	22.1%	141.2%	100.0%		
裏磐梯地区	3	52	4	41	33	159	141		
	2.1%	36.9%	2.8%	29.1%	23.4%	112.8%	100.0%		

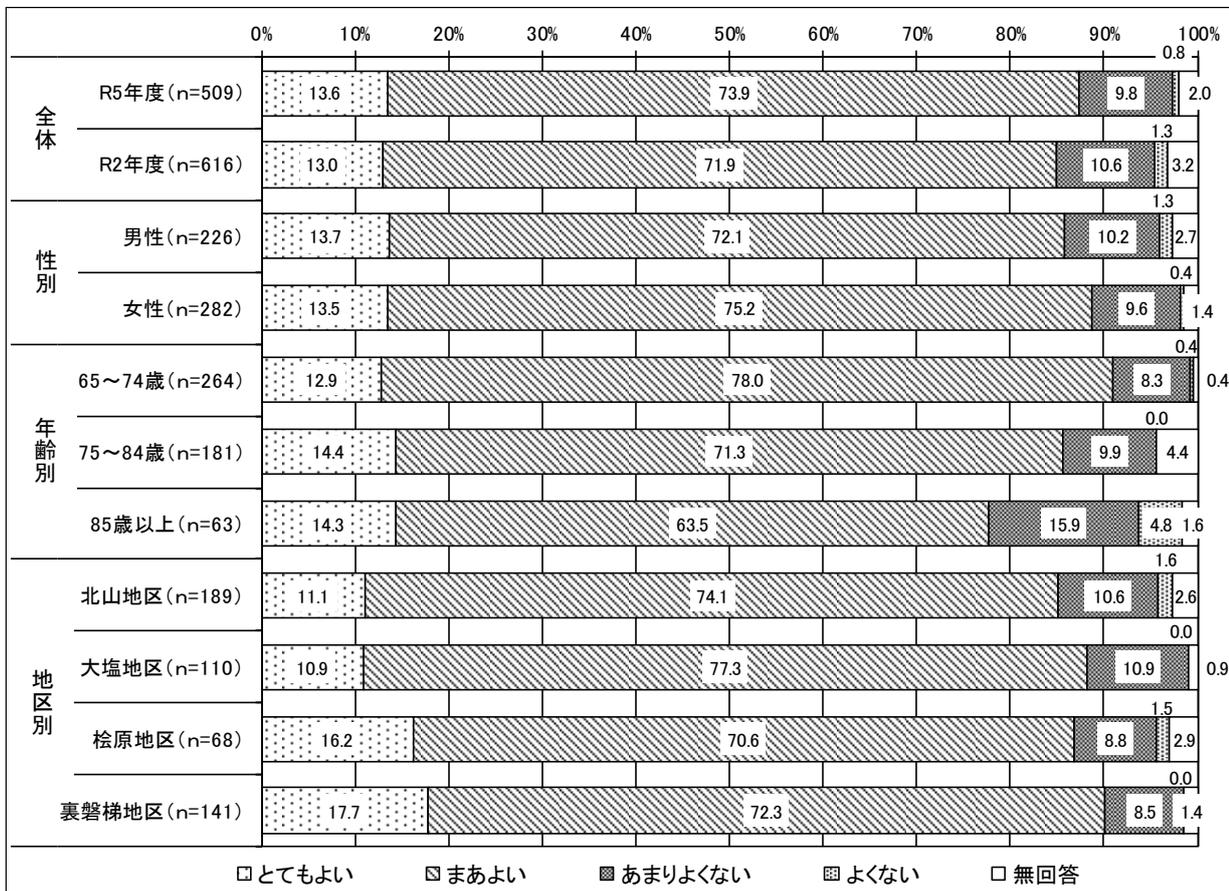
7 健康について

1. 健康感

健康状態については、「まあよい」が73.9%と多数を占めており、「とてもよい」(13.6%)と合わせて“よい”が87.5%である。一方、「あまりよくない」(9.8%)と「よくない」(0.8%)を合わせて“よくない”は10.6%となっている。

地区別にみると、「とてもよい」と「まあよい」を合わせた“よい”は、裏磐梯地区が9割と高い比率となっている。

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (☑は一つ)



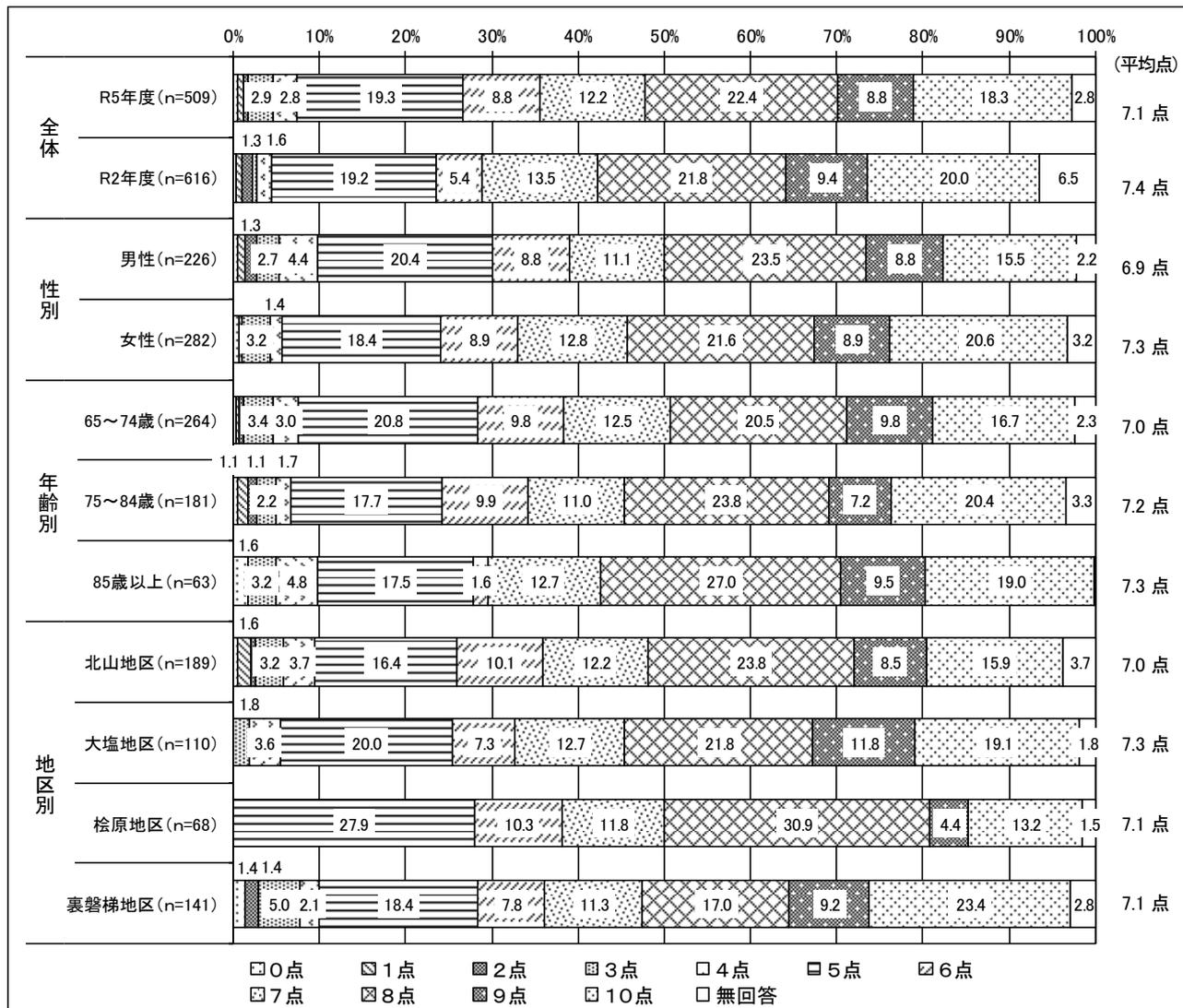
2. 幸せ度

幸せの度合いについて、とても不幸を0点、とても幸せを10点とすると、「8点」が22.4%と最も高く、以下、「5点」(19.3%)、「10点」(18.3%)、「7点」(12.2%)、「6点」及び「9点」(ともに8.8%)と続いており、平均(無回答を除く)は7.1点となる。

地区別にみると、「10点」は裏磐梯地区(23.4%)で2割を超え、全体の比率を上回っている。

(2) あなたは、現在どの程度幸せですか(☑は一つ)

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください。)

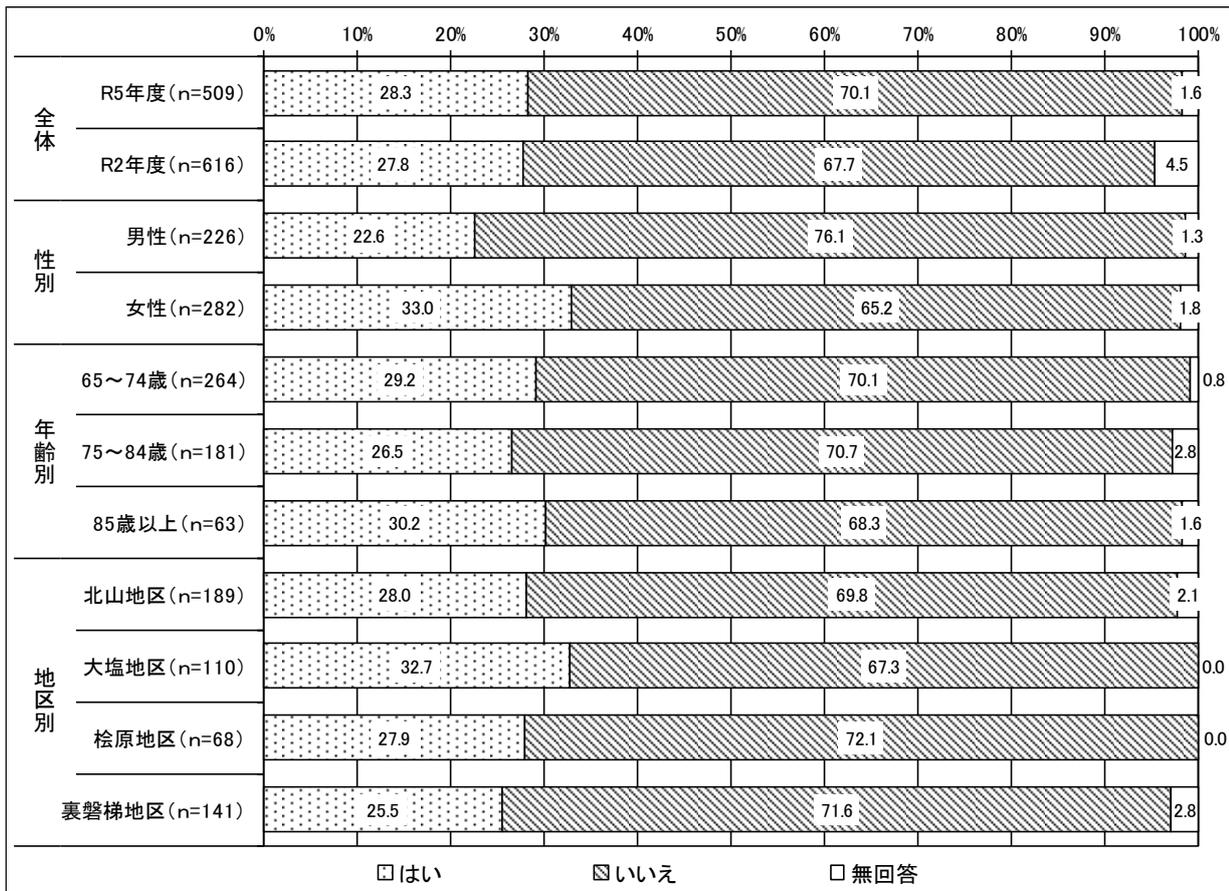


3. うつ傾向

「はい」の回答をみると、(この1か月間)「気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったか」については28.3%となっており、「どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったか」については19.4%である。

性別では女性で、地区別では大塩地区で、「はい」の回答率が高くなっている。

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (☑は一つ)

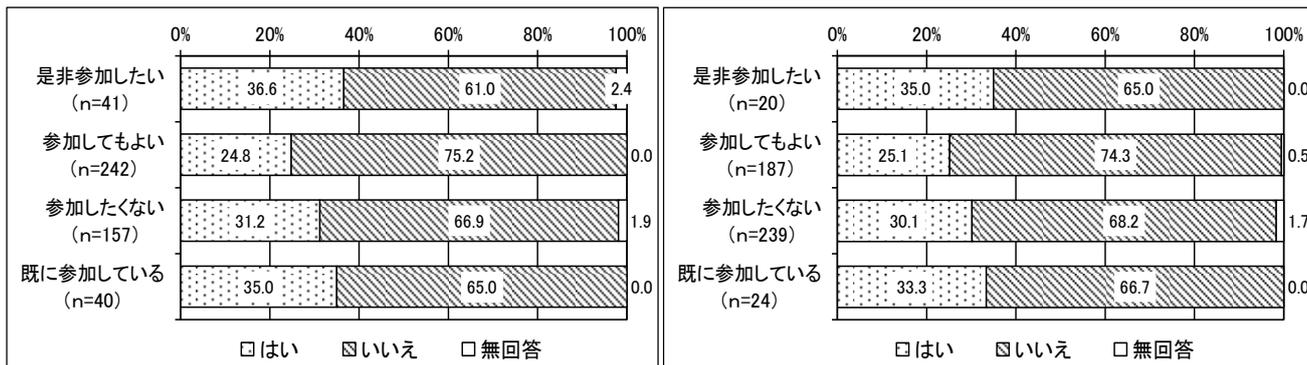


健康づくり等活動への参加者としての参加意向については、「是非参加したい」が36.6%と最も高く、「参加してもよい」(24.8%)と合わせて、参加意向がある方は61.4%と多数を占め、「参加したくない」は31.2%となっている。

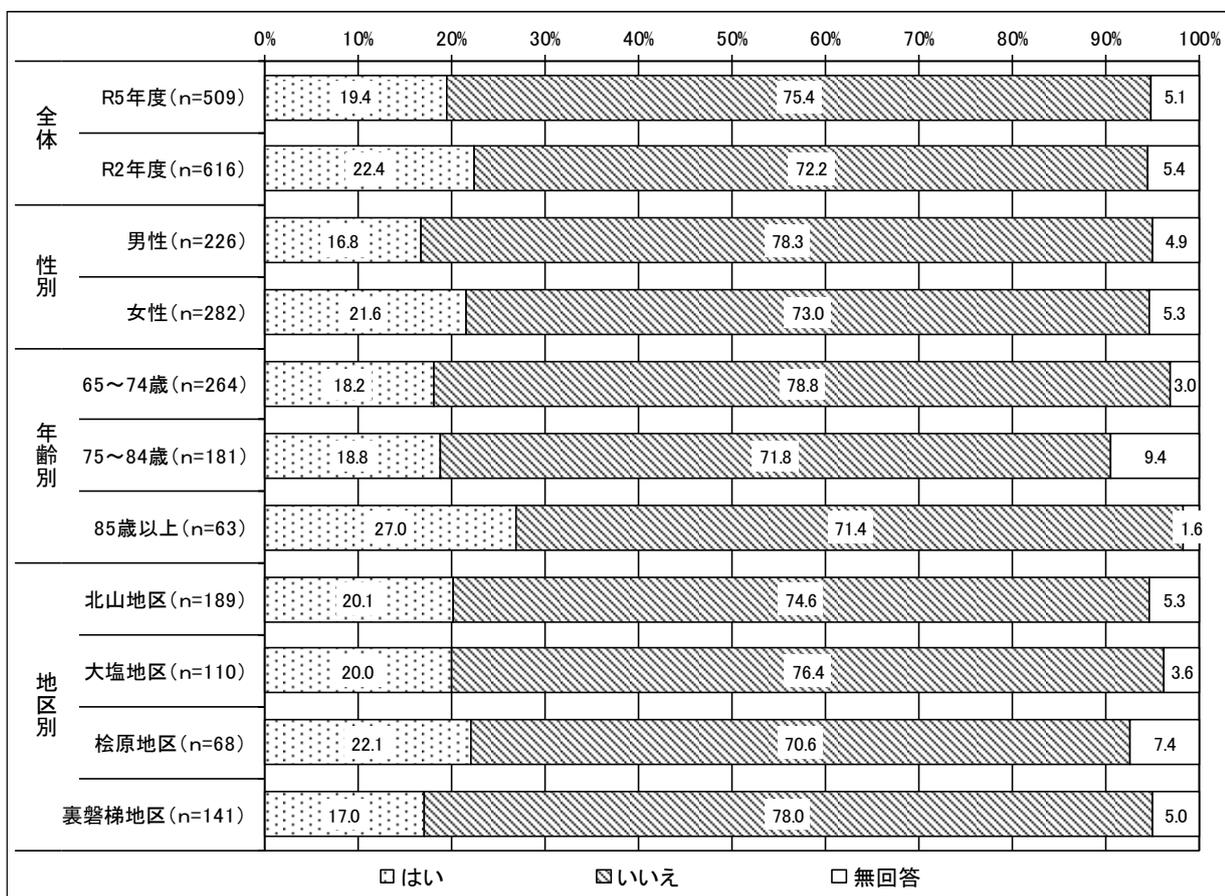
健康づくり等活動への企画・運営としての参加意向については、「是非参加したい」が35.0%、「参加してもよい」(25.1%)と合わせて、参加意向がある方は60.1%であり、「参加したくない」は30.1%となっている。

◇地域づくり活動への参加者として参加 (45頁参照)

◇地域づくり活動への企画・運営として参加 (46頁参照)



(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (☑は一つ)



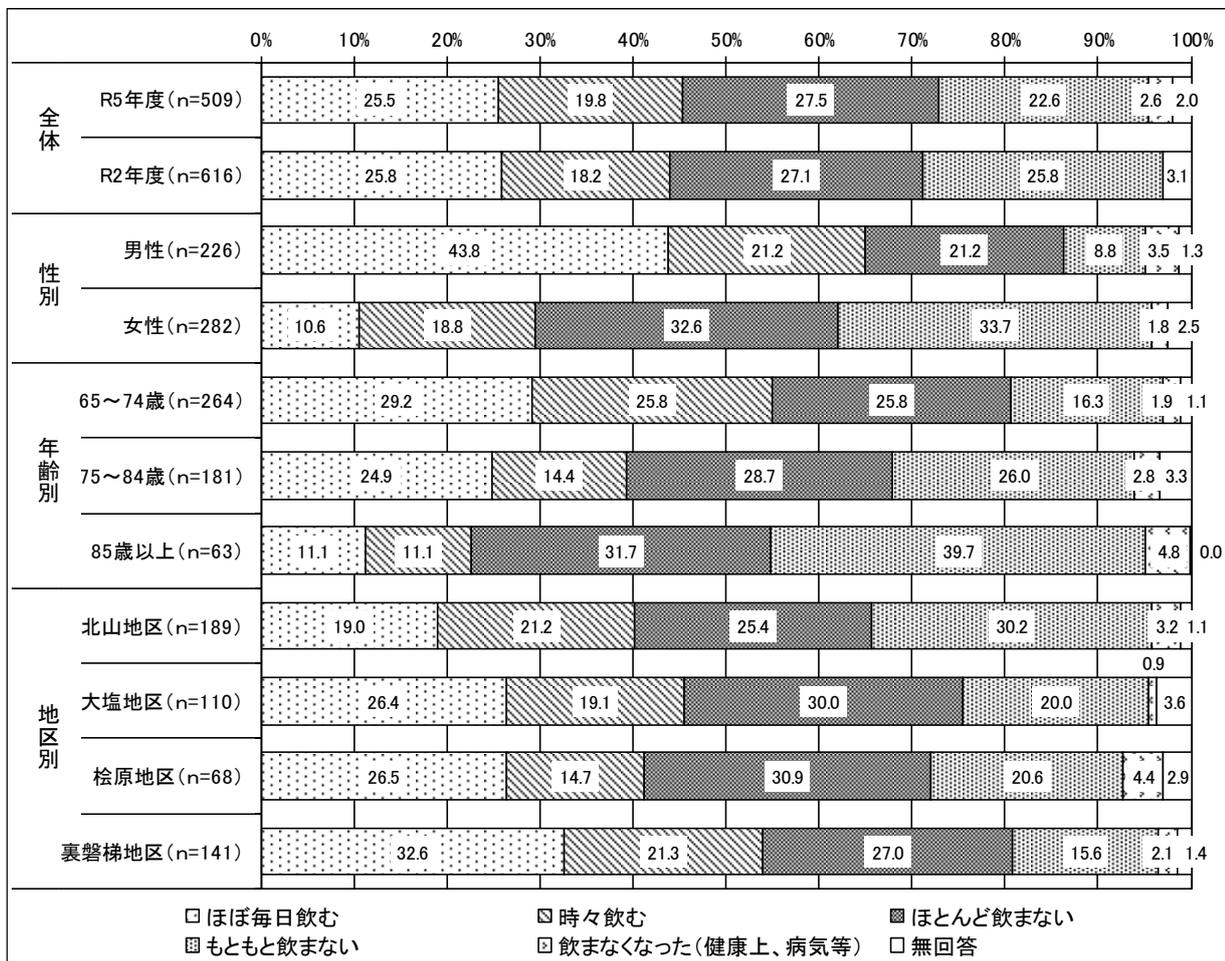
4. 飲酒・喫煙状況

飲酒の状況については、「ほとんど飲まない」が27.5%と最も高く、「ほぼ毎日飲む」が25.5%、「もともと飲まない」が22.6%、「時々飲む」が19.8%、「飲まなくなった（健康上、病気等）」が2.6%となっている。

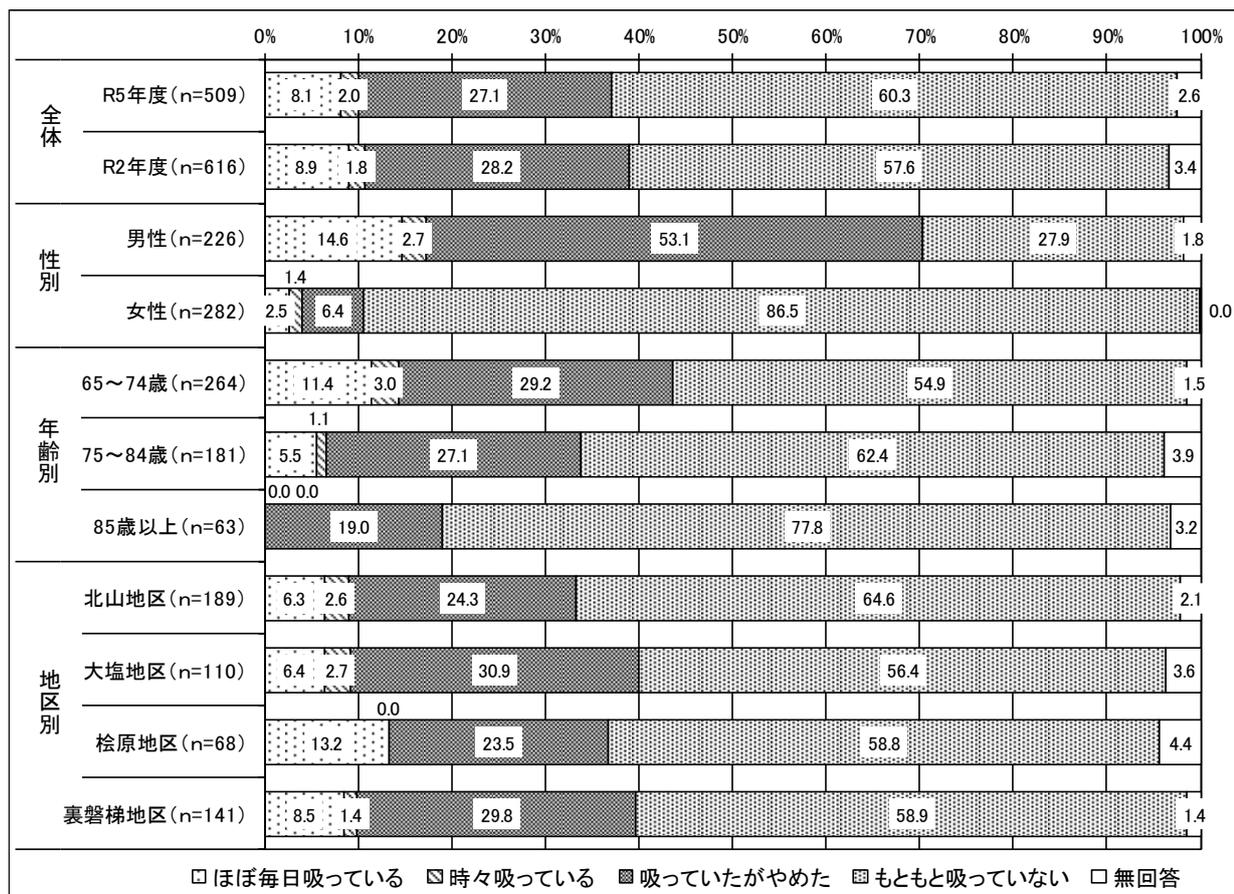
喫煙の状況については、「もともと吸っていない」が60.3%と多数を占め、「吸っていたがやめた」が27.1%、「ほぼ毎日吸っている」が8.1%、「時々吸っている」が2.0%となっている。

性別では、「ほぼ毎日飲む」は男性が43.8%と、女性の10.6%を大きく上回っている。喫煙においても、「ほぼ毎日吸っている」は男性が14.6%と、女性の2.5%を12.1ポイント上回っている。

(5) お酒は飲みますか（☑は一つ）



(6) タバコは吸っていますか (☑は一つ)

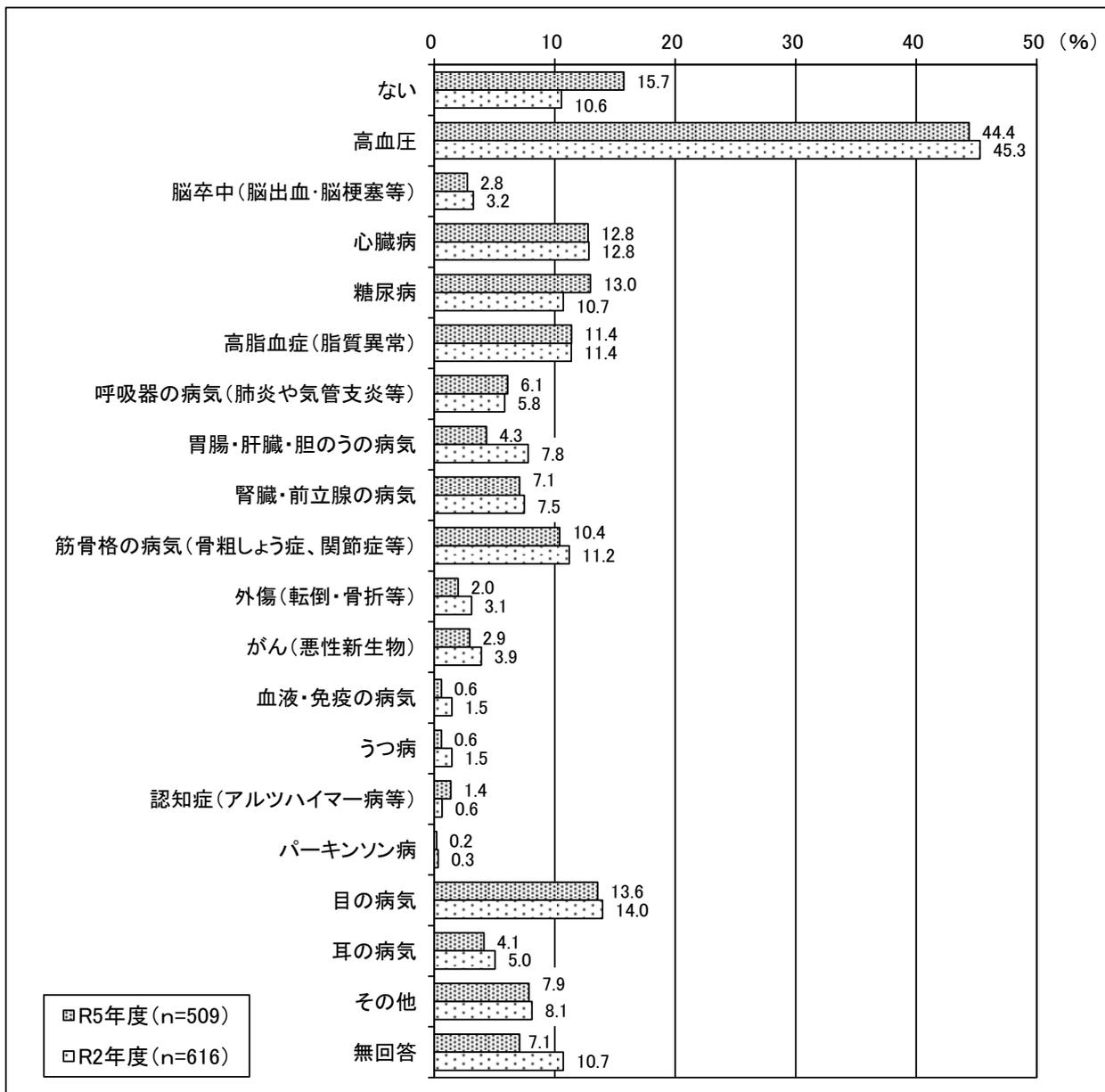


5. 病気治療

現在治療中、または後遺症のある病気については、「高血圧」が44.4%と最も高く、以下、「目の病気」(13.6%)、「糖尿病」(13.0%)、「心臓病」(12.8%)、「高脂血症(脂質異常)」(11.4%)、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」(10.4%)と続き、「ない」は15.7%となっている。

地区別では、全体と同様「高血圧」、「心臓病」、「糖尿病」、「高脂血症(脂質異常)」、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」、「目の病気」が上位に挙げられ、特に桧原地区では「高血圧」が52.9%と高くなっている。

(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(あてはまるものすべてに☑)



上段：人、下段：%

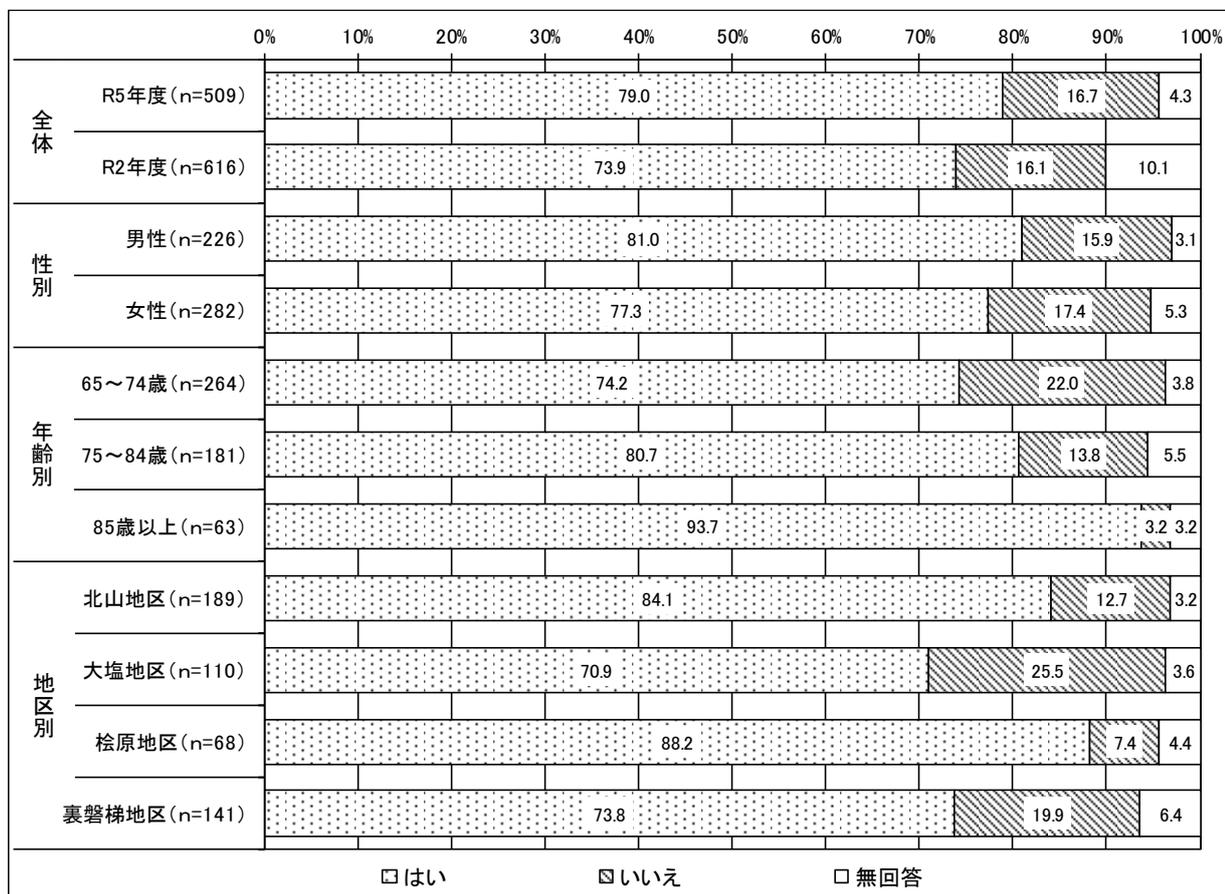
項目		1	2	3	4	5	6	7
		ない	高血圧	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症(脂質異常)	呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)
全体	R5年度	80	226	14	65	66	58	31
		15.7%	44.4%	2.8%	12.8%	13.0%	11.4%	6.1%
全体	R2年度	65	279	20	79	66	70	36
		10.6%	45.3%	3.2%	12.8%	10.7%	11.4%	5.8%
地区別	北山地区	24	83	10	32	24	29	13
		12.7%	43.9%	5.3%	16.9%	12.7%	15.3%	6.9%
	大塩地区	20	48	1	13	9	5	8
		18.2%	43.6%	0.9%	11.8%	8.2%	4.5%	7.3%
	桧原地区	9	36	1	9	11	10	2
		13.2%	52.9%	1.5%	13.2%	16.2%	14.7%	2.9%
裏磐梯地区	26	59	2	11	22	14	8	
	18.4%	41.8%	1.4%	7.8%	15.6%	9.9%	5.7%	

項目		8	9	10	11	12	13	14
		胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)	外傷(転倒・骨折等)	がん(悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病
全体	R5年度	22	36	53	10	15	3	3
		4.3%	7.1%	10.4%	2.0%	2.9%	0.6%	0.6%
全体	R2年度	48	46	69	19	24	9	9
		7.8%	7.5%	11.2%	3.1%	3.9%	1.5%	1.5%
地区別	北山地区	11	17	24	3	9	2	1
		5.8%	9.0%	12.7%	1.6%	4.8%	1.1%	0.5%
	大塩地区	6	5	14	4	2	0	0
		5.5%	4.5%	12.7%	3.6%	1.8%	0.0%	0.0%
	桧原地区	3	3	4	1	3	1	1
		4.4%	4.4%	5.9%	1.5%	4.4%	1.5%	1.5%
裏磐梯地区	2	11	11	2	1	0	1	
	1.4%	7.8%	7.8%	1.4%	0.7%	0.0%	0.7%	

項目		15	16	17	18	19	20	総回答数	回答者数
		認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答		
全体	R5年度	7	1	69	21	40	36	820	509
		1.4%	0.2%	13.6%	4.1%	7.9%	7.1%	161.1%	100.0%
全体	R2年度	4	2	86	31	50	66	1,012	616
		0.6%	0.3%	14.0%	5.0%	8.1%	10.7%	164.3%	100.0%
地区別	北山地区	2	0	25	10	16	10	335	189
		1.1%	0.0%	13.2%	5.3%	8.5%	5.3%	177.2%	100.0%
	大塩地区	1	1	16	3	8	6	164	110
		0.9%	0.9%	14.5%	2.7%	7.3%	5.5%	149.1%	100.0%
	桧原地区	1	0	10	3	4	5	112	68
		1.5%	0.0%	14.7%	4.4%	5.9%	7.4%	164.7%	100.0%
裏磐梯地区	3	0	18	5	12	15	208	141	
	2.1%	0.0%	12.8%	3.5%	8.5%	10.6%	147.5%	100.0%	

(8) 定期的に医療機関に通院し、毎日飲む薬を処方されていますか (☑は一つ)
 (「1. はい」と答えた方は()に服用している薬をご記入ください)

定期的に医療機関に通院し、毎日飲む薬を処方されているかについては、「はい」が79.0%と多数を占め、「いいえ」は16.7%となっている。なお、服用している薬については“高血圧の薬”や“糖尿病の薬”、“コレステロールの薬”などの回答が多数あった。



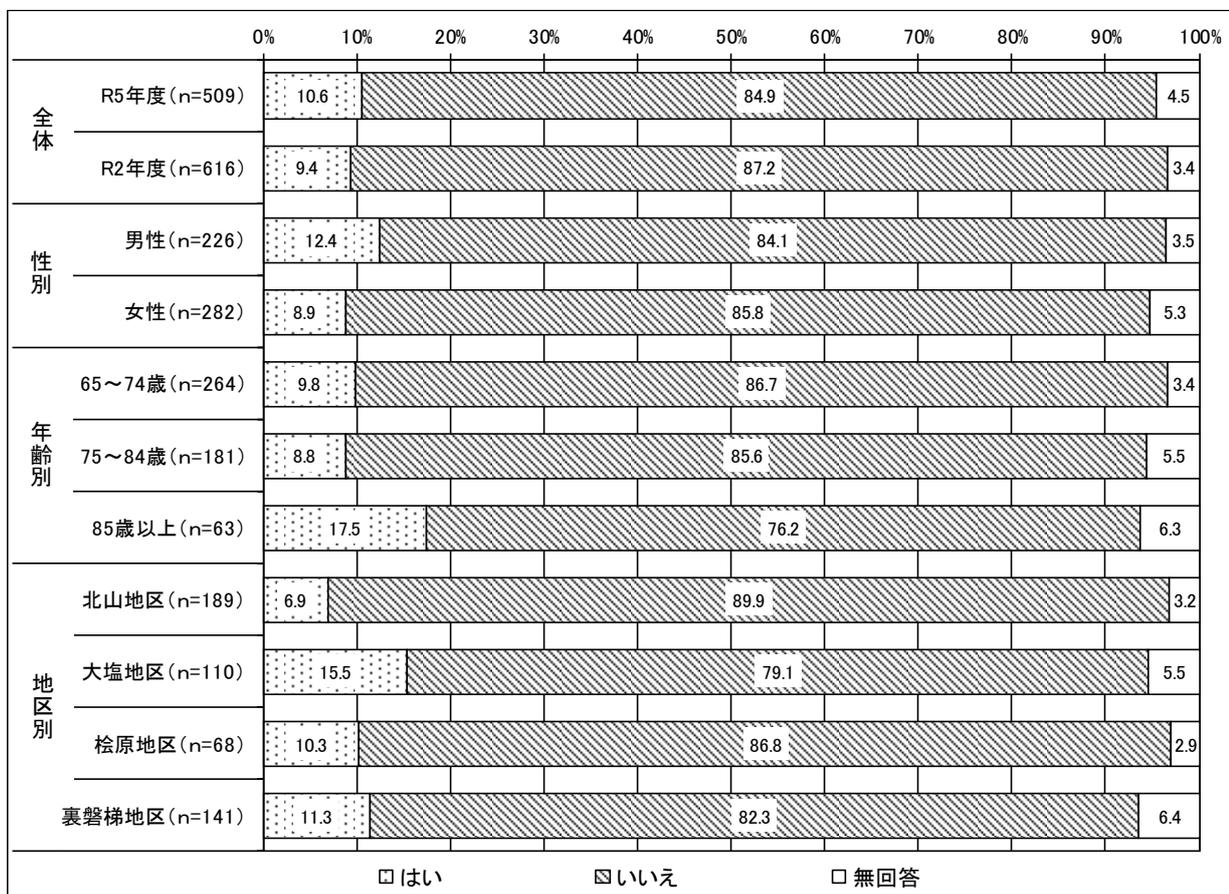
8 認知症にかかる相談窓口の把握について

1. 認知症

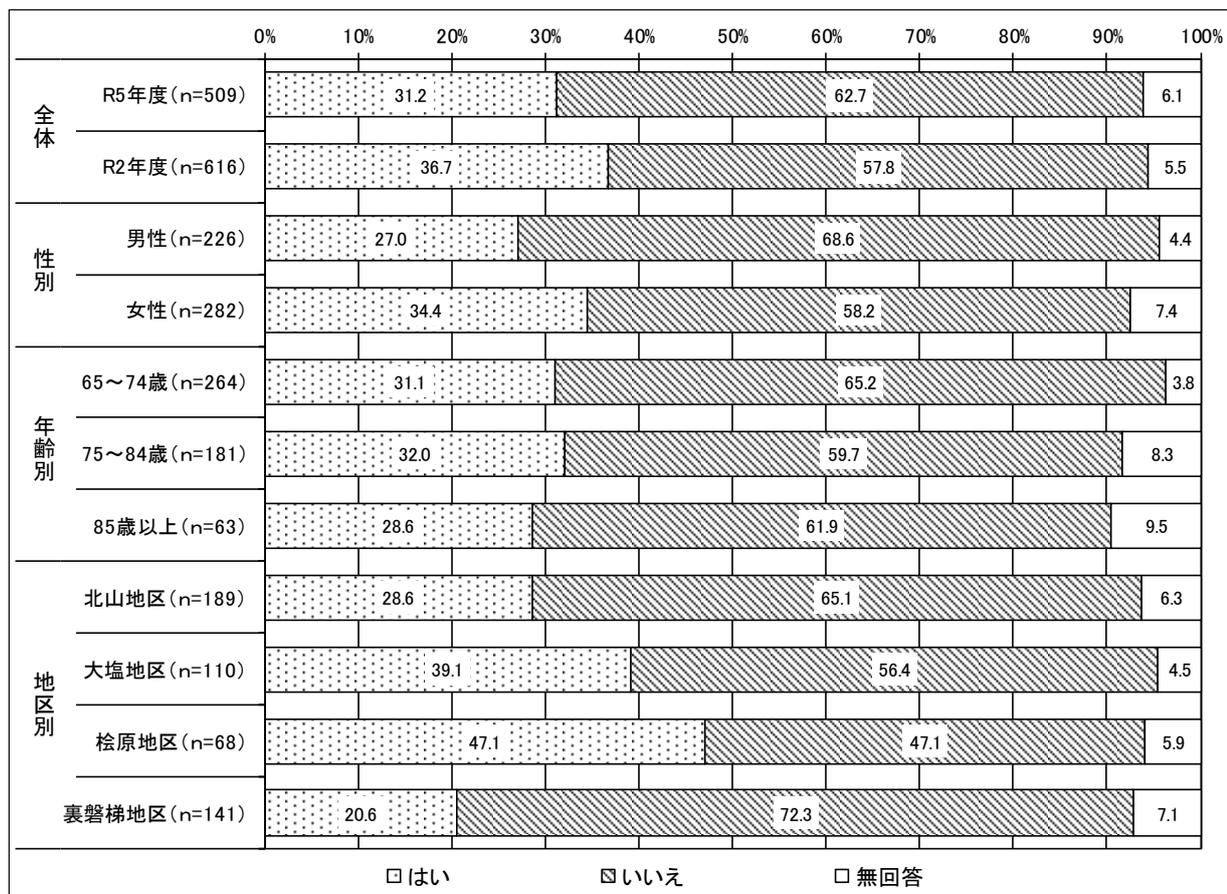
認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかについては、「いいえ」が84.9%と多数を占めており、「はい」は10.6%となっている。認知症に関する相談窓口を知っているかについては、「いいえ」が62.7%と多数を占め、「はい」は31.2%となっている。

地区別にみると、大塩地区で認知症の症状がある方（家族に認知症の症状がある人がいる）の比率が高く、裏磐梯地区で相談窓口を知っている「はい」の比率が20.6%と他地区より低い。

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか（☑は一つ）



(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか (☑は一つ)



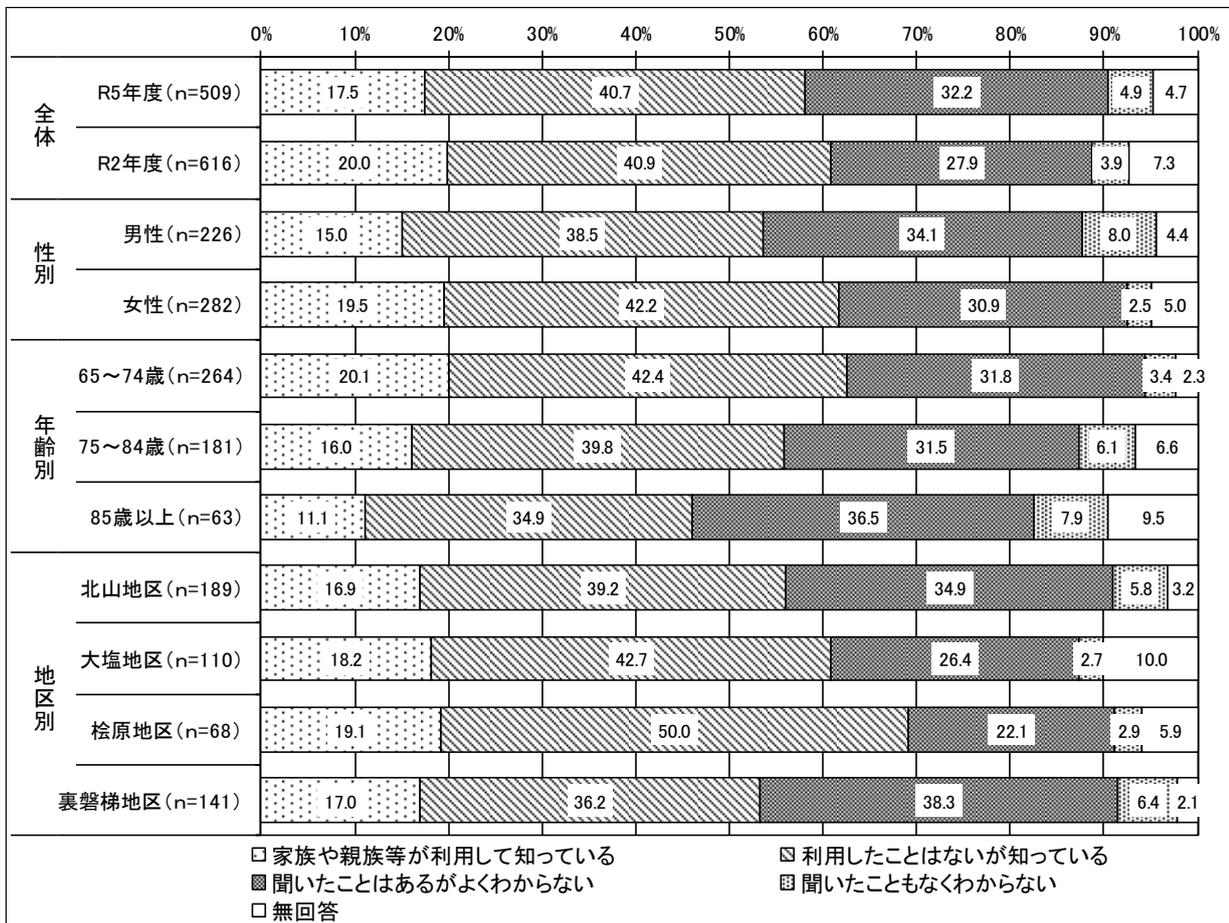
9 在宅医療・介護・終末期医療について

(1) 在宅医療及び訪問看護のことを知っていますか (☑は一つ)

(「在宅医療」とは、「体の機能が低下し通院ができない状態になった時、医師が必要に応じて計画的・定期的に自宅に訪問して診療を行うこと」とします。)

在宅医療及び訪問看護のことを知っているか、「利用したことはないが知っている」が40.7%と最も高く、以下、「聞いたことはあるがよくわからない」は32.2%、「家族や親族等が利用して知っている」は17.5%、「聞いたこともなくわからない」は4.9%となっている。

地区別にみると、裏磐梯地区で「聞いたこともなくわからない」が6.4%と、他地区より高くなっている。

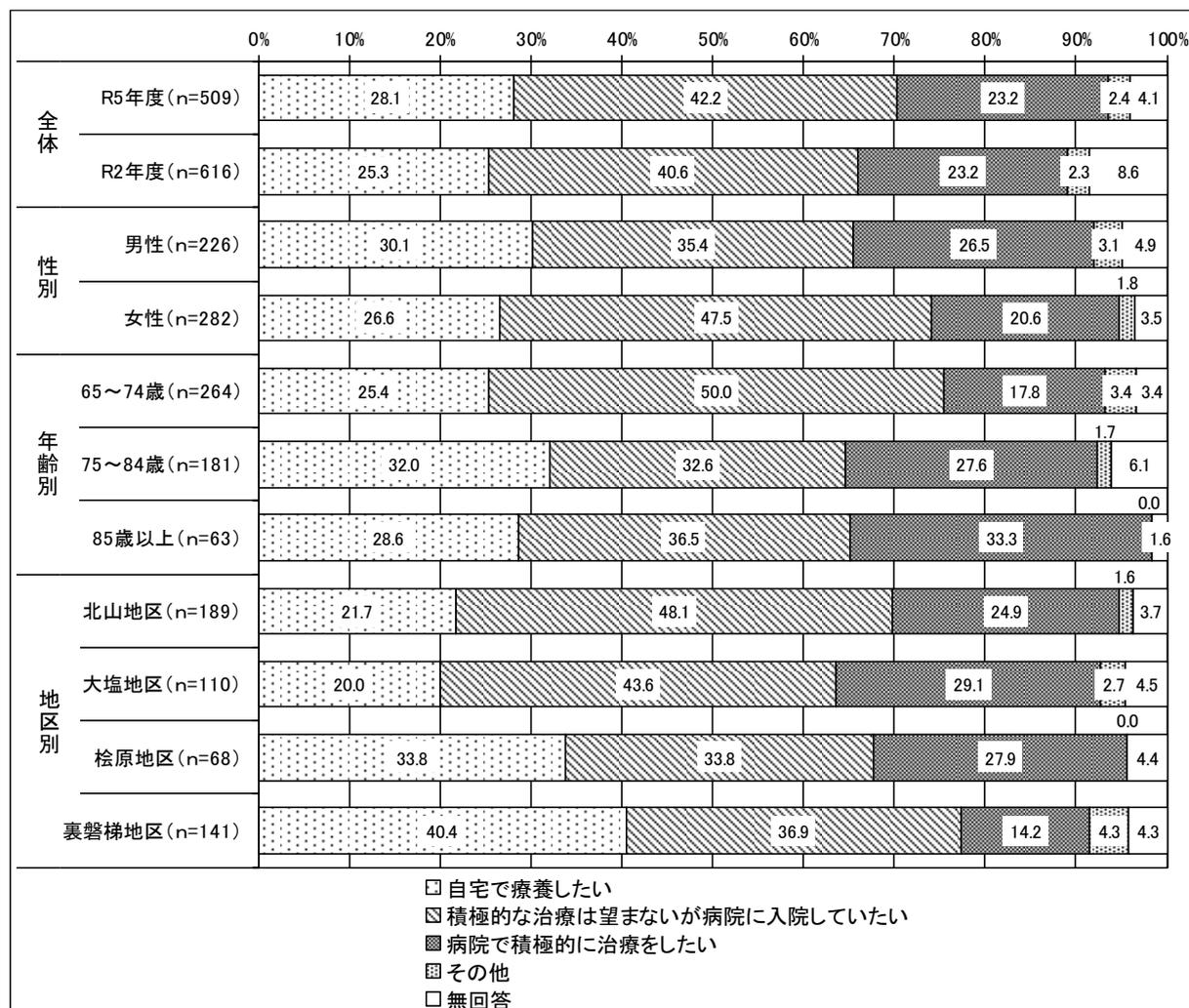


(2) あなたが、加齢や重大な病気などで死が近い状態になった時、どこでどのように治療や療養をしたいと思いますか (☑は一つ)

(苦痛はどの場所でも十分に和らぐものとします。) ご自身の望みをお答えください。

加齢や重大な病気などで死が近い状態になった時、どこでどのように治療や療養をしたいかについては、「積極的な治療は望まないが病院に入院していきたい」が42.2%と最も高く、以下、「自宅で療養したい」は28.1%、「病院で積極的に治療をしたい」は23.2%となっている。

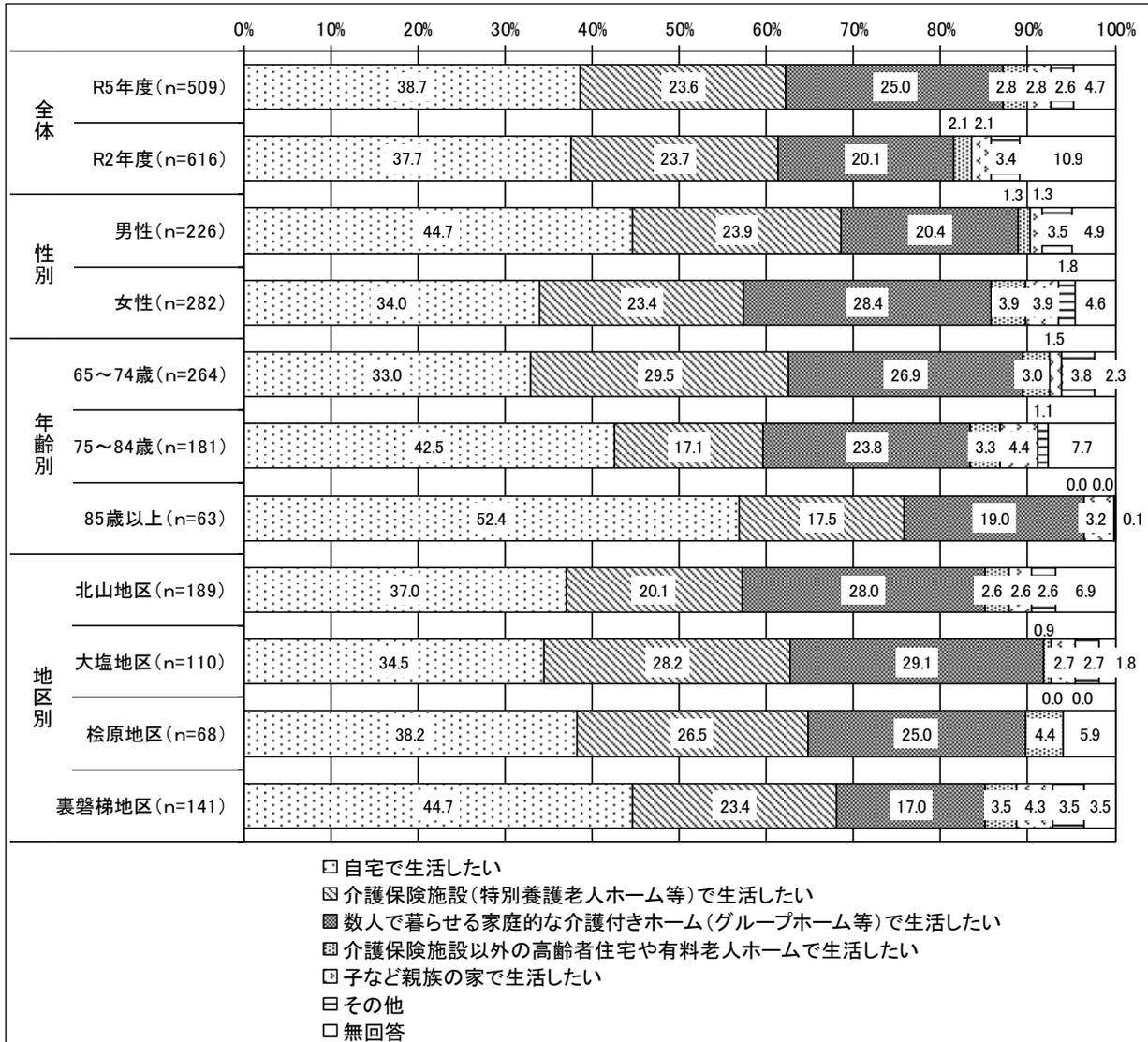
地区別にみると、裏磐梯地区で「自宅で療養したい」が4割を超え、他地区より高くなっている。



(3) あなたは、介護が必要になった時、どこで過ごしたいと考えていますか。ご自身の望みをお答えください (☑は一つ)

介護が必要になった時、どこで過ごしたいかについては、「自宅で生活したい」が 38.7%と最も高く、以下、「数人で暮らせる家庭的な介護付きホーム（グループホーム）で生活したい」は 25.0%、「介護保険施設（特別養護老人ホーム等）で生活したい」は 23.6%となっている。

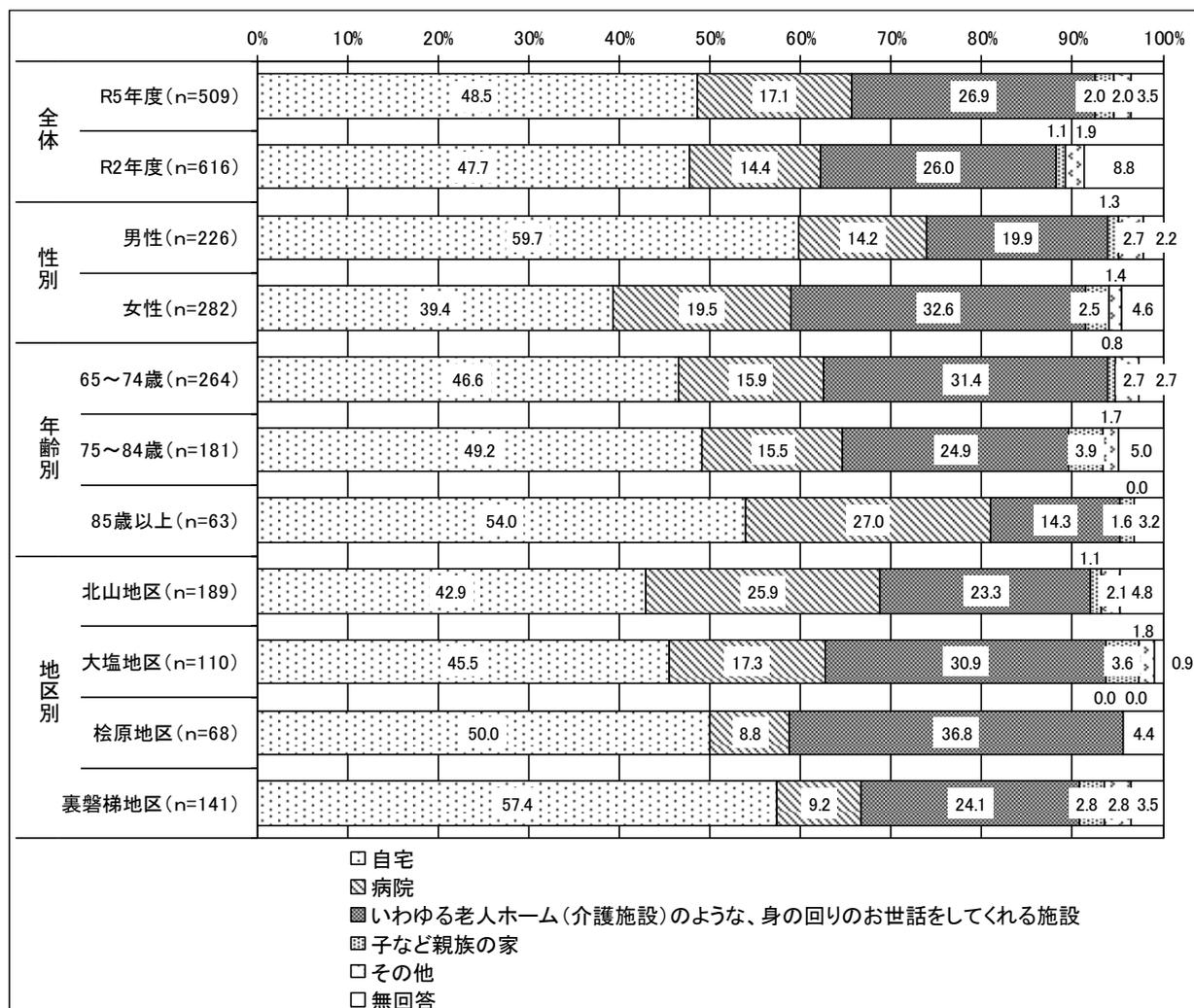
年齢別では 85 歳以上（52.4%）で、地区別では裏磐梯地区（44.7%）で「自宅で生活したい」の比率が高くなっている。



(4) あなたは、人生の最期をどこで過ごしたいと考えていますか。ご自身の望みをお答えください (☑は一つ)

人生の最期をどこで過ごしたいかについては、「自宅」が48.5%と最も高く、以下、「いわゆる老人ホーム（介護施設）のような、身の回りのお世話をしてくれる施設」は26.9%、「病院」は17.1%、「子など親族の家」は2.0%となっている。

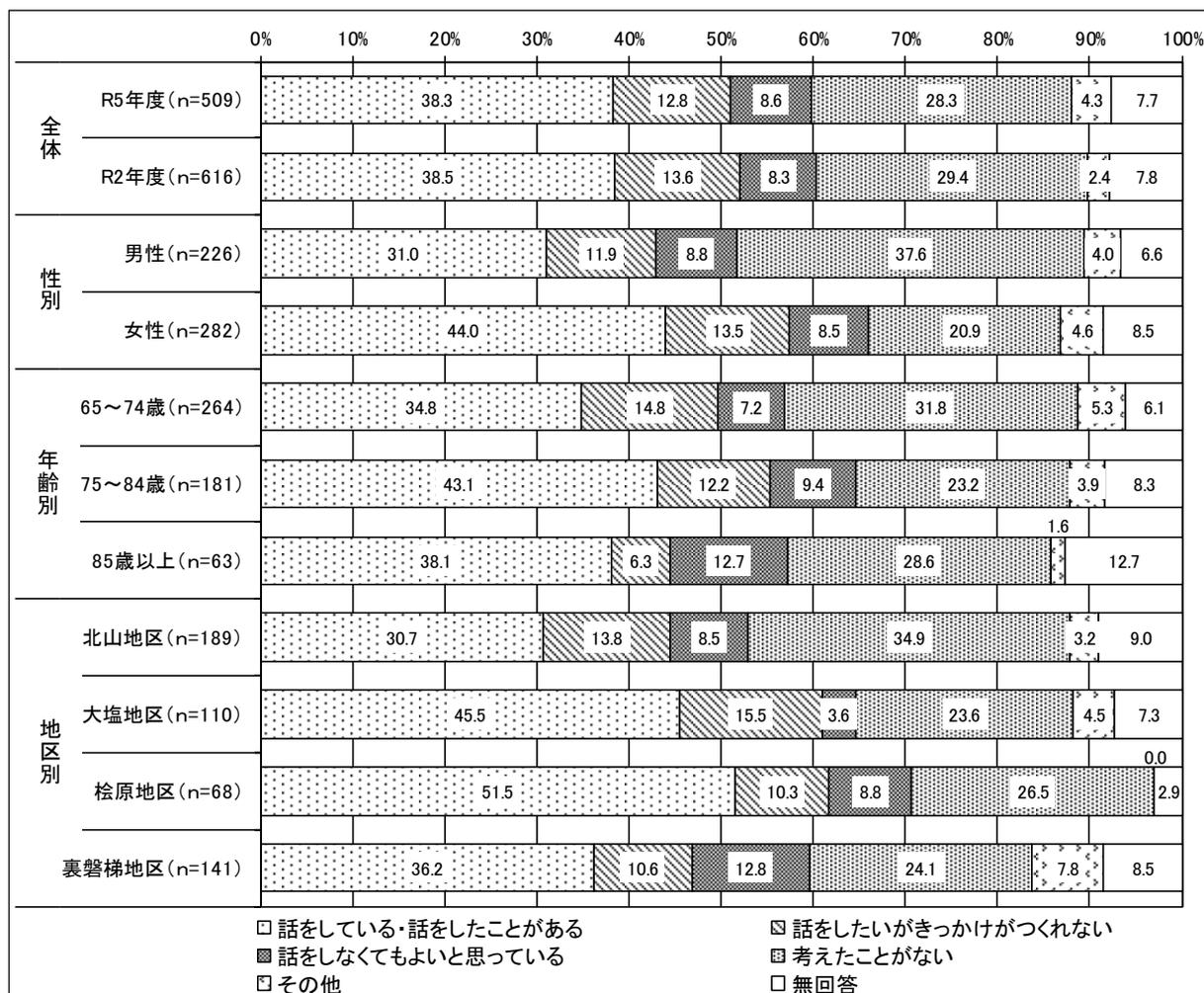
地区別にみると、裏磐梯地区で「自宅」が57.4%となっており、全体の比率を8.9ポイント上回っている。



(5) 人生の最期となった際に、あなたがどこでどのように最期を迎えたいと考えているのかについて、家族や大切な人と話したことがありますか（☑は一つ）

人生の最期について家族や大切な人と話したことがあるかについては、「話をしている・話をしたことがある」が38.3%と最も高く、以下、「考えたことがない」は28.3%、「話をしたいがきっかけがつかれない」は12.8%、「話をしなくてもよいと思っている」は8.6%となっている。

年齢別では75～84歳で、地区別では桧原地区で「話をしている・話をしたことがある」の比率が他より高くなっている。

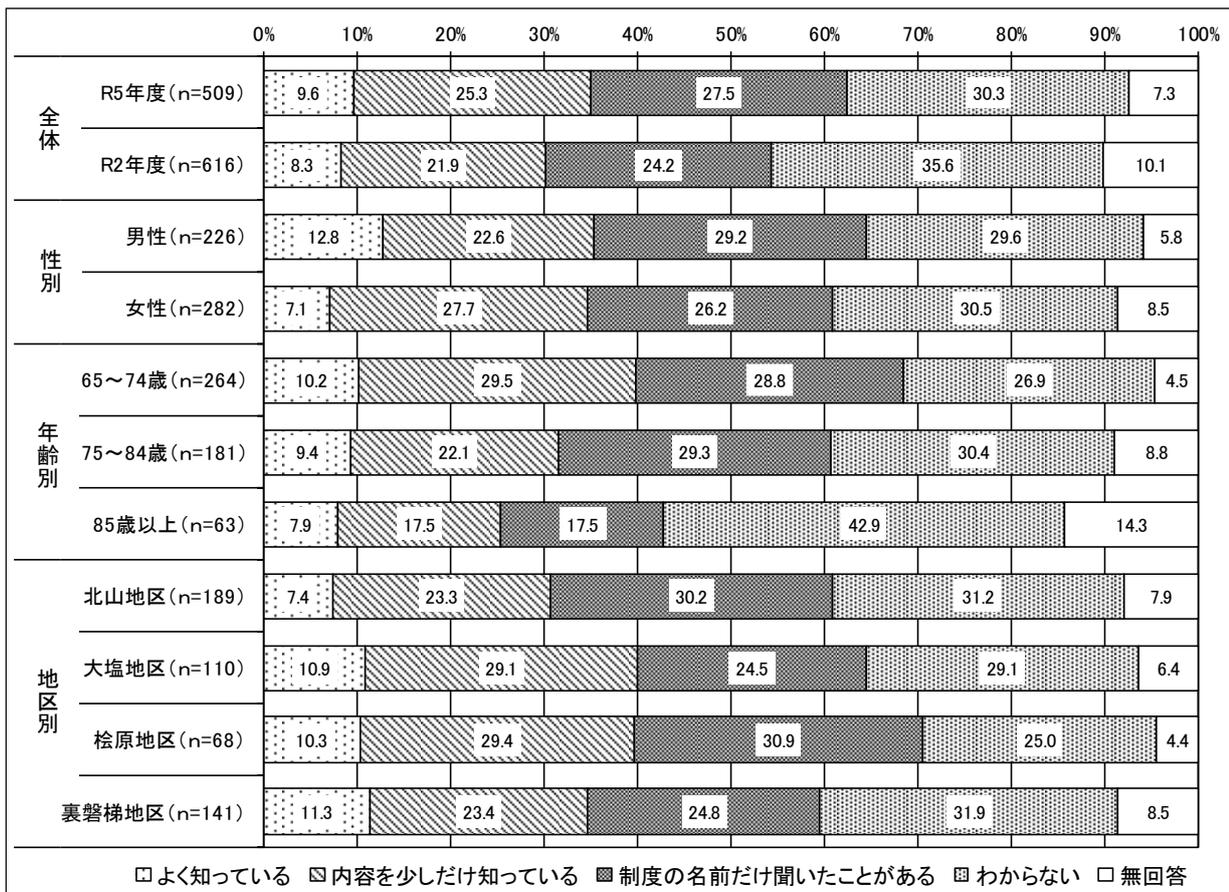


10 成年後見制度について

(1) 成年後見制度をご存知ですか (☑は一つ)

成年後見制度を知っているかについては、「わからない」が30.3%と最も高く、以下、「制度の名前だけ聞いたことがある」は27.5%、「内容を少しだけ知っている」は25.3%、「よく知っている」は9.6%となっている。

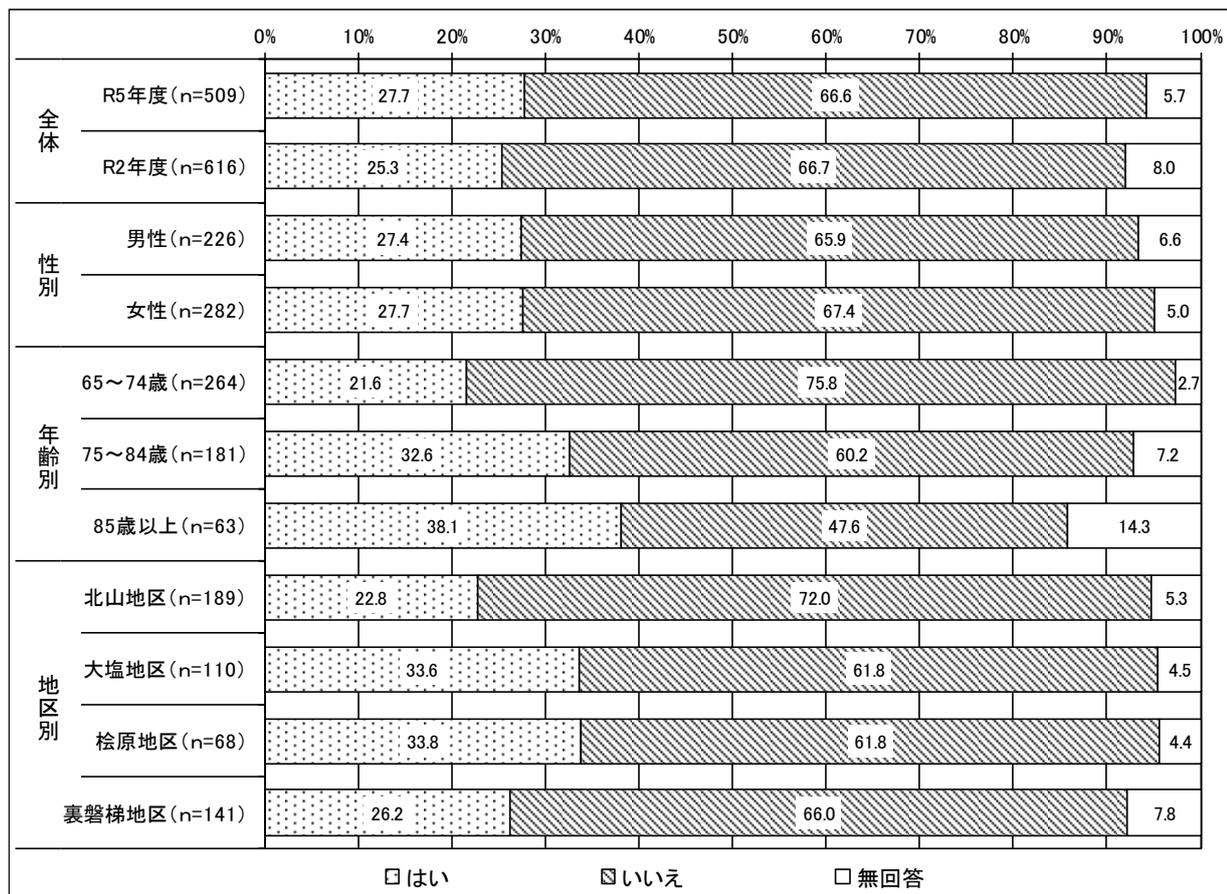
地区別にみると、北山地区では「よく知っている」が1割未満と低くなっている。



(2) もしも認知症などが進み、判断能力が低下した場合に備え、日常生活や医療・介護などのお金の管理をどうするか家族と話したことはありますか (☑は一つ)

認知症などが進み、判断能力が低下した場合に備え、日常生活や医療・介護などのお金の管理をどうするか家族と話したことがあるかについては、「いいえ」が66.6%と多数を占めており、「はい」は27.7%となっている。

地区別では「はい」は、桧原地区(33.8%)や大塩地区(33.6%)の比率が高くなっている。

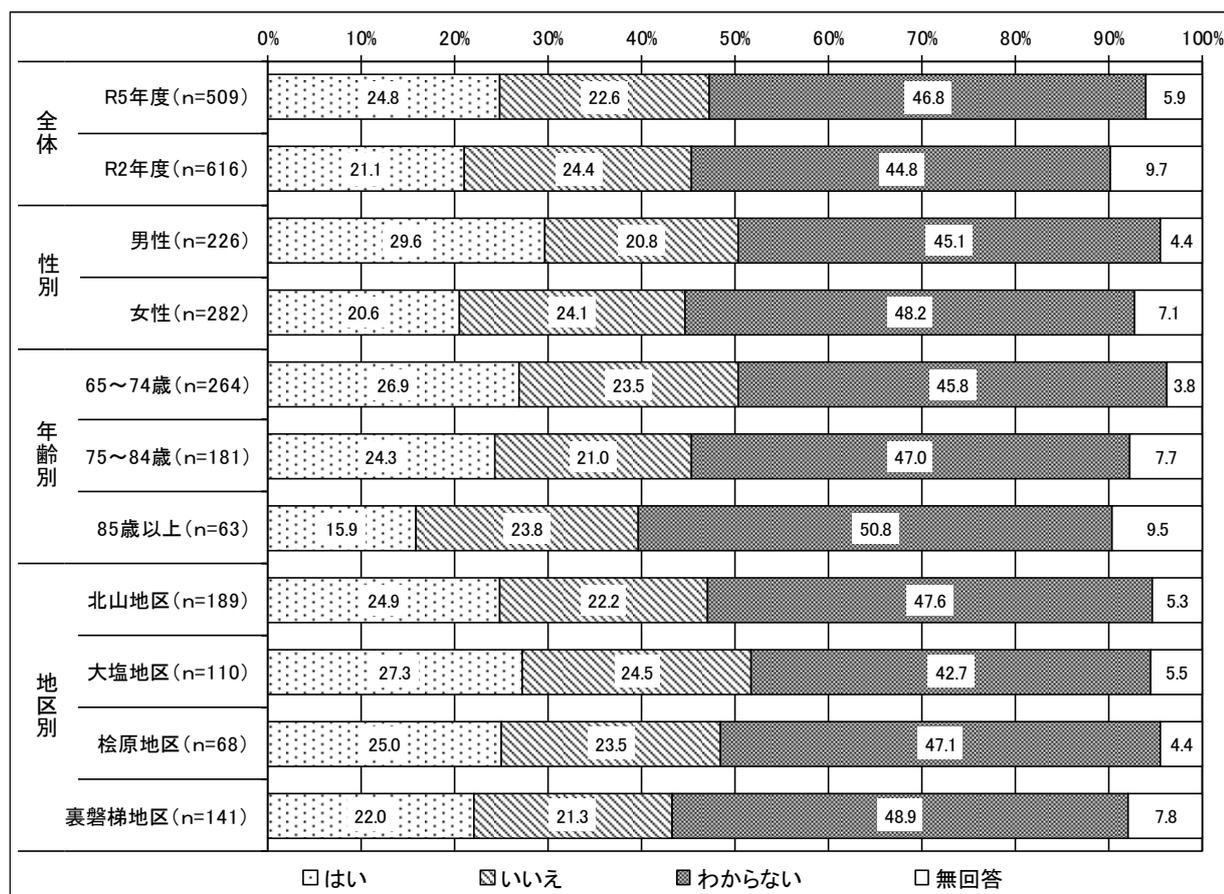


(3) 認知症等により判断が十分にできなくなった時、成年後見制度を利用したいと思いますか (☑は一つ)

(「成年後見制度」とは、認知症・知的障害・精神障害などによって判断能力が十分でない方を法律的に支援する制度です。)

認知症等により判断が十分にできなくなった時、成年後見制度を利用したいと思うかは、「わからない」が46.8%と最も高く、「はい」は24.8%、「いいえ」は22.6%となっている。

年齢別では85歳以上(15.9%)で、地区別では裏磐梯地区(22.0%)で「はい」の比率が低くなっている。



11 自由意見・要望

北塩原村の介護保険制度・高齢者福祉施策に対して、ご意見やご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

「介護保険制度・サービス」や「将来への不安等」、「高齢者政策」などを中心に、全体で72人から、意見や要望が寄せられた。主な内容は以下のとおりである。

項目	人数	主な内容
介護保険制度・サービス	9	介護保険の利用について、前もって、介護の状態別に(1~5)利用できる内容をなるべく詳しく周知してほしいと思います。1回ではなく年何回か。利用する自分も、介護する家族も知っておくべきかと…。 もうすこし、手続きなどを簡単にしてもらい必要な人には、すぐに使ってもらえるような制度にしてほしいです。
介護保険等施設・職員等	8	利用されている方は中で一日何をしているのか。職員さんは利用されている方に対して、何をどのように接しているのか分からないようで今いち良く分からない。利用されている方は満足していますか。もっとこうして欲しい、あ〜して欲しいなどないですか。 老人ホームの様な施設を裏磐梯に作って下さい。
将来への不安等	8	私達世代が介護が必要になった時は、必ず老人ホームに入所できるのでしょうか?老人が多く、お世話をしてくれる人を確保できるのでしょうか? 農地があって利用できない者にとって働くことの出来ない我家は、いつお金がとだえるかの心配で、問9に対して考えられません。
高齢者政策	5	同じ地区の昔の仲間との昔話や苦労話が宝物だと思う。高齢者行事や介護サービスも、2地域で密に小規模に実施されればと思う。(敬老会は2地域別で行われていますね)。 高齢者の集まる場が少ないように感じています。温泉施設や遊べる施設(カラオケ、マージャンetc)が少ない。若者や子供と接することができる場がない。
情報の収集・提供について	5	北塩原村でどのような手だすけをしてくれるのわからないので話を聞いてみたい。
行政への感謝等	5	まだ詳しくわかりませんが現在の段階では良く面倒を見て下さっていると感じています。 毎日楽しく前向きに暮らす事以上の予防はないと考えてます。様々な高齢者制度には感謝致します。
経済面	3	少子高齢化が進み、これから現在若い世代の人たちが年金、医療、介護の負担が大変になると心配しています。これらの為には現在年金を受け取っている人達もある程度の負担も必要かと思っています。
日常生活(移動・冬季等)	3	通院、買い物等に対する移動手段を確保することは最低してほしいと思う。(歩行に多少困難な方でもという意味です)。
政策・行政について	3	担当者(役場住民課)、社会福祉協議会、保健センター等と関係機関の連携を充分それぞれの役目を全うして住民から喜んでいただける方を真剣に連絡協議会のような形で年に数回それぞれ担当者が高齢者が生き生きと生活できるような、暮らしが出来る様なもっと回数多く開くような手立てを考えてほしい事を希望します。
健康	2	世代を超えて、楽しみながら行える健康作りが大事と思います。
後見制度について	2	成年後見制度初めて言葉を聞いて詳しく聞いて勉強したいと思います。北塩原村の誰に聞いたら良いのですか?説明会を開いてほしいです。
本調査	2	1人暮らし高齢者には、このアンケートの内容が理解することが大変であると思う。
介護保険料	1	介護保険の負担増。福祉施設にもし入る時に年金で間に合うか心配。
その他	8	今は元気ですが、これから先はわからないので、その時が来たらよろしくお願ひ致します。
特にない	8	-

※複数の項目に関する意見・要望があるため、各項目の人数の合計は回答者数とは一致しない。

12 リスク判定

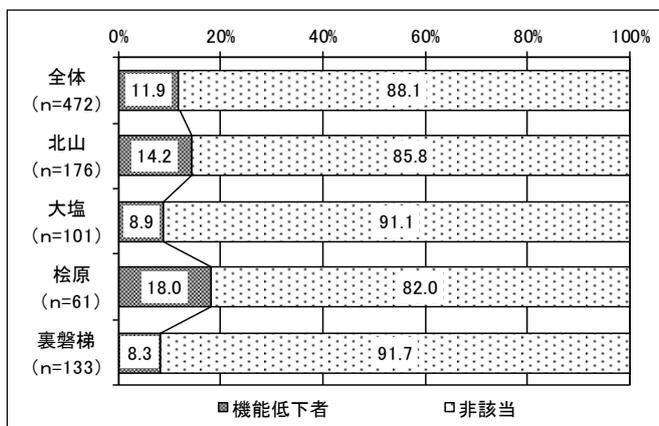
(1) 運動器

「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 実施の手引き」に基づき、運動器機能の低下している高齢者を判断する。

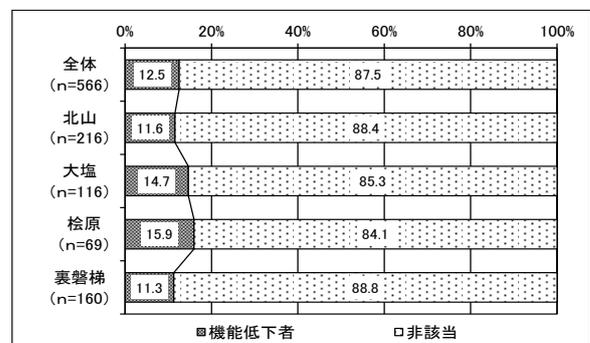
運動器機能の低下者は、全体では11.9%と前回(12.5%)よりわずかに減少した。地区別にみると、桧原地区が18.0%と他地区より高く、裏磐梯地区は8.3%と4地区の中で最も低い。

性・年齢別にみると、男性は75～79歳が、女性は85歳以上がそれぞれ最も高い割合となっており、特に女性は85歳以上で低下者割合が急増する。

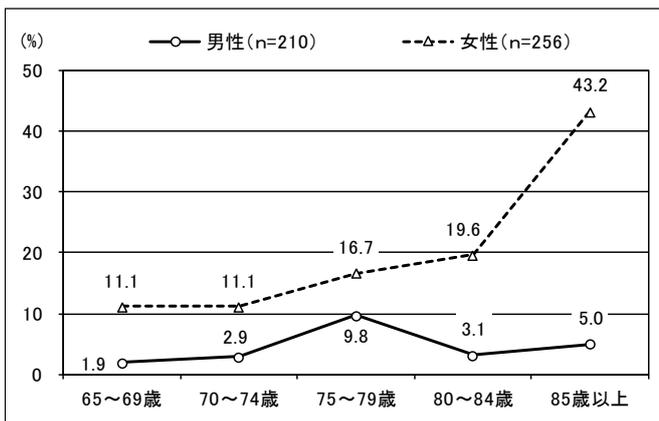
◇運動器機能の低下者の状況



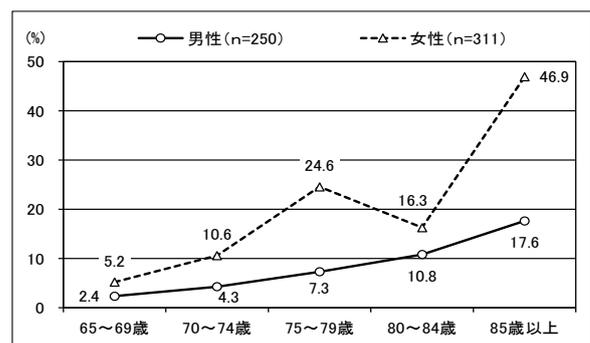
(前回：令和2年度)



◇性・年齢階級別低下者の状況



(前回：令和2年度)



◇判定方法

下記5問のうち3問以上該当する選択肢を回答した場合、運動器機能の低下している高齢者となる。

設問	該当する選択肢
問2(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	3. できない
問2(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	3. できない
問2(3) 15分位続けて歩いていますか	3. できない
問2(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある
問2(5) 転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である

※上記設問のうち1問でも回答が無い場合は判定できないことから対象から除外する。

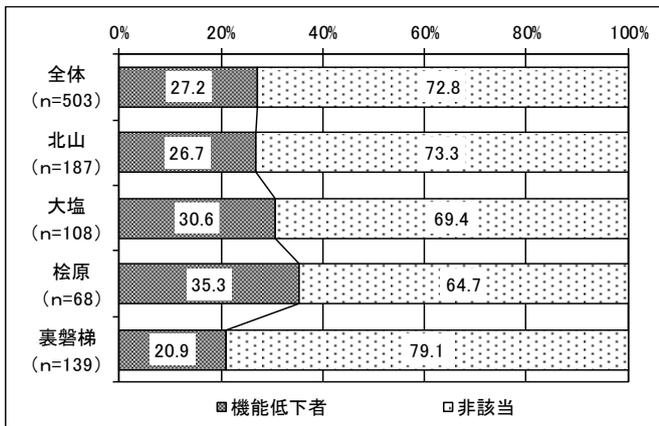
(2) 転倒

「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 実施の手引き」に基づき、転倒リスクのある高齢者を判断する。

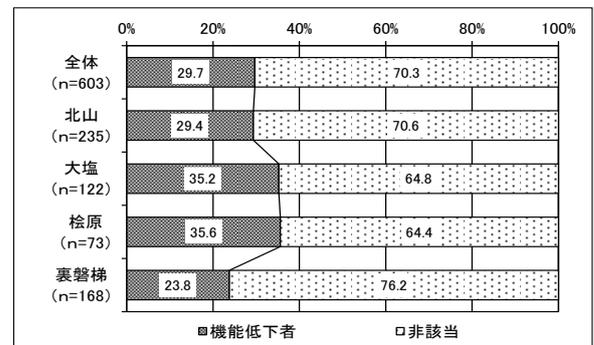
転倒リスクのある高齢者は、全体では27.2%と前回(29.7%)より減少した。地区別にみると、桧原地区が35.3%と他地区より高く、裏磐梯地区は20.9%と4地区の中で最も低い。

性・年齢別にみると、男性は65～69歳の割合が高いが、以降は年齢によっては低くなっている。なお、女性は70～74歳になると該当者の割合が急増し、男性を上回る。

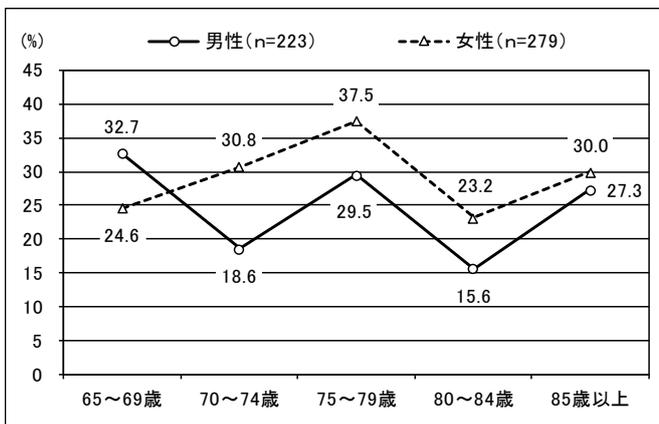
◇転倒リスクのある高齢者の状況



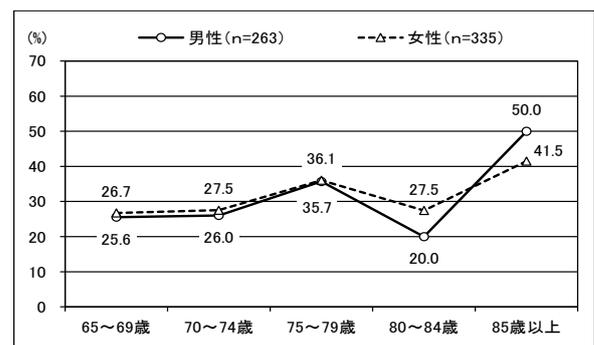
(前回：令和2年度)



◇性・年齢階級別転倒リスクのある高齢者の状況



(前回：令和2年度)



◇判定方法

下記の設問において該当する選択肢を回答した場合、転倒リスクのある高齢者となる。

設 問	該当する選択肢
問2(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある

※上記設問の回答が無い場合は判定できないことから対象から除外する。

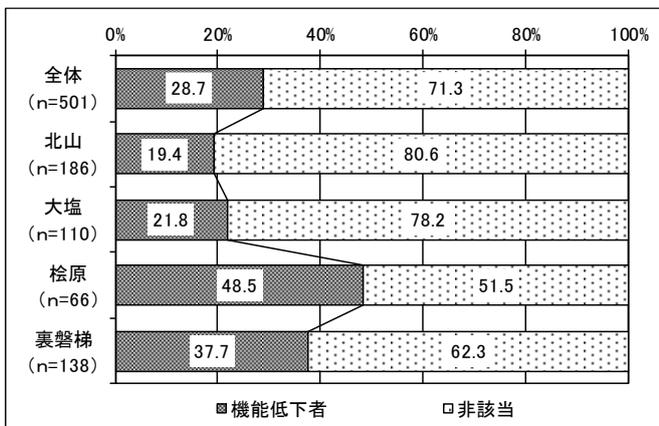
(3) 閉じこもり

「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 実施の手引き」に基づき、閉じこもり傾向のある高齢者を判断する。

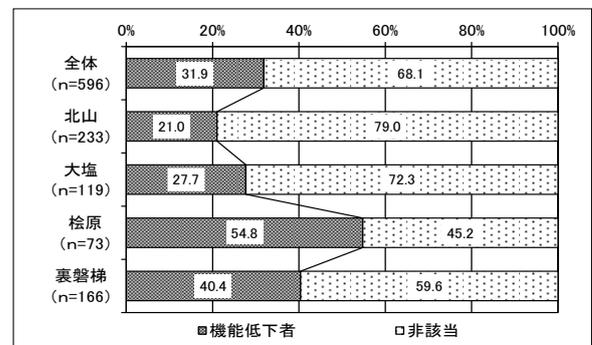
閉じこもり傾向のある高齢者は、全体では28.7%と前回(31.9%)より減少した。地区別にみると、桧原地区が48.5%と、最も低い北山地区(19.4%)の2倍以上となり、地区による差が大きくなっている。

性・年齢別にみると、特に女性で閉じこもり傾向のある高齢者の割合は高く、85歳以上になると約半数となり、男性の27.3%を大きく上回る。

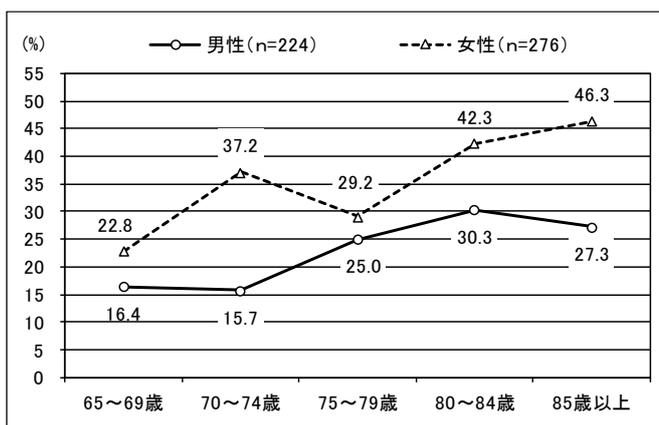
◇閉じこもり傾向のある高齢者の状況



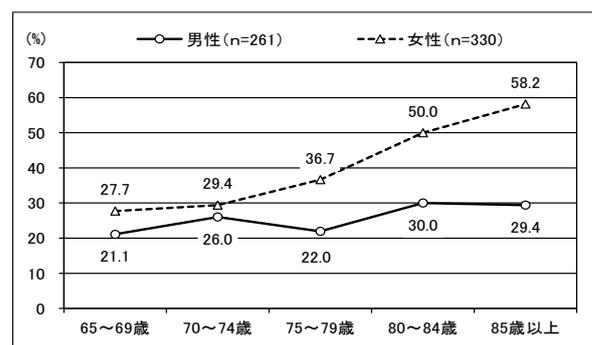
(前回：令和2年度)



◇性・年齢階級別閉じこもり傾向のある高齢者の状況



(前回：令和2年度)



◇判定方法

下記の設問において該当する選択肢を回答した場合、閉じこもり傾向のある高齢者となる。

設 問	該当する選択肢
問2(6) 週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

※上記設問の回答が無い場合は判定できないことから対象から除外する。

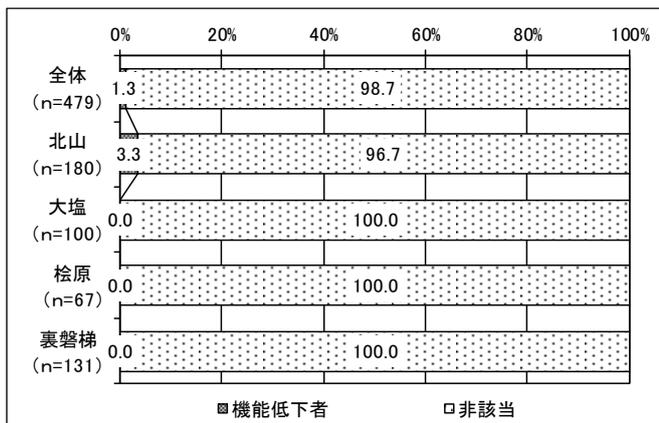
(4) 低栄養

「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 実施の手引き」に基づき、低栄養状態にある高齢者を判断する。

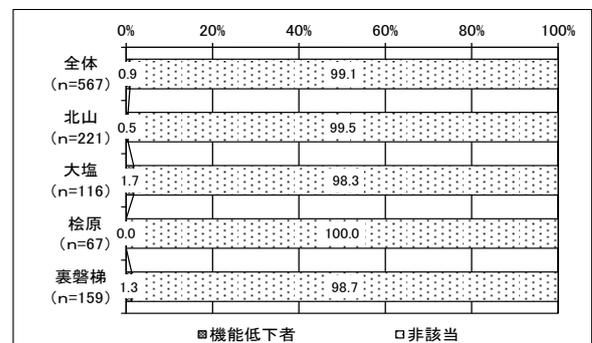
低栄養状態にある高齢者は、全体では1.3%と前回(0.9%)より微増となった。地区別にみると、北山地区が3.3%となっており、他3地区は該当者がいなかった。

性・年齢別にみると、男性、女性ともに80~84歳で低栄養状態にある高齢者の割合が高くなっている。

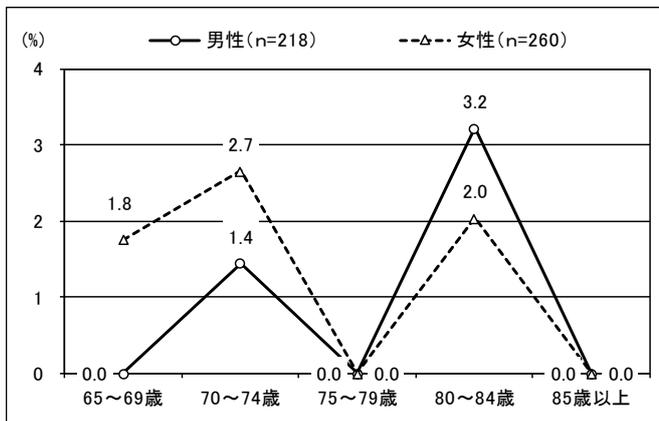
◇低栄養状態にある高齢者の状況



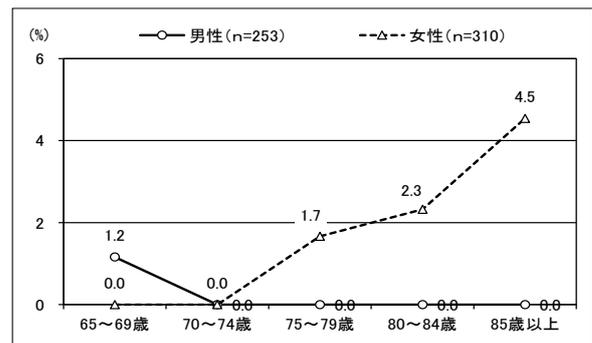
(前回：令和2年度)



◇性・年齢階級別低栄養状態にある高齢者の状況



(前回：令和2年度)



◇判定方法

下記2問のうち2問とも該当する選択肢を回答した場合、低栄養状態にある高齢者となる。

設問	該当する選択肢
問3(1) 身長・体重	BMIが18.5以下 ※BMI=体重(kg)÷(身長(m)×身長(m))
問3(2) 6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい

※上記設問のうち1問でも回答が無い場合は判定できないことから対象から除外する。

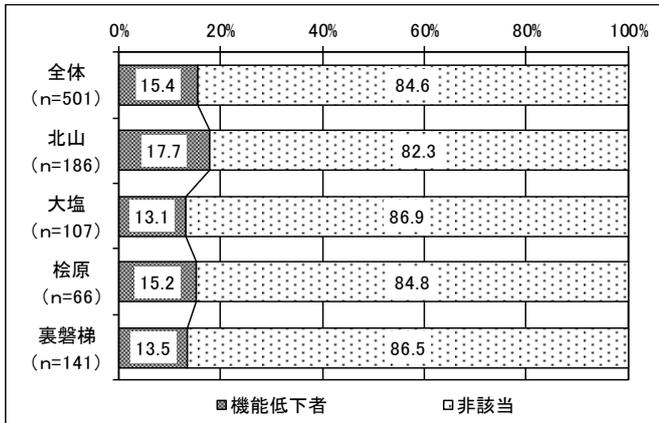
(5) 口腔機能

「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 実施の手引き」に基づき、口腔機能の低下している高齢者を判断する。

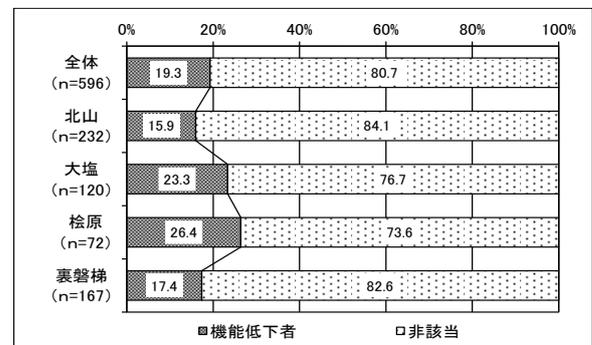
口腔機能の低下している高齢者は、全体では15.4%と前回(19.3%)より減少した。地区別に見ると、北山地区が17.7%と他地区より高く、大塩地区は13.1%と最も低い。

性・年齢別にみると、男女とも85歳以上で口腔機能の低下している高齢者の割合は高くなっている。

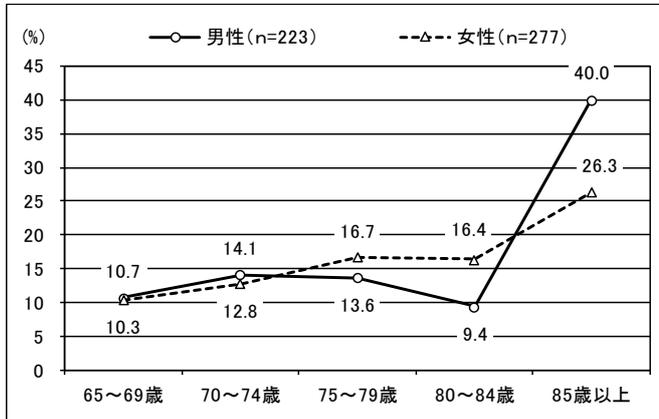
◇口腔機能の低下している高齢者の状況



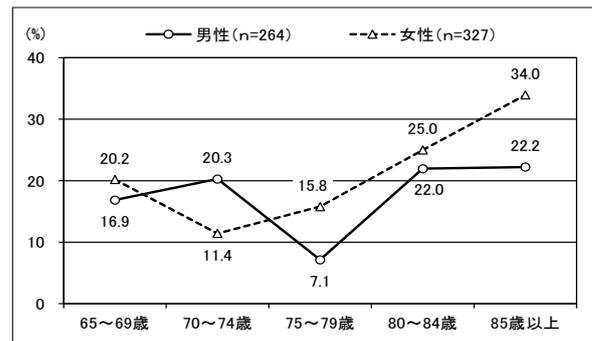
(前回：令和2年度)



◇性・年齢階級別口腔機能の低下している高齢者の状況



(前回：令和2年度)



◇判定方法

下記3問のうち2問以上該当する選択肢を回答した場合、口腔機能の低下している高齢者となる。

設問	該当する選択肢
問3(3) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい
問3(4) お茶や汁物などでむせることがありますか	1. はい
問3(5) 口の渇きが気になりますか	1. はい

※上記設問のうち1問でも回答が無い場合は判定できないことから対象から除外する。

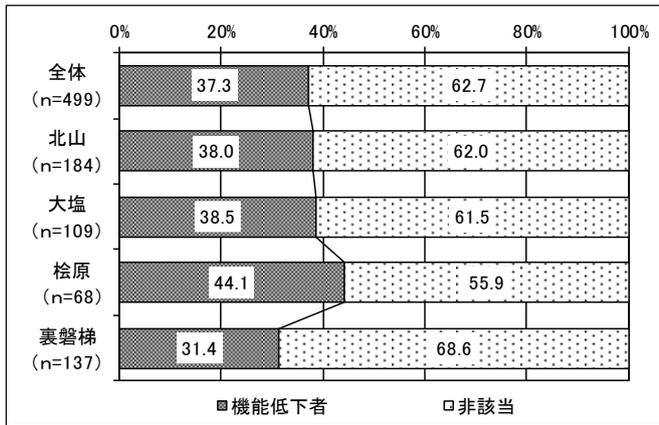
(6) 認知機能

「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 実施の手引き」に基づき、認知機能の低下している高齢者を判断する。

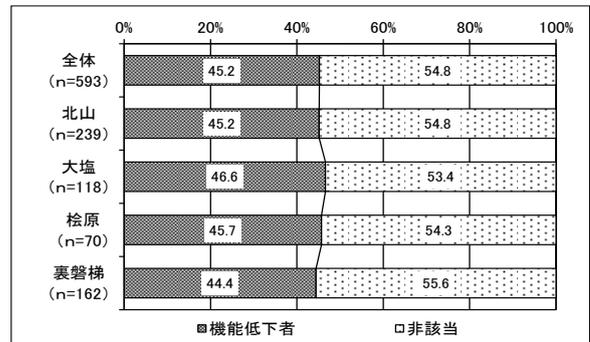
認知機能の低下している高齢者は、全体では37.3%と前回(45.2%)より減少した。地区別に見ると、桧原地区が44.1%と他地区より高く、裏磐梯地区は31.4%と4地区の中で最も低い。

性・年齢別にみると、男性の割合が高く、85歳以上になると5割を超え、認知機能の低下している高齢者の割合が急増する。

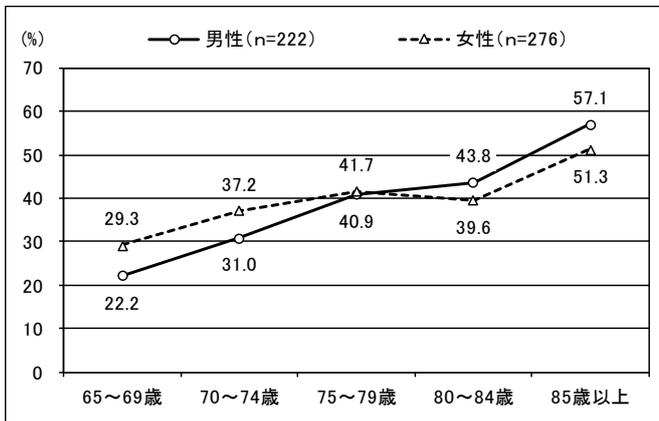
◇認知機能の低下している高齢者の状況



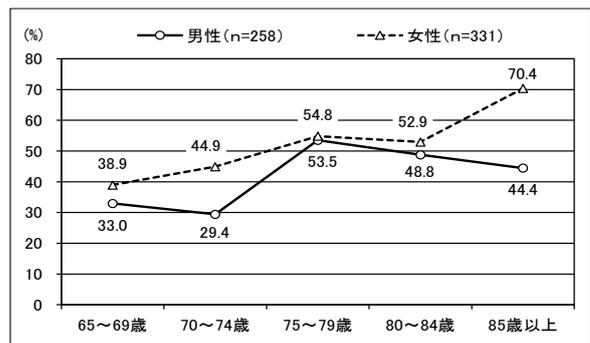
(前回：令和2年度)



◇性・年齢階級別認知機能の低下している高齢者の状況



(前回：令和2年度)



◇判定方法

下記の設問において該当する選択肢を回答した場合、認知機能が低下している高齢者と判断する。

設問	該当する選択肢
問4(1) 物忘れが多いと感じますか	1. はい

※上記設問の回答が無い場合は判定できないことから対象から除外する。

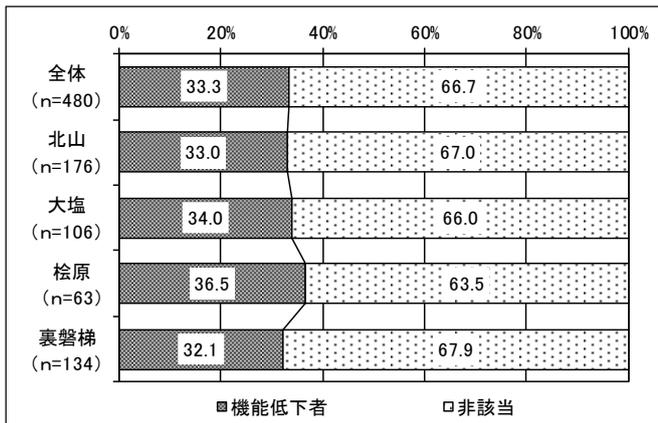
(7) うつ傾向

「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 実施の手引き」に基づき、うつ傾向の高齢者を判断する。

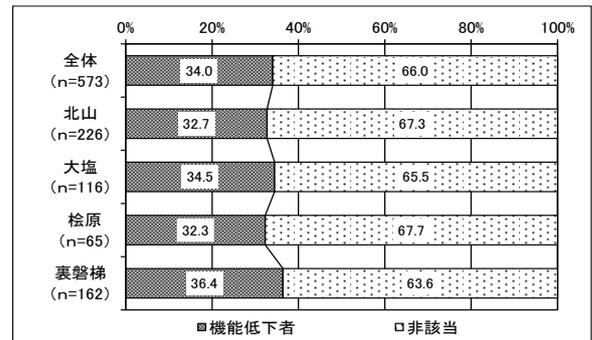
うつ傾向の高齢者は、全体では33.3%と前回(34.0%)より減少した。地区別にみると桧原地区が36.5%と他地区より高く、裏磐梯地区が32.1%と4地区の中で最も低い。

性・年齢別にみると、85歳以上になると男性が4割を超え、女性の比率を上回る。

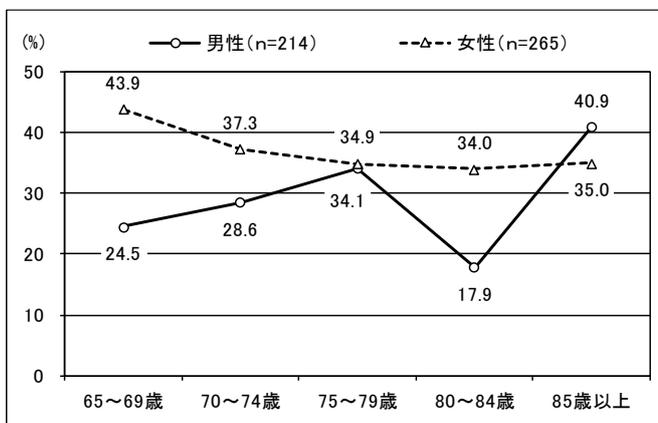
◇うつ傾向の高齢者の状況



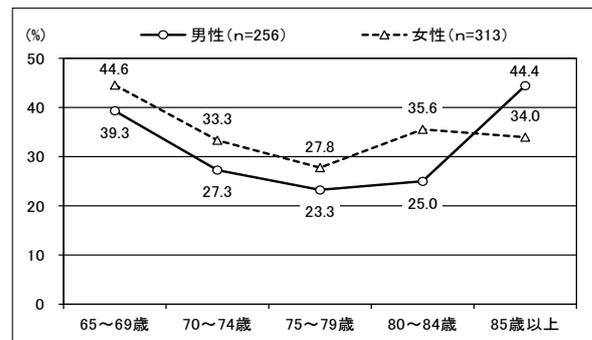
(前回：令和2年度)



◇性・年齢階級別うつ傾向の高齢者の状況



(前回：令和2年度)



◇判定方法

下記2問のうち、いずれか1問でも該当する選択肢を回答した場合、うつ傾向の高齢者となる。

設問	該当する選択肢
問7(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい
問7(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい

※上記設問のうち1問でも回答が無い場合は判定できないことから対象から除外する。

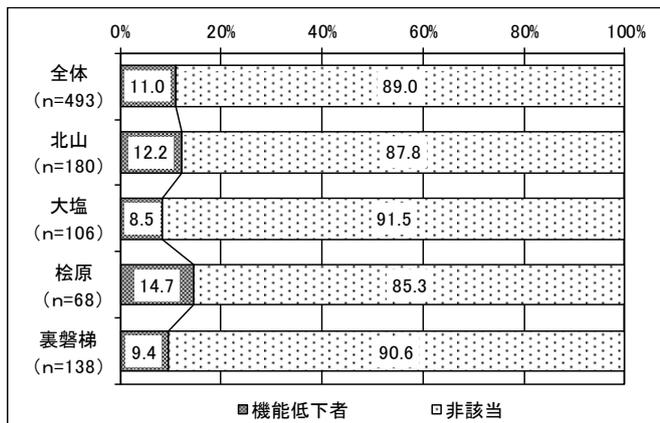
(8) 手段的日常生活動作 (IADL)

老研式活動能力指標をもとに、手段的日常生活動作（活動的な日常生活をおくるための動作能力）を判断する。

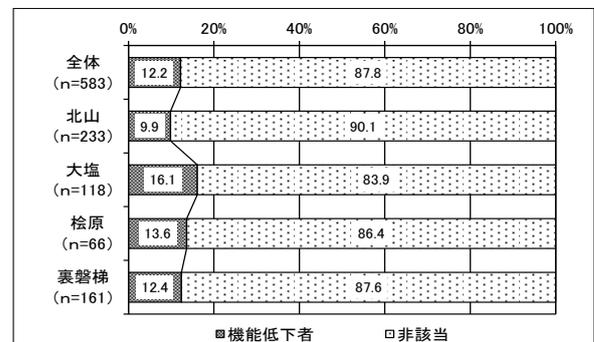
低下者（4点以下とする）割合は、全体では11.0%と前回（12.2%）より減少した。地区別に見ると、桧原地区が14.7%と他地区より高く、大塩地区は8.5%と4地区の中で最も低い。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど低下者の割合は高くなる傾向があり、女性では85歳以上になると低下者割合が急増し46.2%となり、男性（30.0%）を大きく上回る。

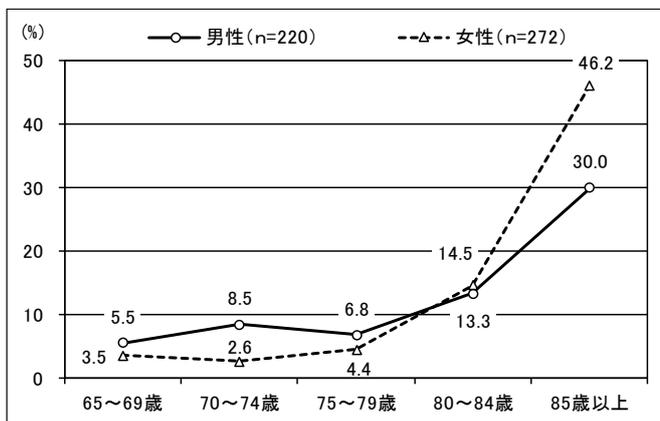
◇手段的日常生活動作の低下者の状況



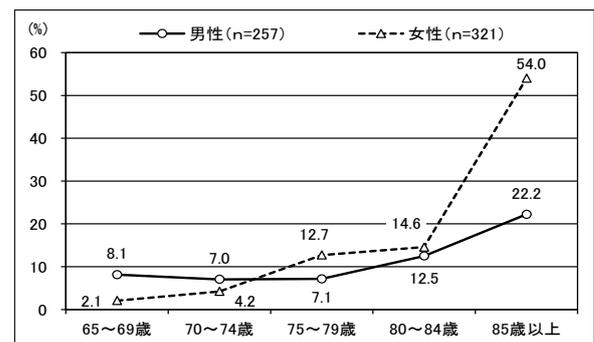
(前回：令和2年度)



◇性・年齢階級別手段的日常生活動作の低下者の状況



(前回：令和2年度)



◇判定方法

下記5問で、5点=問題なし、4点：やや低い、0～3点：低い

設問	該当する選択肢
問4(4) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)	「1. できるし、している」 または 「2. できるけどしていない」 ：1点
問4(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか	
問4(6) 自分で食事の用意をしていますか	
問4(7) 自分で請求書の支払いをしていますか	
問4(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか	

※上記設問のうち1問でも回答が無い場合は判定できないことから対象から除外する。

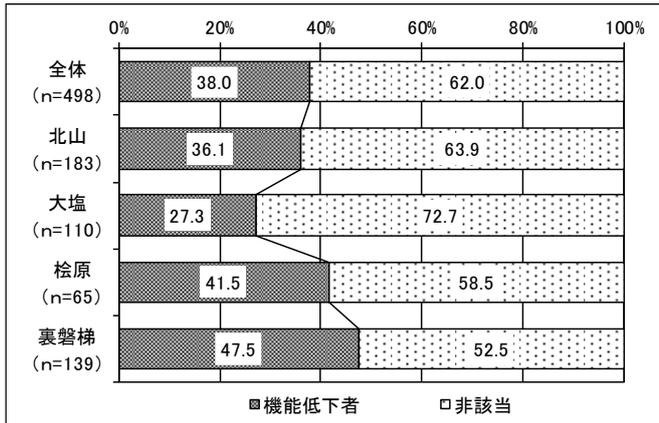
(9) 知的能動

老研式活動能力指標をもとに、知的能動（余暇や造作などの積極的な知的活動能力）を判断する。

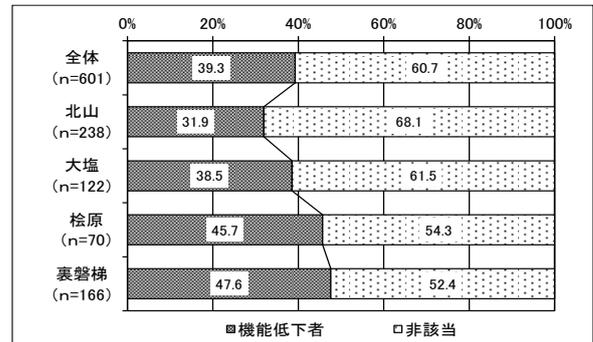
低下者（3点以下とする）割合は、全体では38.0%と前回（39.3%）より減少した。地区別に見ると、裏磐梯地区が47.5%と他地区より高く、大塩地区は27.3%と4地区の中で最も低い。

性・年齢別にみると、女性は85歳以上になると6割を超え、低下者割合が急増する。

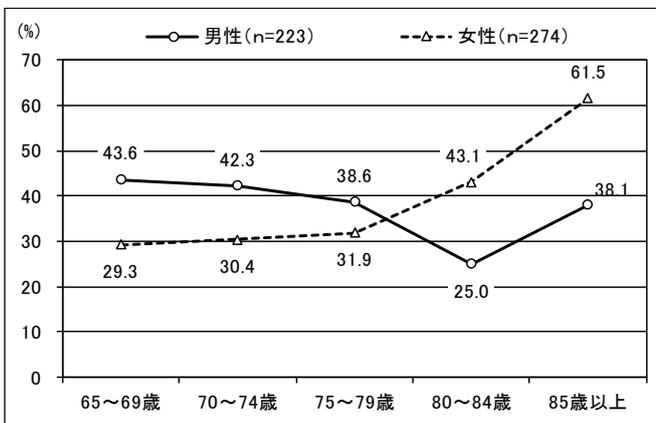
◇知的能動の低下者の状況



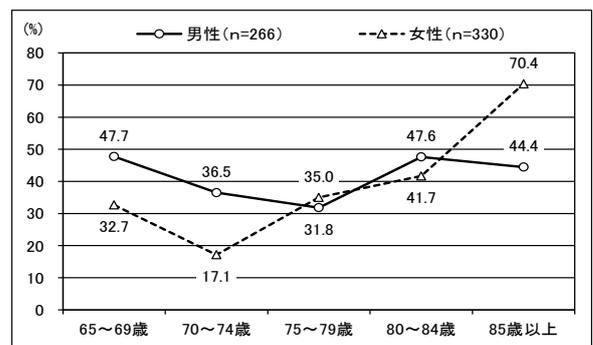
(前回：令和2年度)



◇性・年齢階級別知的能動の低下者の状況



(前回：令和2年度)



◇判定方法

下記4問で、4点：問題なし、3点：やや低い、0～2点：低い

設問	該当する選択肢
問4(9) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか	「はい」：1点
問4(10) 新聞を読んでいますか	
問4(11) 本や雑誌を読んでいますか	
問4(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか	

※上記設問のうち1問でも回答が無い場合は判定できないことから対象から除外する。

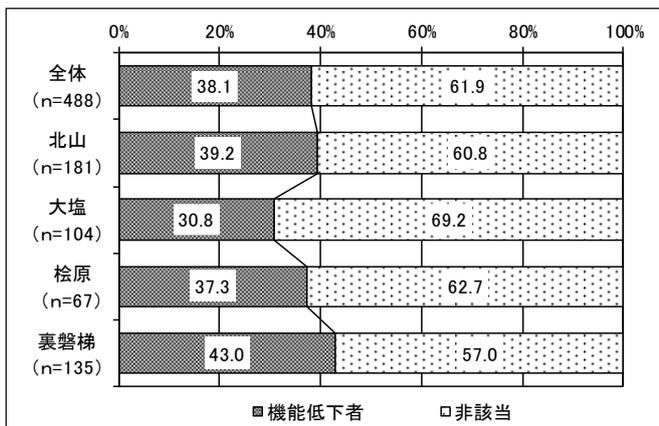
(10) 社会的役割

老研式活動能力指標をもとに、社会的役割（地域で社会的な役割を果たす能力）について判断する。

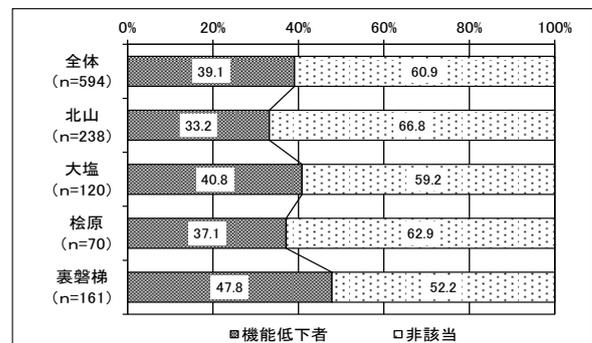
低下者（3点以下とする）割合は、全体では38.1%と前回（39.1%）より減少した。地区別に見ると、裏磐梯地区が43.0%と他地区より高く、大塩地区は30.8%と4地区の中で最も低い。

性・年齢別では、男性の比率がやや高くなっているが、85歳以上になると女性が、59.5%と急増し、男性の57.1%を上回っている。

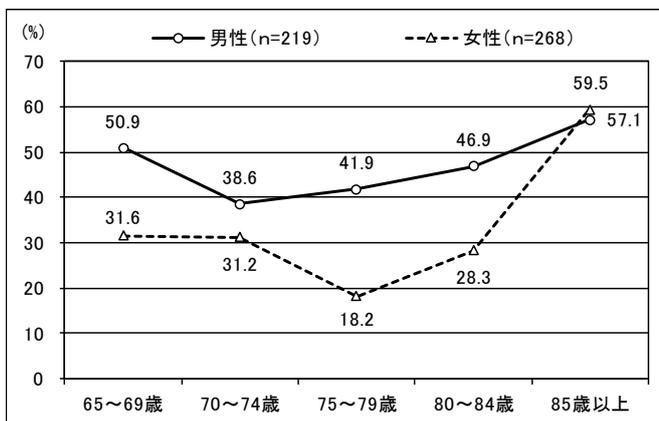
◇社会的役割の低下者の状況



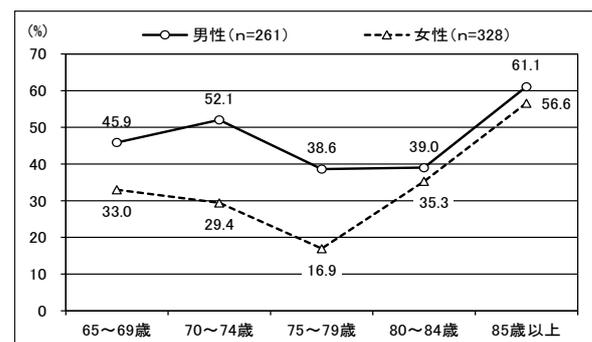
(前回：令和2年度)



◇性・年齢階級別社会的役割の低下者の状況



(前回：令和2年度)



◇判定方法

下記4問で、4点：問題なし、3点：やや低い、2点以下：低い

設問	該当する選択肢
問4(13) 友人の家を訪ねていますか	「はい」：1点
問4(14) 家族や友人の相談にのっていますか	
問4(15) 病人を見舞うことができますか	
問4(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか	

※上記設問のうち1問でも回答が無い場合は判定できないことから対象から除外する。

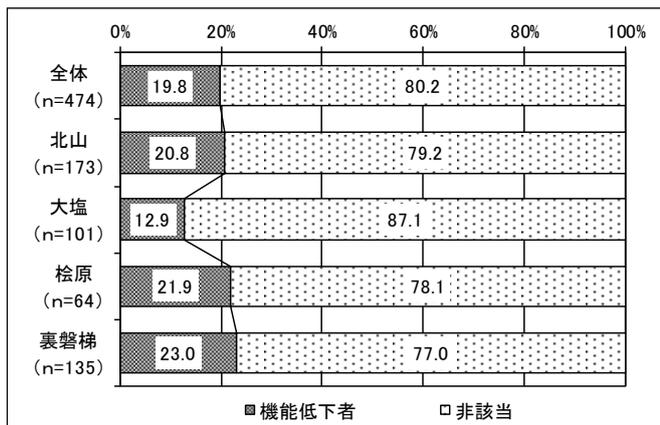
(11) 生活機能総合評価

老研式活動能力指標をもとに、生活機能総合評価（手段的日常生活動作、知的能動性、社会的役割の13項目による総合評価）について判断する。

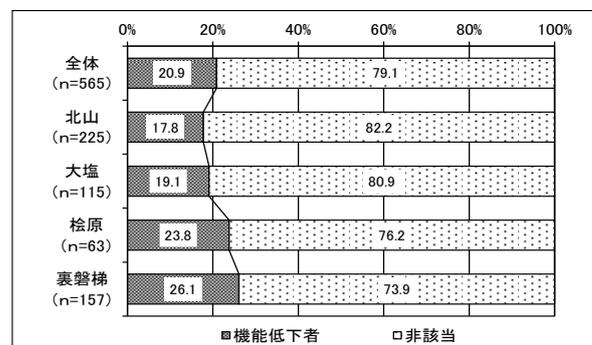
低下者（10点以下とする）割合は、全体では19.8%と前回（20.9%）より減少した。地区別に見ると、裏磐梯地区が23.0%と他地区より高く、大塩地区は12.9%と4地区の中で最も低い。

性・年齢別にみると、男女とも85歳以上になると低下者割合は高くなり、特に女性は約5割と急増する。

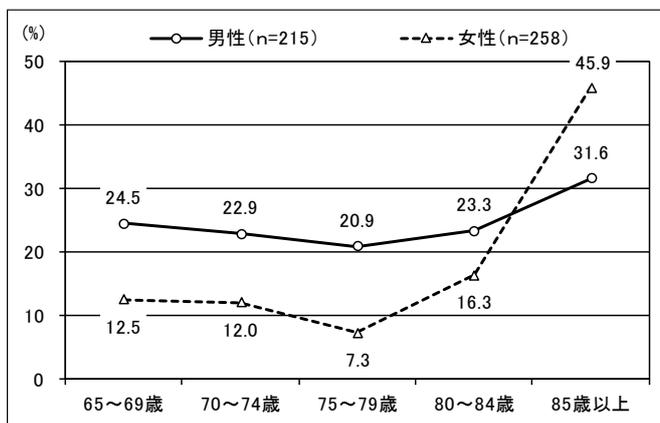
◇生活機能総合評価の低下者の状況



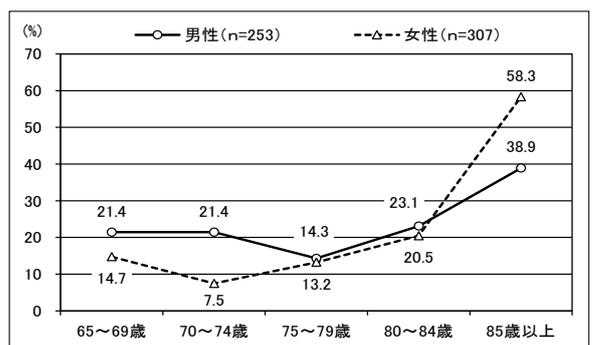
(前回：令和2年度)



◇性・年齢階級別生活機能総合評価の低下者の状況



(前回：令和2年度)



◇判定方法

手段的日常生活動作、知的能動性、社会的役割の設問で、11点以上：問題なし、9~10点：やや低い、8点以下：低い

※上記設問のうち1問でも回答が無い場合は判定できないことから対象から除外する。

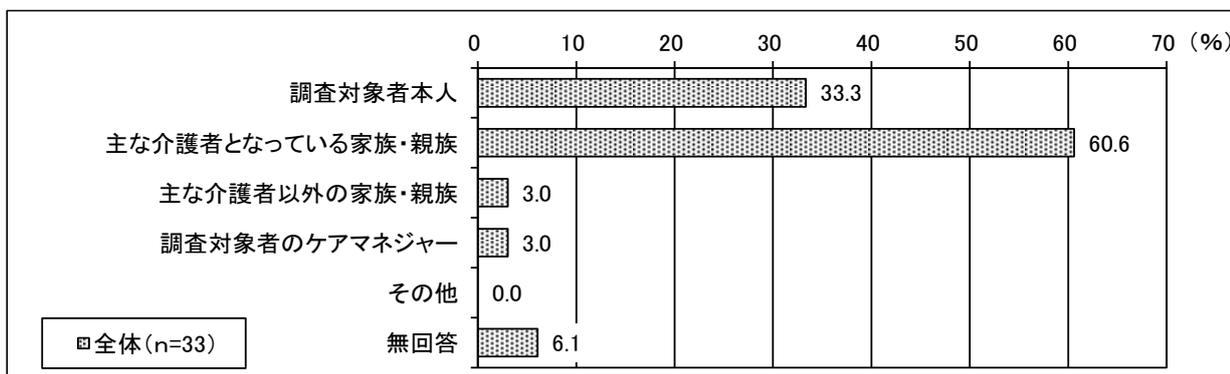
Ⅲ 在宅介護実態調査 集計結果

Ⅲ 在宅介護実態調査 調査結果

◇ 調査対象者の基本属性

【A票に回答されたのは、どなたですか】（あてはまるものすべてに☑）

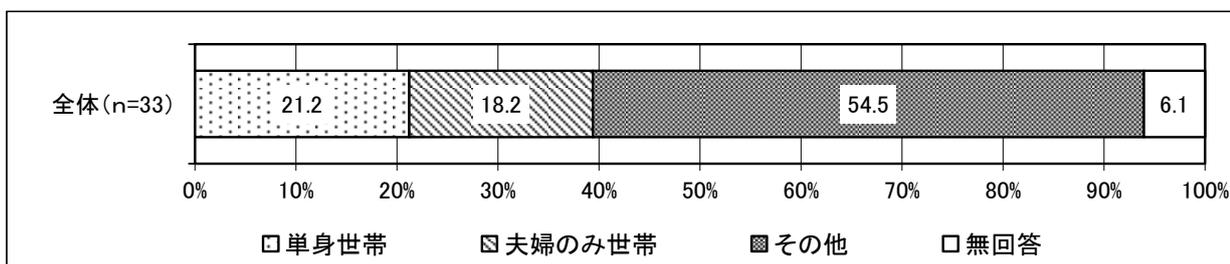
この調査票の回答者は、「主な介護者となっている家族・親族」が60.6%と多数を占め、「調査対象者本人」が33.3%、「主な介護者以外の家族・親族」及び「調査対象者のケアマネジャー」がともに3.0%となっている。



A 調査対象者ご本人について

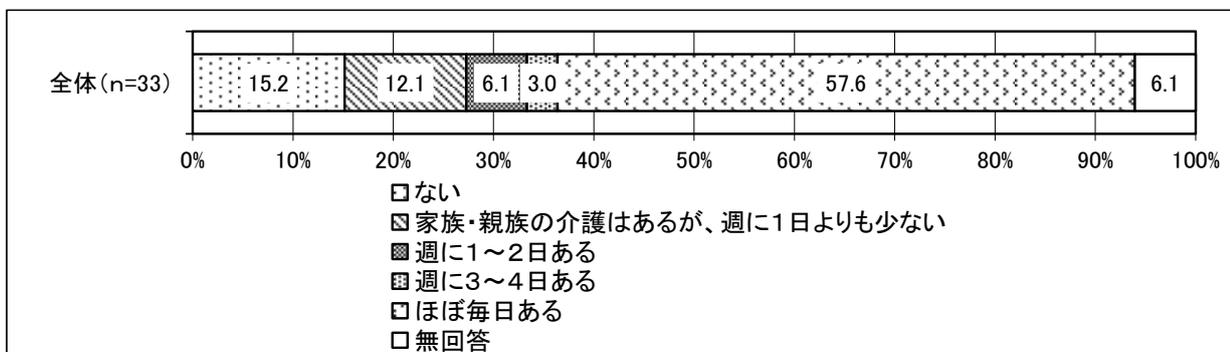
問1 世帯類型について、ご回答ください（☑は1つ）

世帯類型については、「その他」が54.5%と過半数を占め、「単身世帯」は21.2%、「夫婦のみ世帯」は18.2%となっている。



問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子どもや親族等からの介護を含む) (☑は1つ)

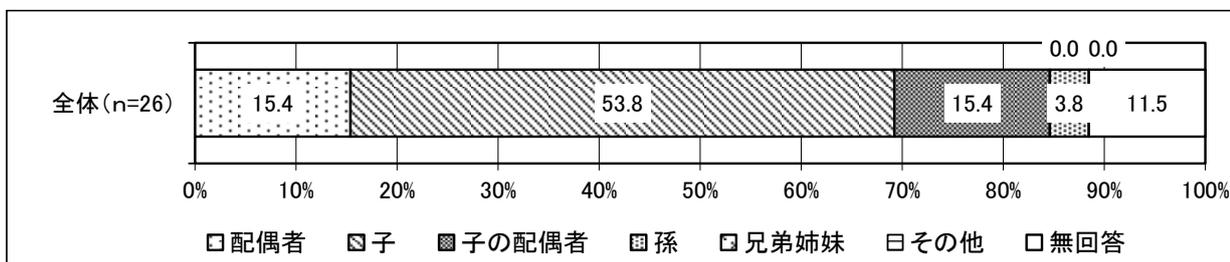
家族や親族の介護については、「ほぼ毎日ある」が57.6%と最も高く、以下、「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」が12.1%、「週に1～2日ある」が6.1%、「週に3～4日ある」が3.0%と続く。なお、「ない」は15.2%となっている。



●問2で「2.」～「5.」を選択された方にお伺いします。

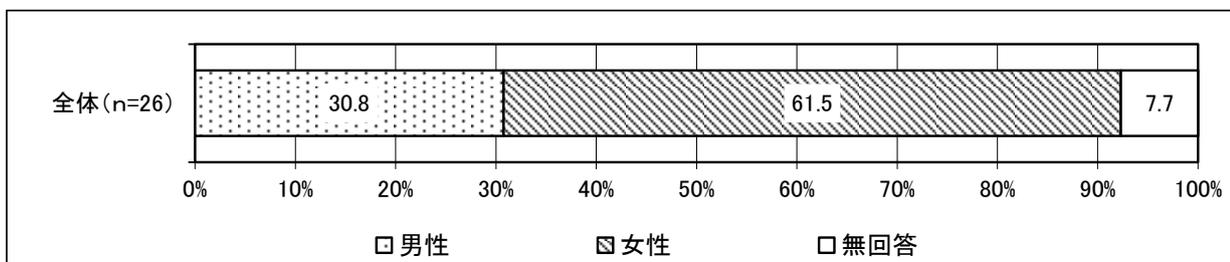
問3 主な介護者の方は、どなたですか (☑は1つ)

主な介護者は、「子」が53.8%と最も高く、以下、「配偶者」及び「子の配偶者」がともに15.4%、「孫」が3.8%となっている。



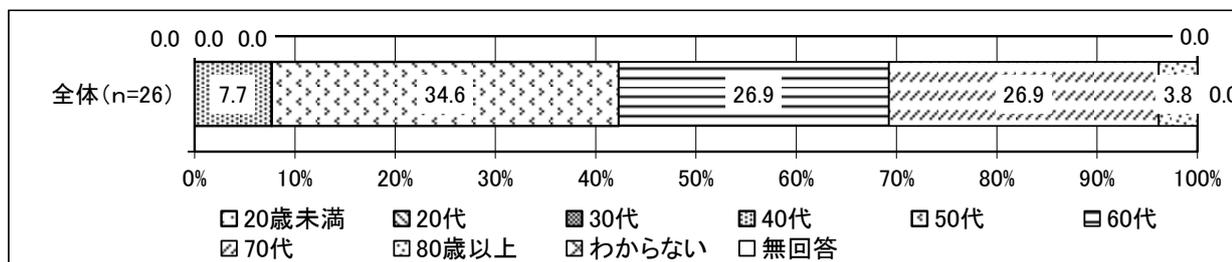
問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください (☑は1つ)

主な介護者の性別については、「女性」が61.5%と「男性」の30.8%を大きく上回っている。



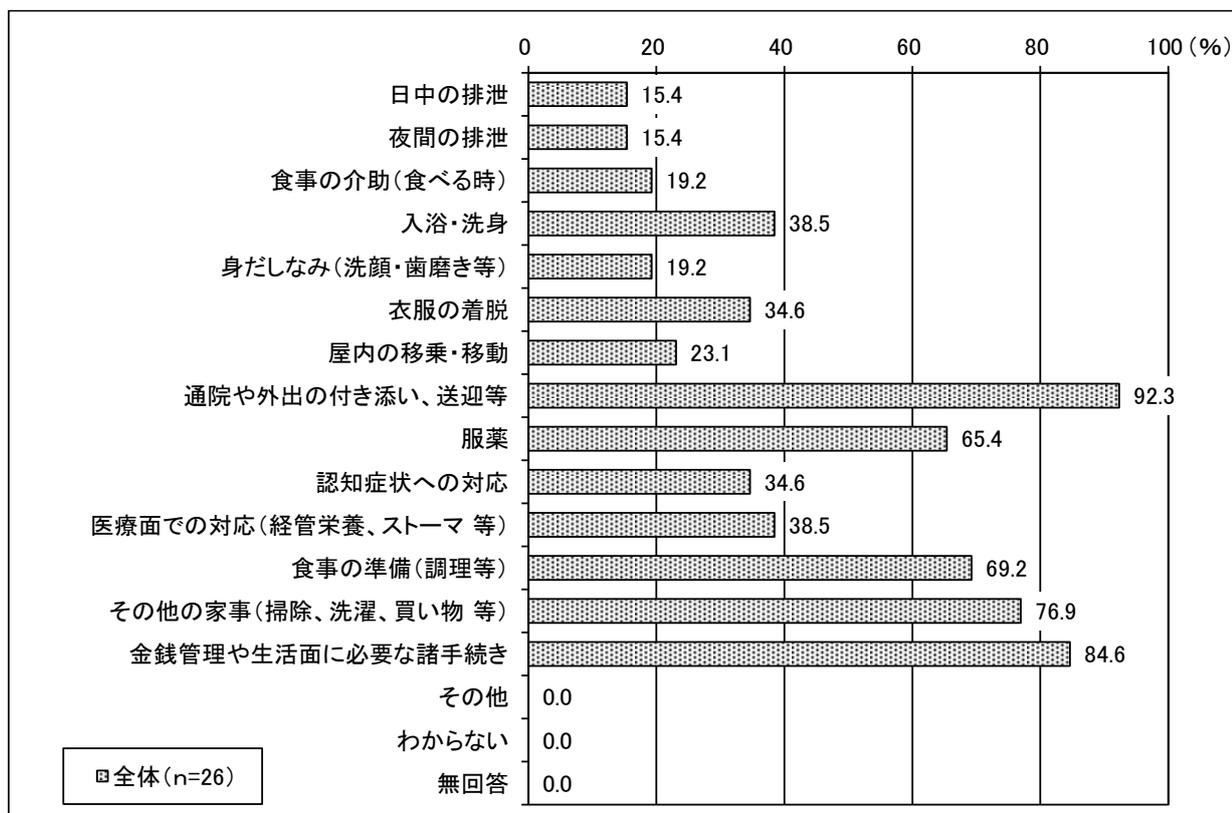
問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（☑は1つ）

主な介護者の年齢については、「50代」が34.6%と最も高く、以下、「60代」及び「70代」（ともに26.9%）、「40代」（7.7%）、「80歳以上」（3.8%）となっている。



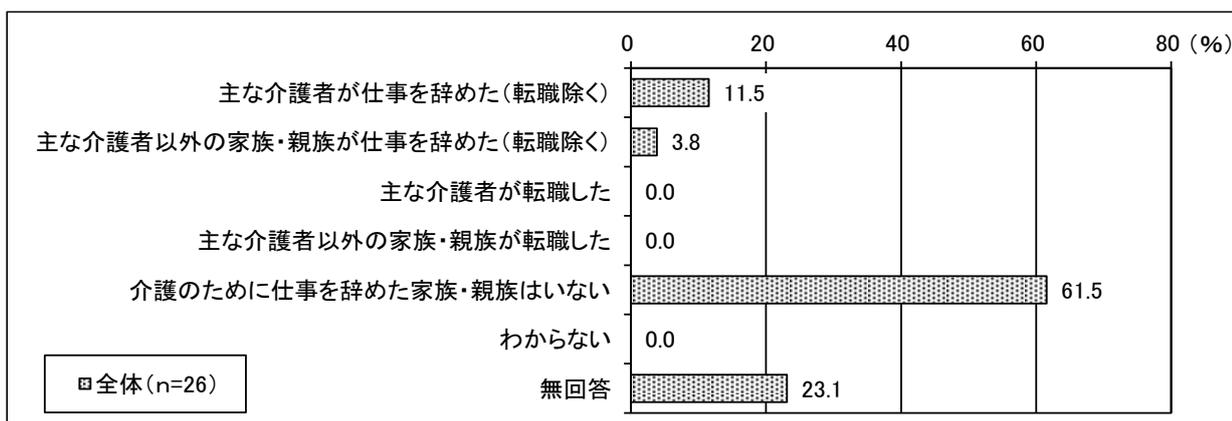
問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（あてはまるものすべてに☑）

現在、主な介護者の方が行っている介護等については、「通院や外出の付き添い、送迎等」が92.3%と最も高く、以下、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（84.6%）、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」（76.9%）、「食事の準備（調理等）」（69.2%）、「服薬」（65.4%）と続いている。



問7 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（あてはまるものすべてに☑）

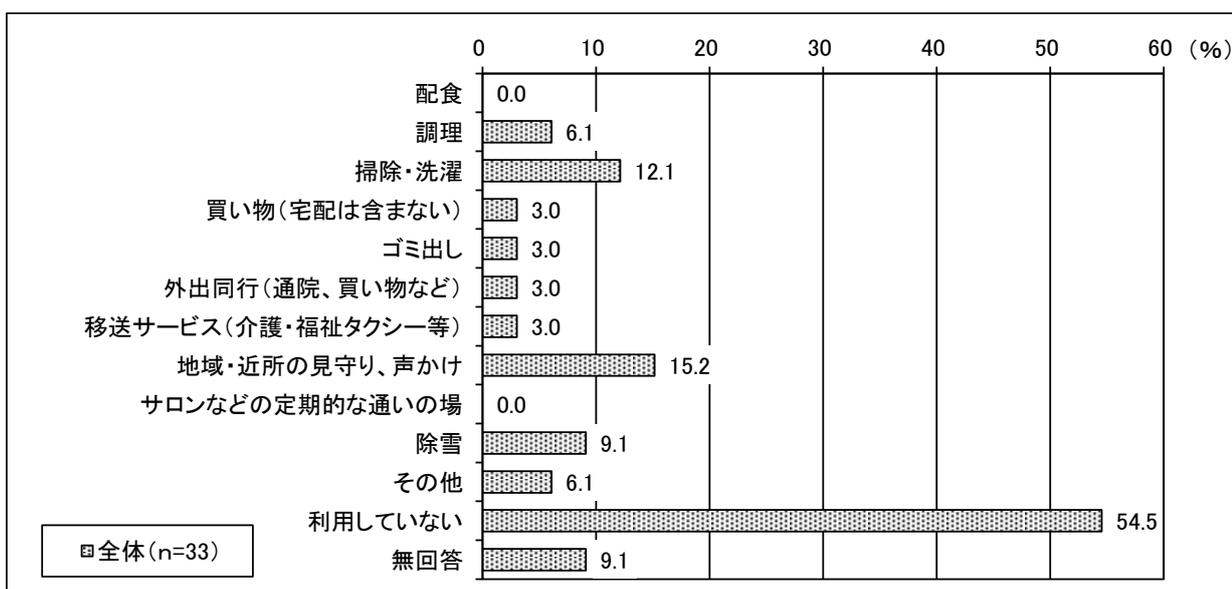
ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいるかについては、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が61.5%と最も高く、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」は11.5%、「主な介護者以外の家族・親族が辞めた（転職除く）」は3.8%となっている。



問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（あてはまるものすべてに☑）

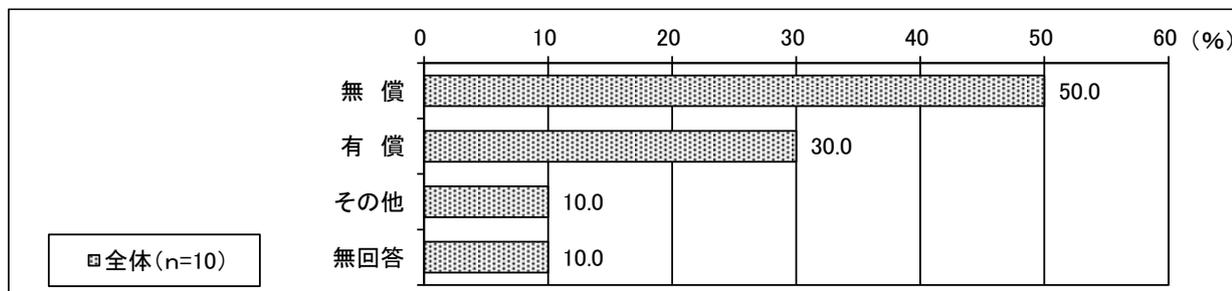
現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについては、「利用していない」が54.5%と最も高い比率となっている。

利用している支援・サービスでは、「地域・近所の見守り、声かけ」が15.2%、「掃除・洗濯」が12.1%、「除雪」が9.1%と続いている。



問9 問8で「1.」～「10.」と回答した方にお伺いします。どんなところを利用していますか（ ）内に利用先等を記入ください（あてはまるものすべて記入）

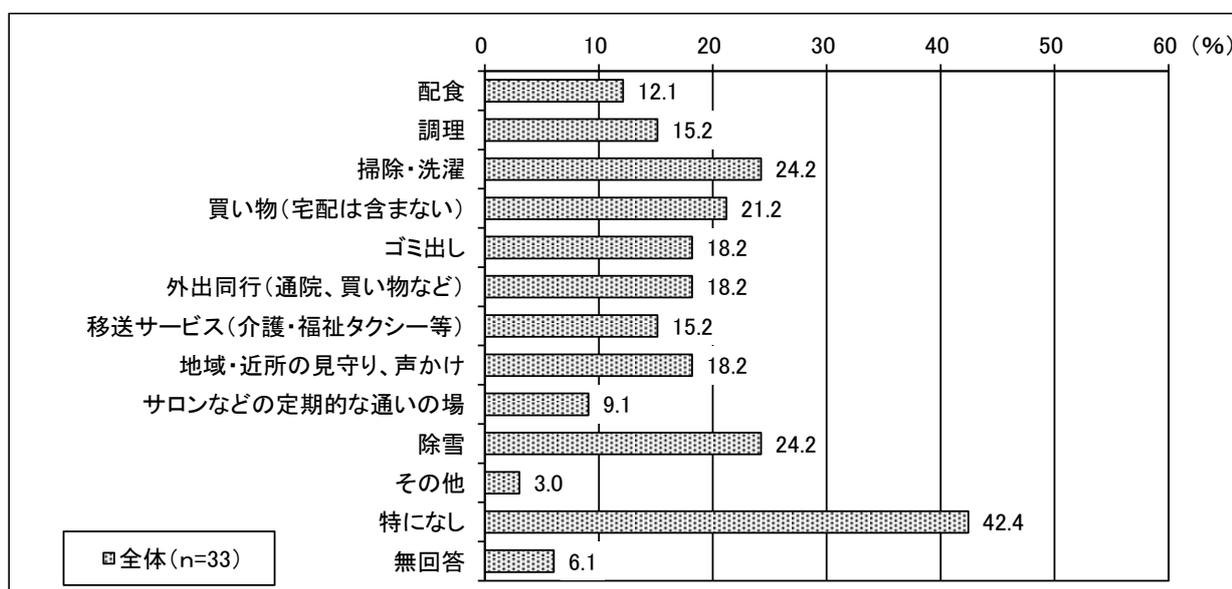
どんなところを利用しているかについては、「無償」が50.0%、「有償」が30.0%となっている。



問10 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（あてはまるものすべてに☑）

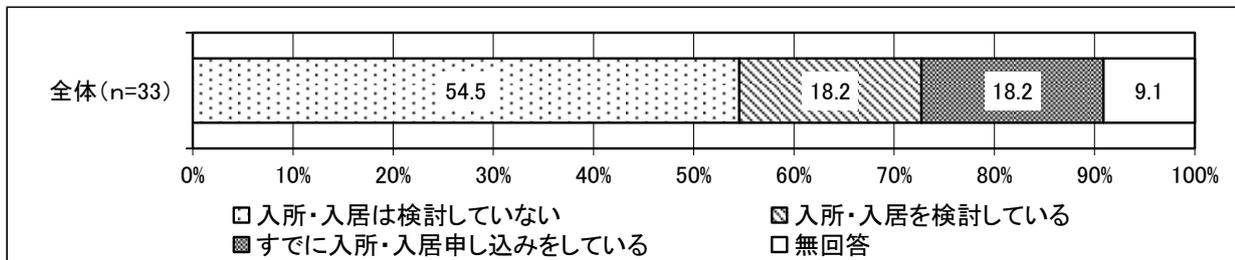
今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）については、「特になし」が42.4%と最も高くなっている。

必要と感じる支援・サービスでは、「掃除・洗濯」及び「除雪」がともに24.2%と最も高く、以下、「買い物（宅配は含まない）」21.2%となっている。



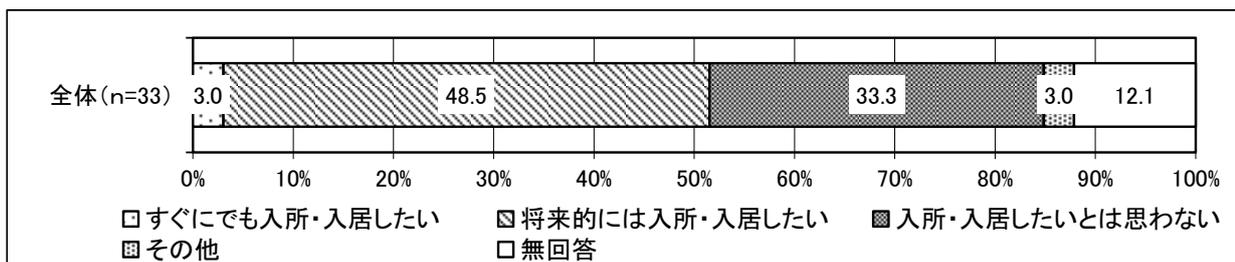
問 11 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（☑は1つ）

現時点での、施設等への入所・入居の検討状況については、「入所・入居は検討していない」が54.5%と最も高く、「入所・入居を検討している」及び「すでに入所・入居申し込みをしている」はともに18.2%となっている。



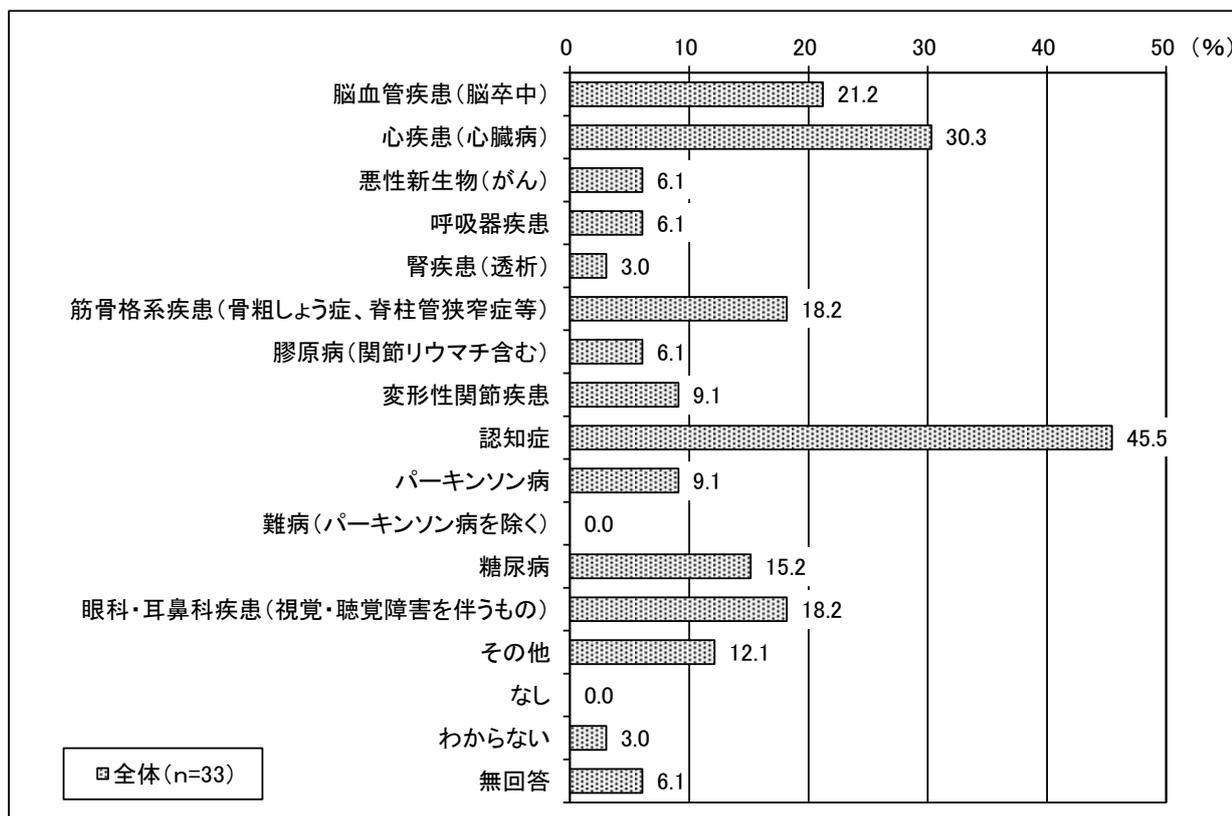
問 11-1 村内に問 11 の施設等があったら、入所・入居したいと思いますか（☑は1つ）

村内に施設等があったら、入所・入居したいと思うかについては、「将来的には入所・入居したい」が48.5%と最も高く、「入所・入居したいとは思わない」が33.3%、「すぐにでも入所・入居したい」が3.0%となっている。



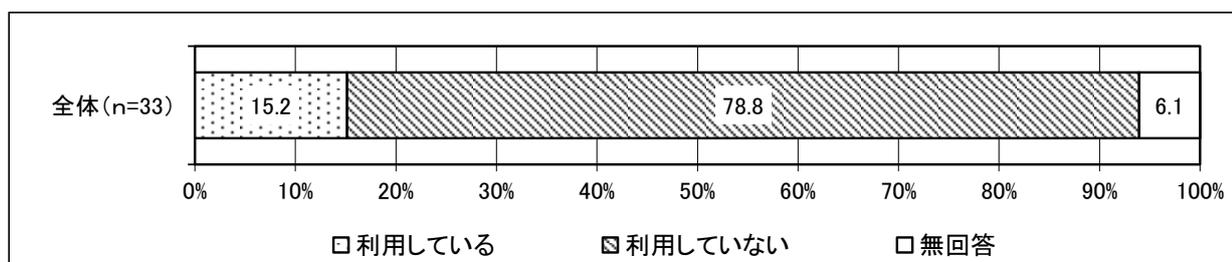
問 12 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください
（あてはまるものすべてに☑）

現在抱えている傷病については、「認知症」が 45.5%と最も高く、以下、「心疾患（心臓病）」（30.3%）、「脳血管疾患（脳卒中）」が（21.2%）、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」及び「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」（ともに 18.2%）、「糖尿病」（15.2%）と続いている。



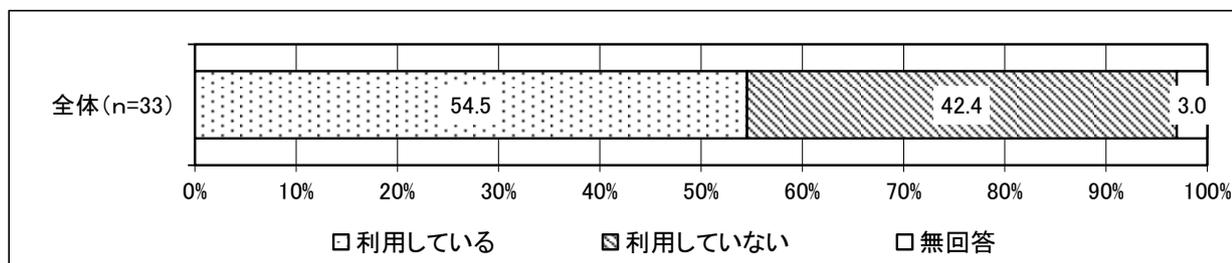
問 13 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（☑は1つ）

現在、訪問診療を利用しているかについては、「利用している」は 15.2%であり、「利用していない」が 78.8%と多数を占めている。



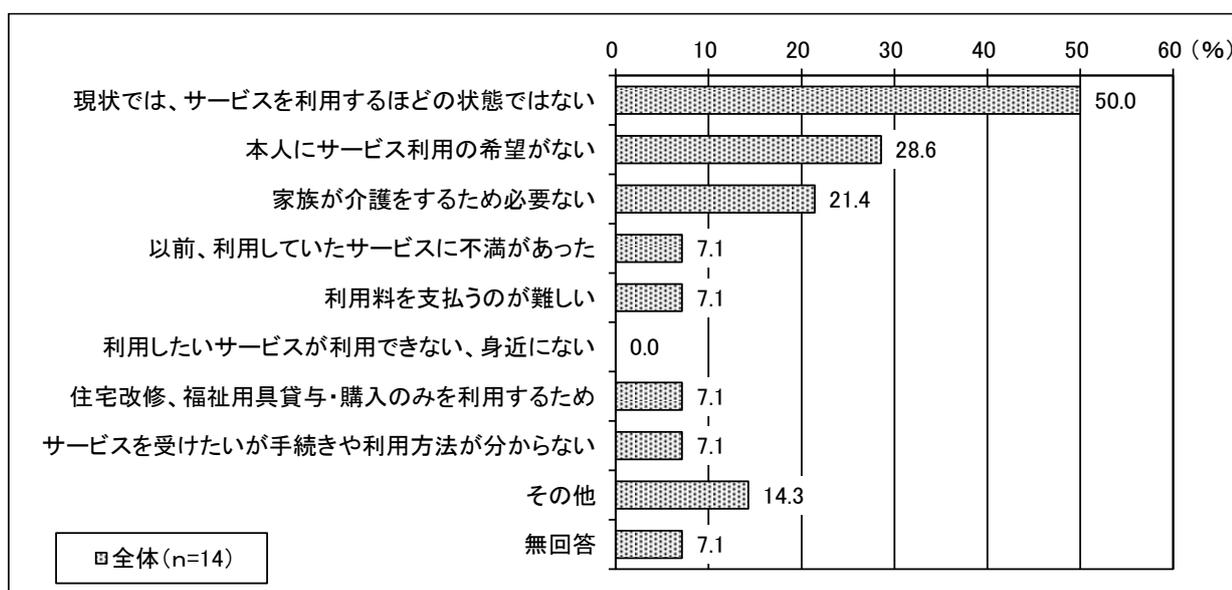
問 14 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか (☑は1つ)

現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しているかについては、「利用している」が54.5%、「利用していない」が42.4%と、利用している方の比率が高い。



問 15 問 14 で「2.」と回答した方にお伺いします。介護保険サービスを利用していない理由は何ですか (あてはまるものすべてに☑)

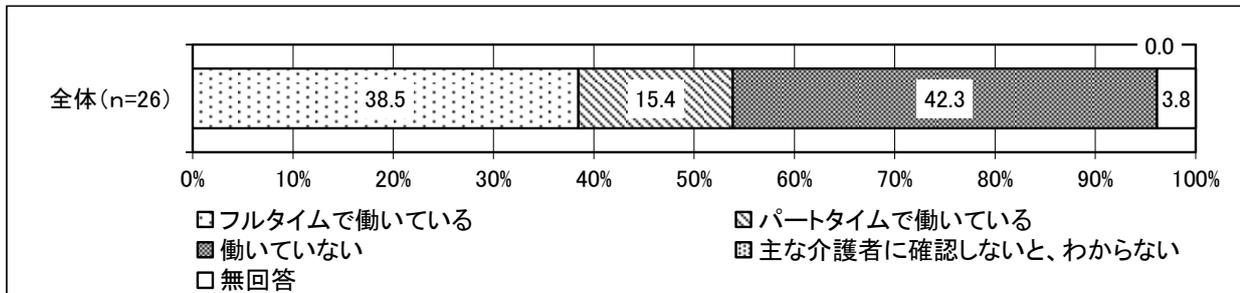
介護保険サービスを利用していない理由は、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が50.0%と最も高く、以下、「本人にサービス利用の希望がない」(28.6%)、「家族が介護をするため必要ない」(21.4%)と続く。



B 主な介護者の方について

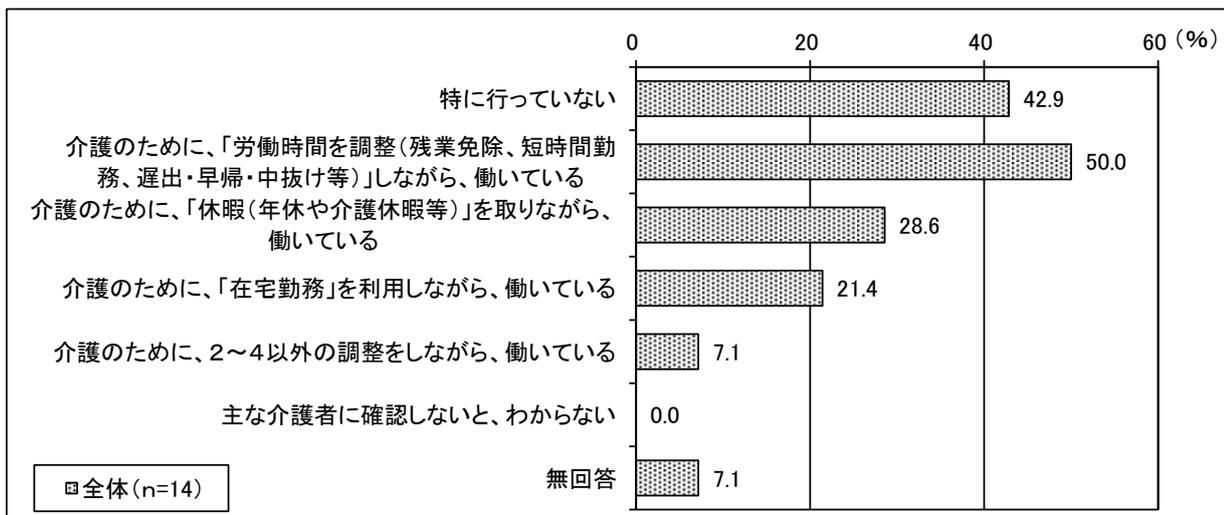
問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（☑は1つ）

主な介護者の方の現在の勤務形態については、「働いていない」が42.3%と最も高く、「フルタイムで働いている」が38.5%、「パートタイムで働いている」が15.4%となっている。



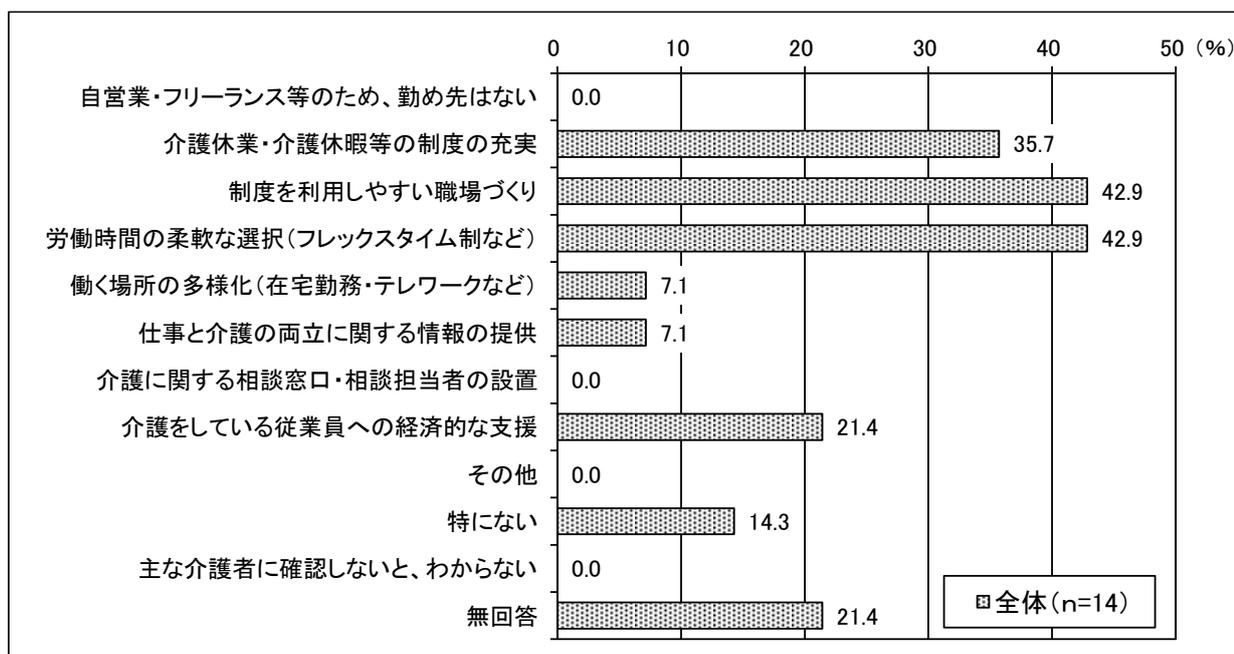
問2 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか（あてはまるものすべてに☑）

主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っているかについては、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が50.0%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が28.6%、「介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている」が21.4%、「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」が7.1%となっている。「特に行っていない」（42.9%）や、「無回答」（7.1%）を除いた半数の方が何か働き方の調整を行っている。



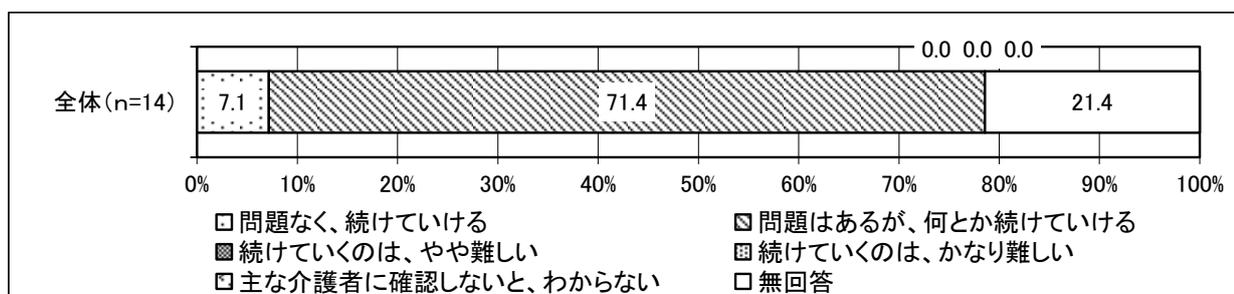
問3 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（☑は3つまで）

主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思うかについては、「制度を利用しやすい職場づくり」及び「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」がともに42.9%と最も多く、以下、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」(35.7%)、「介護をしている従業員への経済的な支援」(21.4%)と続いている。なお、「特にない」は14.3%となっている。



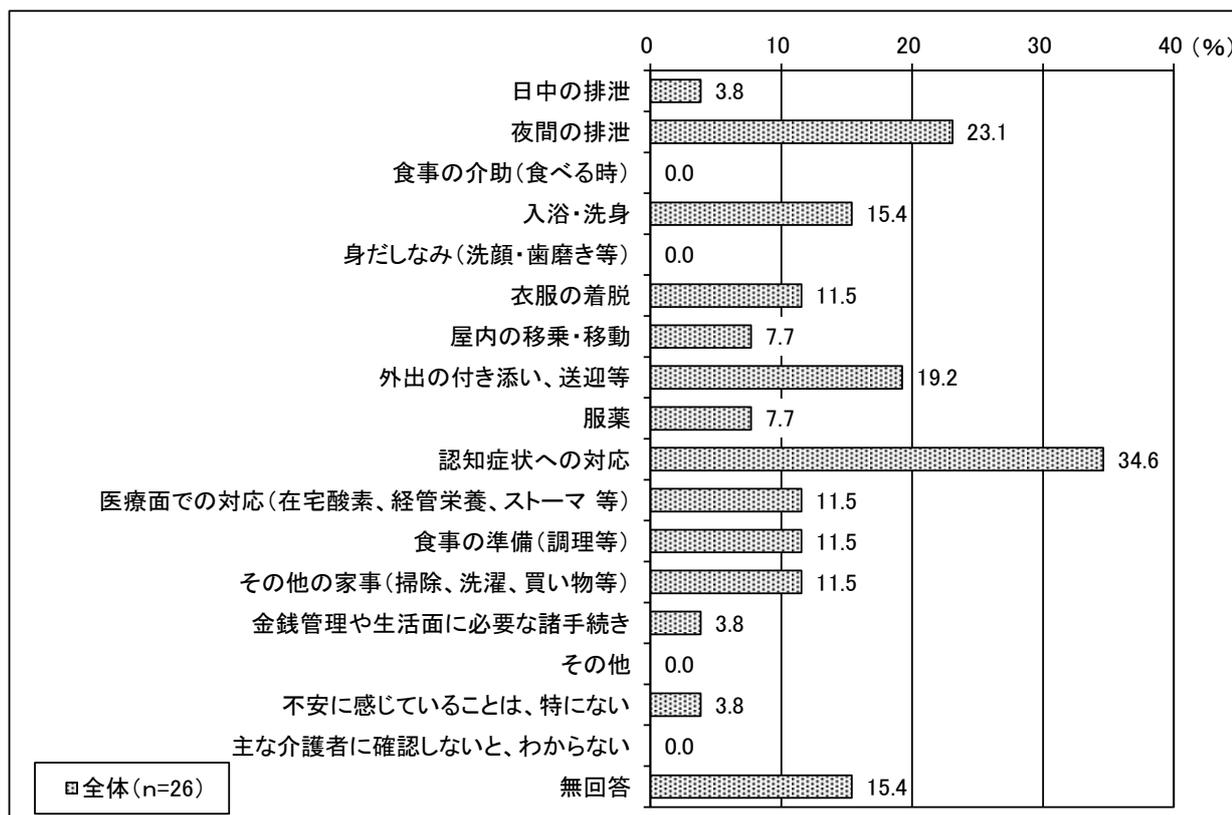
問4 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（☑は1つ）

主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうかについては、「問題はあるが、何とか続けていける」が71.4%と多数を占め、「問題なく、続けていける」(7.1%)と合わせて、78.5%は“続けていける”との回答となっている。一方、「続けていくのは、やや難しい」及び「続けていくのは、かなり難しい」の回答者はいなかった。



問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（☑は3つまで）

現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等については、「認知症状への対応」が34.6%と最も高く、以下、「夜間の排泄」(23.1%)、「外出の付き添い、送迎等」(19.2%)、「入浴・洗身」(15.4%)と続いている。なお、「不安に感じていることは、特にない」は3.8%となっている。



◇北塩原村の介護保険制度・高齢者福祉施策に対して、意見やご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

全体で6人の方から、下記のとおり意見や要望が寄せられた。

No.	性別	年齢	地区	自由意見
1	男	65～69歳	北山	リフレッシュする時間が欲しい（サービス以外で両者が離れる時間）
2	男	75～79歳	北山	・買い物などの利便性を上げて欲しい（移動販売など） ・公共交通機関等が少ない為移動手段が必要と感じる（乗合タクシー等） ・ご近所さん達が声掛けをしてくれるので大変助かっています。 ・地域振興券などの使い道がない（移動が困難な為）
3	男	95歳以上	大塩	なし。
4	女	95歳以上	大塩	村にもお泊りが出来る施設があると良い。ショートステイ、入居施設等
5	女	90～94歳	桧原	今一番必要としているのは、紙おむつが欲しい（本人がいつも言っている）
6	男	65～69歳	裏磐梯	・身体介護と生活援助を区別せず行った方がいいのでは。 ・外国人を積極的に採用し空き家に住ませ対応する。

C 分析

厚生労働省が提供する自動集計ツールを用いて分析を行う。なお、要介護認定データの利用に同意を得た方だけの集計となっていることから、前頁までの回答者数とは異なる。

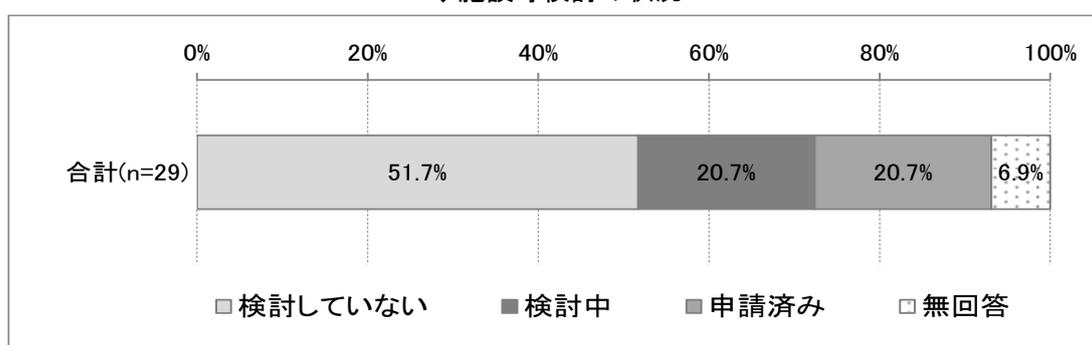
1 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討

(1) 施設等の検討状況

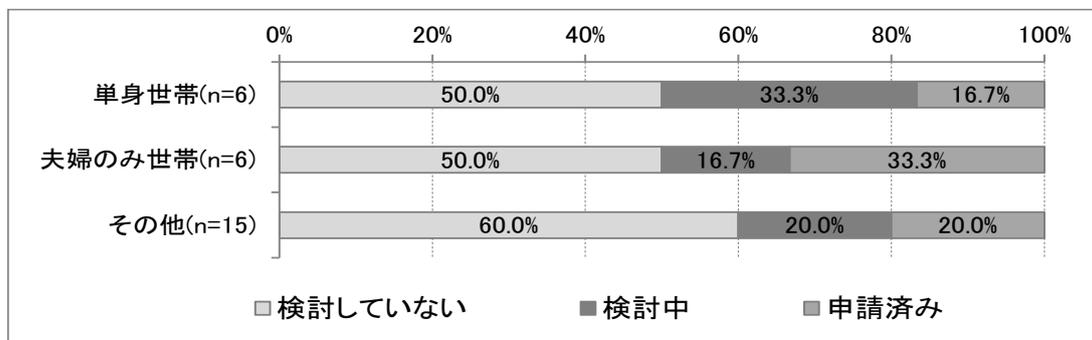
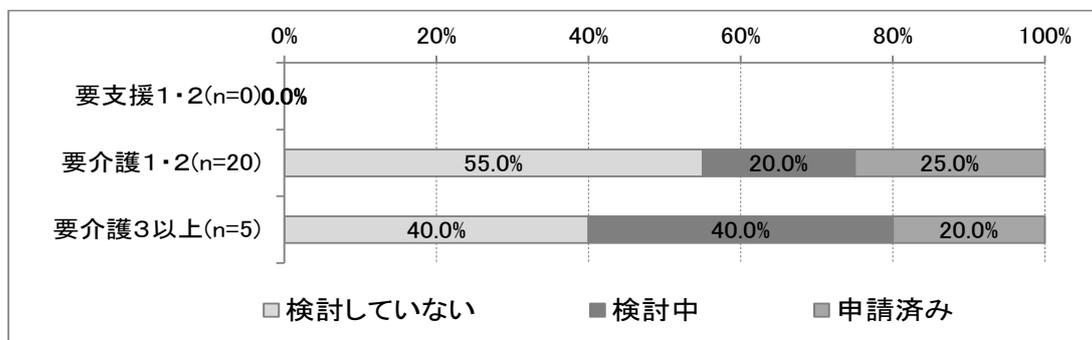
施設等の検討状況は、「検討していない」が51.7%、「検討中」及び「申請済み」が20.7%となっている。

要介護度が高い方や単身世帯で「検討中」の比率が高い。

◇施設等検討の状況



◇要介護度別・施設等検討の状況



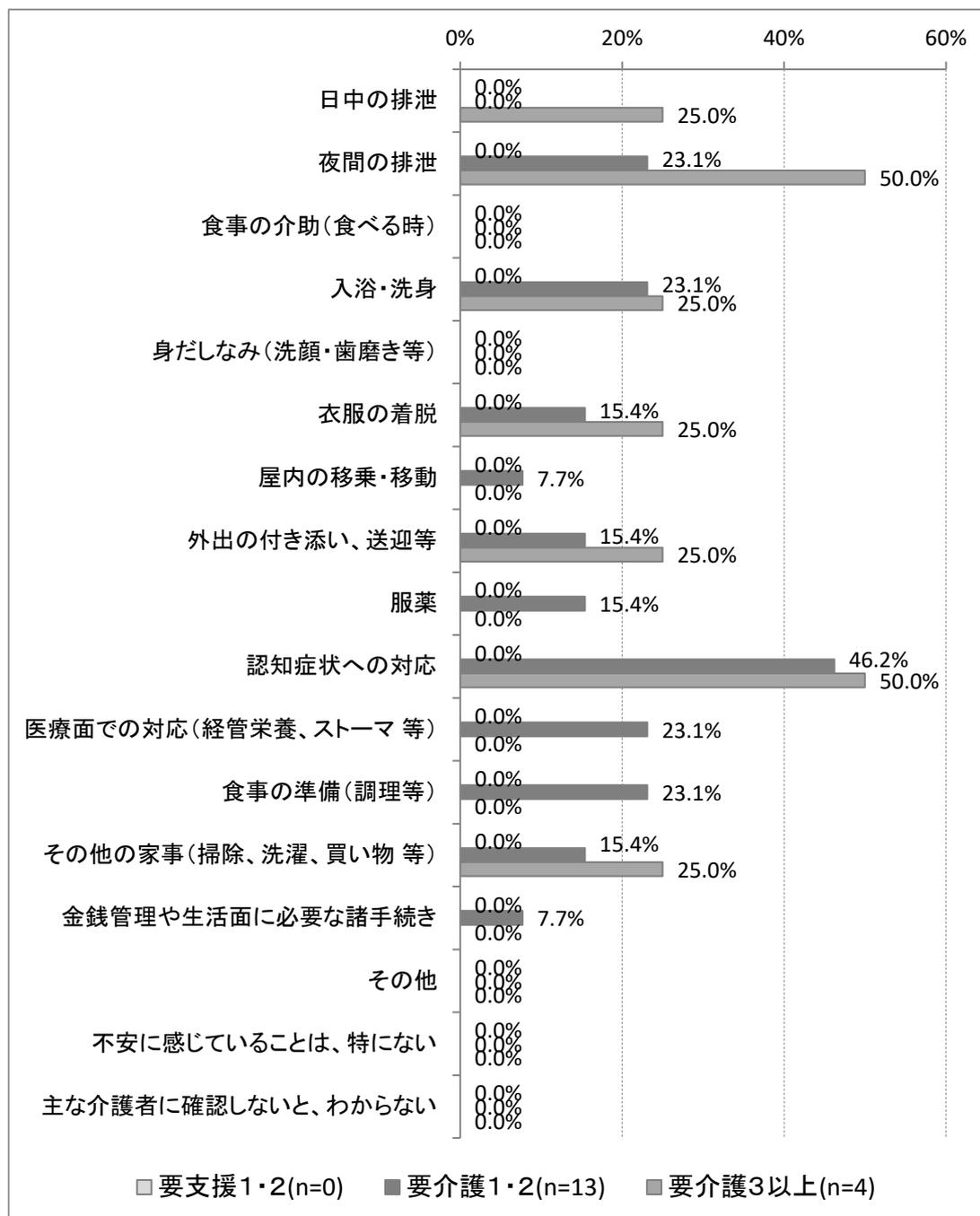
本アンケートの回答者は33人である。分析の際のクロス集計では母数がさらに少なくなり、本村の傾向等を正しく判断することは難しい。そのため、ここでは大きな傾向について国の試行調査結果も参考に整理することとする。

(2) 要介護度の重度化に伴う「主な介護者が不安に感じる介護」の変化

主な介護者の方が不安に感じる介護は、「認知症状への対応」や「夜間の排泄」、「外出の付き添い、送迎等」、「入浴・洗身」などが高い結果となっている。

要介護度別にみると、要介護1・2は「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」や「食事の準備（調理等）」などで、要介護3以上は「日中の排泄」や「夜間の排泄」などで、それぞれ他の介護度より高い比率となっている。

◇要介護度別・介護者が不安に感じる介護

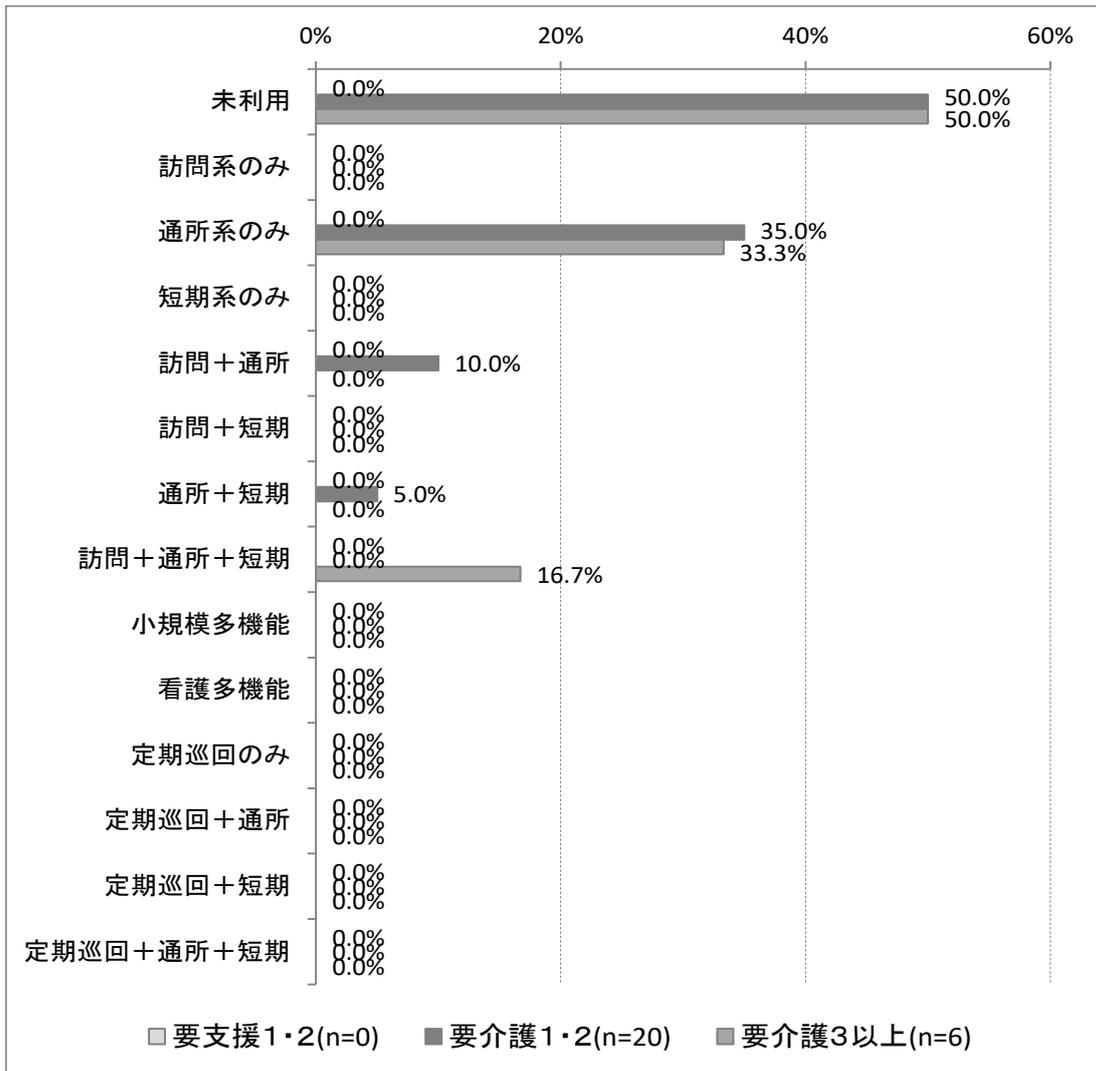


(3) 要介護度の重度化に伴う「サービス利用の組み合わせ」の変化

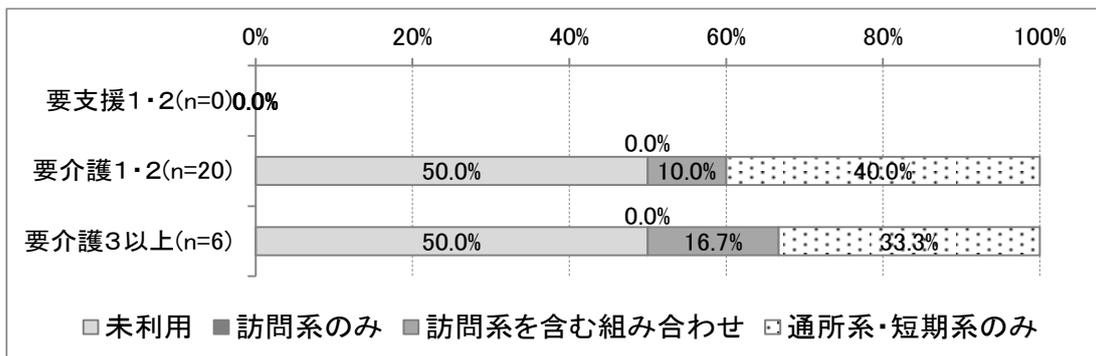
利用するサービスの種類が「通所系のみ」の場合は、要介護度が高くなるほど利用の比率は低下する傾向が見受けられる。また、「訪問+通所」及び「通所+短期」は要介護1・2で、「訪問+通所+短期」は要介護3以上で比率が高くなっている。

今後も、在宅生活を継続していくためには、介護度の重度化への対応を含め、「訪問系」を含む適切なサービスの利用を促進することが望まれる。

◇要介護度別・サービス利用の組み合わせ



◇要介護度別・サービス利用の組み合わせ



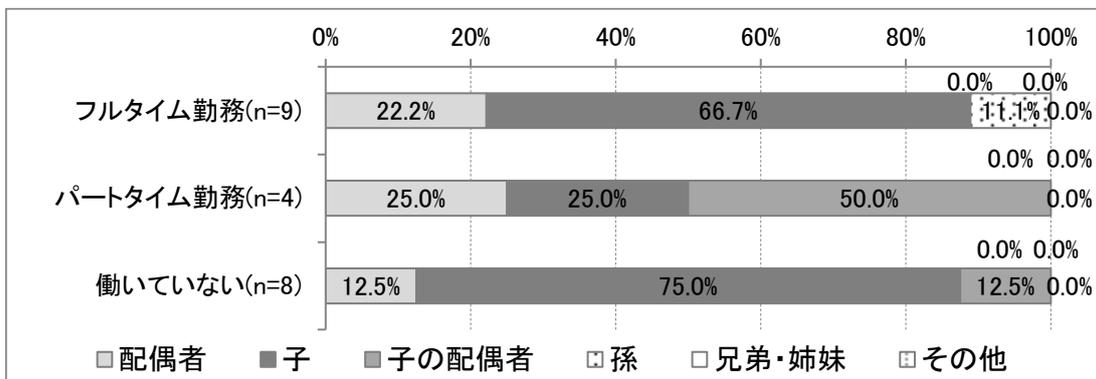
2 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討

(1) 主な介護者の状況

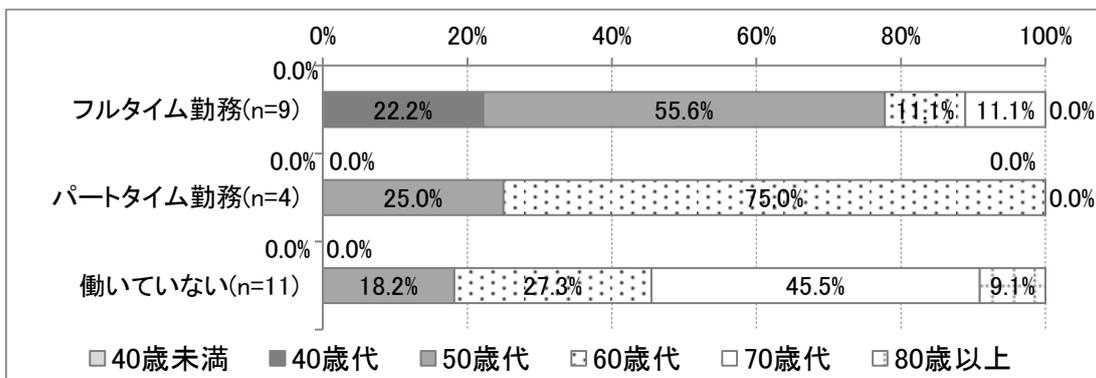
主な介護者がフルタイム・パートタイム勤務の場合は、主な介護者の続柄は「子」や「子の配偶者」で、年齢は「50歳代」や「60歳代」の比率が高い。主な介護者が働いていない場合は「子」や「70歳代」、「80歳以上」の比率が他より高くなっている。

また、要介護者の要介護度をみると、フルタイム勤務では「要介護4」(25.0%)が、他より比率が高くなっている。

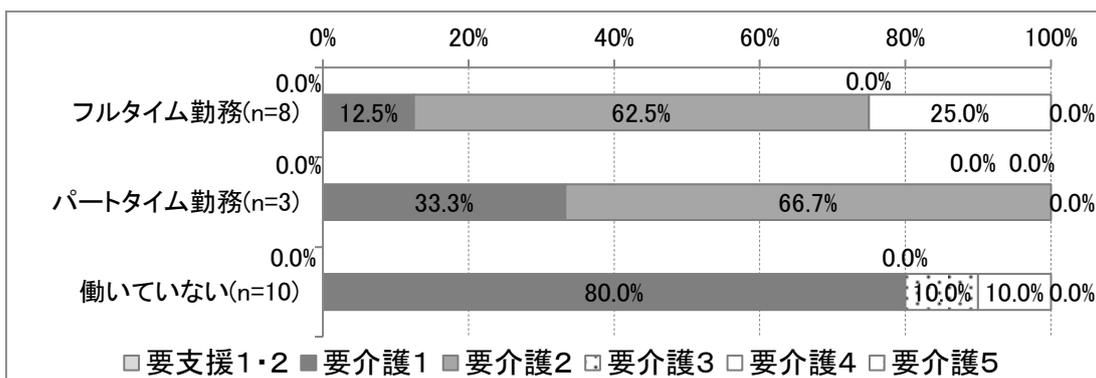
◇就労状況別・主な介護者の本人との関係



◇就労状況別・主な介護者の年齢



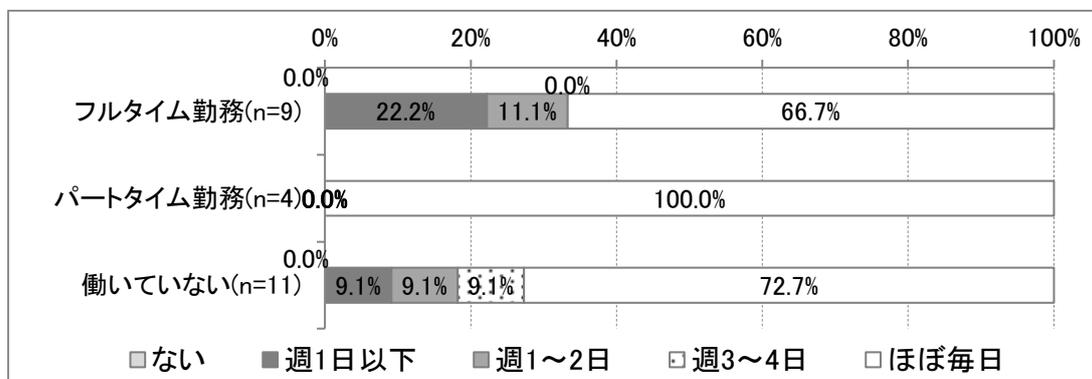
◇就労状況別・要介護度



(2) 主な介護者の就労状況別介護の状況

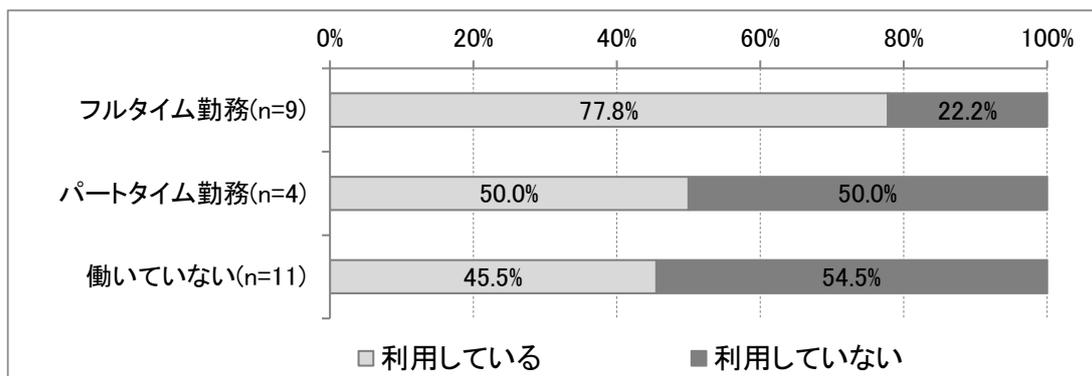
家族や親族の介護について就労状況別にみると、「ほぼ毎日」は、フルタイム勤務は66.7%と、パートタイム勤務(100.0%)、働いていない(72.7%)と比べると介護の頻度は低くなっている。

◇就労状況別・家族等による介護の頻度

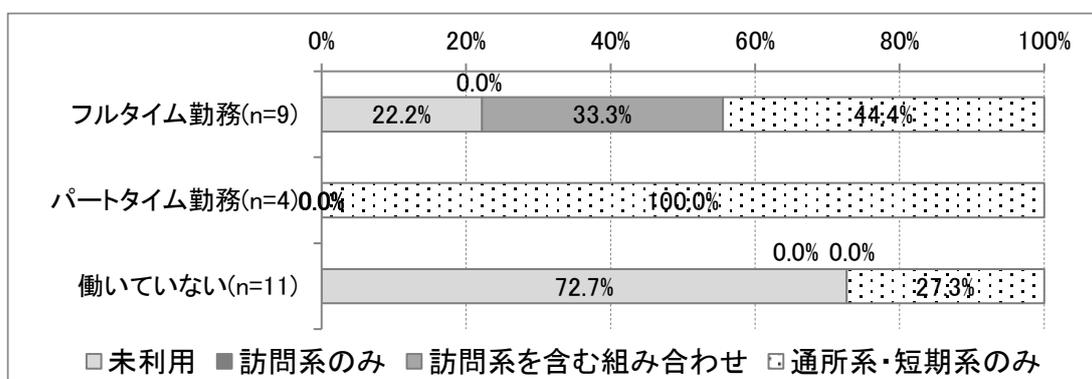


フルタイム勤務している介護者は、他と比べて介護保険サービスを「利用している」比率が高くなっている。

◇就労状況別・介護保険サービス利用の有無



◇就労状況別・サービス利用の組み合わせ

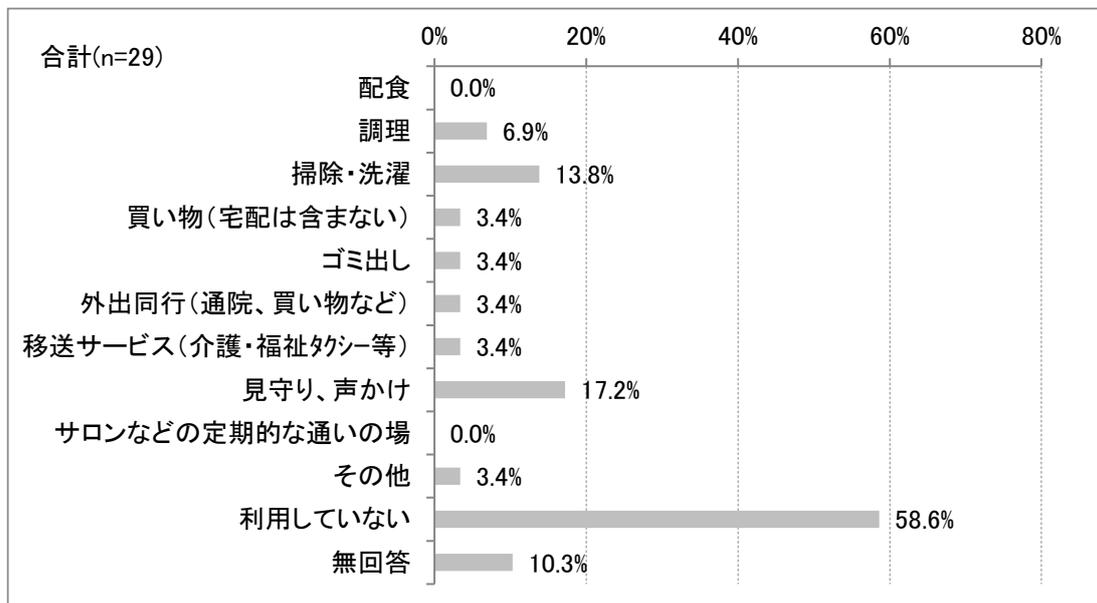


3 介護保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討

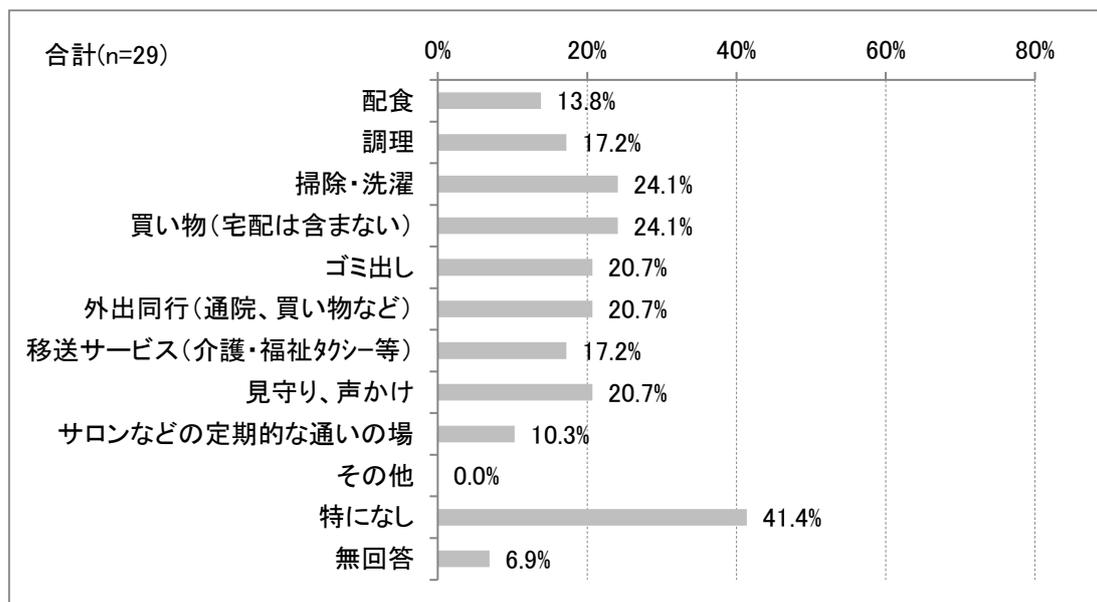
(1) 在宅生活の継続に必要と感じる介護保険外の支援・サービス

介護保険外の支援・サービスの利用状況は、「見守り、声かけ」(17.2%)や「掃除・洗濯」(13.8%)以外のサービスはいずれも10%未満となっている。一方、在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスでは、すべてのサービスで現在の利用より高くなっており、「掃除・洗濯」及び「買い物(宅配は含まない)」（ともに24.1%）や「ゴミ出し」、「外出同行(通院、買い物など)」、「見守り、声かけ」(それぞれ20.7%)は20%以上となっている。

◇保険外の支援・サービスの利用状況



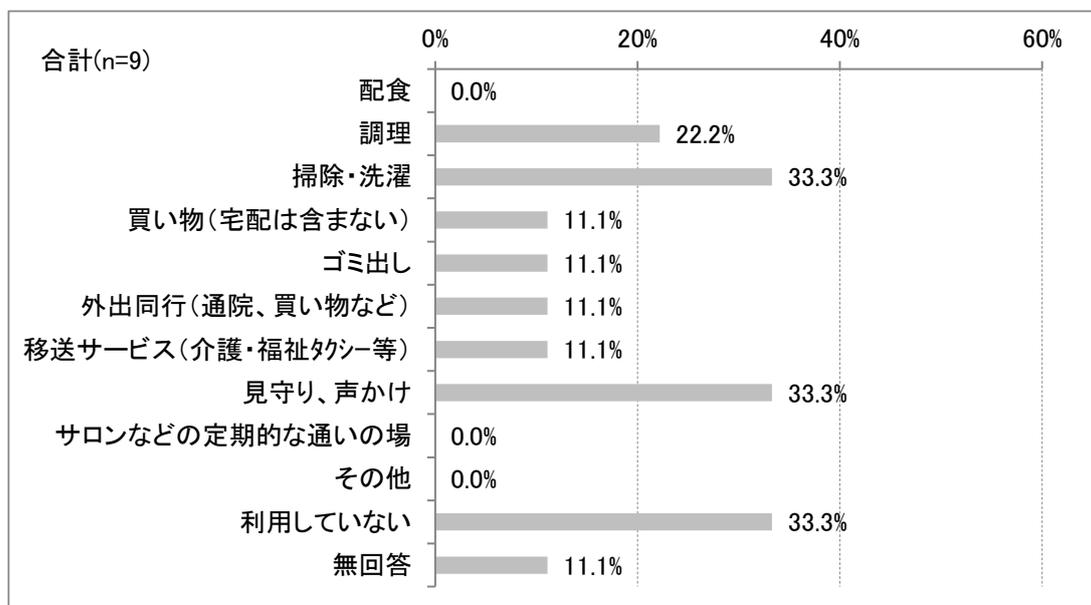
◇在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



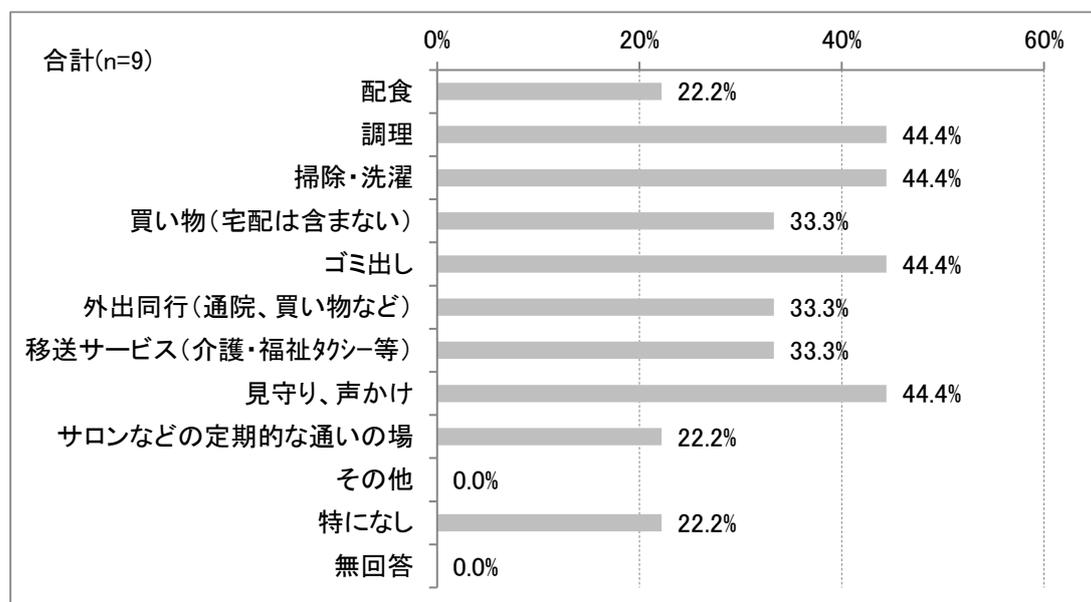
(2) 就労状況別の介護保険以外の支援・サービス

フルタイム勤務している方の「保険外の支援・サービス」と「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」を比較すると、全ての項目で「必要と感じる支援・サービス」の比率が高く、必要と感じても実際の利用は少ない状況にある。

◇利用している保険外の支援・サービス（フルタイム勤務）



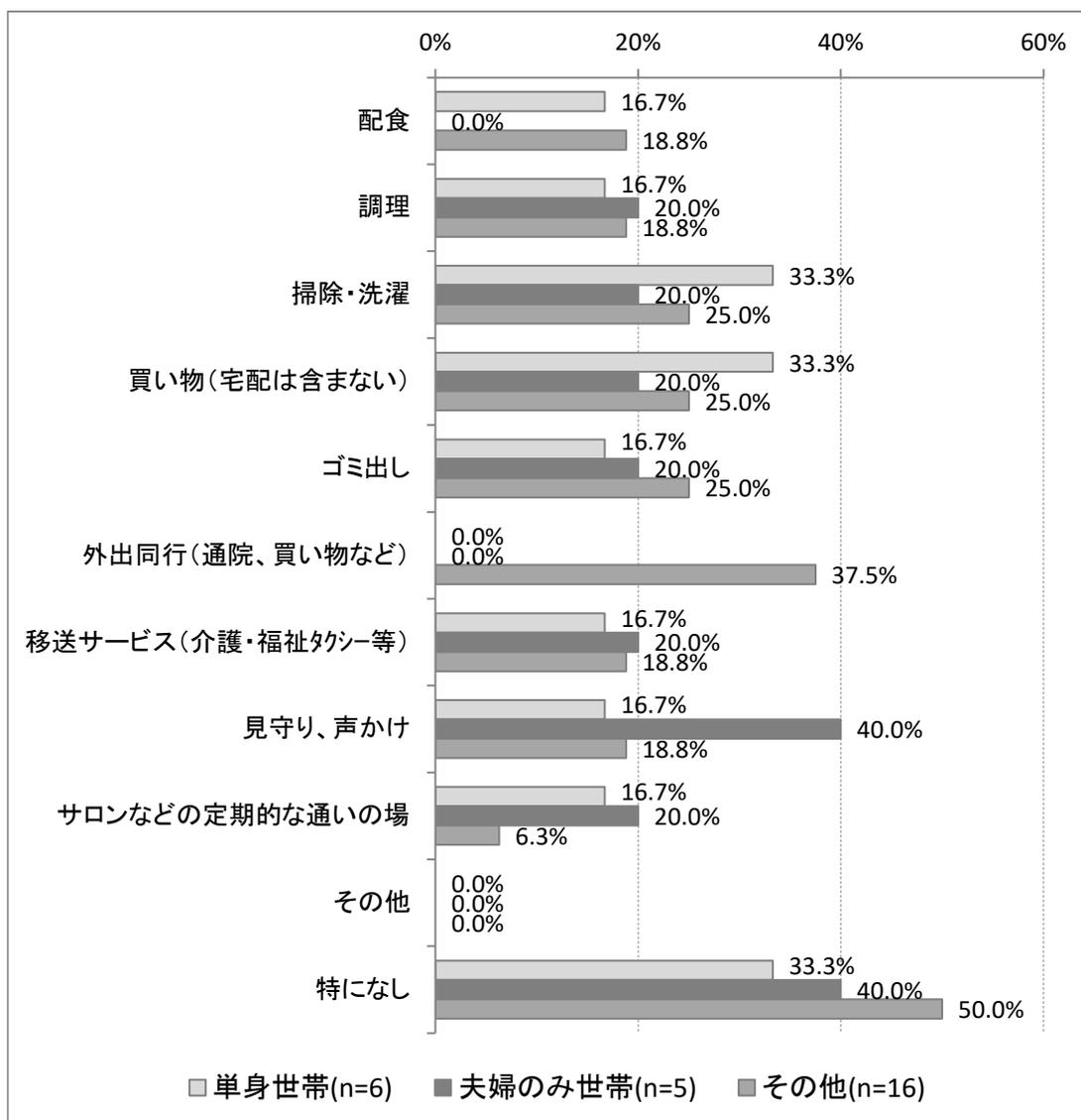
◇在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（フルタイム勤務）



(3) 世帯類型別の介護保険以外の支援・サービス

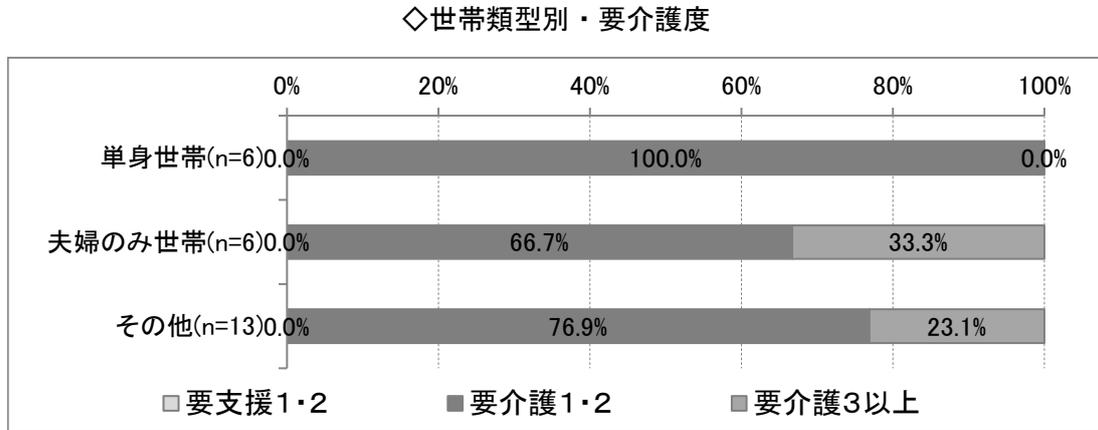
在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについて世帯類型別にみると、単身世帯では「掃除・洗濯」や「買い物（宅配は含まない）」が、夫婦のみ世帯では「見守り・声かけ」が、それぞれ他より高くなっている。

◇世帯類型別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

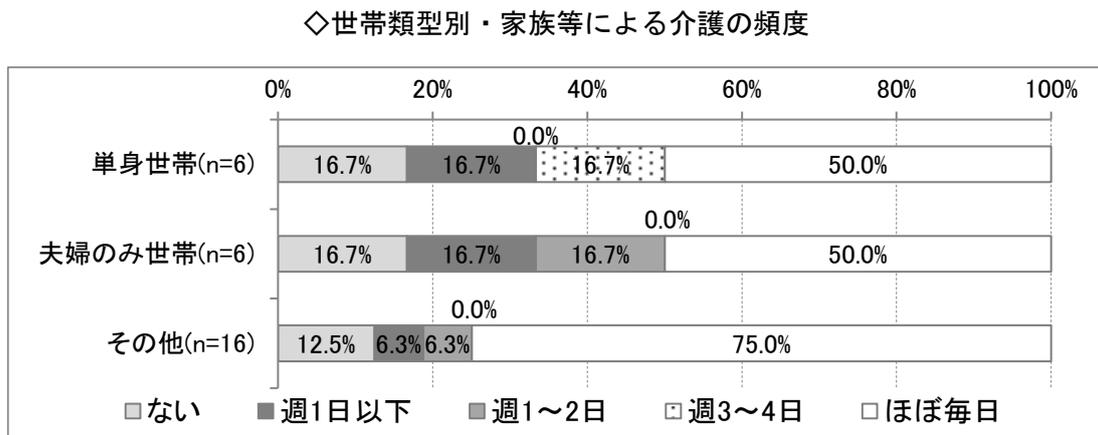


4 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討

世帯類型別の「要介護度」の割合をみると、要介護度の重度者の比率は、本村では「夫婦のみ世帯」が33.3%と他より高くなっている。

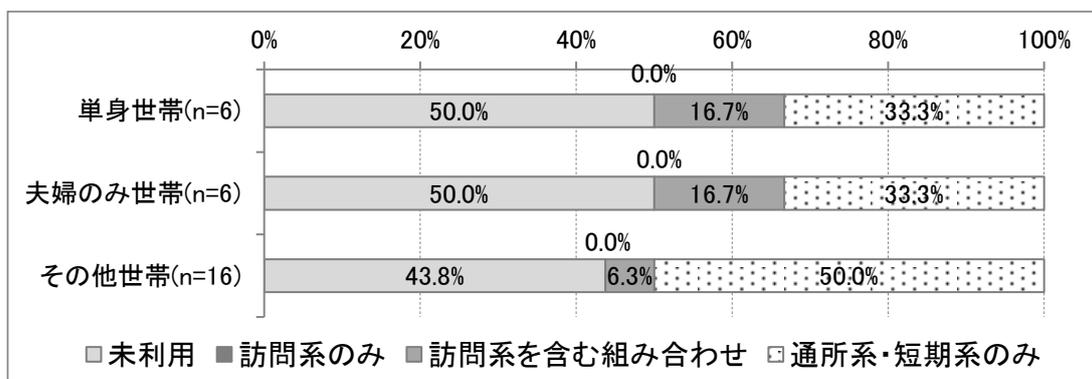


世帯類型別に家族等による介護の頻度を比較すると、その他世帯で「ほぼ毎日」が75.0%と最も高くなっている。



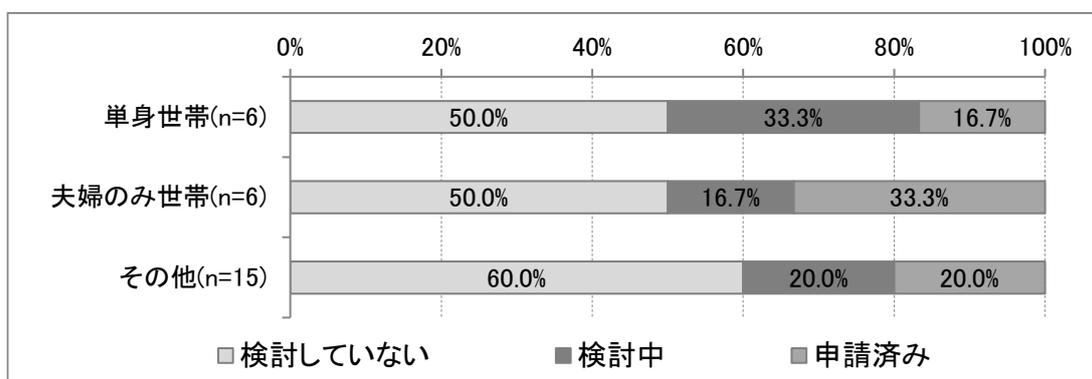
世帯類型別にサービス利用の組み合わせをみると、単身世帯及び夫婦のみ世帯は「未利用」が、その他世帯は「通所系・短期系のみ」の比率が高くなっている。今後も在宅生活を継続していくためには、介護度の重度化への対応を含め、「訪問系」を含む適切なサービスの利用を促進することが望まれる。

◇世帯類型別



施設等検討の状況についてみると、夫婦のみ世帯は「申請済み」が33.3%、一方、その他世帯は「検討していない」が60.0%と高い。

◇世帯類型別・施設等検討の状況（全要介護度）



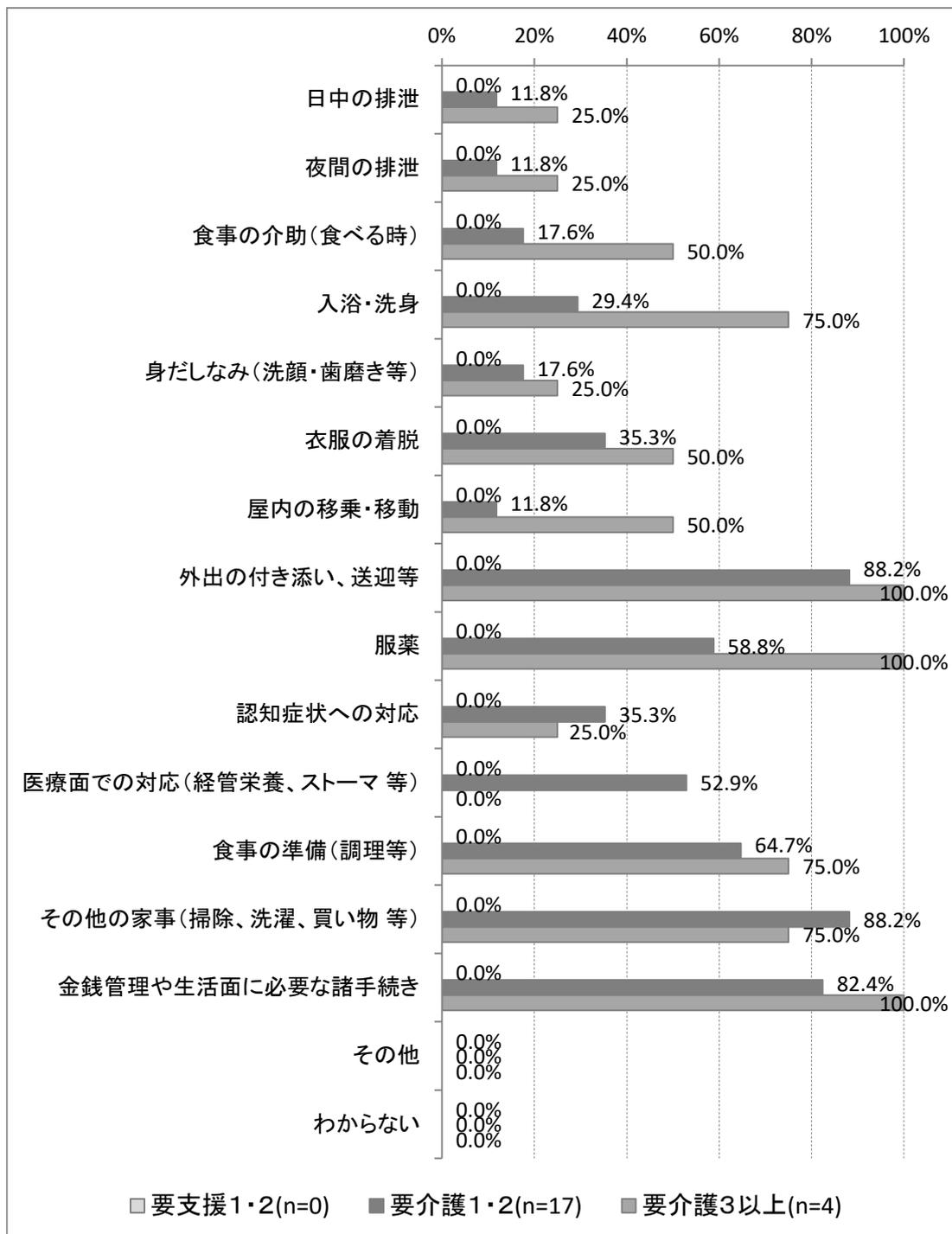
夫婦のみ世帯においては施設入所意向が高いが、介護保険サービスは「未利用」で、施設を「検討していない」比率が高いことから、介護保険サービスの利用、特に訪問系を含むサービスの組み合わせなど、適正な利用を図ることで、在宅生活を継続することが可能な世帯が少なくないものと考えられます。

5 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討

(1) 基礎集計

主な介護者の方が行っている介護は、「外出の付き添い、送迎等」や「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」、「食事の準備（調理等）」、「服薬」などが高い結果となっている（91 頁参照）。また、要介護度別にみると、要介護1・2は「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」で、要介護3以上は「食事の介助（食べる時）」や「入浴・洗身」、「屋内の移乗・移動」で、それぞれ他の介護度との差が大きくなっている。

◇要介護度別・主な介護者が行っている介護



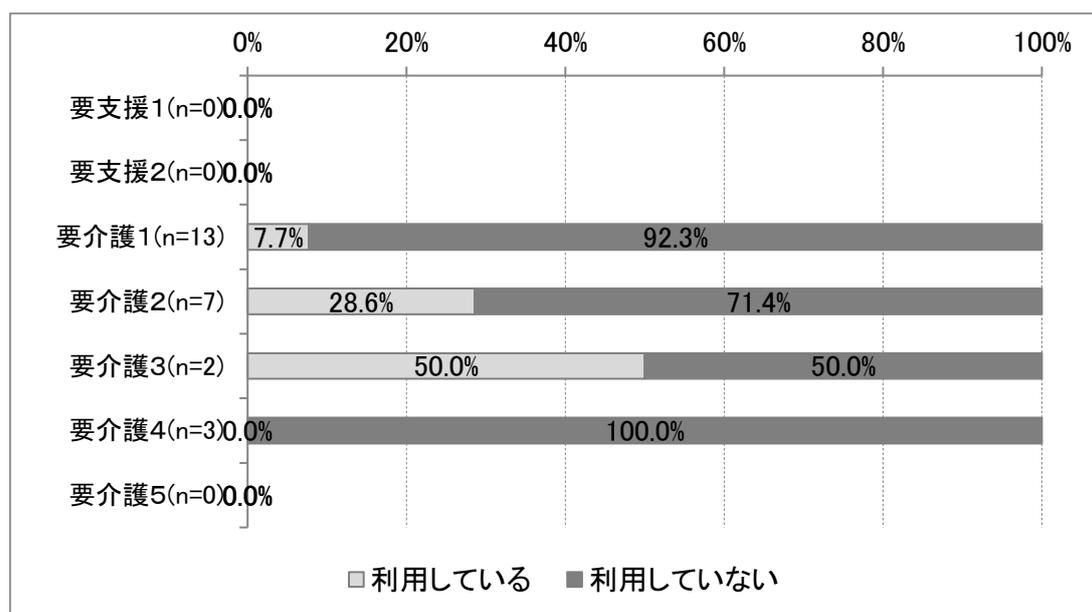
(2) 訪問診療の利用割合

「訪問診療の利用の有無」をみると、訪問診療の利用割合は15.2%である(95頁参照)。

要介護度別の「訪問診療の利用の有無」をみると、「要介護2」が28.6%、「要介護3」が50.0%である。

今後は、中重度の要介護者の大幅な増加が見込まれることから、それに伴い増加すると予想される「介護と医療の両方のニーズを持つ在宅医療者」について、いかに適切なサービス提供体制を確保していくかを検討していくことが望まれる。

◇要介護度別・訪問診療の利用割合



北 塩 原 村
第9期北塩原村高齢者福祉計画・
北塩原村介護保険事業計画策定のための
住民アンケート

令和6年3月

発 行：北塩原村

企画・編集：北塩原村 住民課 医療福祉班
